

**横須賀市**  
**子ども・子育て支援事業計画**  
**策定に向けたニーズ調査**  
**結果報告書**  
**(案)**

**平成 31 年 3 月**  
**横須賀市**



# 目 次

第1章 調査実施の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の設計.....	1
3 調査票の配布と回収状況.....	2
4 報告書の見方.....	4
(1) 注意点.....	4
(2) グラフの見方.....	4
第2章 調査結果.....	5
1 居住地域について.....	5
居住地域の状況.....	5
2 子どもと家族の状況について.....	5
(1) 就学前児童の属性.....	5
(2) 小学生の属性.....	6
(3) 調査回答者の状況と配偶者の有無.....	6
(4) 子育てを主に行っている方.....	7
3 現在の子育ての環境について.....	9
(1) 日常的に子育てに関わっている方・子育てに影響を与える環境.....	9
(2) 子育てに関する相談者の状況.....	11
(3) 子育ての不安やストレスの状況.....	16
(4) 子育てを楽しんでいると感じるか.....	21
(5) 子育てにとってどのような支援が有効か.....	25
(6) 理想的な子どもの人数・実際の人数が少ない理由.....	31
4 母親、父親の就労状況について.....	34
(1) 母親の就労状況.....	34
(2) 父親の就労状況.....	43
5 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望について.....	48
(1) 平日の定期的な教育・保育事業.....	48
(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由.....	60
(3) 定期的な教育・保育事業として望むもの.....	66
6 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用希望について.....	69
(1) 愛らんど・わいわい広場の利用状況.....	69

(2) 今後の利用意向.....	72
(3) 子育て支援事業の認知度・利用状況と今後の利用意向.....	73
7 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について.....	75
(1) 土曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	75
(2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望.....	78
8 病児・病後児保育事業の潜在ニーズについて.....	80
(1) 病気やケガで保育所や幼稚園などが利用できない時の対応.....	80
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	86
(1) 不定期に利用している教育・保育事業の状況.....	86
(2) 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況.....	90
10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	92
(1) 育児休業制度の利用状況.....	92
(2) 育児休業と保育園.....	94
(3) 職場復帰の状況.....	94
(4) 短時間勤務制度の利用状況.....	97
(5) 育児休業給付や保険料免除の認知度.....	98
11 放課後の過ごし方について.....	99
(1) 放課後の居場所.....	99
(2) 小学生の平日の放課後の状況.....	100
(3) 放課後児童クラブの利用状況.....	106
(4) 平日の放課後の利用希望.....	111
(5) 放課後児童クラブの利用希望.....	126
12 子育ての環境や支援への満足度について.....	129
13 自由回答.....	133

# 第1章

## 調査実施の概要



# 第1章 調査実施の概要

## 1 調査の目的

本調査は、子ども・子育て支援法第61条の規定による子ども・子育て支援事業計画（第2期計画）の策定に資する情報を収集することを目的とするとともに、第2期計画策定にあたり、必要な情報を得るため、子育て家庭ニーズの動向分析等を行い、市の現状と今後の子ども・子育て支援における課題を整理することを目的とする。

## 2 調査の設計

調査票は調査対象者別に作成しており、各調査の件数及び調査期間・方法は、以下の通り。

### ■ 調査票の種類と調査対象者及び調査の実施方法

①調査票「子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート(ニーズ)調査(就学前児童調査)」	
調査対象者	住民基本台帳から、市内在住の就学前児童を年齢別・地域別に無作為抽出
調査票配布数	3,000人
調査期間	平成30年11月12日～平成30年12月3日
調査方法	郵送配布・郵送回収により調査を実施
②調査票「子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート(ニーズ)調査(小学生調査)」	
調査対象者	住民基本台帳から、市内在住の小学生を年齢別・地域別に無作為抽出
調査票配布数	3,000人
調査期間	平成30年11月12日～平成30年12月3日
調査方法	郵送配布・郵送回収により調査を実施

### 3 調査票の配布と回収状況

調査によるそれぞれの配布・回答状況は、以下の通り。

#### ■ 調査票の配布・回収状況

調査対象者	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
就学前児童の保護者	3,000	1,774	59.1
小学生の保護者	3,000	1,849	61.6

#### ■ 年齢別回収状況（就学前児童）

年齢	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
0歳	436	248	56.9
1歳	474	275	58.0
2歳	504	301	59.7
3歳	520	310	59.6
4歳	528	312	59.1
5歳	538	305	56.7
全体	3,000	1,774	59.1

※ アンケート調査票の「子どもの生年月」が無回答であったサンプルが存在するため、0～5歳の調査票回収数の合計と、全体の調査票回収数は一致しない。

#### ■ 行政センター別回収状況（就学前児童）

年齢	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
本庁	422	219	51.9
追浜	294	172	58.5
田浦	92	44	47.8
逸見	44	18	40.9
衣笠	508	284	55.9
大津	310	162	52.3
浦賀	270	147	54.4
久里浜	464	265	57.1
北下浦	300	145	48.3
西	296	141	47.6
全体	3,000	1,774	59.1

※ アンケート調査票の「居住地区」が無回答であったサンプルが存在するため、各行政センターの調査票回収数の合計と、全体の調査票回収数は一致しない。



## ■ 年齢別回収状況（小学生）

年齢	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
1年生	472	305	64.6
2年生	496	321	64.7
3年生	504	310	61.5
4年生	492	300	61.0
5年生	512	304	59.4
6年生	524	304	58.0
全体	3,000	1,849	61.6

※ アンケート調査票の「子どもの学年」が無回答であったサンプルが存在するため、1～6年生の調査票回収数の合計と、全体の調査票回収数は一致しない。

## ■ 行政センター別回収状況（小学生）

年齢	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
本庁	426	226	53.1
追浜	256	166	64.8
田浦	114	77	67.5
逸見	52	22	42.3
衣笠	508	250	49.2
大津	302	169	56.0
浦賀	336	186	55.4
久里浜	432	233	53.9
北下浦	280	137	48.9
西	294	150	51.0
全体	3,000	1,849	61.6

※ アンケート調査票の「居住地区」が無回答であったサンプルが存在するため、各行政センターの調査票回収数の合計と、全体の調査票回収数は一致しない。

## 4 報告書の見方

### (1) 注意点

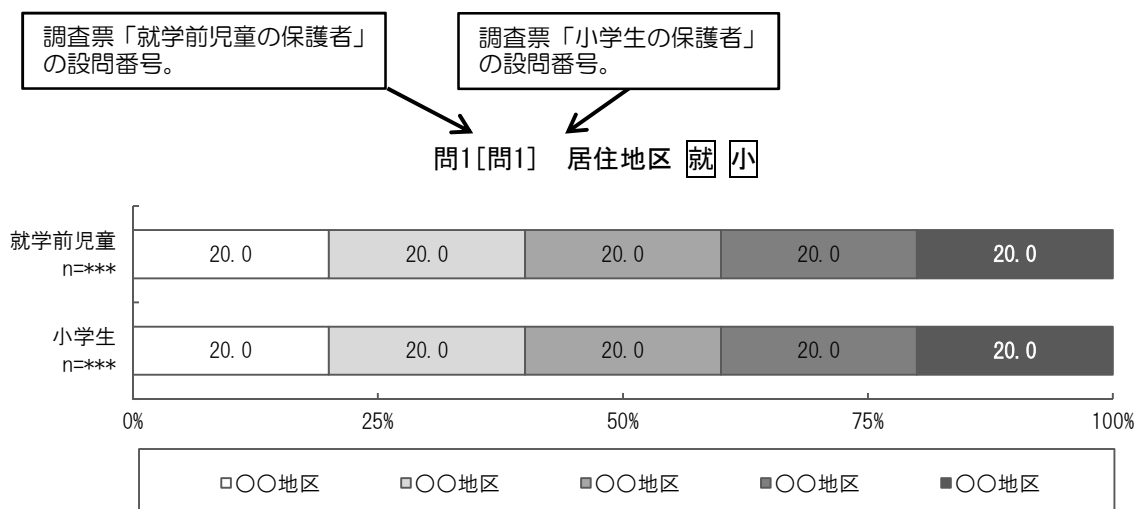
調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合がある。

なお、基数となる実数は「n」として掲載し、各グラフや表の比率は「n」を母数とした割合を示している。

また、複数回答が可能な設問では、各項目の割合の合計が100%を超える場合がある。本調査で「H25調査」「前回調査」と記載のある場合、以下の調査報告書を指す。

「横須賀市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査 結果報告書」  
(平成26年3月)

### (2) グラフの見方



## 第2章 調査結果



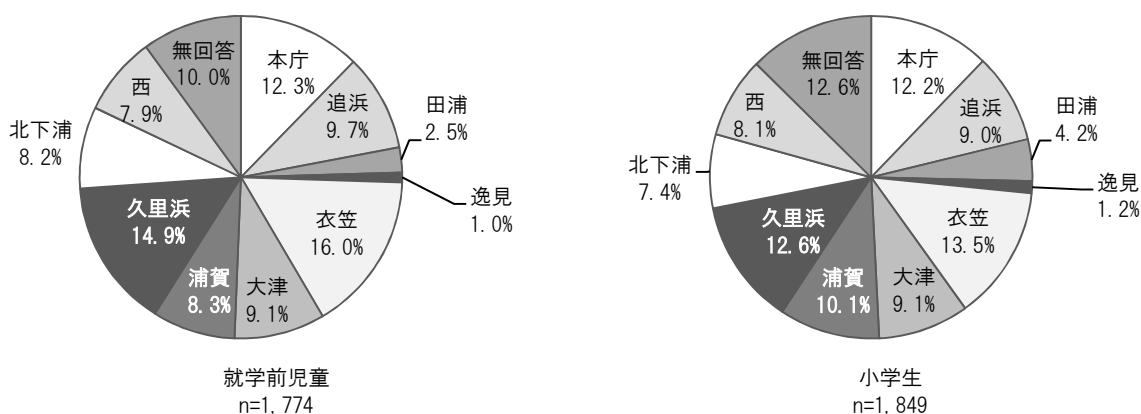
## 第2章 調査結果

### 1 居住地について

#### 居住地の状況

○調査対象者別の回答者の居住地区は以下の通り。

問1[問1] 居住地区 就小

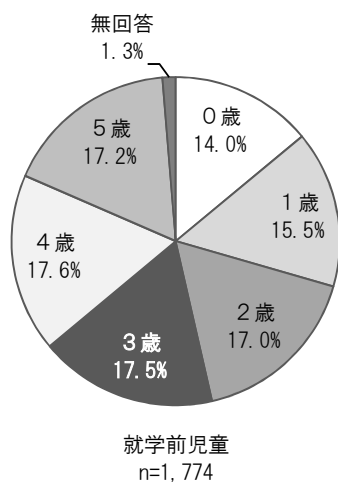


### 2 子どもと家族の状況について

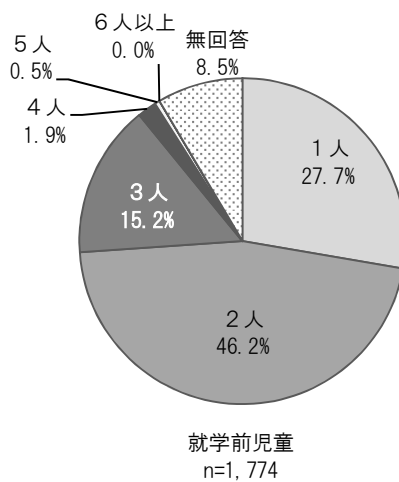
#### (1) 就学前児童の属性

○回答された1,774人の就学前児童の属性は、以下の通り。

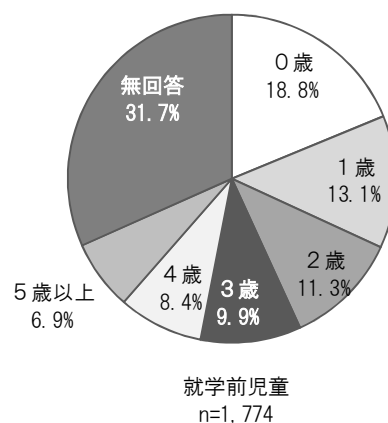
問2 年齢 就



問3 子どもの人数 就



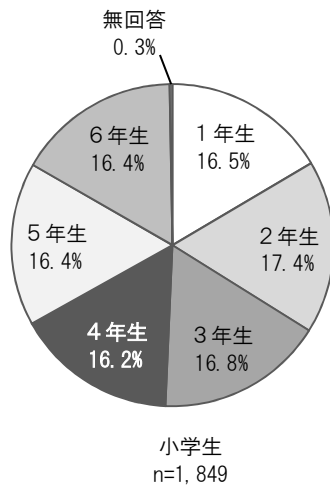
問3.1 一番小さい子どもの年齢 就



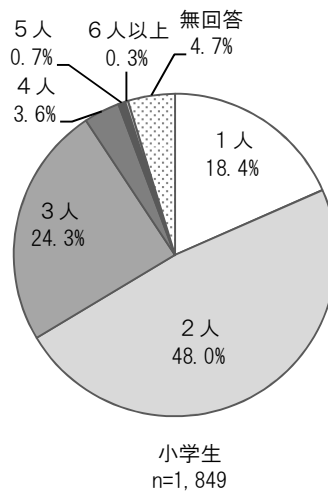
## (2) 小学生の属性

○回答された1,849人の小学生の属性は、以下の通り。

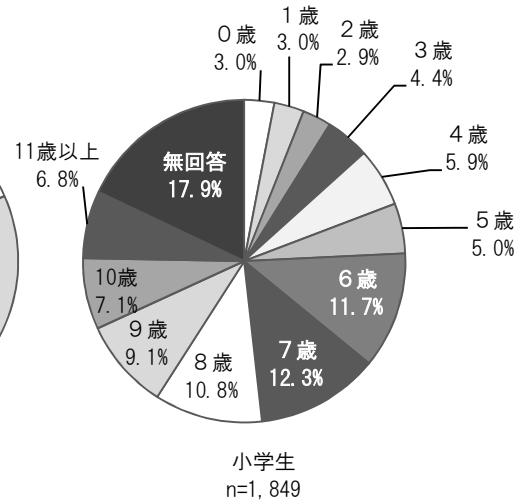
[問3] 学年  小



[問4] 子どもの人数  小



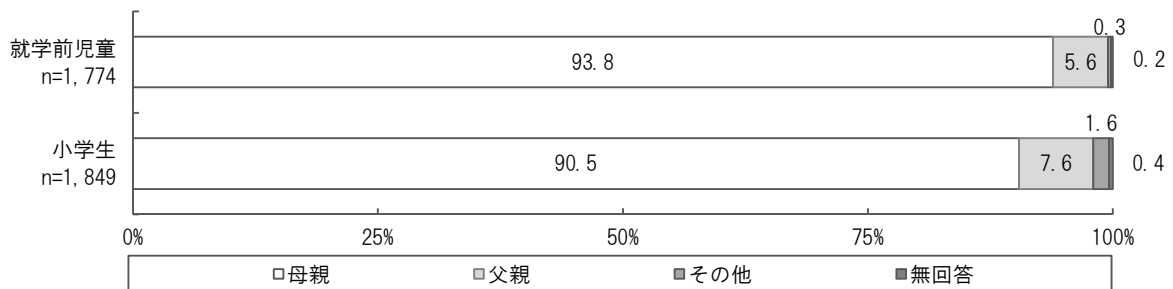
[問4.1] 一番小さい子どもの年齢  小



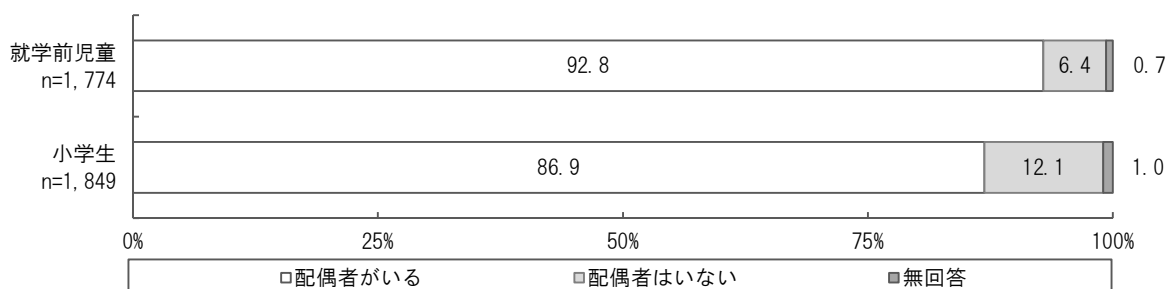
## (3) 調査回答者の状況と配偶者の有無

○回答者については、「母親」がともに90%を超えている。配偶者の有無については、「配偶者がいる」が就学前児童92.8%、小学生86.9%となっている。

問4[問5] 調査回答者  就  小



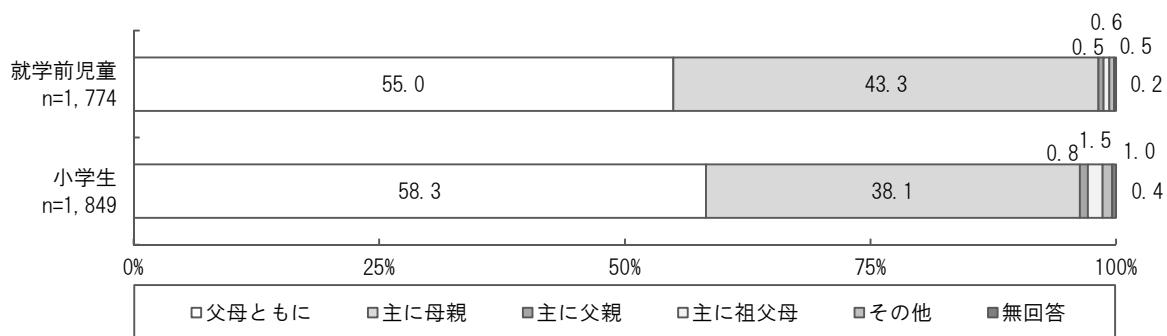
問5[問4] 配偶者の有無  就  小



#### (4) 子育てを主に行っている方

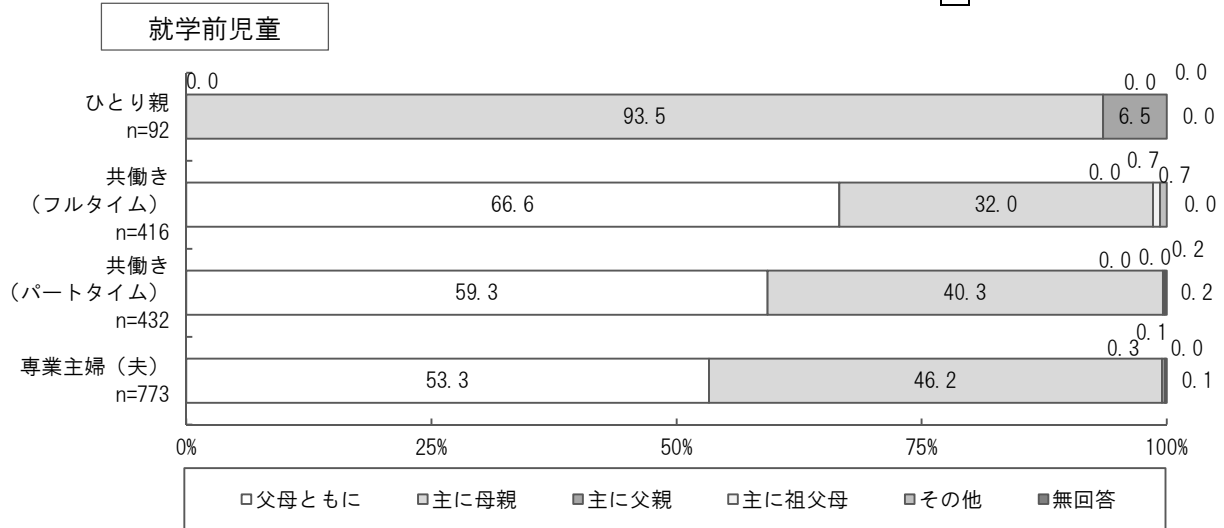
○子育てを主に行っている方の状況については、就学前児童・小学生いずれも「父母ともに」が最も高く就学前児童55.0%、小学生58.3%となっている。

問6[問7] 子育てを主に行っている方 **就** **小**

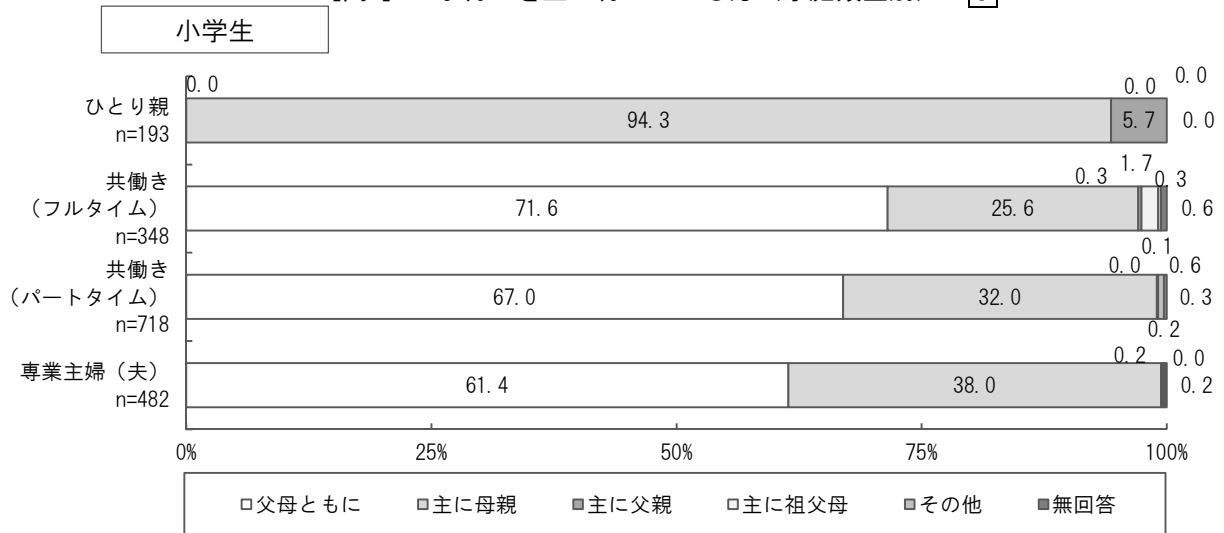


○家庭類型別にみると、共働き（フルタイム）では「父母ともに」が専業主婦（夫）よりも約10～13ポイント高くなっている。

問6 子育てを主にやっている方（家庭類型別） 就



[問7] 子育てを主にやっている方（家庭類型別） 小





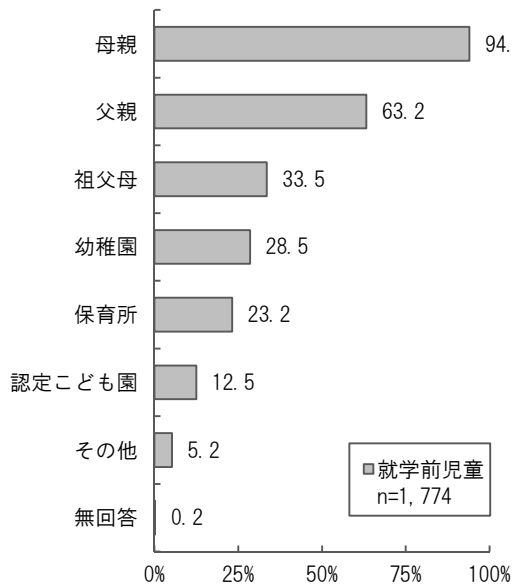
### 3 現在の子育ての環境について

#### (1) 日常的に子育てに関わっている方・子育てに影響を与える環境

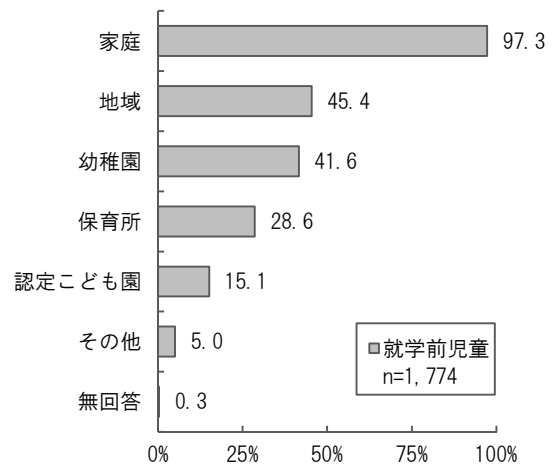
○日常的に子育てに関わっている方については、「母親」が94.0%と最も高くなっており、次いで「父親」が63.2%となっている。

○子育てに影響を与える環境については、「家庭」が97.3%と最も高くなっており、次いで「地域」が45.4%、「幼稚園」が41.6%となっている。

問7 日常的に子育てに関わっている方（施設含む）  
【複数選択可】 就



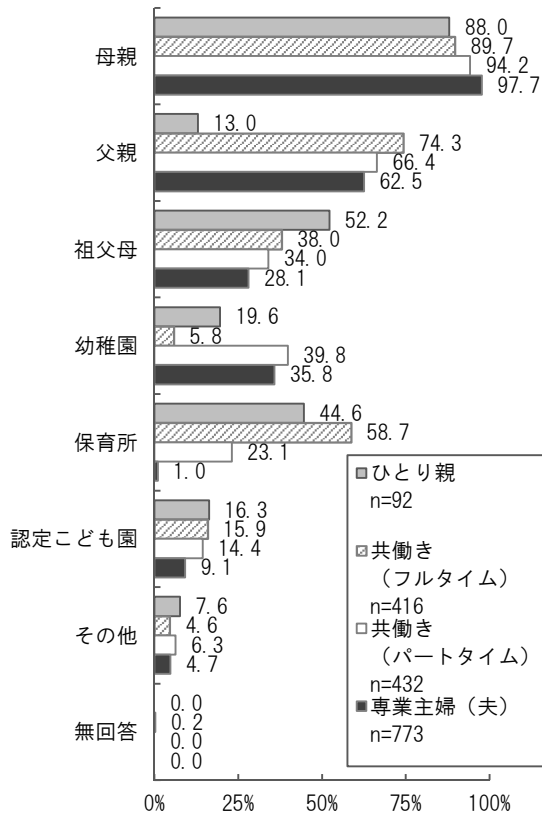
問8 子育てに影響を与えると思う環境  
【複数選択可】 就



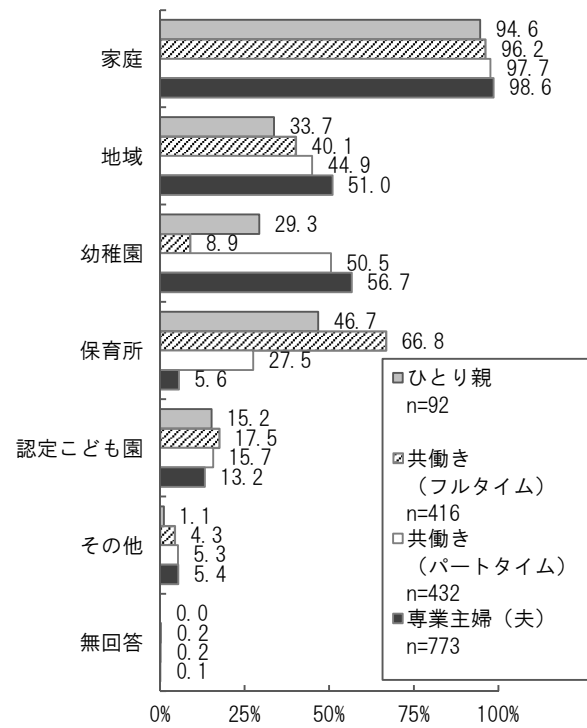
○日常的に子育てに関わっている方について家庭類型別にみると、共働き（フルタイム）では「父親」が専業主婦（夫）よりも約12ポイント高くなっている。

○子育てに影響を与えると思う環境について家庭類型別にみると、専業主婦（夫）では「地域」が他の家庭類型よりも約6～17ポイント高くなっている。

問7 日常的に子育てに関わっている方（施設含む）  
（家庭類型別）【複数選択可】 就



問8 子育てに影響を与えると思う環境  
（家庭類型別）【複数選択可】 就



問8 子育てに影響を与えると思う環境（行政センター別）【複数選択可】 就

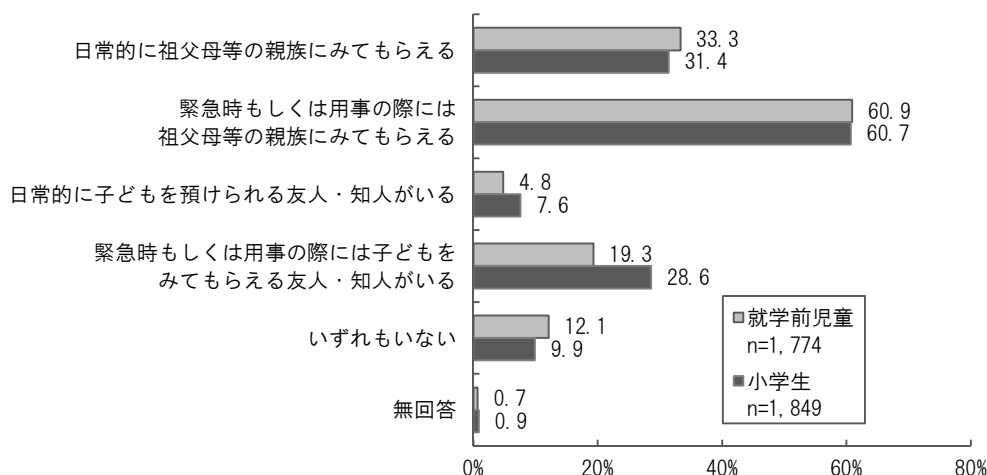
単位：%

		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
就学前児童	サンプル数 (人)	219	172	44	18	284	162	147	265	145	141	1,774
	家庭	98.2	99.4	97.7	100.0	98.6	97.5	95.2	96.2	97.2	97.2	97.3
	地域	38.8	46.5	54.5	50.0	50.7	38.9	51.7	43.8	50.3	48.2	45.4
	幼稚園	37.0	40.7	40.9	38.9	45.8	32.7	39.5	49.1	51.7	30.5	41.6
	保育園	25.1	34.3	36.4	44.4	26.1	27.2	23.8	32.1	31.0	26.2	28.6
	認定こども園	25.6	9.3	29.5	5.6	10.9	22.8	19.7	7.5	4.8	19.9	15.1
	その他	4.1	5.2	2.3	0.0	7.0	3.1	6.8	4.2	5.5	3.5	5.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.7	0.4	0.0	0.0	0.3

## (2) 子育てに関する相談者の状況

○親族・知人等協力者の状況については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童60.9%、小学生60.7%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童33.3%、小学生31.4%となっている。

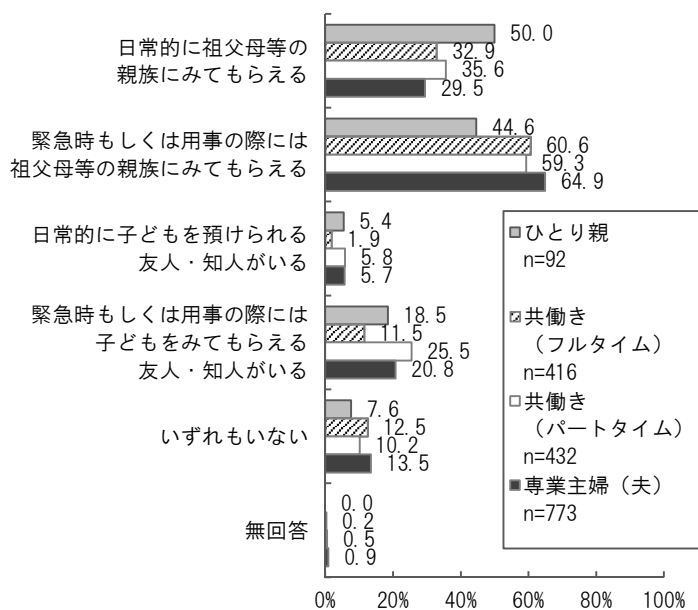
問9[問8] 親族・知人等協力者の状況【複数選択可】 就 小



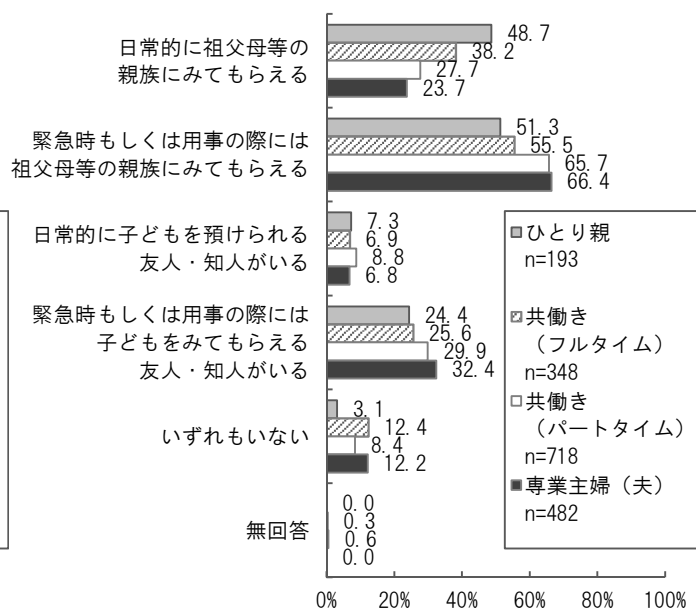
○家庭類型別にみると、ひとり親では「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が共働き（フルタイム）よりも約10~17ポイント高くなっている。

問9[問8] 親族・知人等協力者の状況（家庭類型別）【複数選択可】 就 小

【就学前児童】

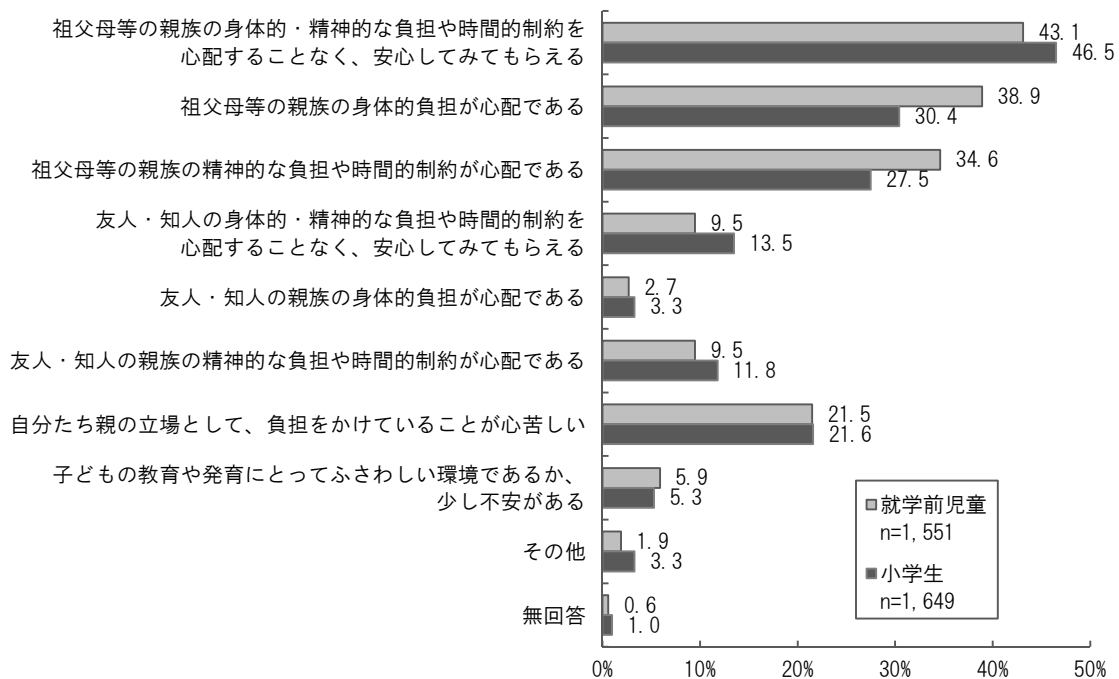


【小学生】



○親族・知人に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心してみてもらえる」が就学前児童43.1%、小学生46.5%と最も高いものの、一方で、約30%が祖父母の負担に対する心配や不安などを抱えながら協力してもらっている。

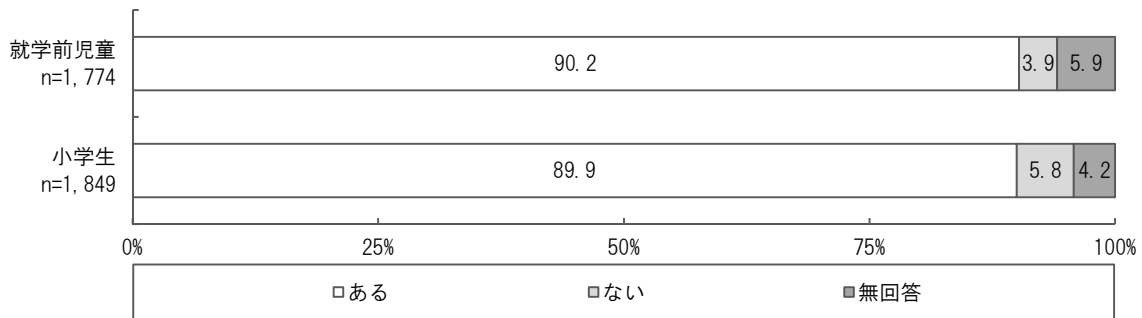
問9-1[問8-1] 親族・知人に子どもをみてもらうことへの考え【複数選択可】 就 小



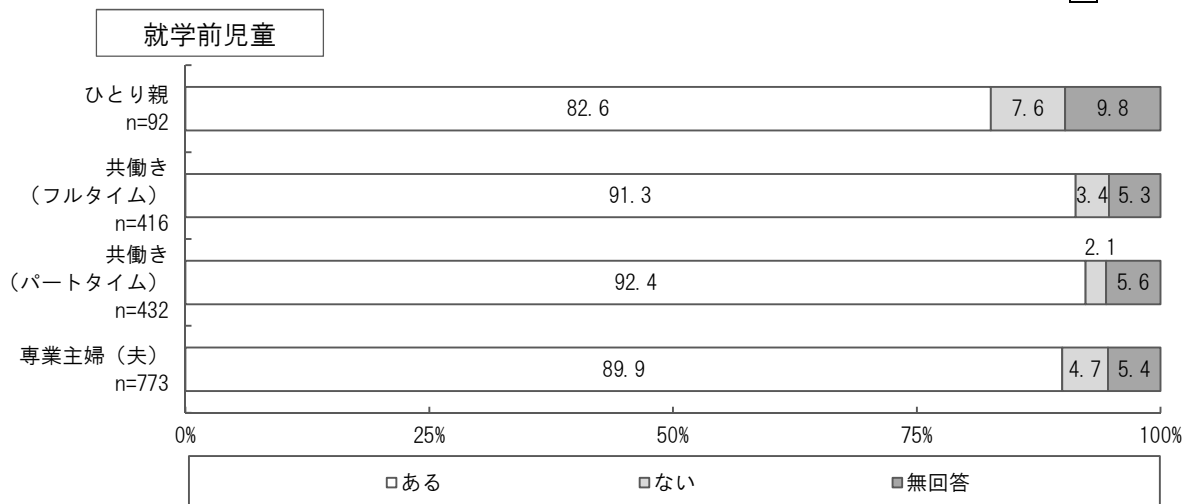
○気軽に相談できる人や場所の有無については、「ある」が就学前児童90.2%、小学生89.9%となっている。

○家庭類型別にみると、就学前児童のひとり親では「ある」が他の家庭類型よりも約7～10ポイント低くなっている。

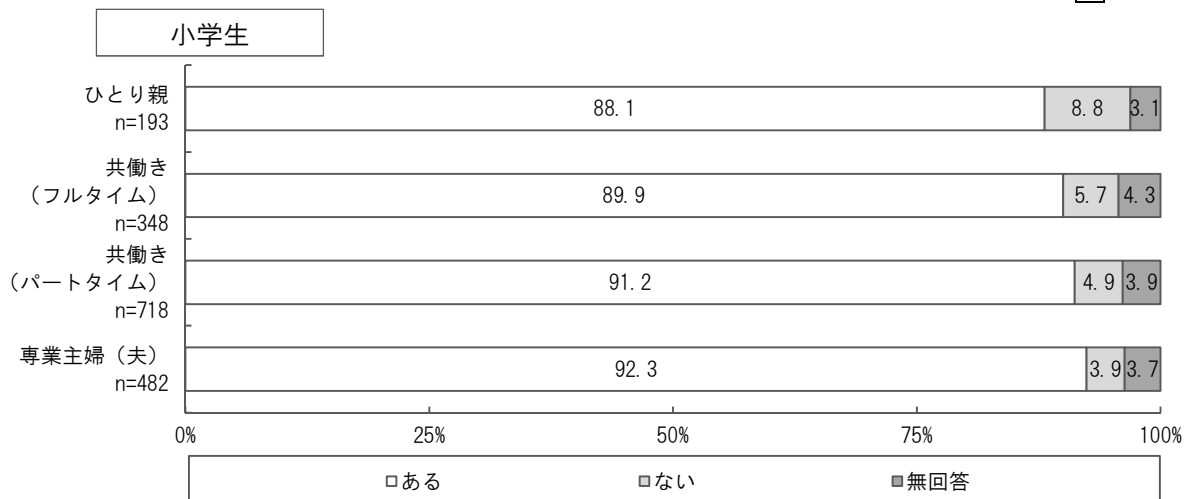
問10[問9] 子育てに関して気軽に相談できる人や場所の有無 就 小



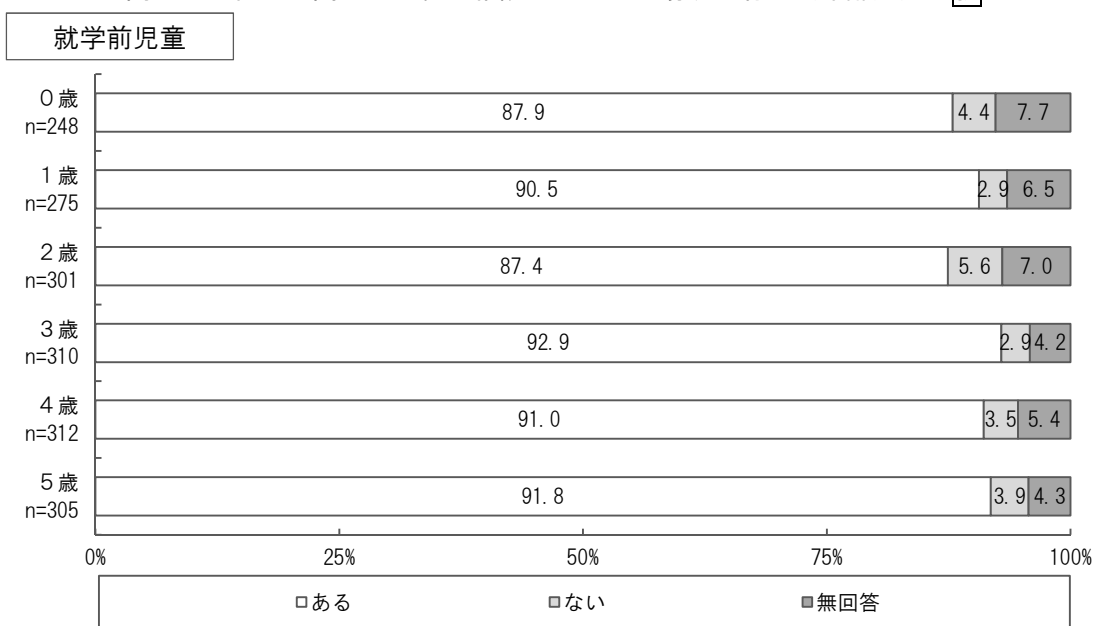
問10 子育てに関して気軽に相談できる人や場所の有無 (家庭類型別) 就



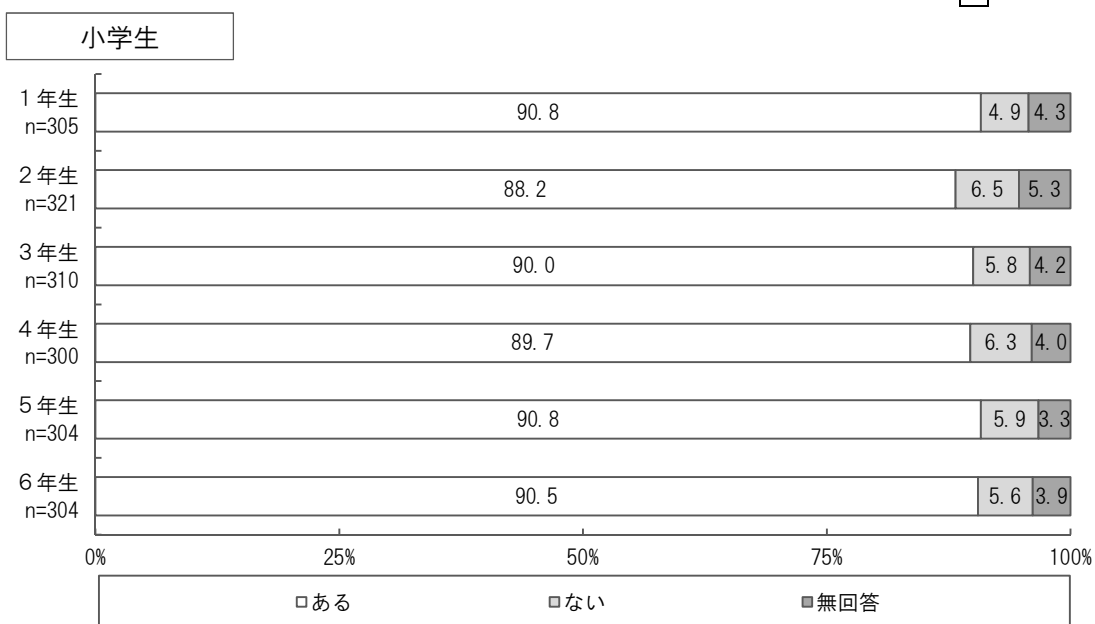
[問9] 子育てに関して気軽に相談できる人や場所の有無 (家庭類型別) 小



問10 子育てに関して気軽に相談できる人や場所の有無（年齢別） 就

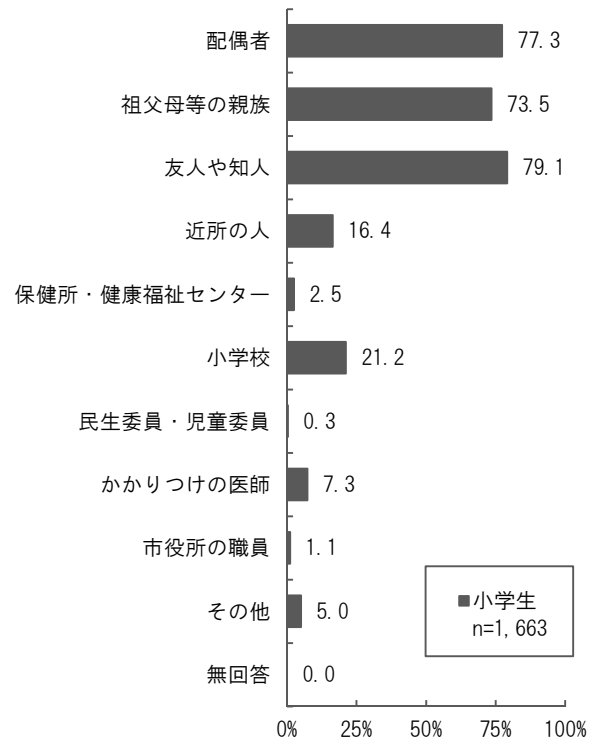
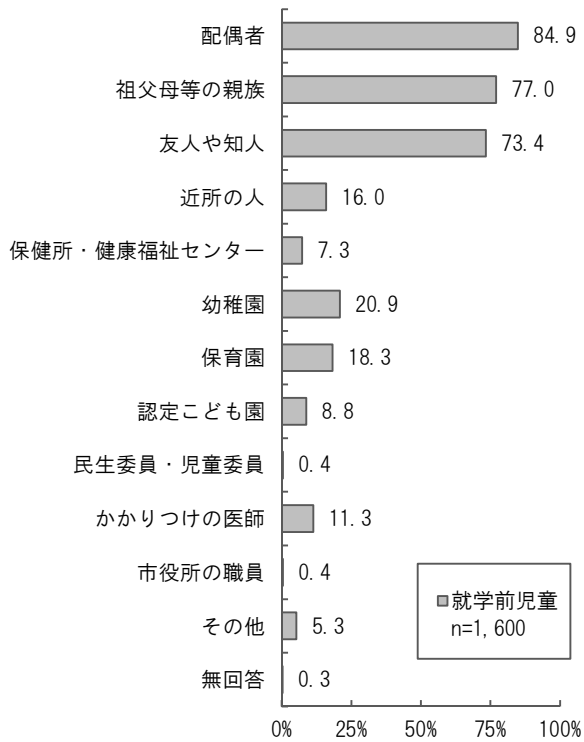


[問9] 子育てに関して気軽に相談できる人や場所の有無（学年別） 小



○気軽に相談できる人や場所については、就学前児童では「配偶者」が84.9%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」が77.0%となっている。小学生では「友人や知人」が79.1%と最も高く、次いで「配偶者」が77.3%となっている。

問10-1[問9-1] 気軽に相談できる人や場所【複数選択可】 就 小

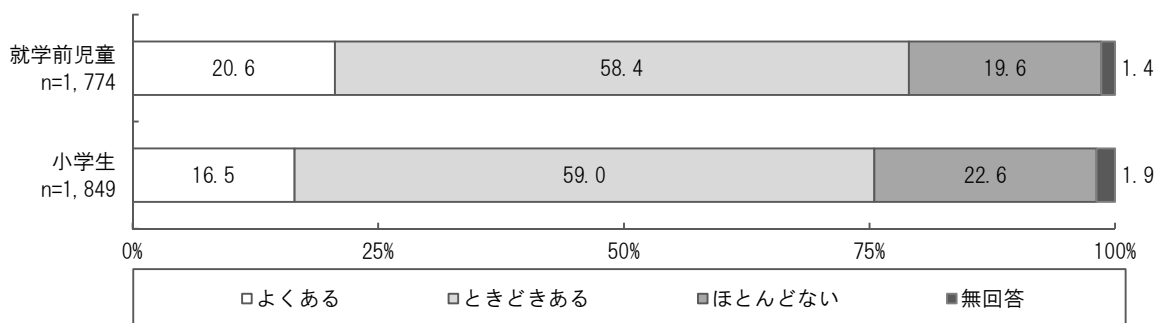


### (3) 子育ての不安やストレスの状況

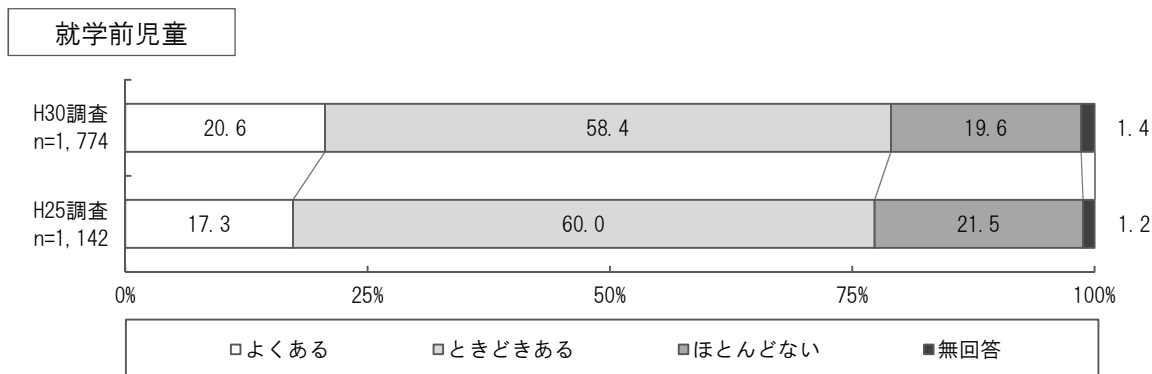
○子育ての不安やストレスについては、「よくある」と「ときどきある」の合計が就学前児童79.0%、小学生75.5%となっている。

○前回調査と比較すると、「よくある」と「ときどきある」の合計が、就学前児童では1.7ポイント、小学生では2.4ポイント高くなっている。

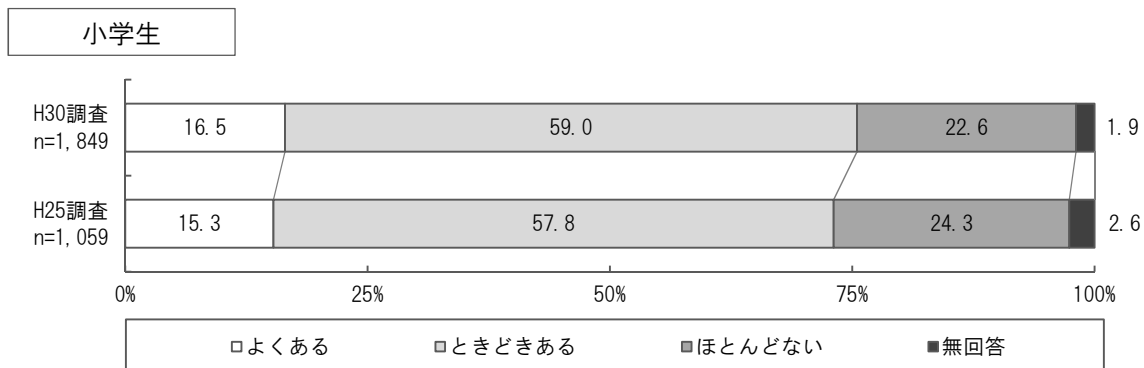
問13[問12] 子育ての不安やストレスの有無 就 小



問13 子育ての不安やストレスの有無（前回比較） 就



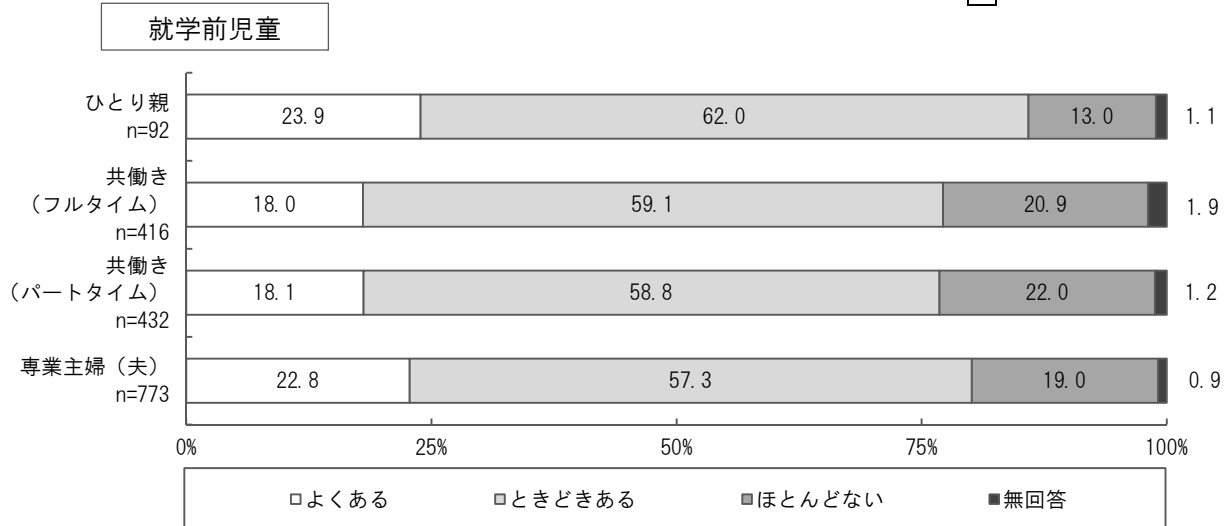
[問12] 子育ての不安やストレスの有無（前回比較） 小



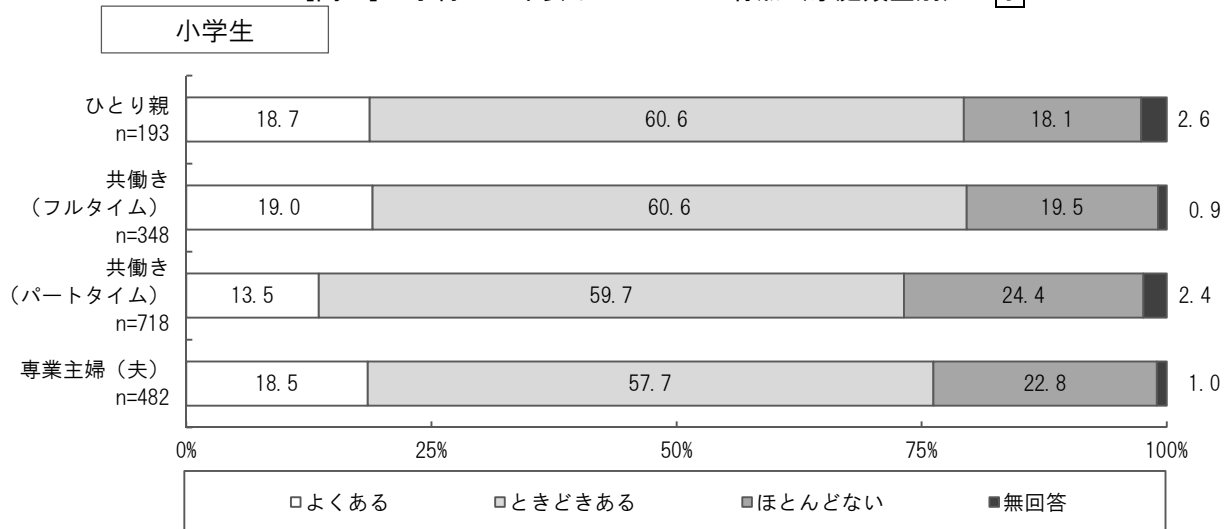


○家庭類型別にみると、就学前児童のひとり親や専業主婦（夫）では「よくある」が他の家庭類型よりも約5～6ポイント高くなっている。

問13 子育ての不安やストレスの有無（家庭類型別） 就

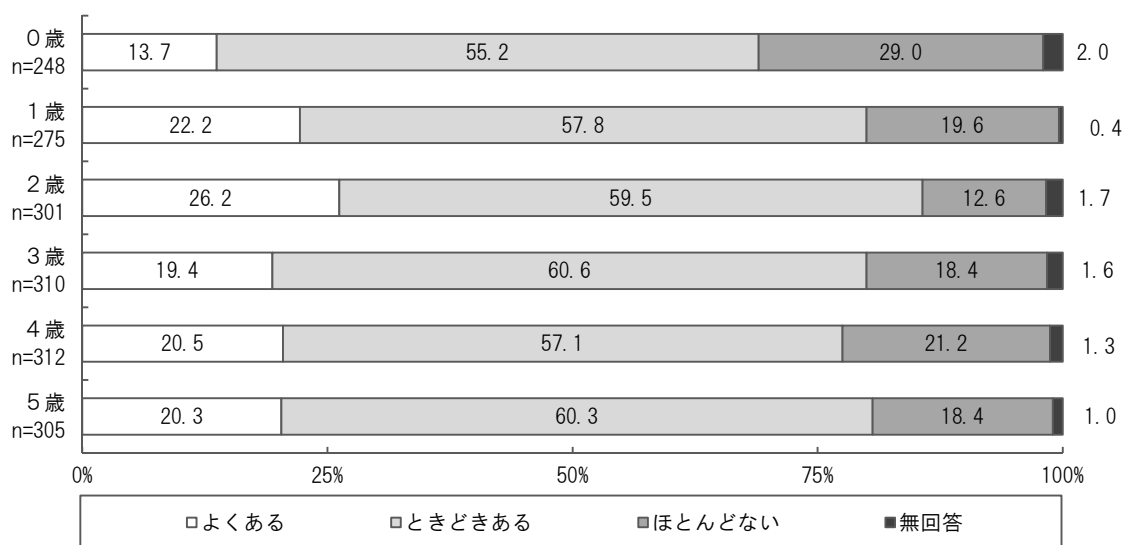


[問12] 子育ての不安やストレスの有無（家庭類型別） 小



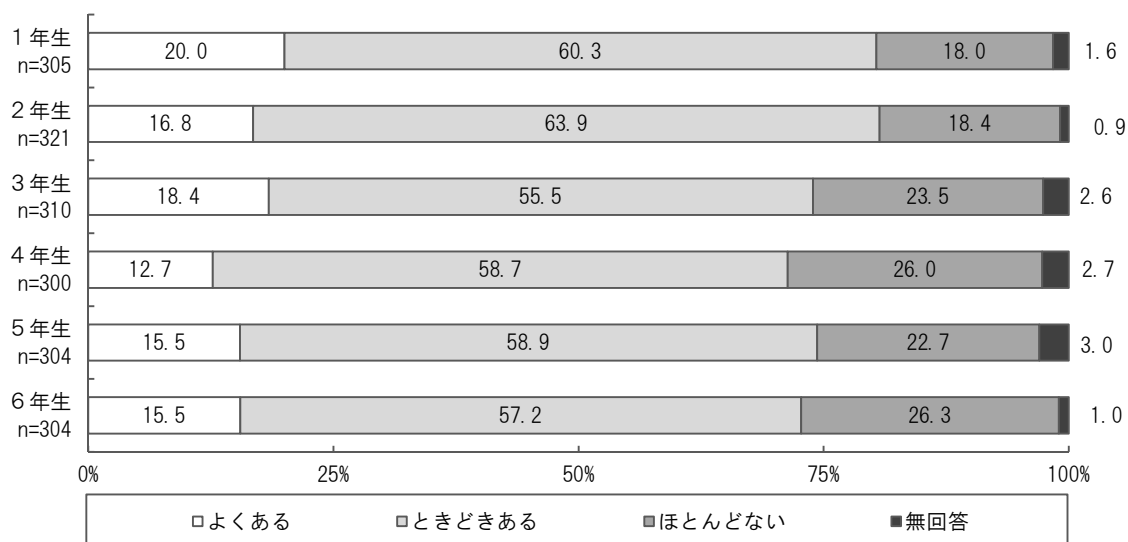
問13 子育ての不安やストレスの有無（年齢別） 就

就学前児童



[問12] 子育ての不安やストレスの有無（学年別） 小

小学生



問13[問12] 子育ての不安やストレスの有無（行政センター別） 就 小

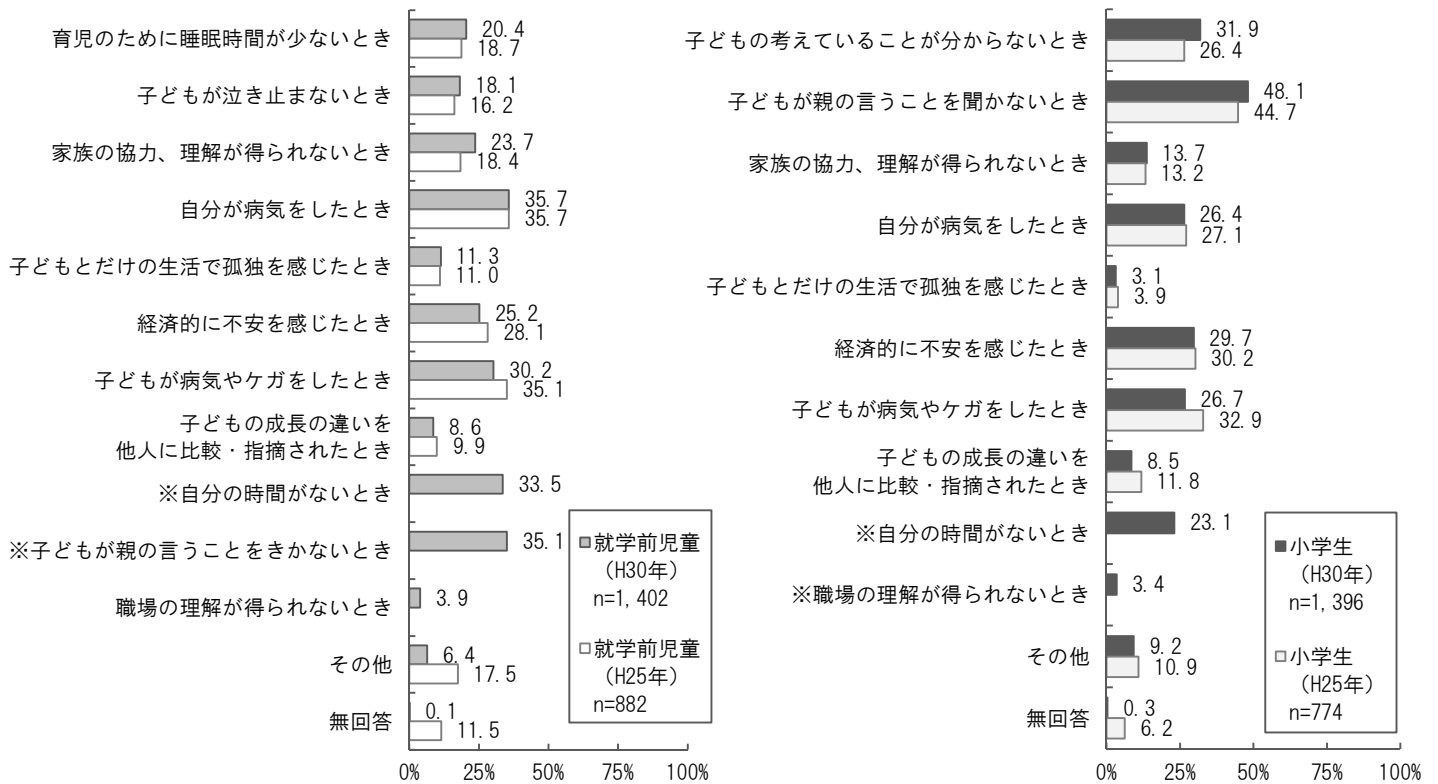
単位：％

		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
就学前児童	サンプル数 (人)	219	172	44	18	284	162	147	265	145	141	1,774
	よくある	21.9	18.6	29.5	33.3	22.9	22.8	17.0	22.3	20.0	14.9	20.6
	ときどき ある	59.4	58.1	54.5	55.6	57.4	62.3	61.2	57.4	55.9	60.3	58.4
	ほとんど ない	15.1	21.5	15.9	11.1	19.7	14.8	19.0	19.6	24.1	22.0	19.6
	無回答	3.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.8	0.0	2.8	1.4
小学生	サンプル数 (人)	226	166	77	22	250	169	186	233	137	150	1,849
	よくある	18.6	12.7	22.1	4.5	15.6	15.4	12.9	19.7	13.1	16.7	16.5
	ときどき ある	54.9	72.3	57.1	81.8	58.0	60.9	61.3	54.9	65.7	55.3	59.0
	ほとんど ない	25.7	14.5	20.8	13.6	24.0	23.7	22.6	21.5	20.4	24.7	22.6
	無回答	0.9	0.6	0.0	0.0	2.4	0.0	3.2	3.9	0.7	3.3	1.9

○子育ての不安やストレスの原因については、就学前児童では「自分が病気をしたとき」が35.7%と最も高く、次いで「子どもが親の言うことをきかないとき」が35.1%となっている。小学生では「子どもが親の言うことをきかないとき」が48.1%と最も高く、次いで「子どもの考えていることが分からないとき」が31.9%となっている。

○前回調査と比較すると、就学前児童では「家族の協力、理解が得られないとき」が5.3ポイント高くなっており、小学生では「子どもの考えていることが分からないとき」が5.5ポイント高くなっている。

問14[問13] 子育ての不安やストレスの原因【3つまで選択可】 **就** **小**



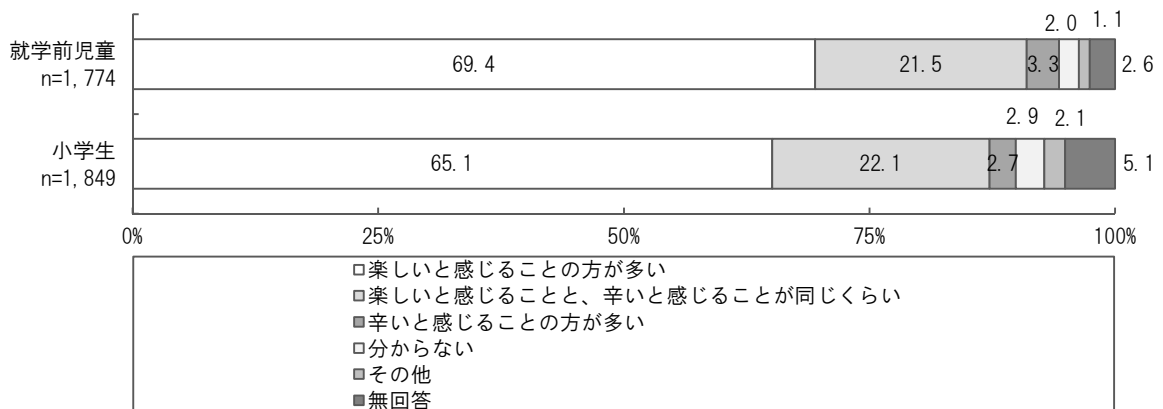
※「自分の時間がないとき」「子どもが親の言うことをきかないとき」については前回はなし

#### (4) 子育てを楽しんでいるか

○子育てを楽しんでいるかについては、いずれも「楽しいと感じることの方が多い」が最も高く、就学前児童69.4%、小学生65.1%となっており、次いで「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい」が就学前児童21.5%、小学生22.1%となっている。

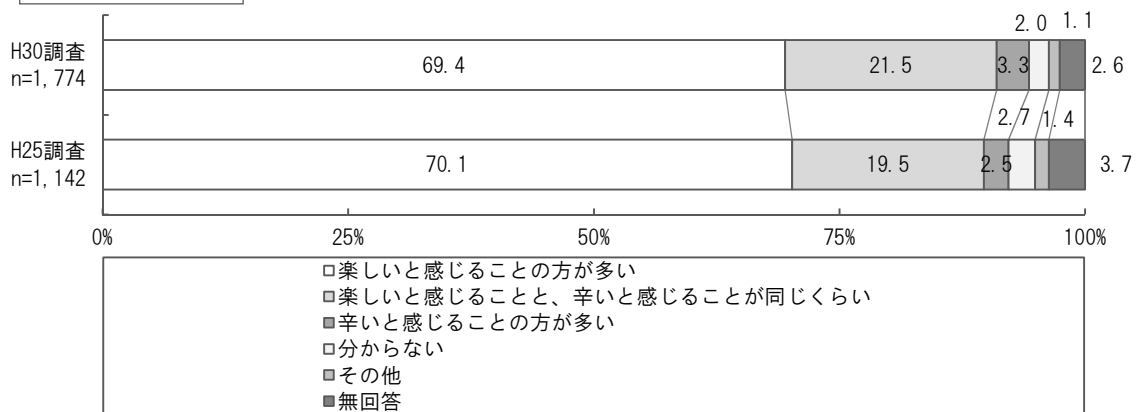
○前回調査と比較すると、就学前児童ではあまり差はみられないが、小学生では「楽しいと感じることの方が多い」が3.5ポイント高くなっている。

問15[問14] 子育てを楽しんでいるか 就 小

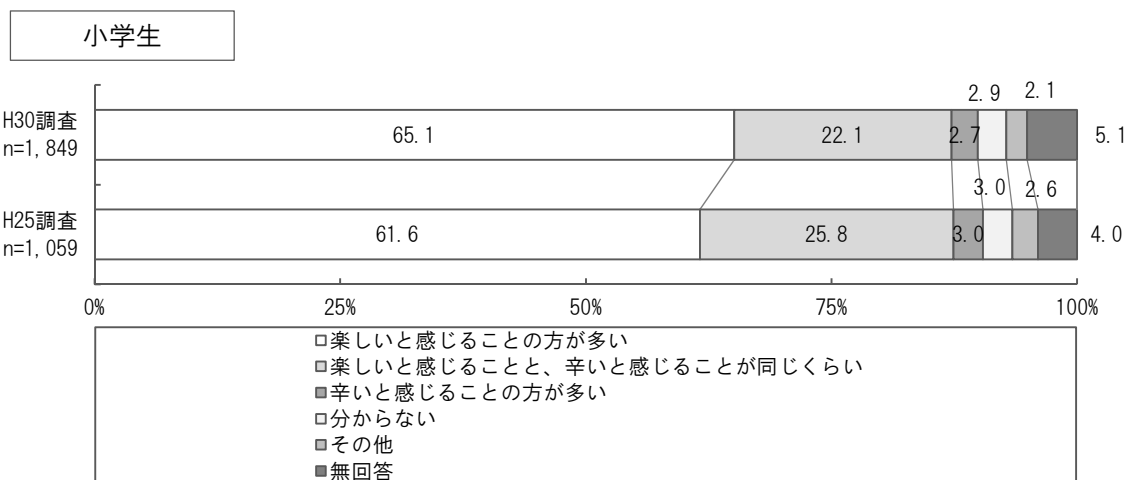


問15 子育てを楽しんでいるか（前回比較） 就

就学前児童

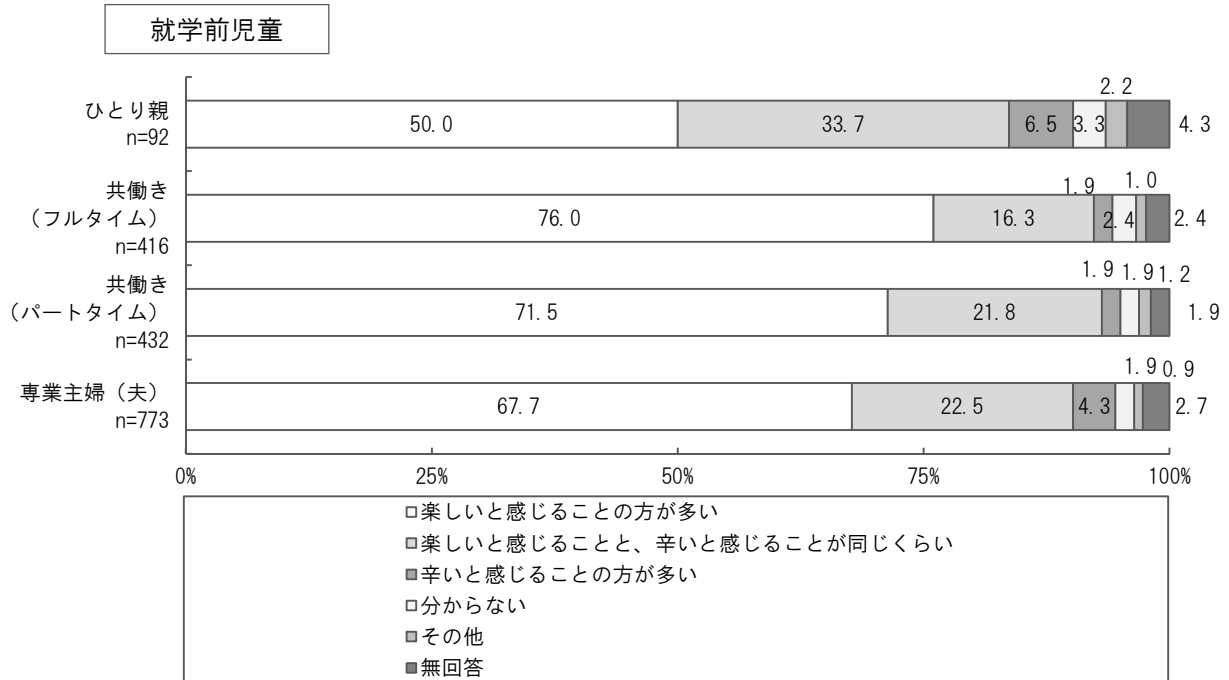


[問14] 子育てを楽しんでいるか（前回比較） 小

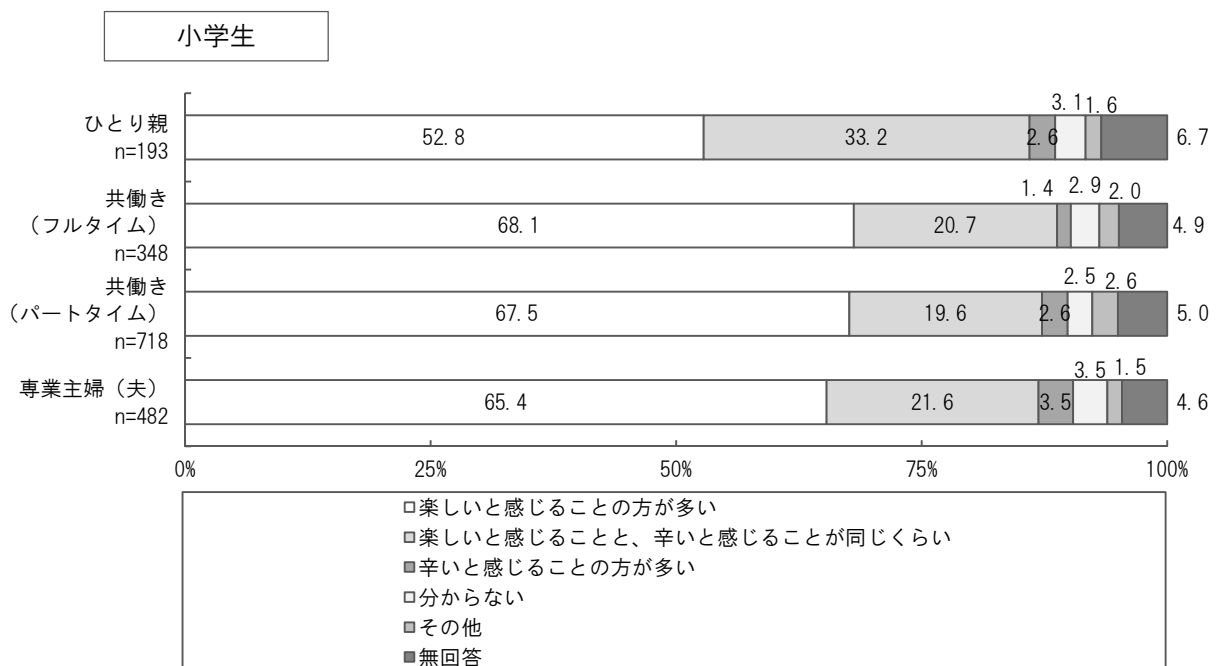


○家庭類型別にみると、ひとり親では「楽しいと感じることの方が多い」が他の家庭類型よりも約13~26ポイント低くなっている。

問15 子育てを楽しいと感じるか（家庭類型別） 就



[問14] 子育てを楽しいと感じるか（家庭類型別） 小



問15 子育てを楽しんでいるか（年齢別） 就

単位：%

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	全体
就学前児童	サンプル数(人)	248	275	301	310	312	305	1,774
	楽しいと感じることの方が多い	75.8	72.4	66.1	69.7	65.4	68.5	69.4
	楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい	17.3	22.5	22.3	21.3	23.4	21.6	21.5
	辛いと感じることの方が多い	2.4	2.5	6.3	1.9	2.9	3.9	3.3
	分からない	1.2	0.7	1.7	2.9	3.2	2.3	2.0
	その他	0.4	0.4	1.3	1.6	1.6	1.0	1.1
	無回答	2.8	1.5	2.3	2.6	3.5	2.6	2.6

〔問14〕 子育てを楽しんでいるか（学年別） 小

単位：%

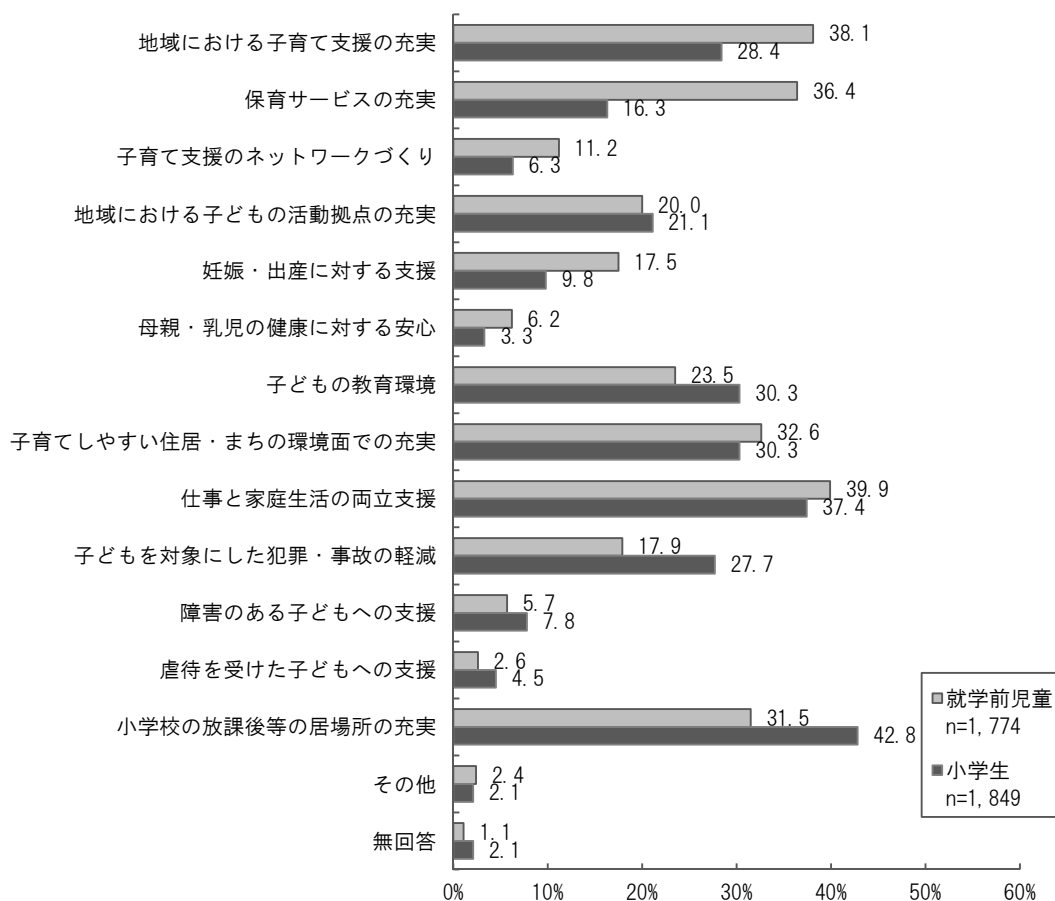
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体
小学生	サンプル数(人)	305	321	310	300	304	304	1,849
	楽しいと感じることの方が多い	67.2	61.1	65.5	65.7	64.1	67.1	65.1
	楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい	19.7	24.9	21.0	22.7	22.4	21.7	22.1
	辛いと感じることの方が多い	3.3	2.5	3.5	2.0	2.6	2.3	2.7
	分からない	1.3	3.1	2.6	2.3	4.9	3.3	2.9
	その他	2.6	1.9	2.3	1.7	1.3	2.6	2.1
	無回答	5.9	6.5	5.2	5.7	4.6	3.0	5.1



## (5) 子育てにとってどのような支援が有効か

○子育てにとってどのような支援が有効かについては、就学前児童では「仕事と家庭生活の両立支援」が39.9%と最も高く、次いで「地域における子育て支援の充実」が38.1%となっている。小学生では「小学校の放課後等の居場所の充実」が42.8%と最も高く、次いで「仕事と家庭生活の両立支援」が37.4%となっている。

問16[問15] 子育てにとってどのような支援が有効か【3つまで選択可】 就 小

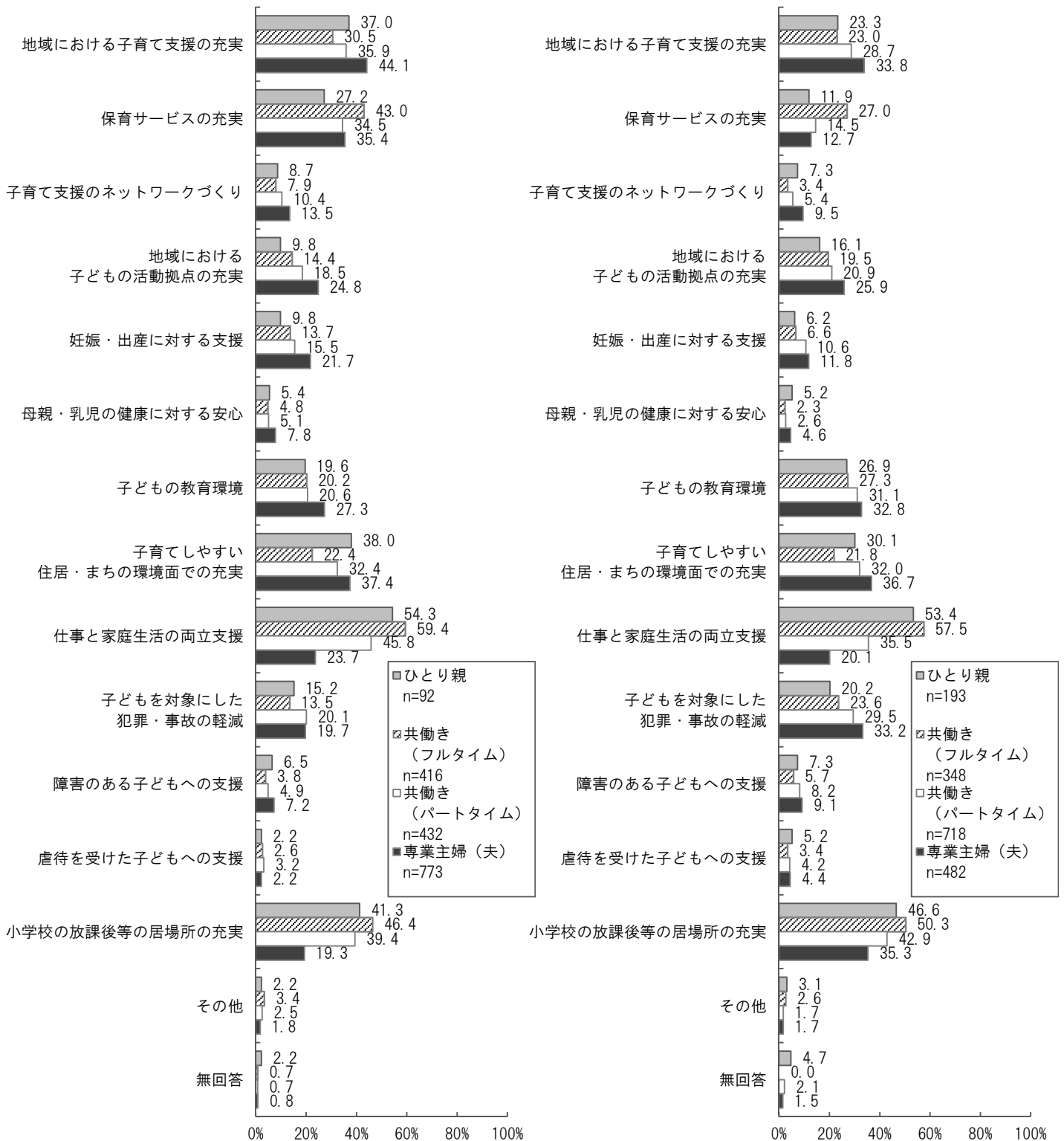


○家庭類型別にみると、専業主婦（夫）では「地域における子どもの活動拠点の充実」が他の家庭類型よりも約5～15ポイント高くなっている。

問16[問15] 子育てにとってどのような支援が有効か（家庭類型別）【3つまで選択可】 就 小

【就学前児童】

【小学生】



0歳別に見ると、「地域における子どもの活動拠点の充実」や「保育サービスの充実」など、低年齢ほど支援を必要としている一方、「仕事と家庭生活の両立」では、3～5歳で高くなっている。

問16 子育てにとってどのような支援が有効か（年齢別）【3つまで選択可】 就

単位：%

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	全体
サンプル数(人)	248	275	301	310	312	305	1,774
地域における子育て支援の充実	45.6	44.0	38.5	38.4	35.9	29.5	38.1
保育サービスの充実	48.0	39.3	42.2	36.1	28.5	27.5	36.4
子育て支援のネットワークづくり	12.9	14.2	9.3	12.3	11.2	8.2	11.2
地域における子どもの活動拠点の充実	19.8	24.4	20.3	19.4	17.6	20.0	20.0
妊娠・出産に対する支援	23.0	21.1	21.9	18.4	11.5	11.1	17.5
母親・乳児の健康に対する安心	7.3	9.1	6.6	6.1	5.1	3.3	6.2
子どもの教育環境	17.7	18.5	22.9	25.8	27.9	26.9	23.5
子育てしやすい住居・まちの環境面の充実	28.2	32.7	33.9	33.5	37.2	28.5	32.6
仕事と家庭生活の両立	40.3	32.4	37.5	41.0	41.7	45.9	39.9
子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	16.1	15.3	16.9	17.7	21.2	18.7	17.9
障がいのある子どもへの支援	3.2	1.8	7.3	7.1	4.8	9.5	5.7
虐待を受けた子どもへの支援	3.2	2.2	0.7	2.6	2.2	4.9	2.6
小学校の放課後等の居場所の充実	19.8	24.4	26.9	28.1	40.1	46.6	31.5
その他	1.6	2.5	2.3	1.6	2.2	3.9	2.4
無効・無回答	1.2	1.8	0.7	1.0	0.6	0.7	1.1

就学前児童

○学年別にみると、「地域における子どもの活動拠点の充実」「保育サービスの充実」「小学校の放課後等の居場所の充実」など、低学年ほど支援を必要としている。

〔問15〕 子育てにとってどのような支援が有効か（学年別）【3つまで選択可】 小

単位：%

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体
小学生		305	321	310	300	304	304	1,849
	地域における子育て支援の充実	32.8	27.4	29.0	27.3	25.3	28.3	28.4
	保育サービスの充実	23.3	20.9	17.4	10.7	12.2	12.8	16.3
	子育て支援のネットワークづくり	6.9	4.7	5.8	6.3	5.9	7.6	6.3
	地域における子どもの活動拠点の充実	20.7	20.2	20.6	22.0	21.7	21.7	21.1
	妊娠・出産に対する支援	9.8	9.7	10.0	8.3	10.2	10.5	9.8
	母親・乳児の健康に対する安心	3.3	5.3	2.6	1.7	3.3	3.6	3.3
	子どもの教育環境	21.6	24.9	30.3	34.3	37.2	33.9	30.3
	子育てしやすい住居・まちの環境面の充実	31.8	25.2	32.9	32.7	29.9	29.6	30.3
	仕事と家庭生活の両立	38.7	41.7	34.8	33.3	35.5	39.8	37.4
	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	23.9	29.9	25.2	26.7	30.9	29.6	27.7
	障がいのある子どもへの支援	7.5	6.9	7.7	7.3	9.9	7.9	7.8
	虐待を受けた子どもへの支援	3.9	3.4	5.5	5.7	3.0	5.6	4.5
	小学校の放課後等の居場所の充実	47.5	49.8	45.5	42.3	37.5	33.6	42.8
	その他	1.3	1.6	1.9	2.7	3.0	2.3	2.1
	無効・無回答	2.3	0.6	2.9	2.3	3.3	1.3	2.1

問16 子育てにとってどのような支援が有効か（行政センター別）【3つまで選択可】 就

単位：%

		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
就学前児童	サンプル数(人)	219	172	44	18	284	162	147	265	145	141	1,774
	地域における子育て支援の充実	34.2	43.0	27.3	33.3	40.1	34.0	38.8	40.0	42.8	36.9	38.1
	保育サービスの充実	43.8	35.5	31.8	33.3	33.8	29.0	35.4	38.1	40.0	32.6	36.4
	子育て支援のネットワークづくり	5.9	10.5	4.5	22.2	10.2	14.2	15.0	12.8	9.0	13.5	11.2
	地域における子どもの活動拠点の充実	18.3	20.3	13.6	22.2	20.8	23.5	19.7	15.5	25.5	23.4	20.0
	妊娠・出産に対する支援	13.2	8.1	18.2	11.1	20.4	21.6	17.0	18.5	13.8	22.0	17.5
	母親・乳児の健康に対する安心	4.6	5.2	11.4	5.6	6.0	8.0	6.1	6.8	6.2	5.7	6.2
	子どもの教育環境	26.0	21.5	34.1	16.7	21.8	29.0	22.4	23.4	20.0	21.3	23.5
	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	32.4	38.4	36.4	27.8	33.1	34.6	33.3	27.9	36.6	34.0	32.6
	仕事と家庭生活の両立	39.7	34.3	47.7	50.0	40.1	37.7	38.8	41.1	43.4	38.3	39.9
	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	16.9	13.4	18.2	5.6	21.5	21.0	23.8	16.2	15.2	18.4	17.9
	障がいのある子どもへの支援	6.8	6.4	4.5	11.1	6.7	5.6	7.5	4.5	2.8	6.4	5.7
	虐待を受けた子どもへの支援	1.8	3.5	2.3	11.1	1.4	4.3	2.7	1.5	1.4	4.3	2.6
	小学校の放課後等の居場所の充実	35.6	36.6	29.5	50.0	30.6	27.2	27.2	35.1	32.4	27.0	31.5
	その他	4.1	2.3	0.0	0.0	3.5	1.9	2.0	2.3	1.4	2.8	2.4
無効・無回答	0.9	1.2	0.0	0.0	0.7	0.6	1.4	1.9	0.7	0.0	1.1	

[問15] 子育てにとってどのような支援が有効か（行政センター別）【3つまで選択可】 小

単位：%

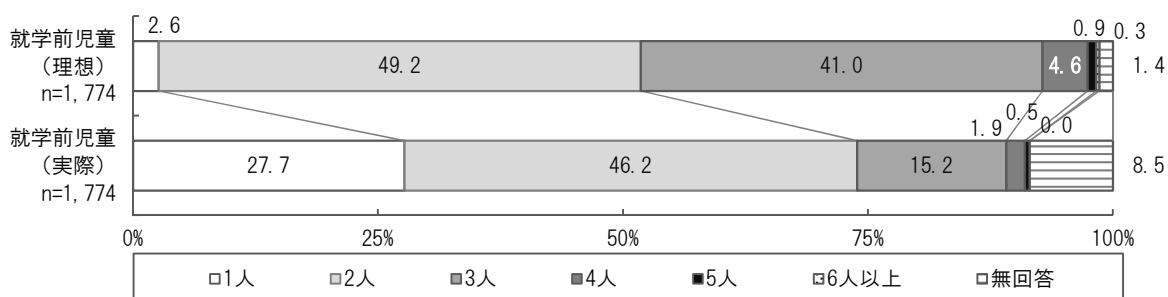
		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
小学生	サンプル数(人)	226	166	77	22	250	169	186	233	137	150	1,849
	地域における子育て支援の充実	28.3	26.5	27.3	31.8	26.8	29.0	27.4	30.5	27.0	28.7	28.4
	保育サービスの充実	15.5	23.5	22.1	13.6	14.8	12.4	10.8	18.5	18.2	16.0	16.3
	子育て支援のネットワークづくり	6.6	4.8	10.4	4.5	6.8	3.0	7.5	7.3	5.8	8.0	6.3
	地域における子どもの活動拠点の充実	22.1	18.7	16.9	22.7	24.8	18.9	25.8	19.3	21.9	22.0	21.1
	妊娠・出産に対する支援	8.4	8.4	9.1	4.5	11.6	8.3	7.5	10.7	8.8	14.7	9.8
	母親・乳児の健康に対する安心	4.4	4.8	3.9	4.5	1.6	2.4	3.8	3.0	1.5	6.0	3.3
	子どもの教育環境	30.5	27.1	31.2	27.3	25.2	36.1	29.0	29.6	32.1	34.0	30.3
	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	33.6	34.3	28.6	50.0	29.6	31.4	31.2	30.5	29.2	30.0	30.3
	仕事と家庭生活の両立	34.1	39.2	35.1	36.4	34.0	41.4	39.8	39.5	36.5	32.0	37.4
	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	25.2	21.7	24.7	18.2	34.0	29.0	23.7	30.5	27.7	28.0	27.7
	障がいのある子どもへの支援	7.5	9.0	9.1	0.0	6.0	11.2	10.8	7.7	3.6	6.7	7.8
	虐待を受けた子どもへの支援	4.4	5.4	5.2	9.1	4.8	4.7	3.8	4.7	0.7	6.0	4.5
	小学校の放課後等の居場所の充実	43.8	48.2	44.2	40.9	43.2	40.8	38.2	42.5	51.1	36.0	42.8
	その他	1.8	2.4	5.2	0.0	2.4	3.0	2.7	0.4	2.2	2.7	2.1
無効・無回答	2.7	1.2	0.0	4.5	2.4	0.6	3.8	1.7	2.9	1.3	2.1	

## (6) 理想的な子どもの人数・実際の人数が少ない理由

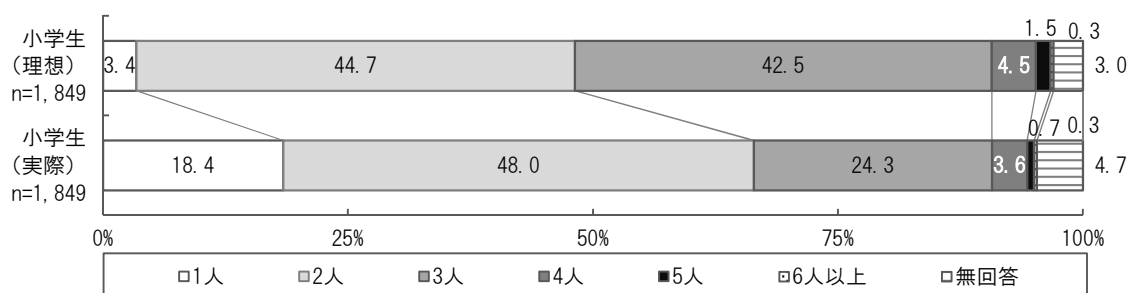
○理想的な子どもの人数については、「2人」が最も高く、就学前児童49.2%、小学生44.7%となっており、次いで「3人」が就学前児童41.0%、小学生42.5%となっている。

○理想的な子どもの人数と実際を比較すると、「3人」が就学前児童の理想では41.0%だが、実際は15.2%にとどまっており、小学生でも理想では42.5%だが、実際は24.3%にとどまっている。

問17・問3 理想的な子どもの人数と実際の子どもの人数（就学前児童） 就

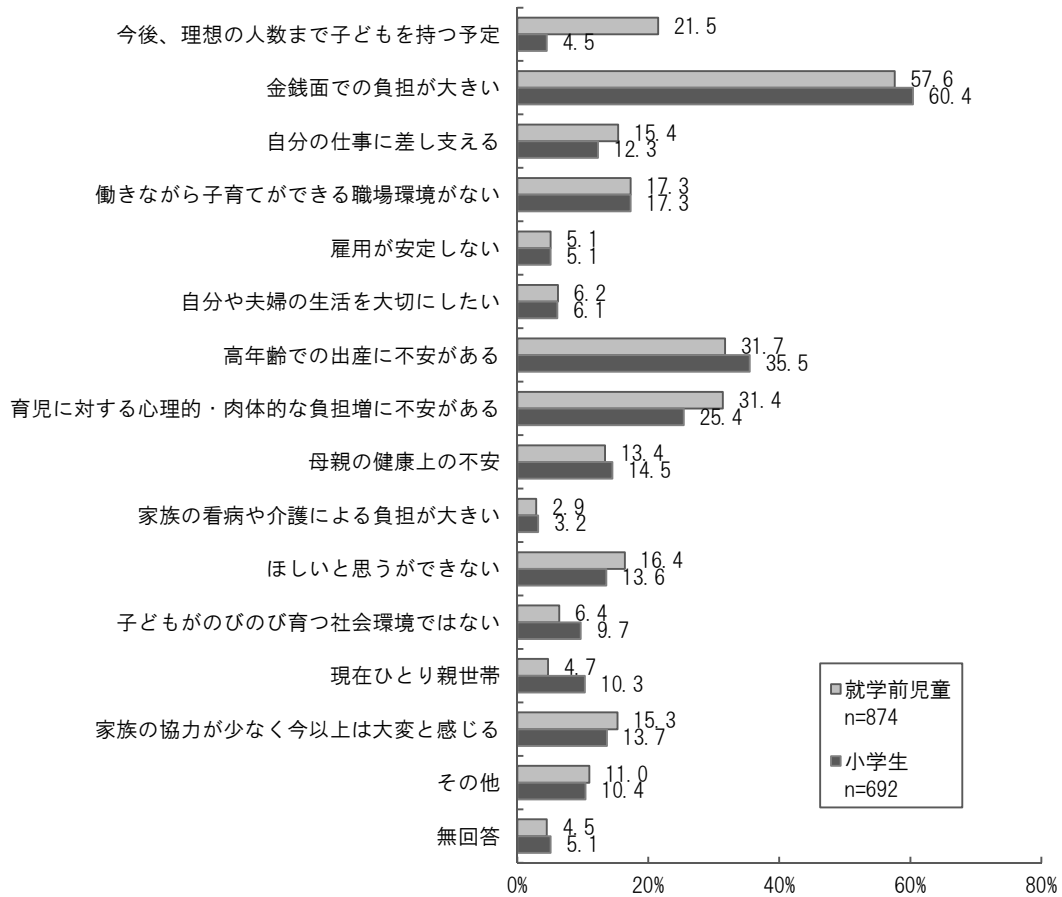


[問16・問4] 理想的な子どもの人数と実際の子どもの人数（小学生） 小



○現在の人数が少ない理由については、「金銭面での負担が大きい」が最も高く、就学前児童57.6%、小学生60.4%となっており、次いで「高年齢での出産に不安がある」が就学前児童31.7%、小学生35.5%となっている。

問17-1 [問16-1] 現在の人数が少ない理由【複数選択可】 就 小



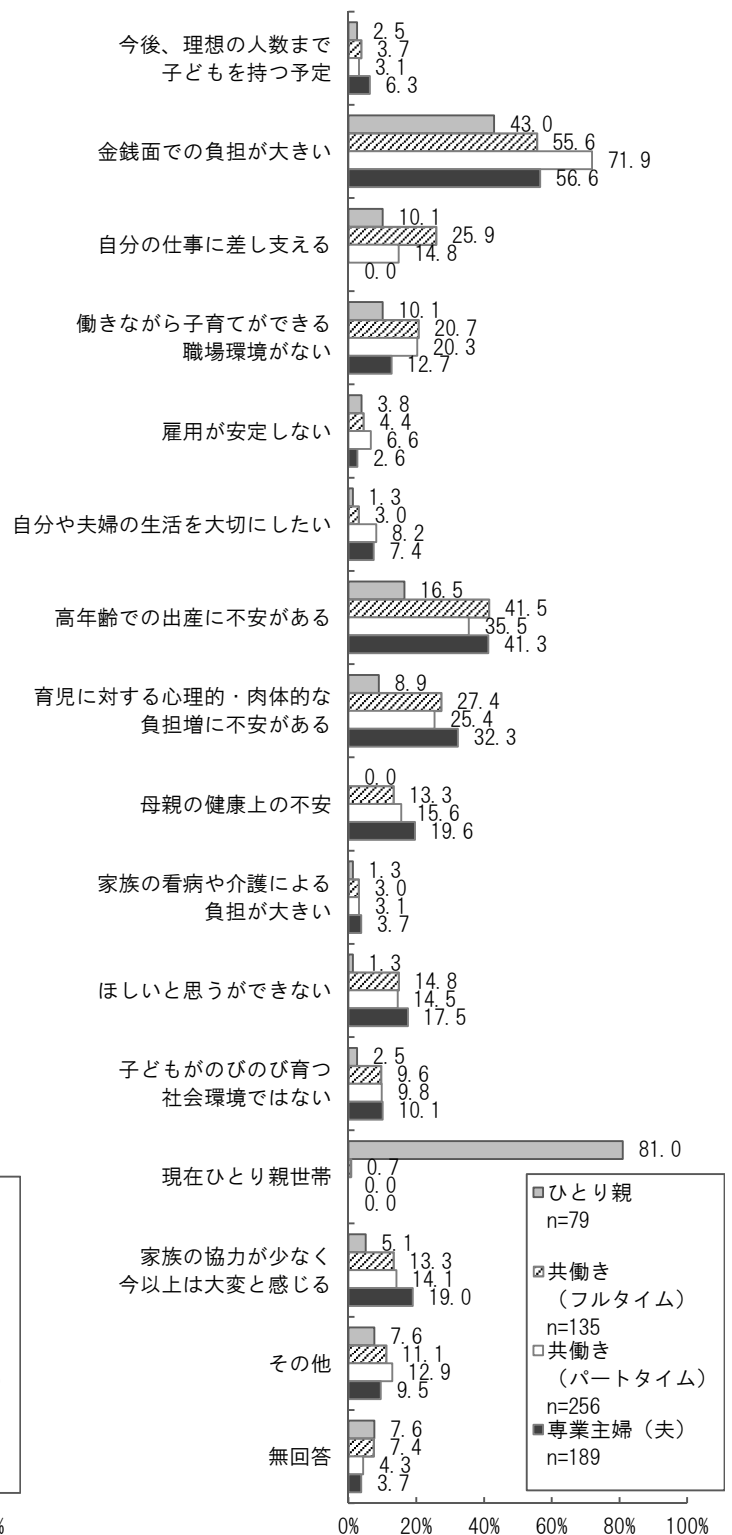
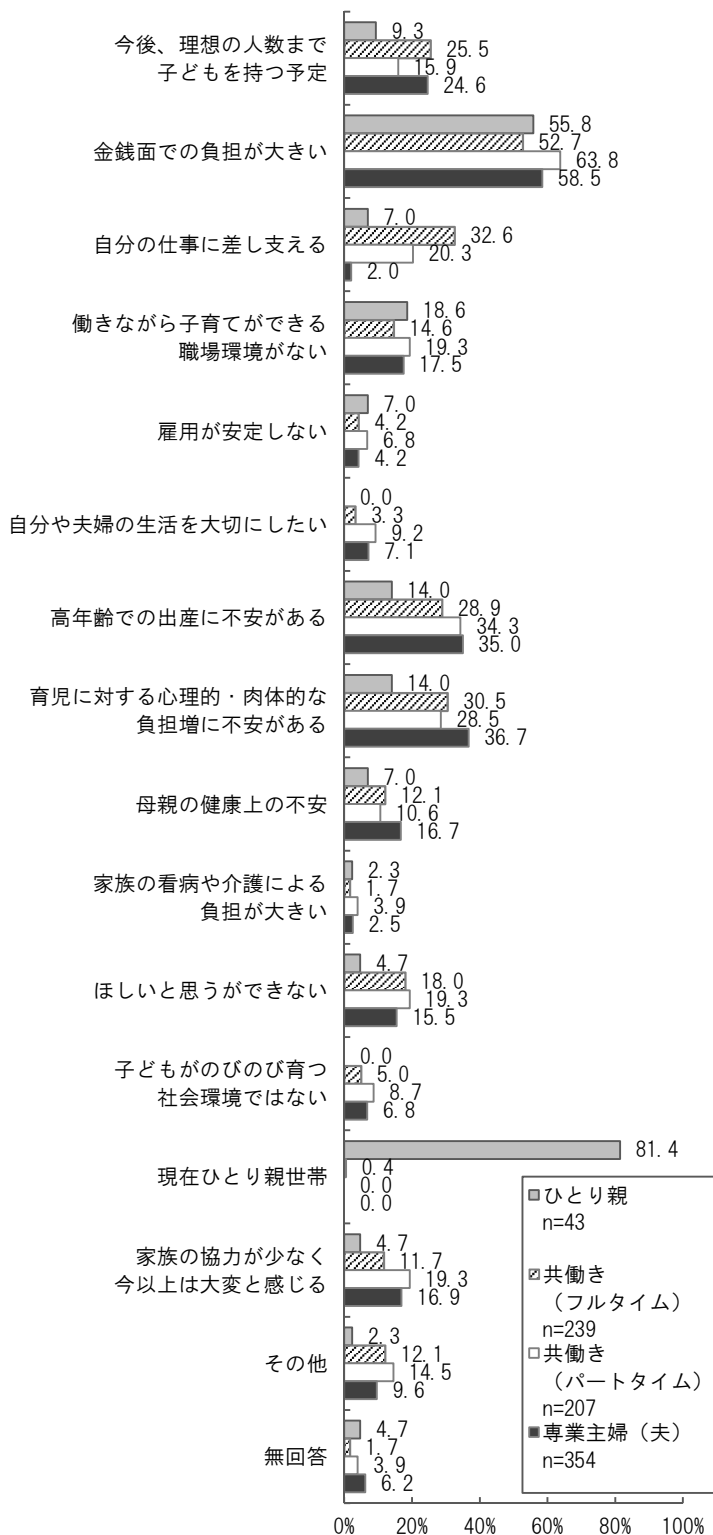


○家庭類型別にみると、共働き（パートタイム）では「金銭面での負担が大きい」が他の家庭類型よりも約5～29ポイント高く、また、共働き（フルタイム）では「自分の仕事に差し支える」が他の家庭類型よりも約11～30ポイント高くなっている。

問17-1[問16-1] 現在の人数が少ない理由（家庭類型別）【複数選択可】  就  小

【就学前児童】

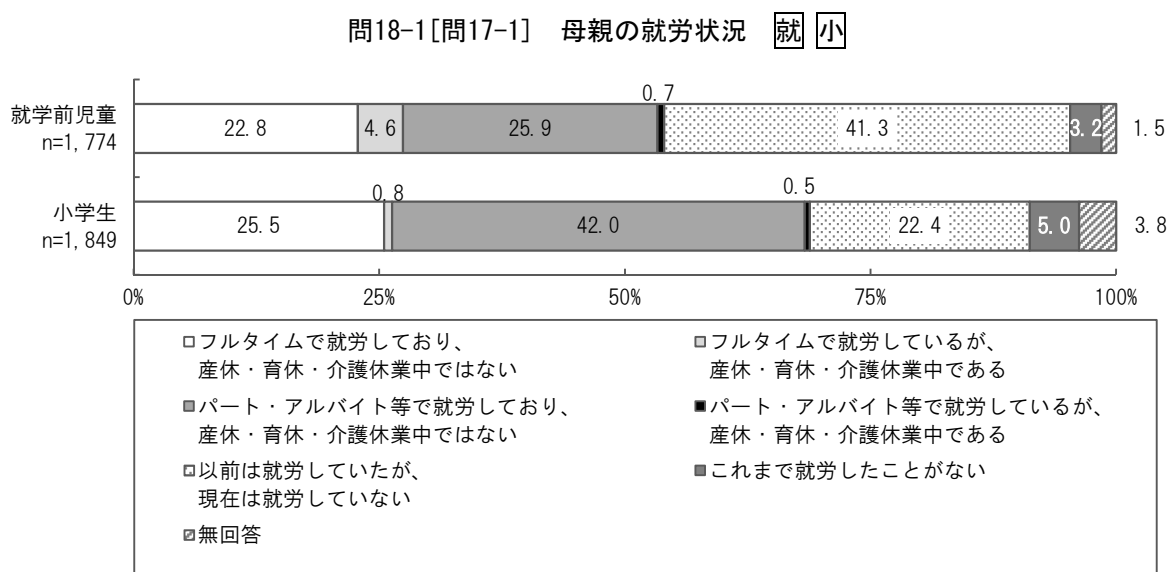
【小学生】



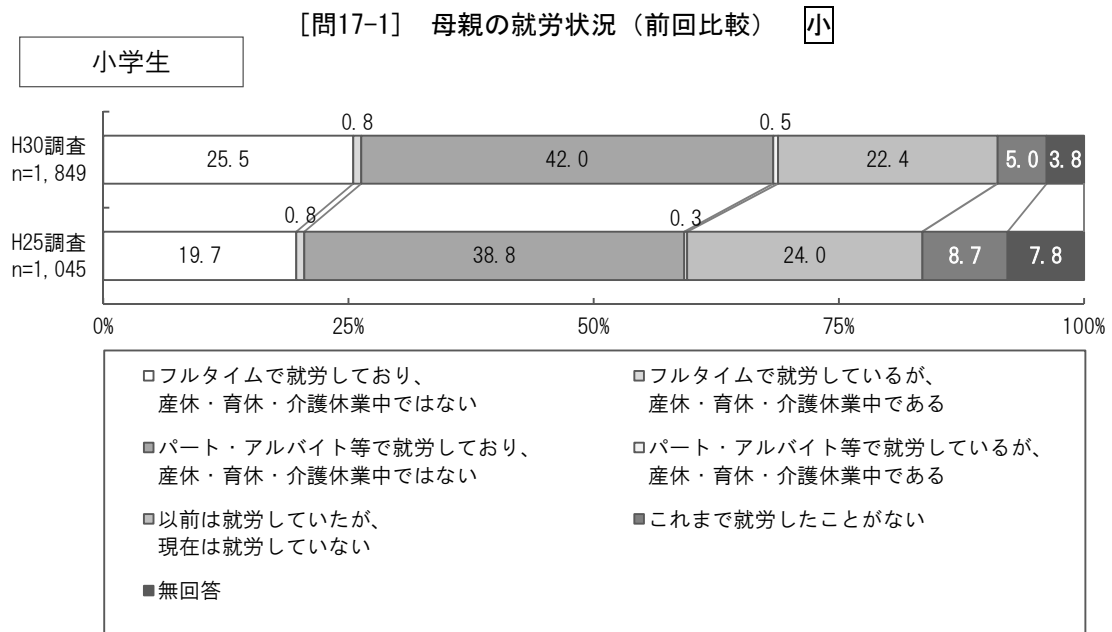
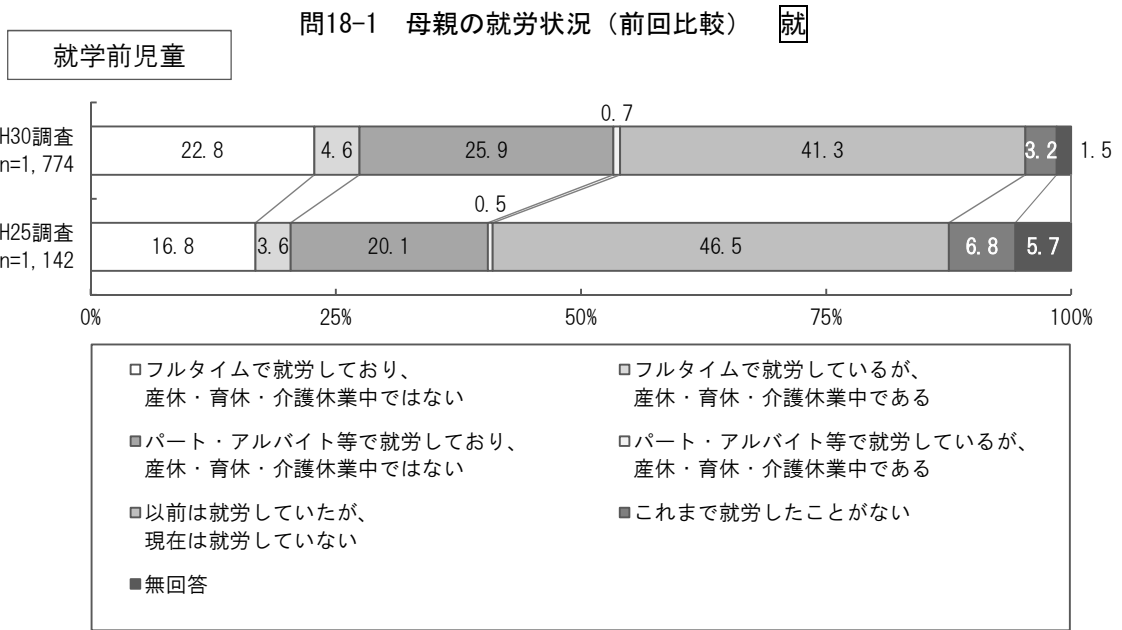
## 4 母親、父親の就労状況について

### (1) 母親の就労状況

○母親の就労状況については、就学前児童では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が41.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が25.9%となっている。小学生では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が42.0%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が25.5%となっている。就学前児童と比較すると、小学生の方が就労している世帯の割合が高くなっている。



○前回調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」を合わせた就労している母親の割合が、就学前児童では11.8ポイント、小学生では9ポイント高くなっている。



問18-1 母親の就労状況（年齢別） 就

単位：％

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	全体
就学前児童	サンプル数(人)	248	275	301	310	312	305	1,774
	フルタイム	19.8	22.2	24.3	18.7	23.4	27.9	22.8
	フルタイム (休業中)	12.9	4.0	4.0	4.5	2.9	1.0	4.6
	パート・アルバイト等	12.9	17.5	21.6	30.6	34.9	34.1	25.9
	パート・アルバイト等 (休業中)	0.4	1.1	0.7	1.0	0.6	0.3	0.7
	現在は 就労していない	49.6	51.3	45.2	41.3	32.1	31.5	41.3
	就労したことがない	2.8	1.8	3.3	3.2	5.1	3.0	3.2
	無回答	1.6	2.2	1.0	0.6	1.0	2.3	1.5

[問17-1] 母親の就労状況（学年別） 小

単位：％

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体
小学生	サンプル数(人)	305	321	310	300	304	304	1,849
	フルタイム	26.6	23.1	24.8	25.3	26.3	27.0	25.5
	フルタイム (休業中)	1.6	0.9	0.3	0.7	0.7	0.3	0.8
	パート・アルバイト等	34.8	43.9	39.4	43.3	45.1	45.7	42.0
	パート・アルバイト等 (休業中)	1.6	0.6	0.0	1.0	0.0	0.0	0.5
	現在は 就労していない	26.9	24.0	25.5	18.7	19.4	19.4	22.4
	就労したことがない	4.9	4.4	6.1	8.0	3.9	2.6	5.0
	無回答	3.6	3.1	3.9	3.0	4.6	4.9	3.8

問18-1[問17-1] 母親の就労状況（行政センター別） 就小

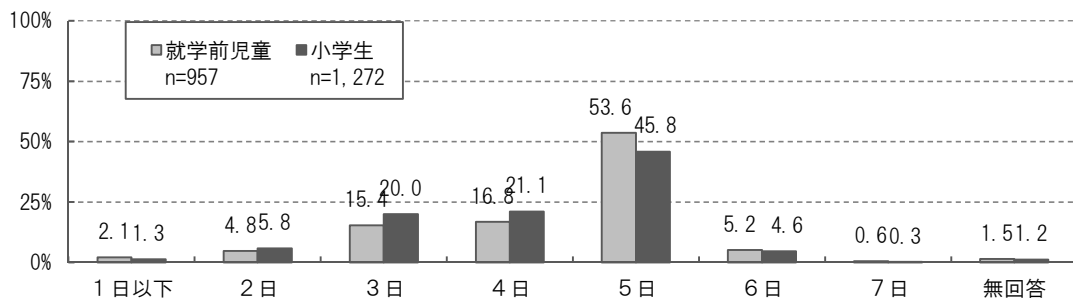
単位：％

		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
就学 前児童	サンプル数 (人)	219	172	44	18	284	162	147	265	145	141	1,774
	フルタイム	25.6	23.8	34.1	33.3	18.3	21.6	17.7	24.9	19.3	24.8	22.8
	フルタイム (休業中)	3.2	7.6	6.8	0.0	4.9	3.7	5.4	3.0	7.6	5.7	4.6
	パート・アル バイト等	28.8	18.6	20.5	27.8	27.8	21.6	26.5	25.3	25.5	25.5	25.9
	パート・アル バイト等 (休業中)	0.0	0.0	2.3	0.0	0.4	1.2	0.7	0.0	2.1	1.4	0.7
	現在は就労 していない	37.0	44.2	27.3	27.8	45.1	50.0	46.9	41.9	41.4	34.8	41.3
	就労したこ とがない	3.7	2.9	9.1	5.6	2.8	1.9	2.0	4.2	2.8	5.7	3.2
	無回答	1.8	2.9	0.0	5.6	0.7	0.0	0.7	0.8	1.4	2.1	1.5
小学 生	サンプル数 (人)	226	166	77	22	250	169	186	233	137	150	1,849
	フルタイム	21.2	27.7	39.0	31.8	26.4	26.6	22.0	27.5	23.4	21.3	25.5
	フルタイム (休業中)	1.3	2.4	2.6	0.0	0.4	0.0	0.5	0.4	0.7	0.7	0.8
	パート・アル バイト等	44.2	39.2	33.8	22.7	39.2	49.1	45.2	34.8	44.5	44.7	42.0
	パート・アル バイト等 (休業中)	0.4	0.6	0.0	0.0	0.4	0.0	1.1	0.9	0.0	2.0	0.5
	現在は就労 していない	23.9	24.7	18.2	18.2	22.4	20.1	21.5	25.3	25.5	22.7	22.4
	就労したこ とがない	4.4	3.0	1.3	22.7	8.0	2.4	4.8	6.4	2.9	5.3	5.0
	無回答	4.4	2.4	5.2	4.5	3.2	1.8	4.8	4.7	2.9	3.3	3.8

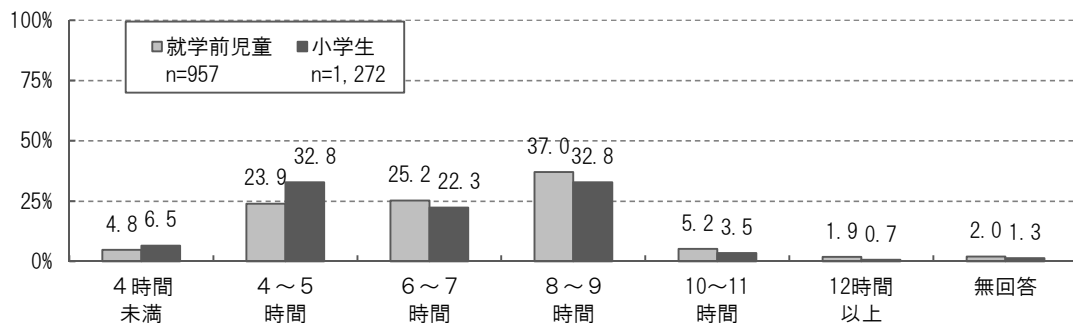
○母親の就労日数と就労時間をみると、就学前児童・小学生ともに「5日」（53.6%・45.8%）と「8～9時間」（37.0%・32.8%）が最も高くなっている。

○母親の出勤時間については、就学前児童では「7時台」が37.7%、小学生では「8時台」が41.0%と最も高く、また、帰宅時間については、就学前児童では「18～19時台」が42.0%、小学生では「12～15時台」が34.7%と最も高くなっている。

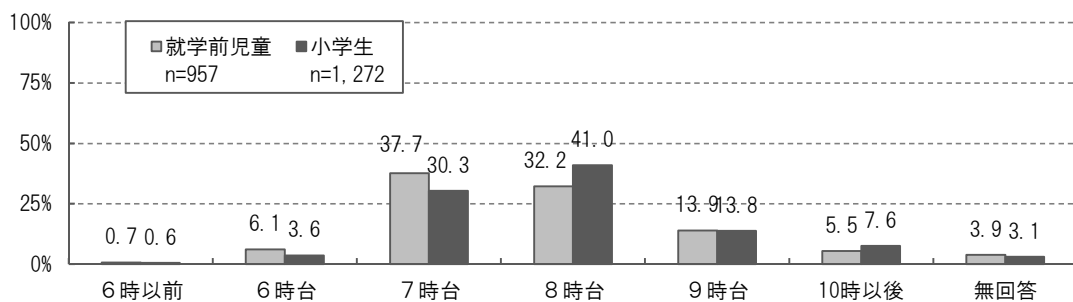
問18-1-1[問17-1-1] 母親の就労日数（1週当たり） 就小



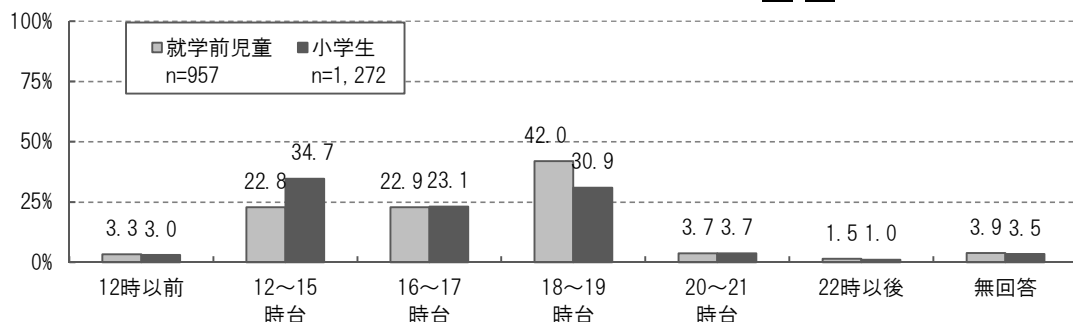
問18-1-1[問17-1-1] 母親の就労時間（1日当たり） 就小



問18-1-1[問17-1-1] 母親の出勤時間 就小

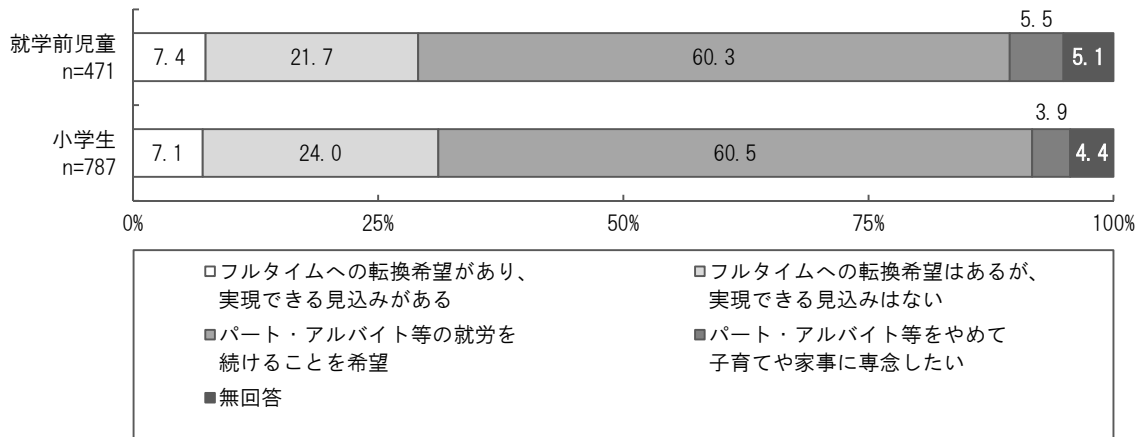


問18-1-1[問17-1-1] 母親の帰宅時間 就小



○「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせたパートタイムからフルタイムへの転換希望がある母親は、就学前児童で29.1%、小学生で31.1%となっている。

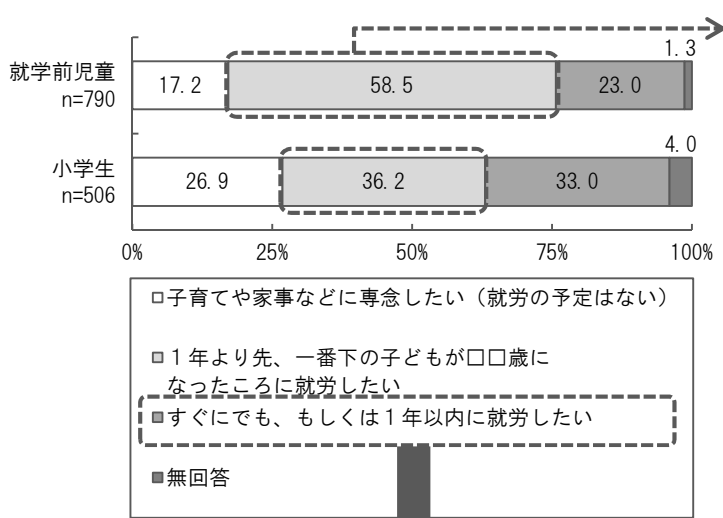
問18-1-2[問17-1-2] 母親のパートタイムからフルタイムへの転換意向 就 小



○現在就労していないが今後の就労希望がある就学前児童の母親は81.5%、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が58.5%、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が23.0%となっており、希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」が89.0%、「フルタイム」が10.4%となっている。また、就労時期となる子どもの年齢としては「6～8歳」が最も高く、37.7%となっている。

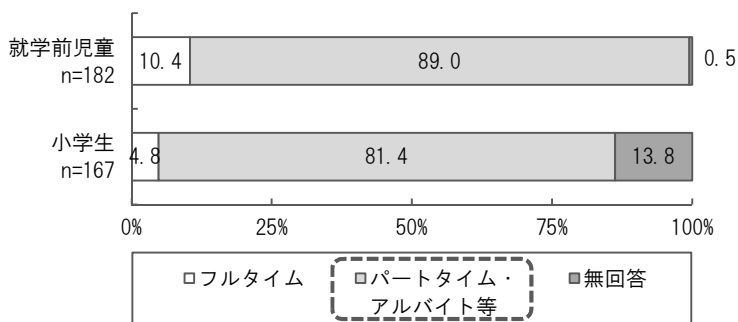
○現在就労していないが今後の就労希望がある小学生の母親は69.2%、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が36.2%、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が33.0%となっており、希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」が81.4%、「フルタイム」が4.8%となっている。また、就労時期となる子どもの年齢としては「6～8歳」が最も高く、32.2%となっている。

問18-1-3[問17-1-3] 就労していない母親の今後の就労意向 **就小**



□子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）  
□1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい  
■すぐにも、もしくは1年以内に就労したい  
■無回答

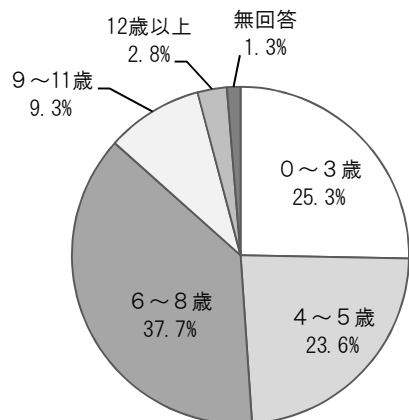
【母親の希望する就労形態】



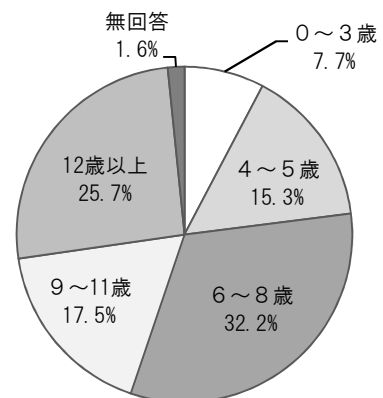
【希望就労日数と希望就労時間 (P42)】へ

「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」に○を付けた方

【就労希望時の末子の年齢】



就学前児童  
n=462

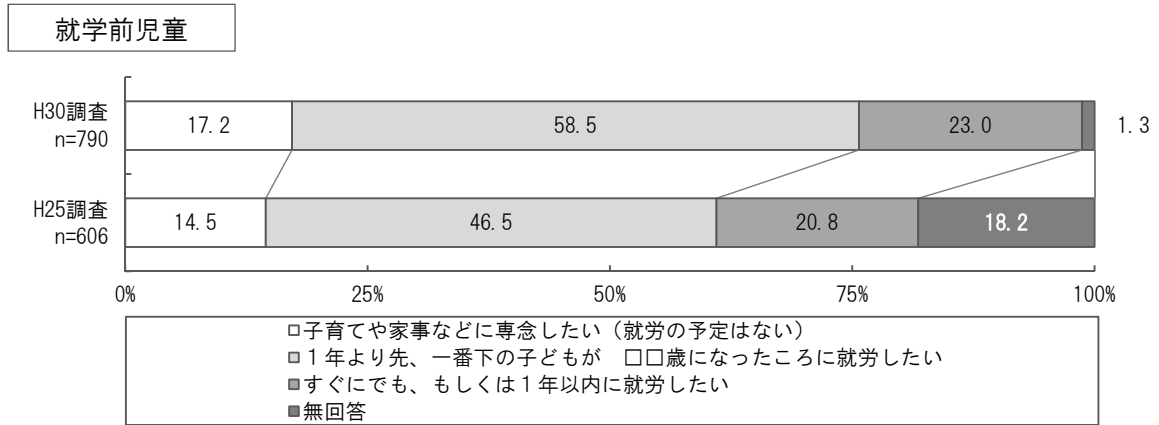


小学生  
n=183

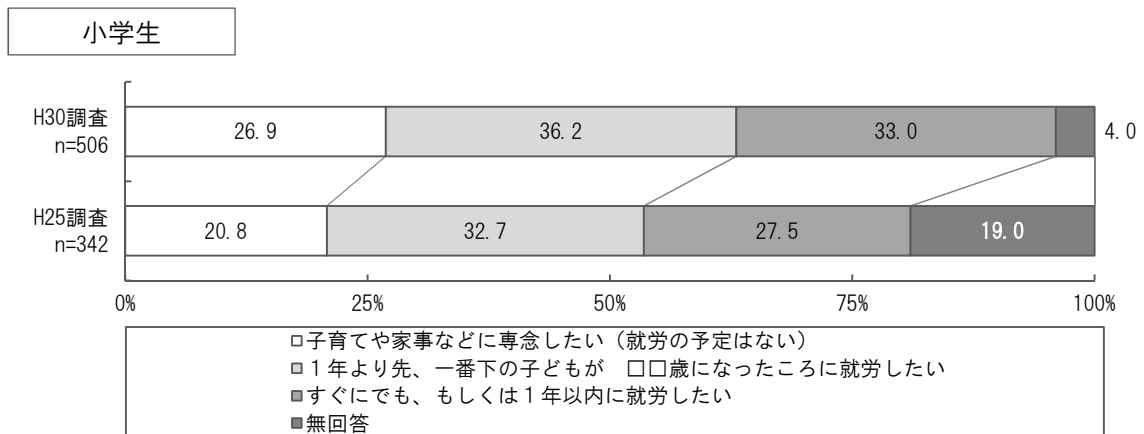


○就労意向を前回調査と比較すると、就学前児童では「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が12.0ポイント高くなっており、小学生では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が5.5ポイント高くなっている。

問18-1-3 就労していない母親の今後の就労意向（前回比較） 就

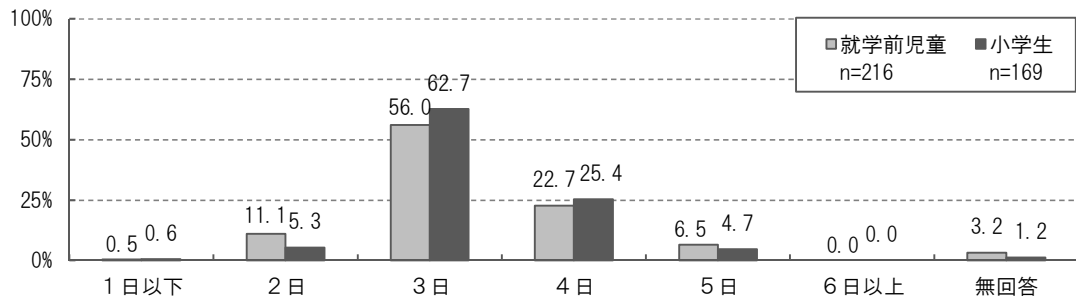


[問17-1-3] 就労していない母親の今後の就労意向（前回比較） 小

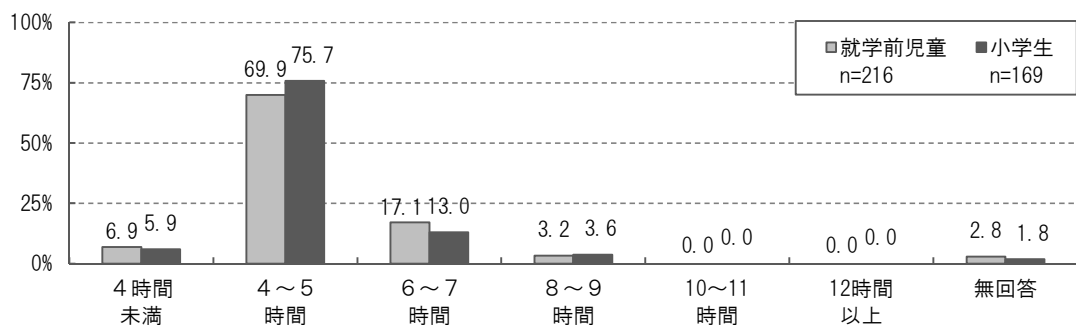


○パートタイム・アルバイト等での就労を希望する母親の希望就労日数・希望就労時間は以下の通り。

問18-1-3②〔問17-1-3②〕 パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労日数(1週当たり) 就 小



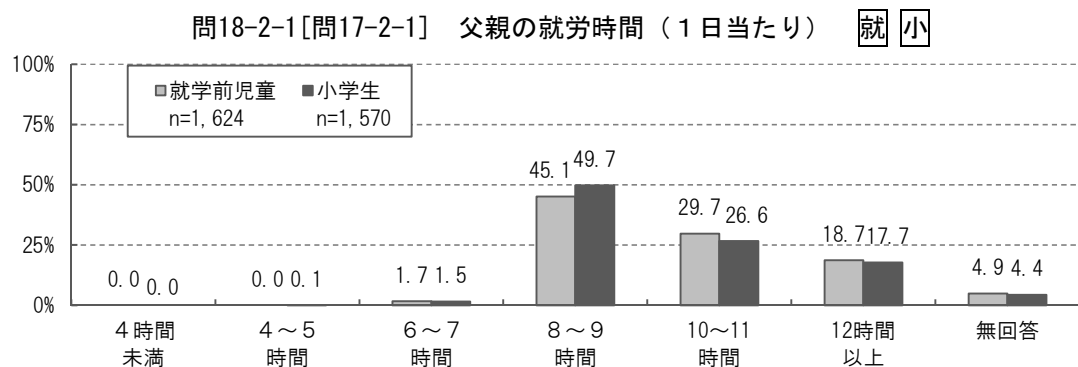
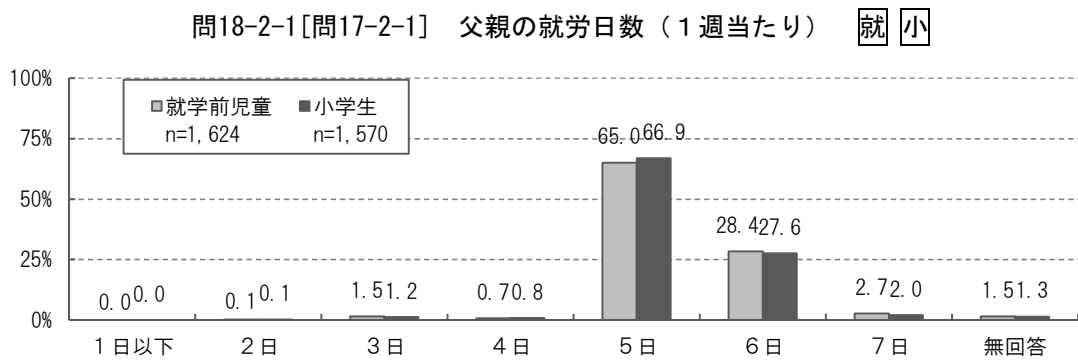
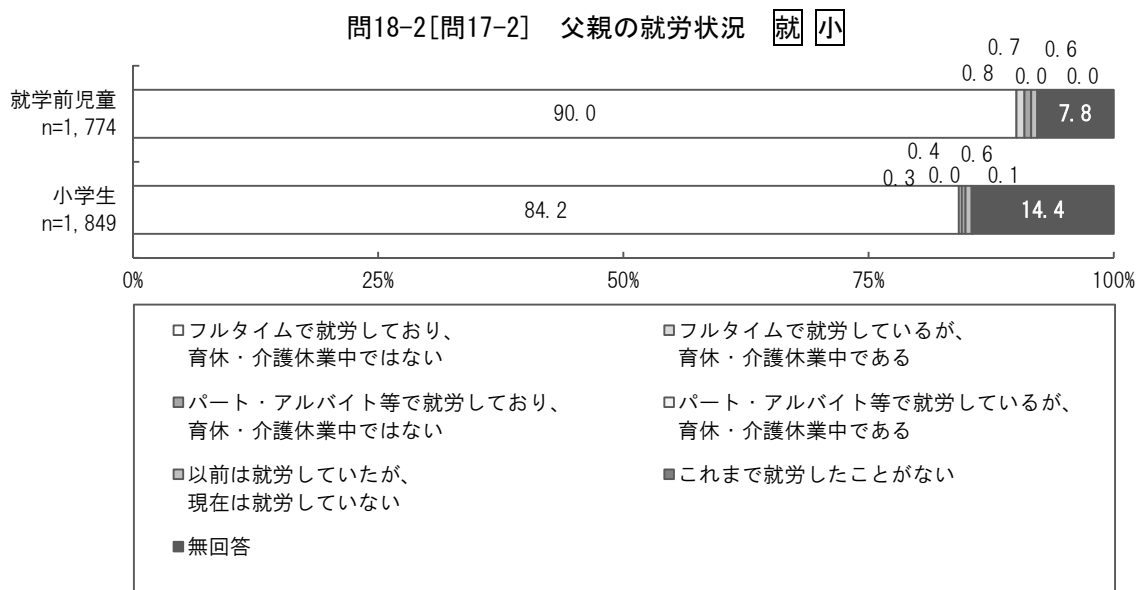
問18-1-3②〔問17-1-3②〕 パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労時間(1日当たり) 就 小



## (2) 父親の就労状況

○父親の就労状況については、「フルタイムで就労している」「パート・アルバイト等で就労している」を合わせた現在就労している方は、就学前児童で90.7%、小学生で84.6%となっている。

○父親の就労日数については、「5日」が最も高く、就学前児童65.0%、小学生66.9%、次いで「6日」が就学前児童28.4%、小学生27.6%となっている。また、就労時間については、「8～9時間」が最も高く、就学前児童45.1%、小学生49.7%、次いで「10～11時間」が就学前児童29.7%、小学生26.6%となっている。



問18-2 父親の就労状況（年齢別） 就

単位：％

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	全体
就学前児童	サンプル数(人)	248	275	301	310	312	305	1,774
	フルタイム	90.3	93.1	91.7	87.1	91.0	87.5	90.0
	フルタイム (休業中)	1.2	1.1	0.3	0.6	1.0	1.0	0.8
	パート・アルバイト等	0.8	0.7	0.3	0.3	0.6	1.3	0.7
	パート・アルバイト等 (休業中)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在は 就労していない	0.8	0.4	1.0	1.0	0.6	0.0	0.6
	就労したことがない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	6.9	4.7	6.6	11.0	6.7	10.2	7.8

[問17-2] 父親の就労状況（学年別） 小

単位：％

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体
小学生	サンプル数(人)	305	321	310	300	304	304	1,849
	フルタイム	88.5	85.4	83.2	81.7	82.6	83.6	84.2
	フルタイム (休業中)	0.0	0.6	0.3	0.0	0.7	0.3	0.3
	パート・アルバイト等	0.3	0.6	0.3	0.3	0.7	0.0	0.4
	パート・アルバイト等 (休業中)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在は 就労していない	0.3	0.0	0.3	1.3	0.3	1.3	0.6
	就労したことがない	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.1
	無回答	10.8	13.4	15.8	16.3	15.8	14.8	14.4

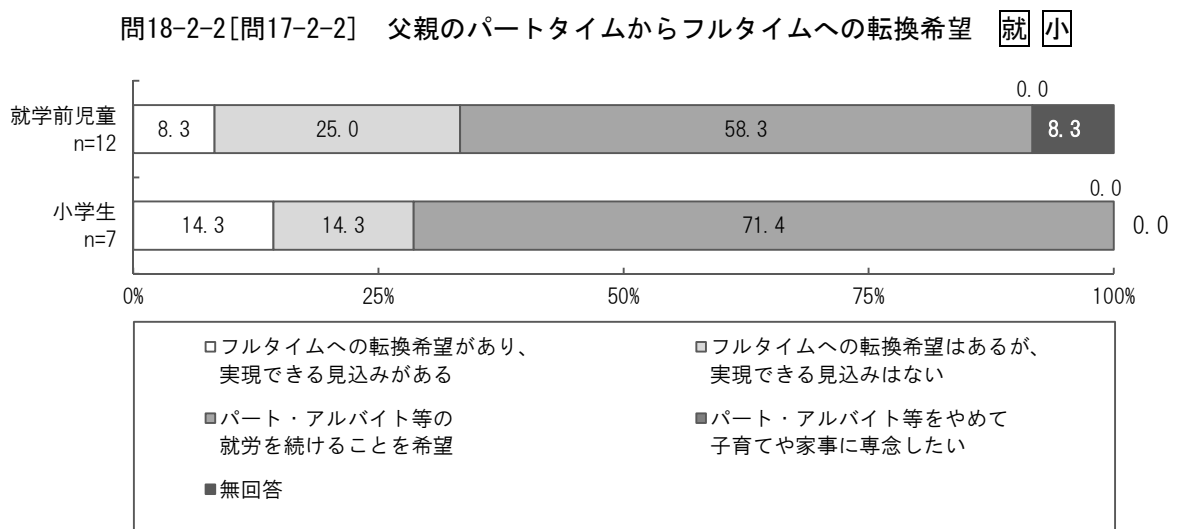
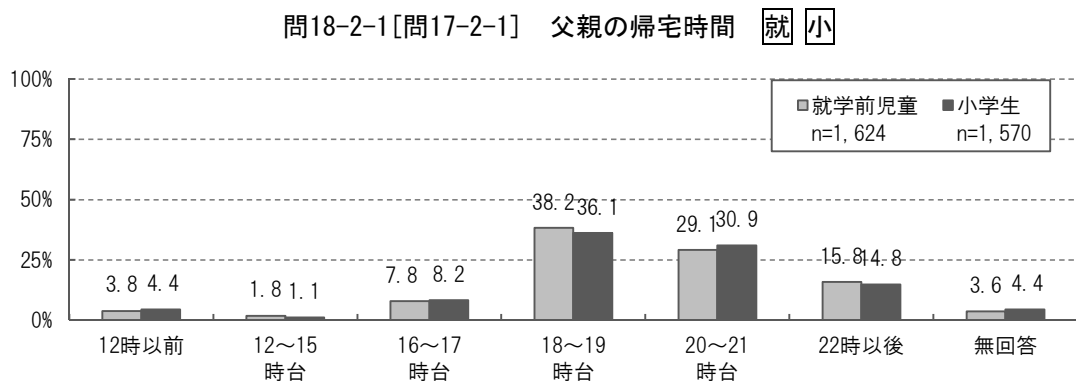
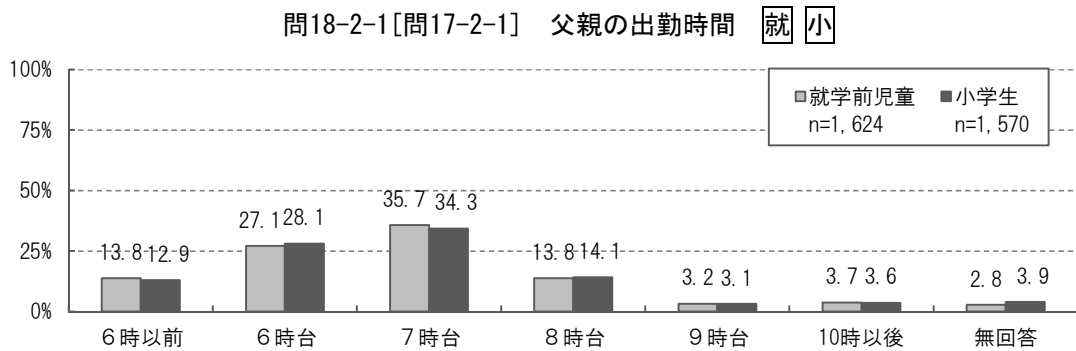
問18-2[問17-2] 父親の就労状況（行政センター別） 就小

単位：％

		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
就学 前児童	サンプル数 (人)	219	172	44	18	284	162	147	265	145	141	1,774
	フルタイム	89.5	91.9	81.8	88.9	91.5	90.1	93.2	90.2	95.9	85.1	90.0
	フルタイム (休業中)	1.4	1.2	0.0	0.0	0.0	0.6	1.4	0.8	0.0	2.1	0.8
	パート・アル バイト等	0.9	0.0	0.0	0.0	0.4	1.2	0.7	0.4	0.0	0.7	0.7
	パート・アル バイト等 (休業中)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在は就労 していない	0.9	0.0	0.0	0.0	0.4	1.2	0.0	0.8	0.0	2.1	0.6
	就労したこ とがない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	7.3	7.0	18.2	11.1	7.7	6.8	4.8	7.9	4.1	9.9	7.8
小学 生	サンプル数 (人)	226	166	77	22	250	169	186	233	137	150	1,849
	フルタイム	82.7	90.4	90.9	90.9	85.2	84.6	84.4	83.7	95.9	85.1	84.2
	フルタイム (休業中)	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.9	0.0	2.1	0.3
	パート・アル バイト等	0.0	0.6	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.4
	パート・アル バイト等 (休業中)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在は就労 していない	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	1.1	0.4	0.0	2.1	0.6
	就労したこ とがない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.1
	無回答	16.4	7.8	9.1	9.1	14.4	14.2	14.5	14.6	4.1	9.9	14.4

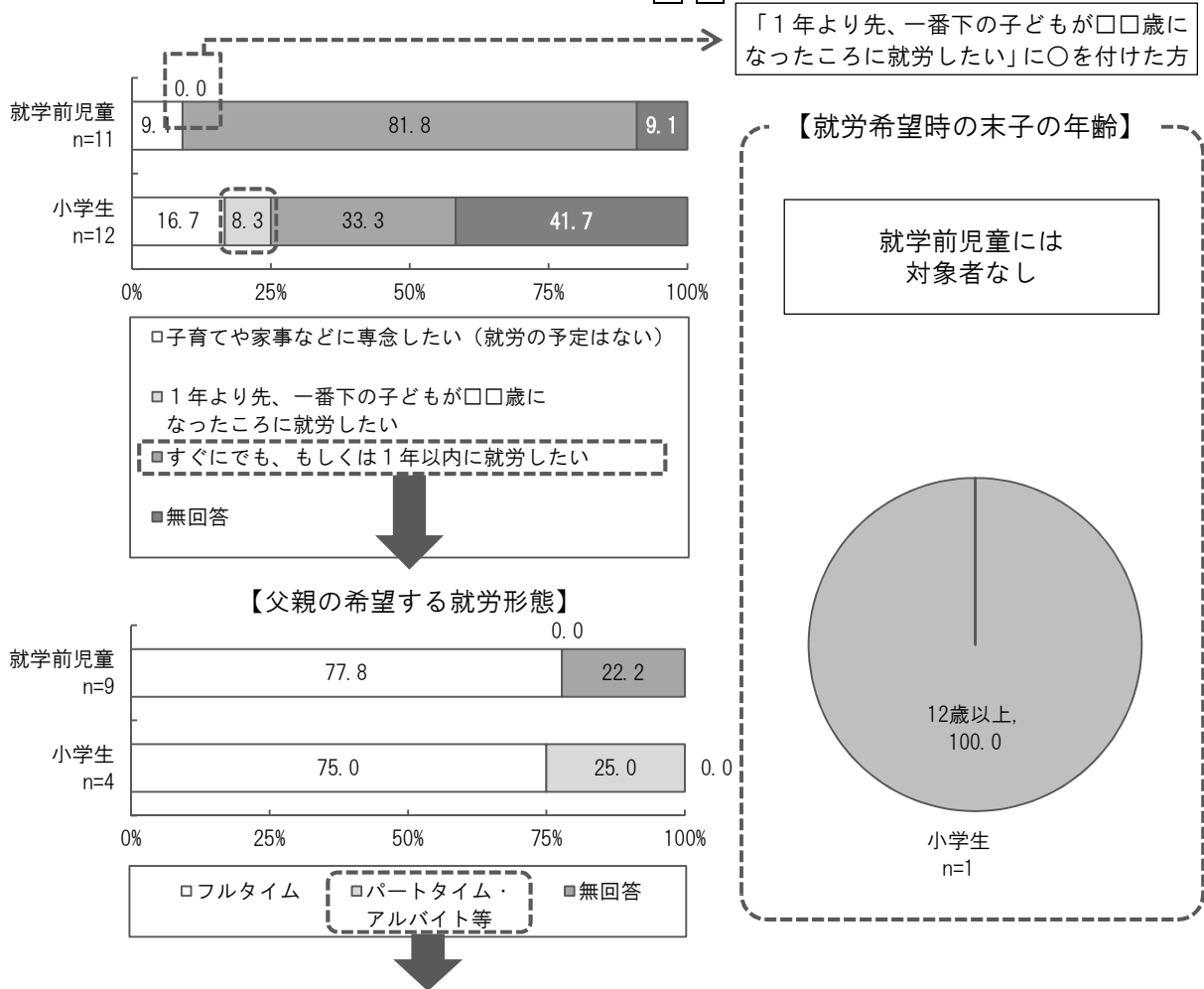
○父親の出勤時間は、就学前児童・小学生ともに「7時台」(35.7%・34.3%)、また、帰宅時間は、就学前児童・小学生ともに「18~19時台」(38.2%・36.1%)の割合が最も高くなっている。

○父親のパートタイムからフルタイムへの転換希望は以下の通り。

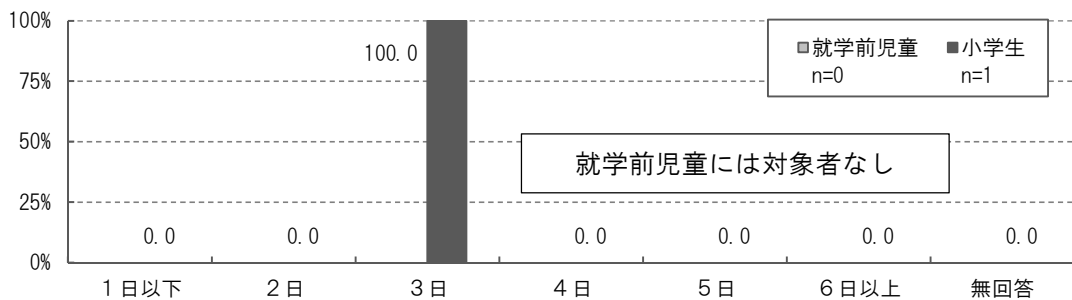


○現在就労していない父親の今後の就労希望は以下の通り。

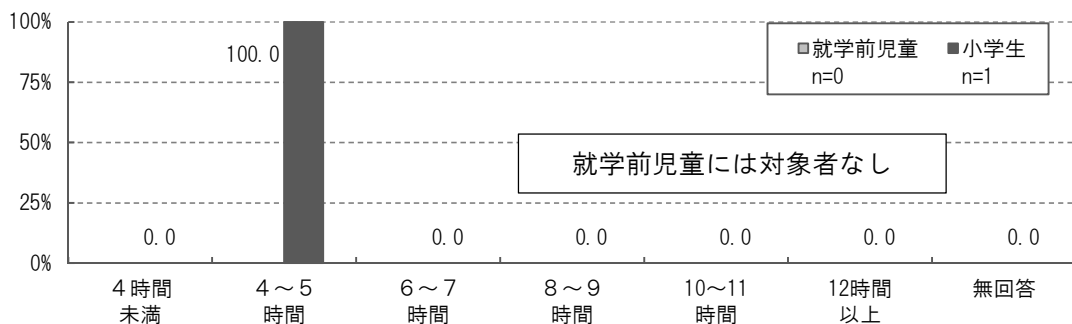
問18-2-3[問17-2-3] 就労していない父親の就労希望 **就小**



問18-2-3②[問17-2-3②] 就労希望のある父親の希望就労日数（1週当たり） **就小**



問18-2-3[問17-2-3] 就労希望のある父親の希望就労時間（1日当たり） **就小**

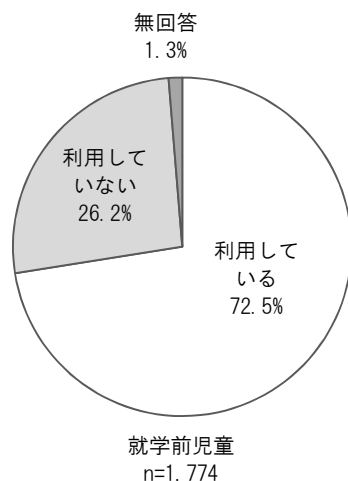


## 5 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望について

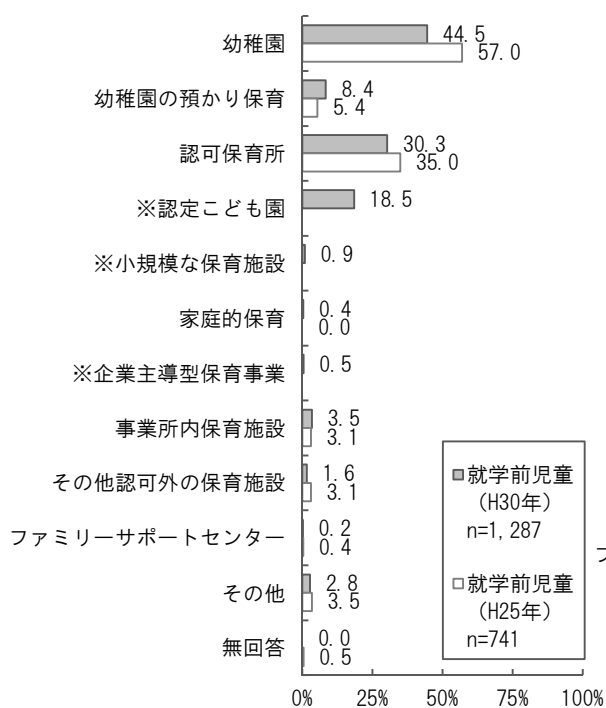
### (1) 平日の定期的な教育・保育事業

- 定期的な教育・保育事業を「利用者している」が72.5%となっている。
- 利用中の事業については、「幼稚園」が44.5%、「認可保育所」が30.3%となっている。一方、今後の利用希望では「幼稚園」が60.1%と、現状より15.6ポイント高く、また、「幼稚園の預かり保育」も34.7%と、現状より26.3ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、利用状況・利用希望とも「幼稚園」が10ポイント以上低くなっているが、利用状況に新たに加わった「認定こども園」が18.5%となっており、利用希望では前回より10.2ポイント高くなっている、

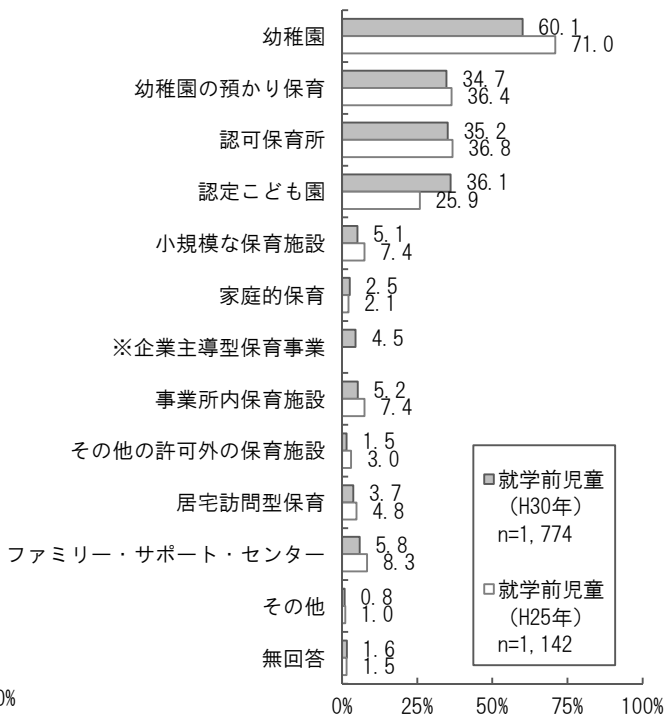
問19 定期的な教育・保育事業の利用状況 就



問19-1 定期的な教育・保育事業の利用状況  
【複数選択可】(前回比較) 就



問20 希望する定期的な教育・保育事業  
【複数選択可】(前回比較) 就

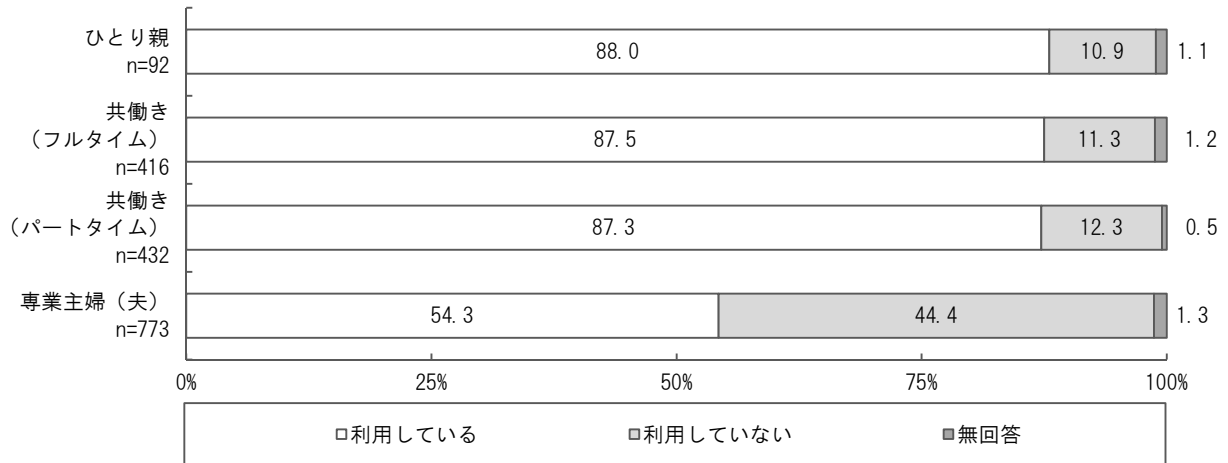


※の選択肢については前回はなし



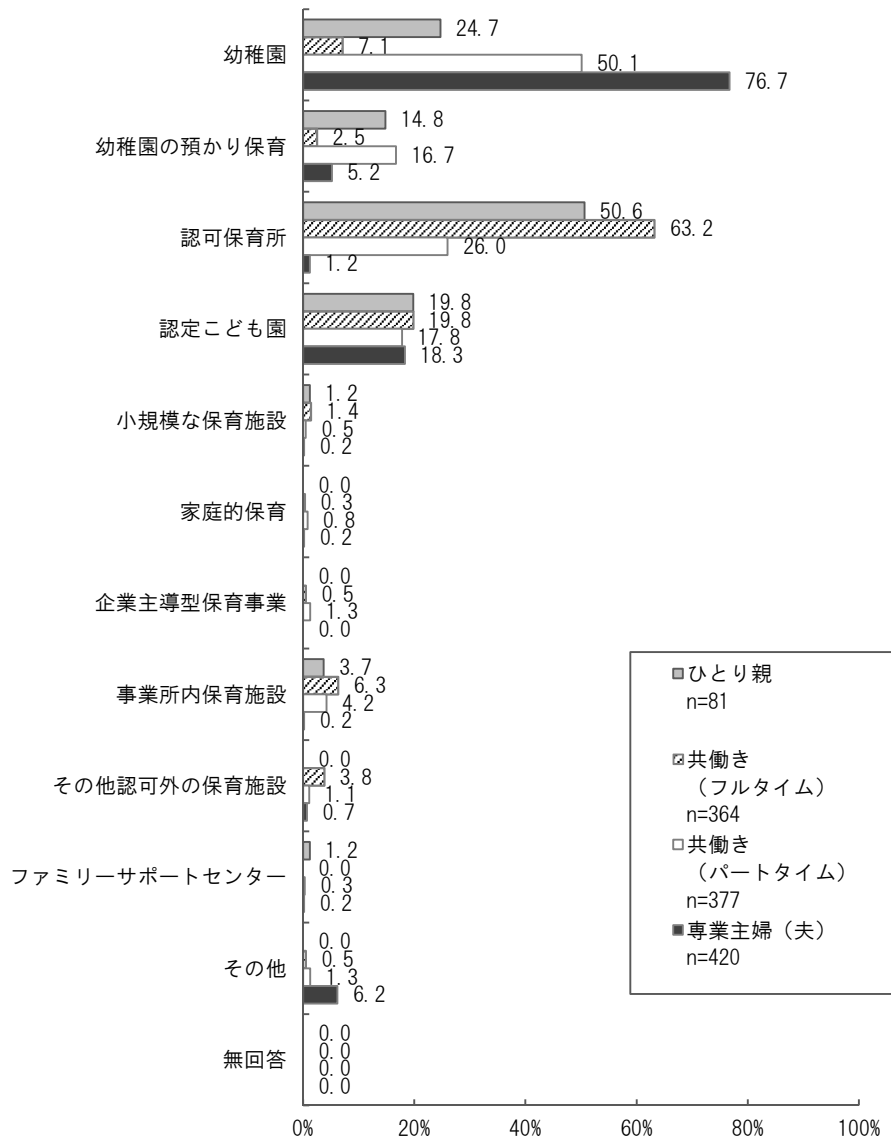
○定期的な教育・保育事業の利用状況について家庭類型別にみると、専業主婦（夫）では「利用している」が他の家庭類型よりも約33~34ポイント低くなっている。

問19 定期的な教育・保育事業の利用状況（家庭類型別） 就



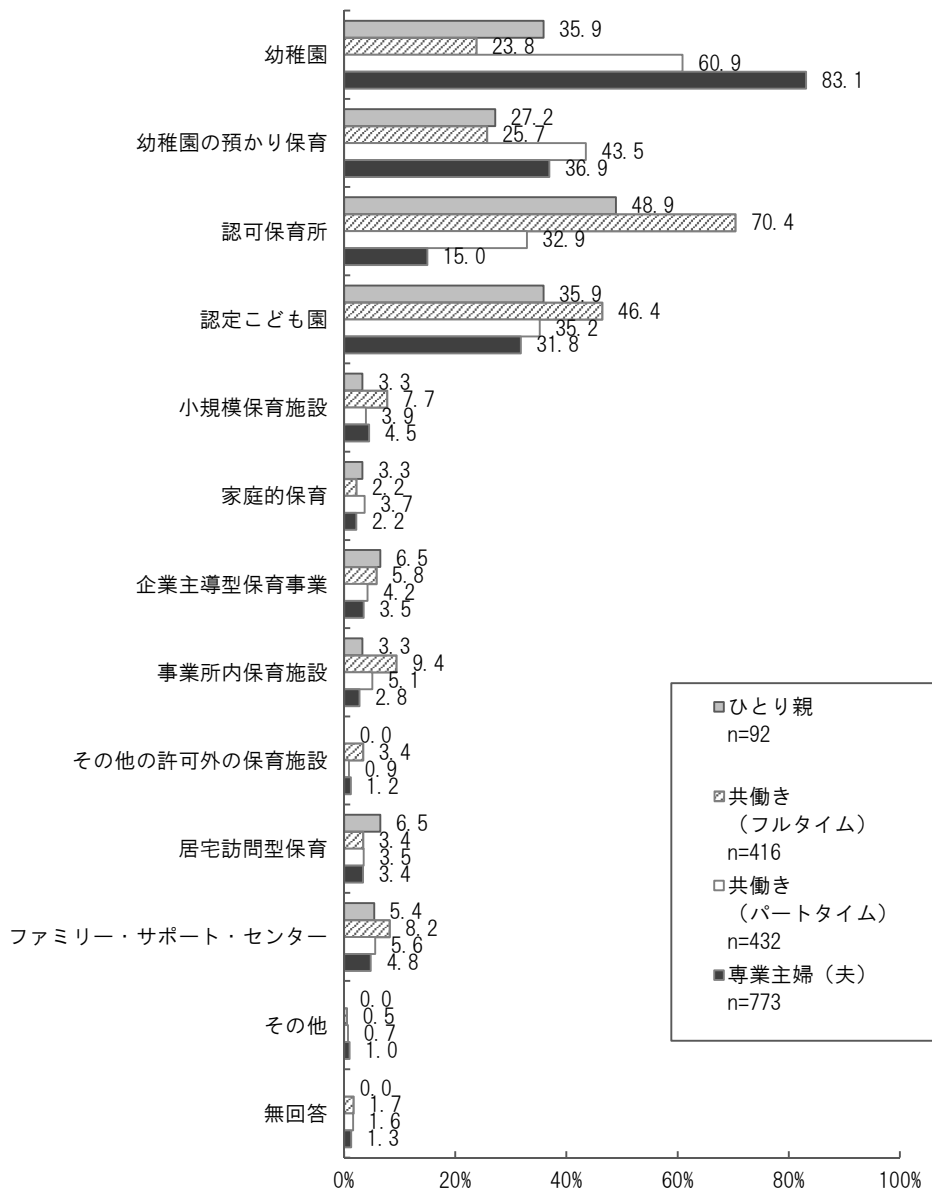
○利用中の事業について家庭類型別にみると、共働き（パートタイム）では「認可保育所」が共働き（フルタイム）よりも約37ポイント低くなっている。

問19-1 定期的な教育・保育事業の利用状況（家庭類型別）【複数選択可】 就



○希望する定期的な教育・保育事業について家庭類型別にみると、共働き（パートタイム）では「幼稚園の預かり保育」が他の家庭類型よりも約7～18ポイント高く、共働き（フルタイム）では「認定こども園」が他の家庭類型よりも約11～14ポイント高くなっている。

問20 希望する定期的な教育・保育事業（家庭類型別）【複数選択可】 就



問19 定期的な教育・保育事業の利用状況（年齢別）【複数選択可】 就

単位：％

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	全体
就学前児童	サンプル数(人)	248	275	301	310	312	305	1,774
	利用している	26.6	38.2	67.4	92.3	99.4	99.0	72.5
	利用していない	71.0	60.0	31.2	7.1	0.0	0.3	26.2
	無回答	2.4	1.8	1.3	0.6	0.6	0.7	1.3

問19-1 定期的な教育・保育事業の利用状況（年齢別）【複数選択可】 就

単位：％

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	全体
就学前児童	サンプル数(人)	66	105	203	286	310	302	1,287
	幼稚園	1.5	7.6	34.0	50.3	60.3	52.3	44.5
	幼稚園の預かり保育	0.0	0.0	6.4	8.4	12.6	10.6	8.4
	認可保育所	60.6	48.6	34.0	28.0	21.6	25.8	30.3
	認定こども園	18.2	21.9	16.7	19.6	16.5	19.5	18.5
	小規模な保育施設	0.0	2.9	3.4	0.0	0.0	0.3	0.9
	家庭的保育	1.5	2.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.4
	企業主導型保育事業	3.0	0.0	1.5	0.3	0.0	0.0	0.5
	事業所内保育施設	15.2	11.4	3.4	2.4	1.6	1.3	3.5
	その他認可外の保育施設	1.5	4.8	1.5	1.0	1.0	1.7	1.6
	ファミリーサポートセンター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.2
	その他	0.0	3.8	6.9	2.1	1.9	2.0	2.8
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問19 定期的な教育・保育事業の利用状況（行政センター別）【複数選択可】 就

単位：%

		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
就学前児童	サンプル数 (人)	219	172	44	18	284	162	147	265	145	141	1,774
	利用している	77.6	72.7	79.5	77.8	71.1	71.0	68.0	73.2	69.7	68.1	72.5
	利用していない	22.4	27.3	18.2	22.2	27.8	27.8	29.3	26.0	26.9	29.8	26.2
	無回答	0.0	0.0	2.3	0.0	1.1	1.2	2.7	0.8	3.4	2.1	1.3

問19-1 定期的な教育・保育事業の利用状況（行政センター別）【複数選択可】 就

単位：%

		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
就学前児童	サンプル数 (人)	170	125	35	14	202	115	100	194	101	96	1,287
	幼稚園	34.7	43.2	34.3	35.7	55.0	37.4	41.0	51.5	57.4	33.3	44.5
	幼稚園の 預かり保育	9.4	11.2	2.9	0.0	7.9	7.0	13.0	8.8	7.9	5.2	8.4
	認可 保育所	23.5	35.2	37.1	57.1	28.2	27.8	29.0	33.0	32.7	31.3	30.3
	認定 こども園	34.7	9.6	25.7	7.1	11.4	30.4	24.0	7.2	5.0	31.3	18.5
	小規模な 保育施設	0.0	4.0	2.9	0.0	0.0	0.9	1.0	0.5	1.0	1.0	0.9
	家庭的 保育	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.9	0.0	0.5	0.0	0.0	0.4
	企業主導型 保育事業	0.0	1.6	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.5
	事業所内 保育施設	2.9	3.2	2.9	0.0	5.9	0.9	2.0	3.6	1.0	6.3	3.5
	その他 認可外の 保育施設	2.9	0.8	0.0	0.0	1.5	3.5	2.0	1.5	1.0	0.0	1.6
	ファミリー サポート センター	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.2
	その他	1.8	2.4	0.0	0.0	3.5	1.7	5.0	3.1	3.0	3.1	2.8
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問20 希望する定期的な教育・保育事業（年齢別）【複数選択可】 就

単位：%

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	全体
就学前児童	サンプル数(人)	248	275	301	310	312	305	1,774
	幼稚園	55.2	63.3	61.5	58.4	64.1	58.4	60.1
	幼稚園の預かり保育	25.8	32.0	32.9	34.8	41.7	40.0	34.7
	認可保育所	46.4	36.0	34.2	33.9	30.8	31.5	35.2
	認定こども園	41.5	41.1	36.5	33.9	31.1	34.1	36.1
	小規模保育施設	8.9	6.2	4.3	4.5	3.2	4.9	5.1
	家庭的保育	4.0	3.3	2.3	1.9	1.3	2.6	2.5
	企業主導型保育事業	4.4	4.0	4.0	4.5	3.5	6.9	4.5
	事業所内保育施設	4.8	5.1	4.7	6.8	4.8	5.6	5.2
	その他の許可外の保育施設	2.8	1.1	1.3	1.9	1.3	1.0	1.5
	居宅訪問型保育	3.6	4.0	3.7	4.2	2.9	3.3	3.7
	ファミリーサポート・センター	5.6	5.5	5.0	2.9	5.8	9.8	5.8
	その他	1.2	0.7	0.7	0.6	1.0	0.7	0.8
	無回答	1.6	1.8	1.7	1.3	1.0	1.6	1.6

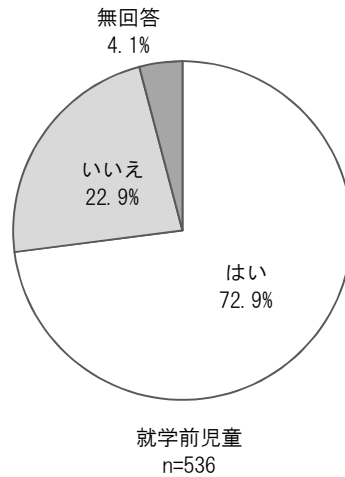
問20 希望する定期的な教育・保育事業（行政センター別）【複数選択可】 就

単位：%

		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
就 学 前 児 童	サンプル数 (人)	219	172	44	18	284	162	147	265	145	141	1,774
	幼稚園	56.6	58.1	52.3	44.4	63.7	54.3	61.9	65.3	65.5	51.1	60.1
	幼稚園の 預かり保育	36.5	34.9	29.5	38.9	36.3	36.4	29.3	35.5	35.9	25.5	34.7
	認可保 育所	32.4	39.0	43.2	44.4	34.5	32.7	31.3	36.2	38.6	35.5	35.2
	認定 こども園	51.1	37.2	31.8	16.7	28.9	49.4	40.8	27.5	20.0	37.6	36.1
	小規模 保育施設	3.7	11.0	13.6	0.0	2.8	5.6	8.2	5.3	3.4	5.7	5.1
	家庭的 保育	1.8	2.3	2.3	0.0	1.8	3.1	2.0	2.3	3.4	4.3	2.5
	企業主導型 保育事業	5.0	5.8	2.3	11.1	4.2	4.3	5.4	3.4	4.8	2.8	4.5
	事業所内 保育施設	7.3	5.2	6.8	5.6	6.0	3.1	2.7	4.2	5.5	7.1	5.2
	その他の 許可外の 保育施設	1.8	0.6	0.0	0.0	0.7	4.3	1.4	1.5	1.4	1.4	1.5
	居宅訪問 型保育	6.4	2.3	4.5	0.0	3.5	5.6	2.0	3.4	3.4	2.8	3.7
	ファミリー・ サポート・ センター	6.4	5.2	6.8	5.6	6.0	5.6	5.4	4.9	7.6	5.7	5.8
	その他	0.0	1.2	4.5	0.0	0.7	1.2	1.4	1.1	0.7	0.0	0.8
無回答	0.9	0.6	4.5	5.6	0.7	2.5	2.0	1.1	0.0	5.0	1.6	

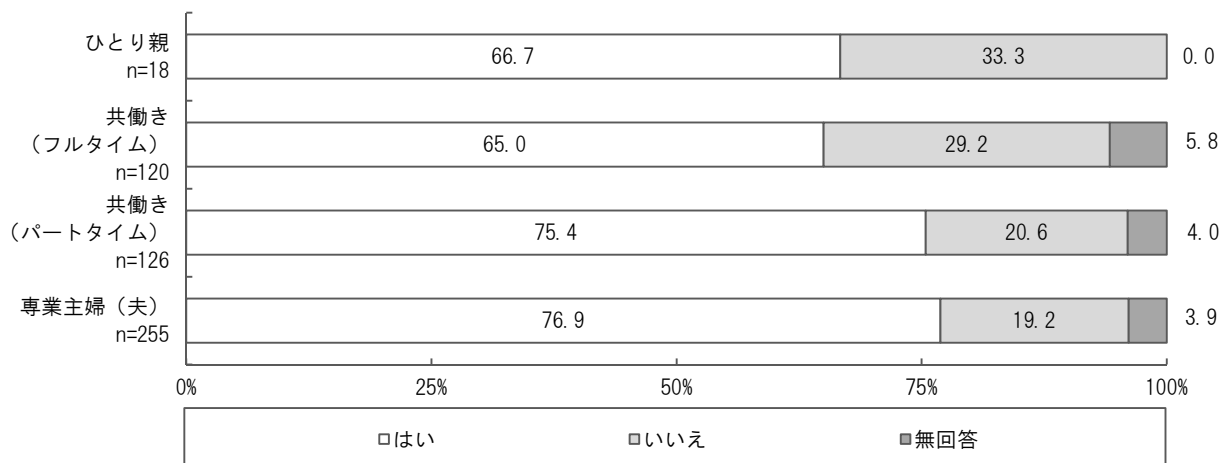
○平日に教育・保育事業を定期的にご利用したいと希望した方の中で、特に幼稚園の利用を強く希望している方は72.9%となっている。

問20-1 幼稚園の利用意向（強く希望）の有無 就



○家庭類型別にみると、共働き（パートタイム）や専業主婦（夫）では「はい」が他の家庭類型よりも約9～10ポイント高くなっている。

問20-1 幼稚園の利用意向（強く希望）の有無（家庭類型別） 就

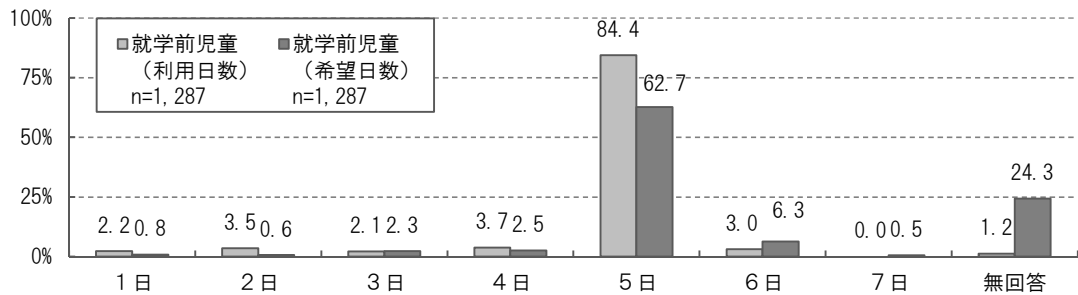




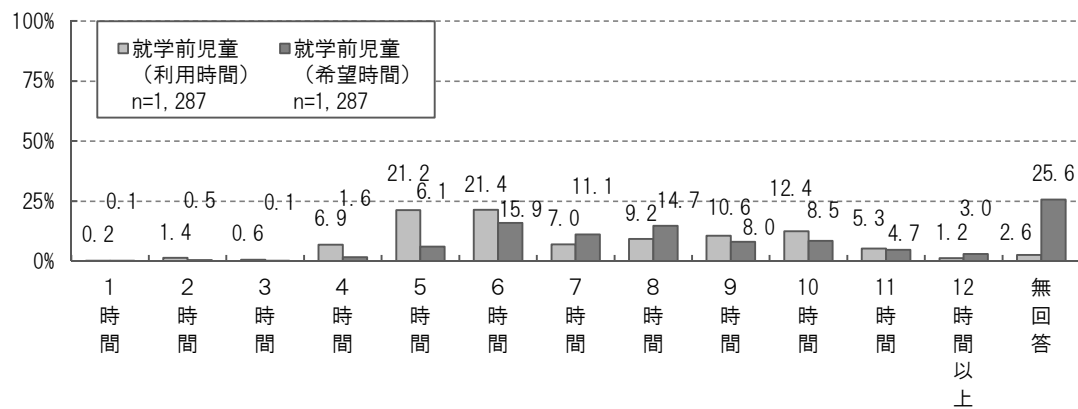
○定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数については、利用・希望ともに「5日」が最も高く、利用84.4%・希望62.7%となっている。

○利用時間と希望時間についてみると、いずれも「6時間」が最も高く、利用21.4%・希望15.9%となっている。

問19-2-1・19-2-2 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり） 就

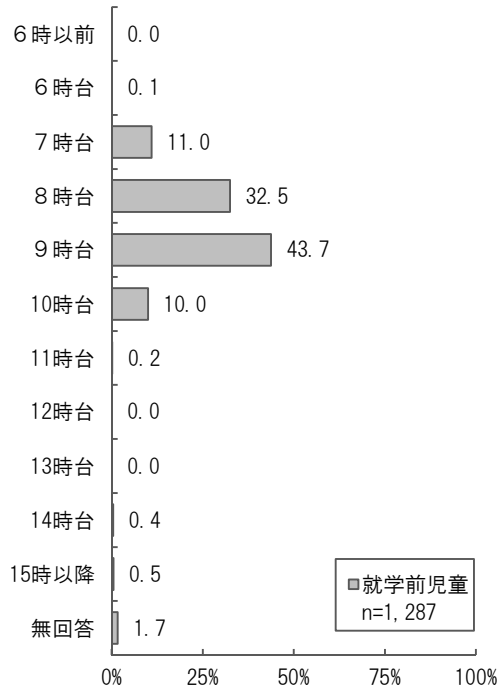


問19-2-1・19-2-2 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり） 就

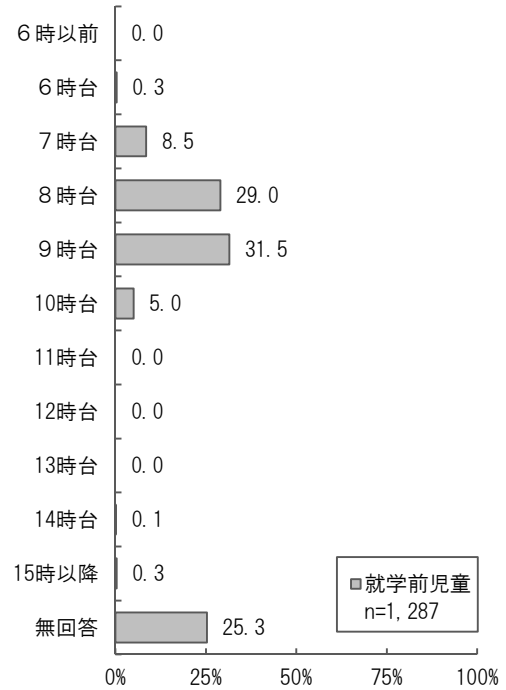


- 利用開始時間・希望開始時間ともに「8時台」「9時台」が高くなっている。
- 利用終了時間は、「14時台」から「18時台」が高く、希望終了時間は「15時台」から「18時台」が高くなっている。

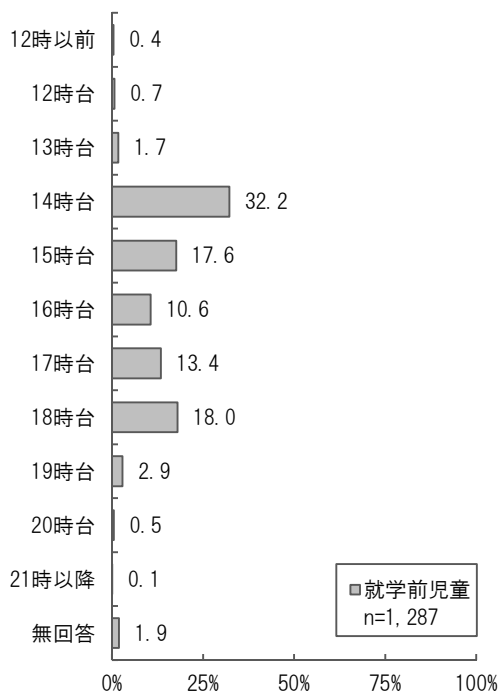
問19-2-1 利用開始時間 就



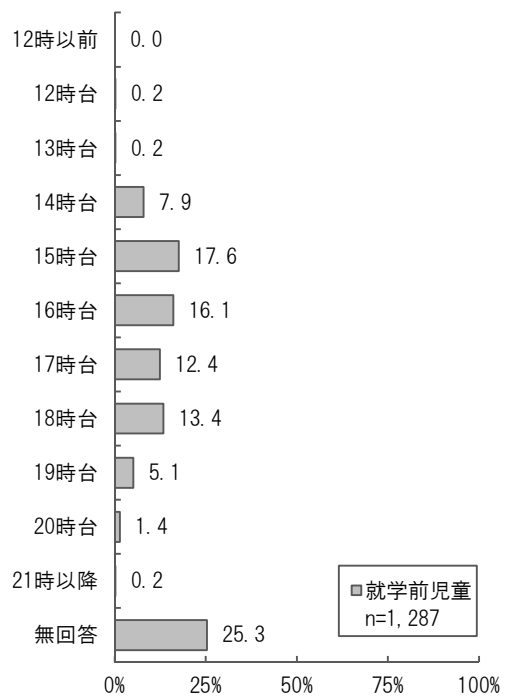
問19-2-2 希望開始時間 就



問19-2-1 利用終了時間 就

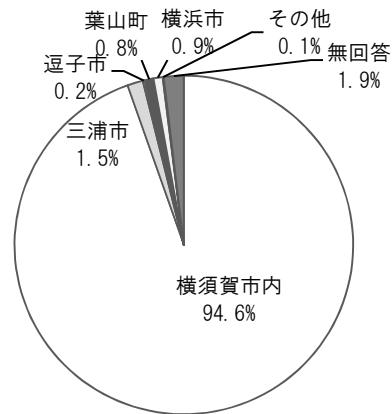


問19-2-2 希望終了時間 就



○現在利用している教育・保育事業の実施場所については、「横須賀市内」が94.6%となっている。

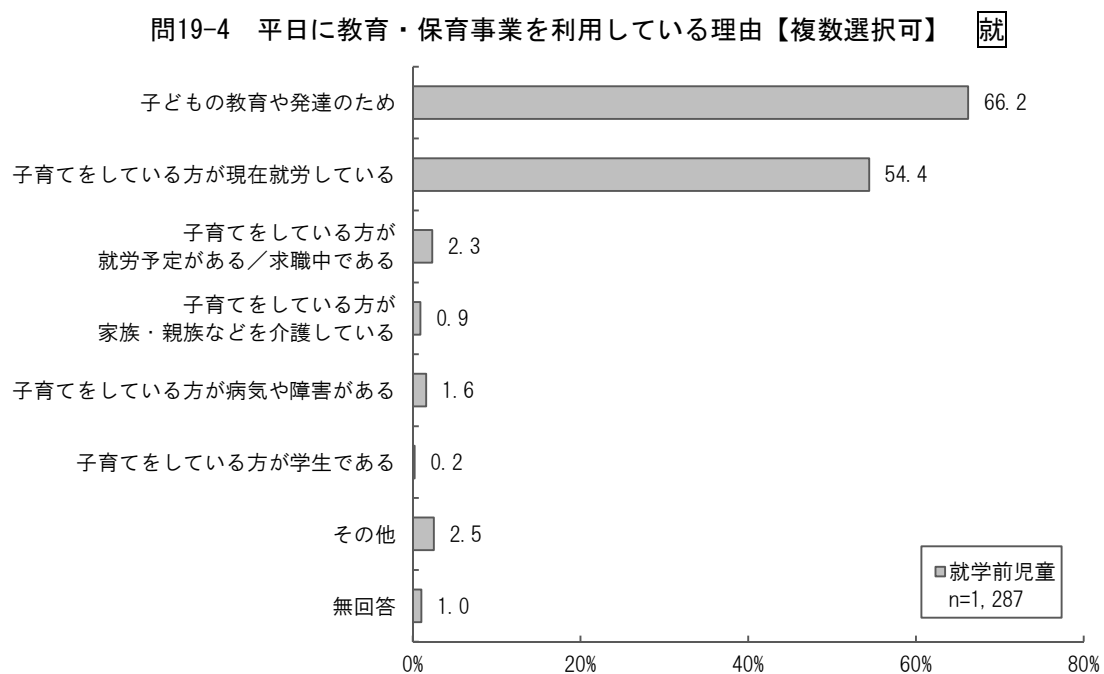
問19-3 教育・保育事業の実施場所 就



就学前児童  
n=1,287

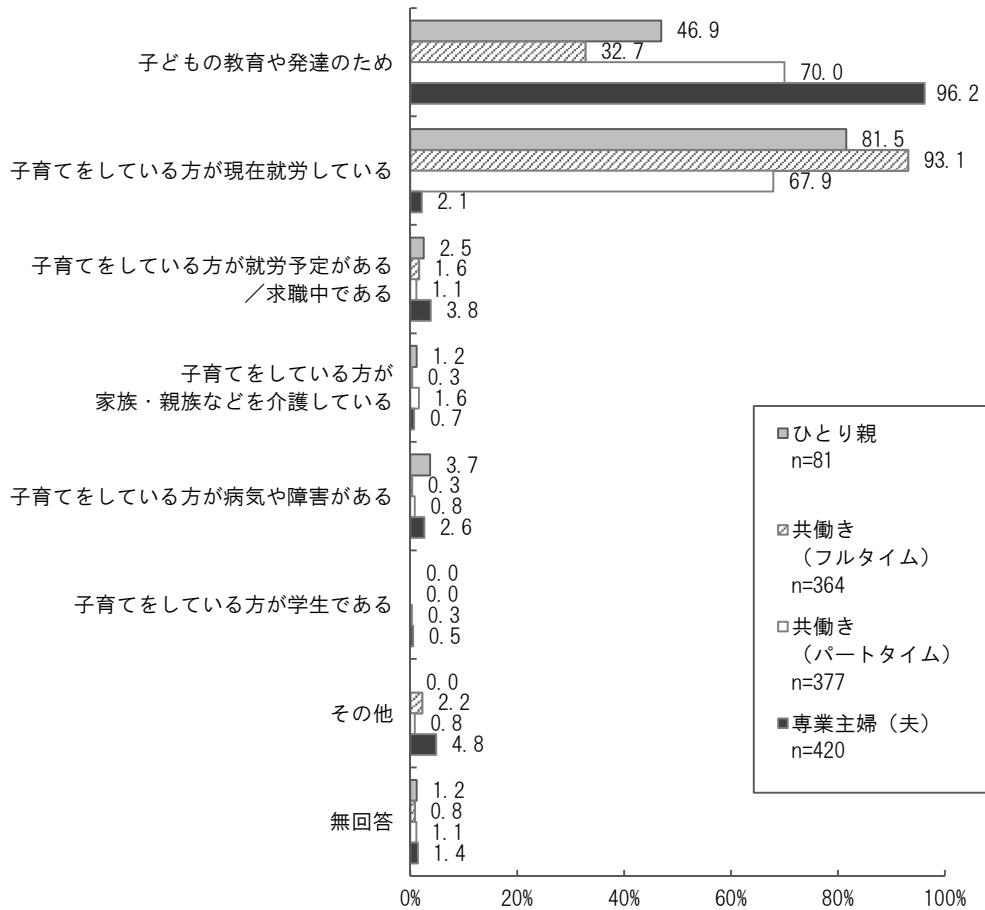
## (2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由

○平日に教育・保育事業を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」が66.2%と最も高く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」が54.4%となっている。



○家庭類型別にみると、共働き（フルタイム）では「子どもの教育や発達のため」が他の家庭類型よりも約14～64ポイント低くなっている。

問19-4 平日に教育・保育事業を利用している理由（家庭類型別）【複数選択可】 就



問19-4 平日に教育・保育事業を利用している理由（年齢別）【複数選択可】 就

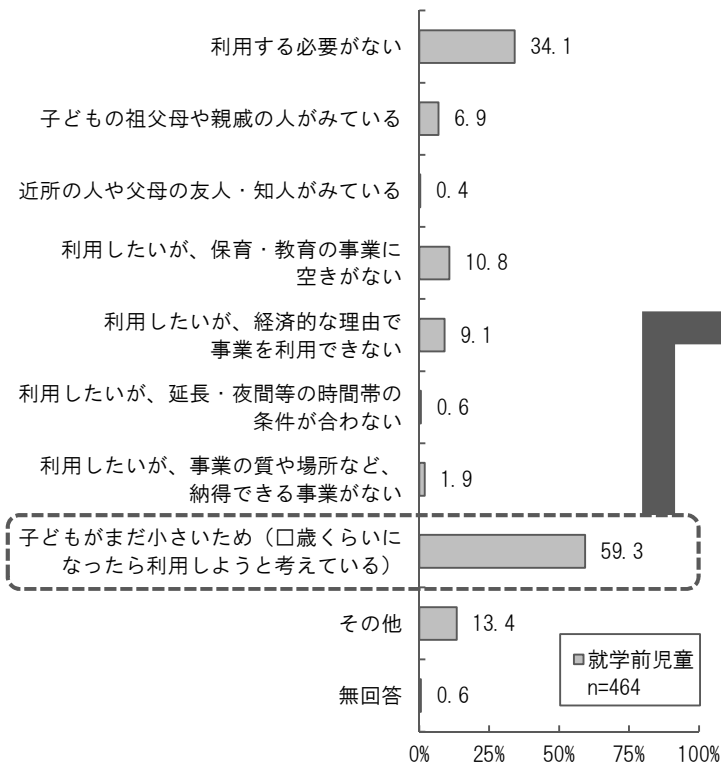
単位：%

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	全体
就 学 前 児 童	サンプル数(人)	66	105	203	286	310	302	1,287
	子どもの教育や発達のため	31.8	33.3	58.6	74.1	75.8	73.2	66.2
	子育てをしている方が現在就労している	92.4	85.7	58.6	44.1	45.2	51.0	54.4
	子育てをしている方の就労予定がある／求職中である	1.5	1.0	3.9	2.1	2.3	2.0	2.3
	子育てをしている方が家族・親族などを介護している	0.0	1.9	1.5	0.7	0.6	1.0	0.9
	子育てをしている方が病気や障害がある	1.5	2.9	3.0	2.4	0.0	1.0	1.6
	子育てをしている方が学生である	0.0	1.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.2
	その他	1.5	5.7	7.4	1.0	1.0	1.3	2.5
	無回答	0.0	0.0	0.0	2.1	1.6	0.7	1.0

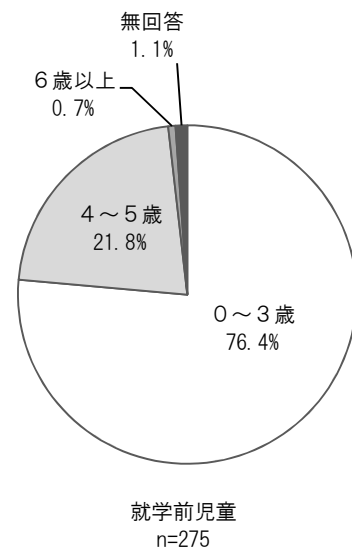
○利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」が59.3%と最も高く、次いで、「利用する必要がない」が34.1%となっている。

○「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」と回答した方が、教育・保育事業の利用を希望する子供の年齢は、「0～3歳」が76.4%となっている。

問19-5 教育・保育事業を利用していない理由【複数選択可】 就

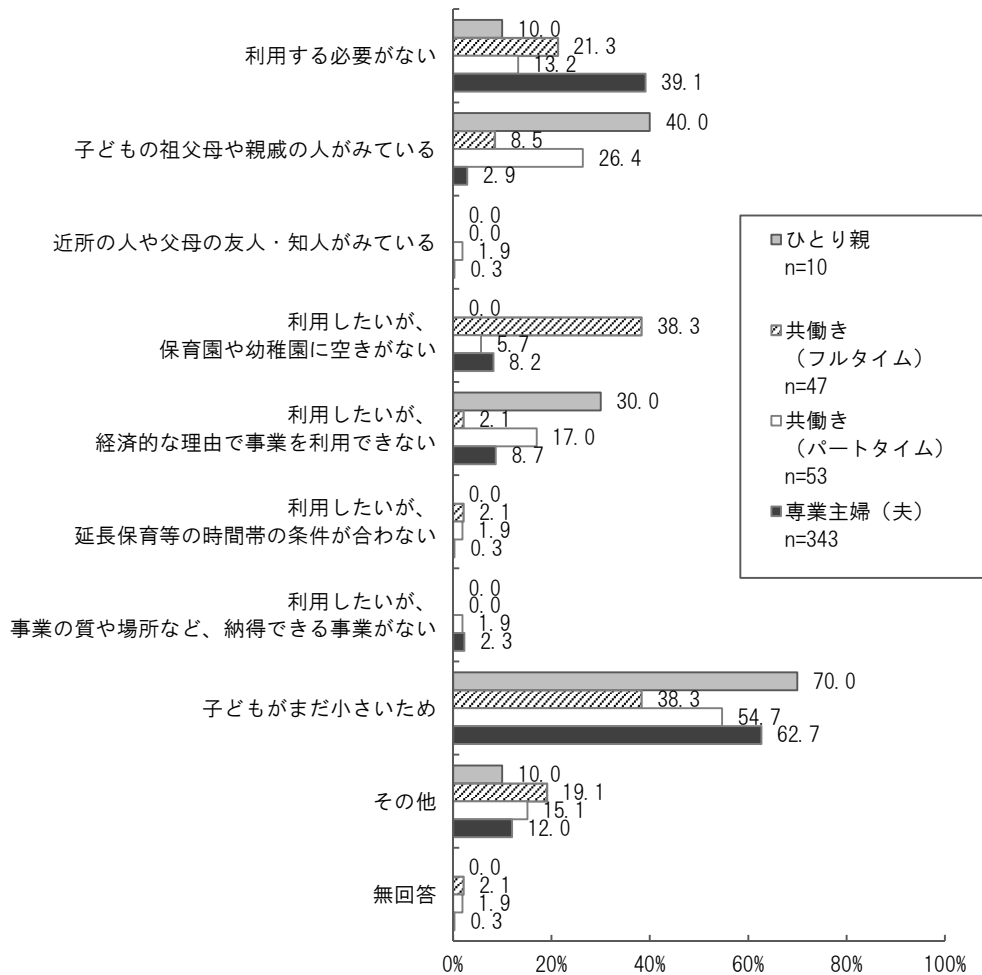


問19-5.8 利用を希望する子どもの年齢



○家庭類型別にみると、ひとり親では「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」が他の家庭類型よりも約13~28ポイント高く、また、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が他の家庭類型よりも約14~37ポイント高くなっている。

問19-5 教育・保育事業を利用していない理由（家庭類型別）【複数選択可】 就





問19-5 教育・保育事業を利用していない理由（行政センター別）【複数選択可】 就

単位：％

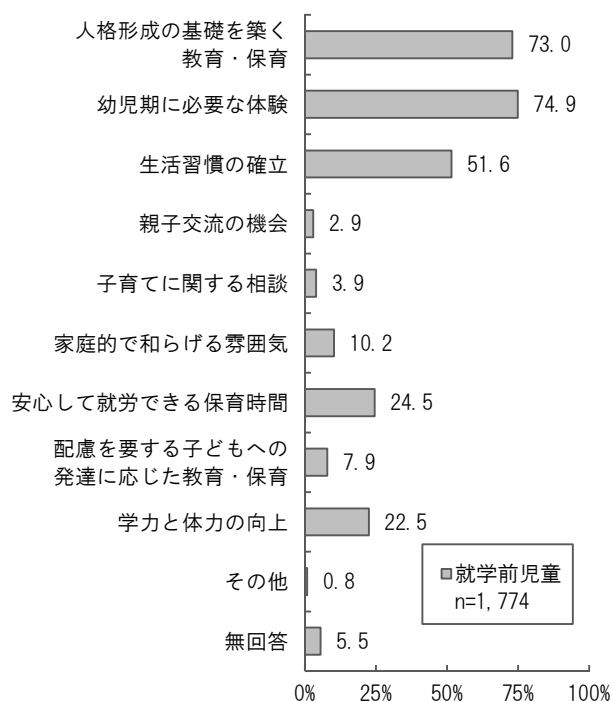
		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
就学前児童	サンプル数(人)	49	47	8	4	79	45	43	69	39	42	464
	利用する必要がない	30.6	34.0	62.5	25.0	29.1	40.0	44.2	40.6	33.3	21.4	34.1
	子どもの祖父母や親戚の人がみている	10.2	4.3	12.5	0.0	10.1	6.7	7.0	2.9	2.6	4.8	6.9
	近所の人や父母の友人・知人がみている	2.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
	利用したいが、保育園や幼稚園に空きがない	10.2	17.0	0.0	0.0	13.9	4.4	7.0	7.2	12.8	7.1	10.8
	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	10.2	4.3	0.0	50.0	11.4	4.4	4.7	13.0	2.6	11.9	9.1
	利用したいが、延長保育等の時間帯の条件が合わない	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.6
	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	0.0	4.3	0.0	0.0	1.3	2.2	0.0	1.4	2.6	4.8	1.9
	子どもがまだ小さいため	53.1	70.2	62.5	50.0	55.7	48.9	58.1	63.8	61.5	61.9	59.3
	その他	16.3	12.8	0.0	0.0	15.2	15.6	7.0	13.0	12.8	19.0	13.4
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.6	0.0	0.6

### (3) 定期的な教育・保育事業として望むもの

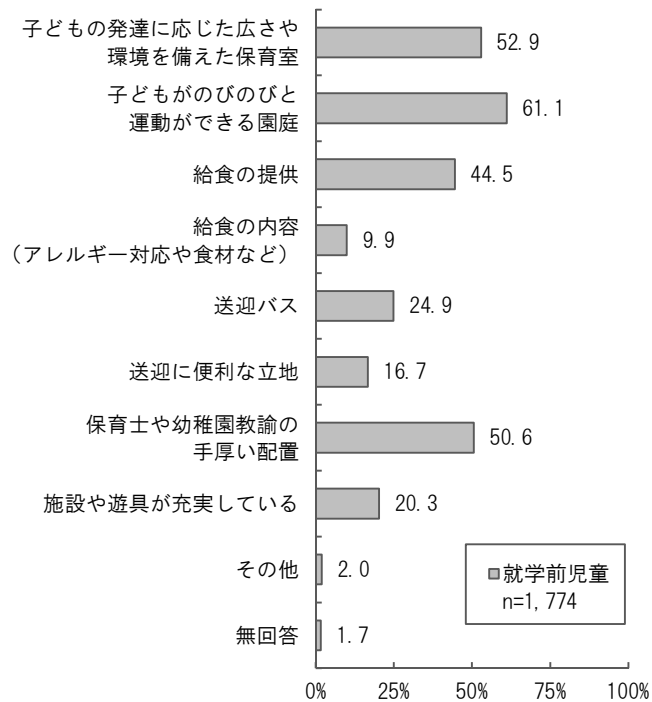
○定期的な教育・保育事業として望むものについては、「幼児期に必要な体験」が74.9%と最も高く、次いで「人格形成の基礎を築く教育・保育」が73.0%となっている。

○定期的な教育・保育事業として望む環境・設備については、「子どもがのびのびと運動ができる園庭」が61.1%と最も高く、次いで「子どもの発達に応じた広さや環境を備えた保育室」が52.9%となっている。

問21 定期的な教育・保育事業として望むもの  
【3つまで選択可】  就



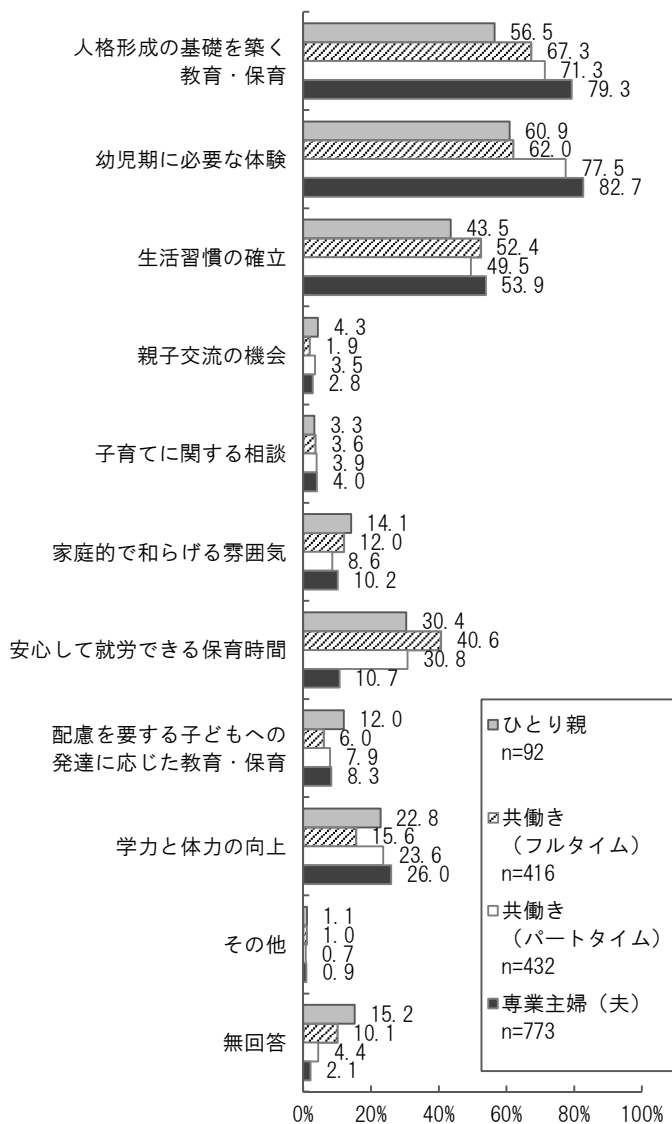
問22 定期的な教育・保育事業として望む環境・設備  
【3つまで選択可】  就



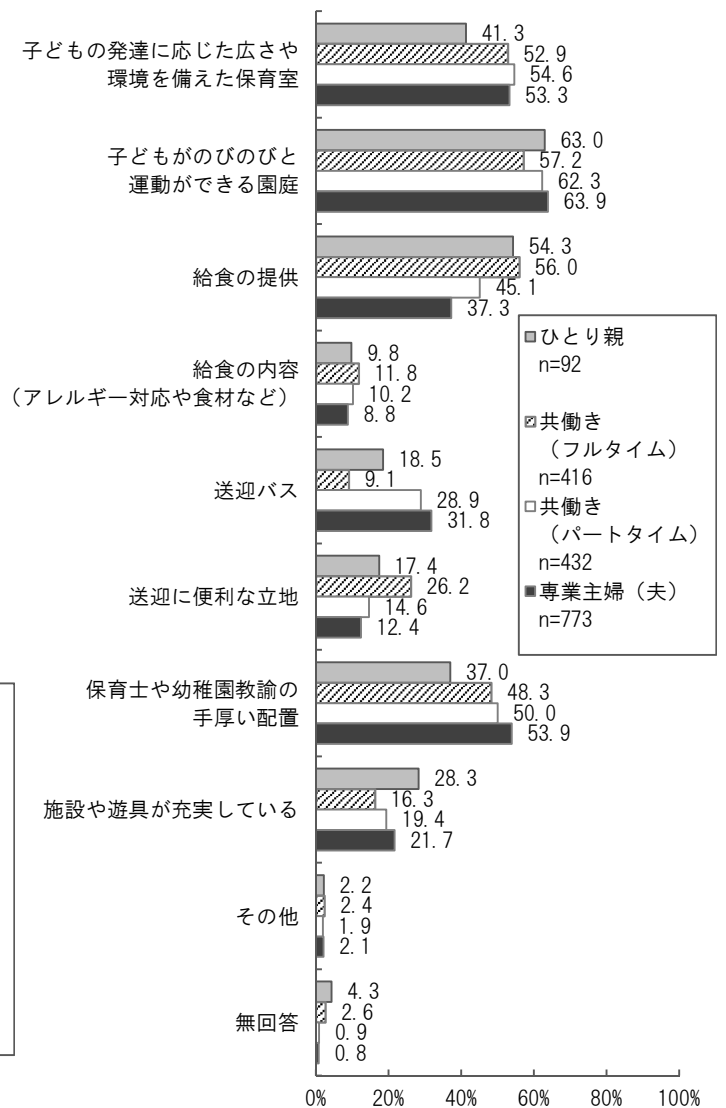
○定期的な教育・保育事業として望むものについて家庭類型別にみると、専業主婦(夫)では「人格形成の基礎を築く教育・保育」が他の家庭類型よりも約8~23ポイント高くなっている。

○定期的な教育・保育事業として望む環境・設備について家庭類型別にみると、共働き(フルタイム)では「送迎に便利な立地」が他の家庭類型よりも約9~14ポイント高くなっている。

問21 定期的な教育・保育事業として望むもの(家庭類型別)【3つまで選択可】  就



問22 定期的な教育・保育事業として望む環境・設備(家庭類型別)【3つまで選択可】  就



問21 定期的な教育・保育事業として望むもの（年齢別）【3つまで選択可】 就

単位：％

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	全体
就学前児童	サンプル数(人)	248	275	301	310	312	305	1,774
	人格形成の基礎を築く教育・保育	72.6	69.8	72.8	77.4	73.7	72.5	73.0
	幼児期に必要な体験	75.8	71.3	73.4	80.3	76.0	72.5	74.9
	生活習慣の確立	50.4	52.7	54.5	53.2	50.0	49.5	51.6
	親子交流の機会	5.2	2.5	3.7	2.6	2.2	1.6	2.9
	子育てに関する相談	3.2	6.2	3.3	3.5	3.5	4.3	3.9
	家庭的で和らげる雰囲気	11.7	14.2	9.3	10.6	8.3	8.5	10.2
	安心して就労できる保育時間	25.0	22.2	23.9	22.6	26.3	26.9	24.5
	配慮を要する子どもへの発達に応じた教育・保育	9.7	8.0	5.6	6.5	7.4	10.8	7.9
	学力と体力の向上	20.2	22.5	22.9	22.6	24.4	21.6	22.5
	その他	0.8	0.7	1.0	0.6	0.6	1.0	0.8
	無回答	4.8	5.8	5.0	3.5	6.1	6.6	5.5

問22 定期的な教育・保育事業として望む環境・設備（年齢別）【3つまで選択可】 就

単位：％

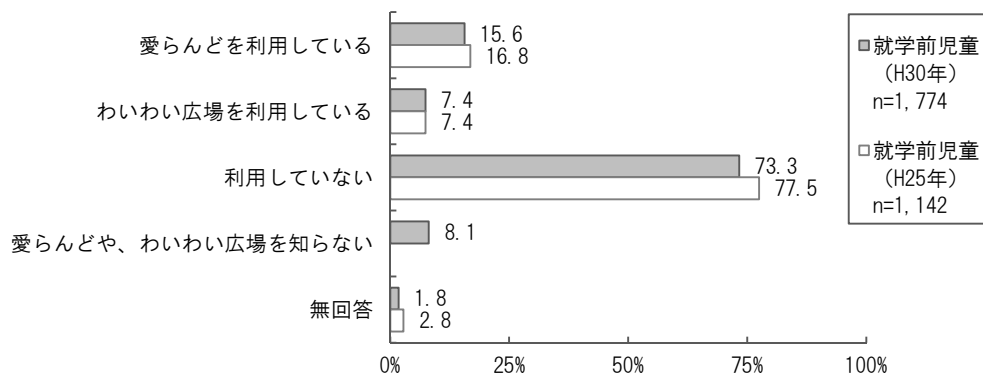
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	全体
就学前児童	サンプル数(人)	248	275	301	310	312	305	1,774
	子どもの発達に応じた広さや環境を備えた保育室	62.1	52.4	51.8	53.2	49.4	51.8	52.9
	子どもがのびのびと運動ができる園庭	59.7	66.2	60.8	57.4	60.6	62.6	61.1
	給食の提供	41.9	47.6	45.8	46.5	42.0	43.0	44.5
	給食の内容（アレルギー対応や食材など）	9.7	9.1	8.0	10.3	9.9	11.1	9.9
	送迎バス	20.6	25.8	22.6	24.5	26.6	28.2	24.9
	送迎に便利な立地	21.8	16.7	14.0	16.8	17.6	14.8	16.7
	保育士や幼稚園教諭の手厚い配置	51.2	46.2	52.2	51.6	50.3	51.1	50.6
	施設や遊具が充実している	17.3	17.5	19.9	24.8	23.7	18.0	20.3
	その他	1.2	2.9	3.0	1.0	1.9	2.3	2.0
	無回答	0.8	1.8	2.7	1.0	1.3	2.0	1.7

## 6 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用希望について

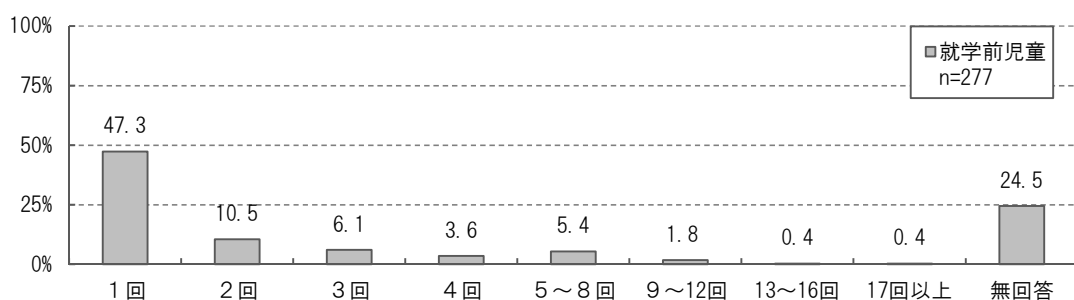
### (1) 愛らんど・わいわい広場の利用状況

- 愛らんど・わいわい広場の利用状況については、「愛らんどを利用している」は15.6%、「わいわい広場を利用している」は7.4%、「利用していない」は73.3%となっている。
- 「愛らんど」利用者の1ヶ月当たりの利用回数については、「1回」が47.3%、「わいわい広場」利用者の1年当たりの利用回数については「1回」が28.2%、「2回」が19.1%、「3回」が18.3%となっている。
- 前回調査と比較すると、愛らんど・わいわい広場ともに、利用状況にあまり差はみられない。

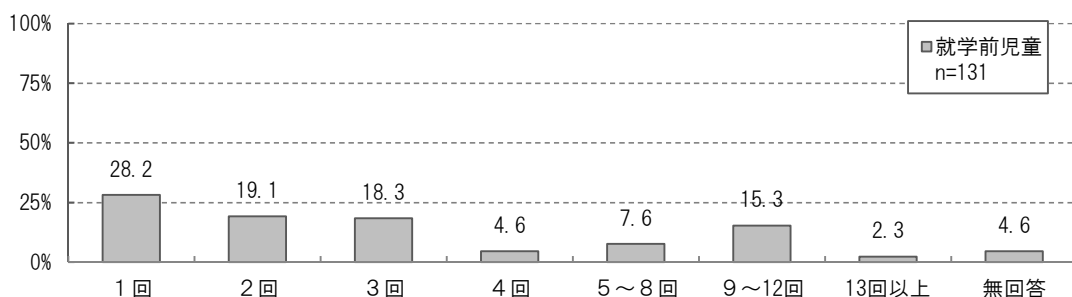
問23 地域子育て支援拠点事業の利用状況【複数選択可】（前回比較） 就



問23.1 愛らんどの利用回数（1ヶ月当たり） 就

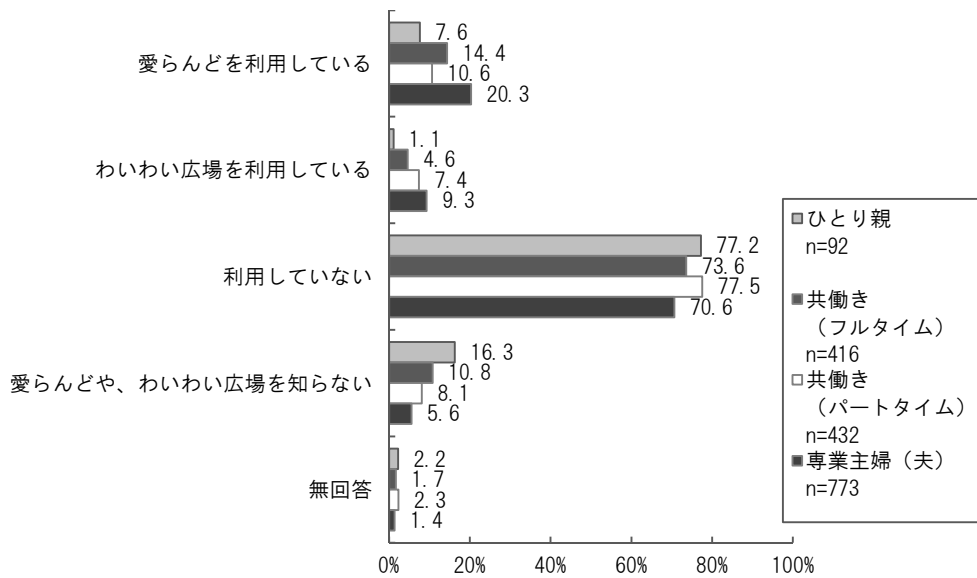


問23.2 わいわい広場の利用回数（1年当たり） 就



○家庭類型別にみると、専業主婦（夫）では「愛らんどを利用している」が他の家庭類型よりも約6～13ポイント高くなっている。

問23 地域子育て支援拠点事業の利用状況（家庭類型別）【複数選択可】 就



問23 地域子育て支援拠点事業の利用状況（年齢別）【複数選択可】 就

単位：％

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	全体
就学前児童	サンプル数(人)	248	275	301	310	312	305	1,774
	愛らんどを利用している	30.2	25.5	19.3	12.6	5.8	4.9	15.6
	わいわい広場を利用している	8.1	13.8	9.6	6.1	2.9	4.9	7.4
	利用していない	55.2	64.0	66.4	79.0	84.9	85.2	73.3
	愛らんどや、わいわい広場を知らない	12.9	3.6	9.0	6.1	9.0	8.5	8.1
	無回答	1.2	3.6	2.7	0.3	1.6	1.0	1.8

問23 地域子育て支援拠点事業の利用状況（行政センター別）【複数選択可】 就

単位：％

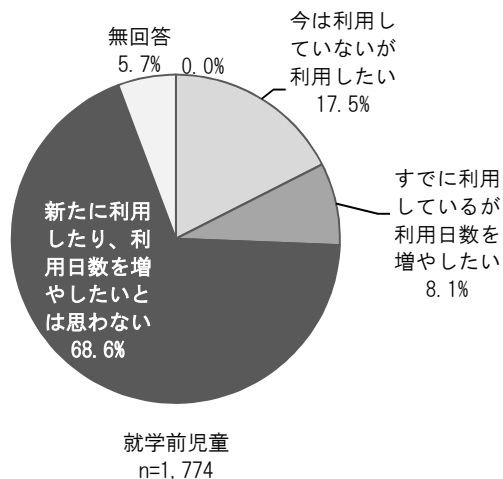
		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
就学前児童	サンプル数(人)	219	172	44	18	284	162	147	265	145	141	1,774
	愛らんどを利用している	16.4	29.7	18.2	11.1	11.3	13.6	14.3	16.2	10.3	19.1	15.6
	わいわい広場を利用している	5.5	2.3	2.3	5.6	9.2	8.6	11.6	5.7	8.3	12.1	7.4
	利用していない	73.5	65.1	79.5	83.3	73.9	74.1	71.4	75.1	78.6	70.2	73.3
	愛らんどや、わいわい広場を知らない	8.2	2.3	0.0	0.0	11.6	9.9	9.5	7.9	8.3	5.7	8.1
	無回答	2.3	1.2	2.3	5.6	1.1	2.5	2.0	0.8	0.7	3.5	1.8

## (2) 今後の利用意向

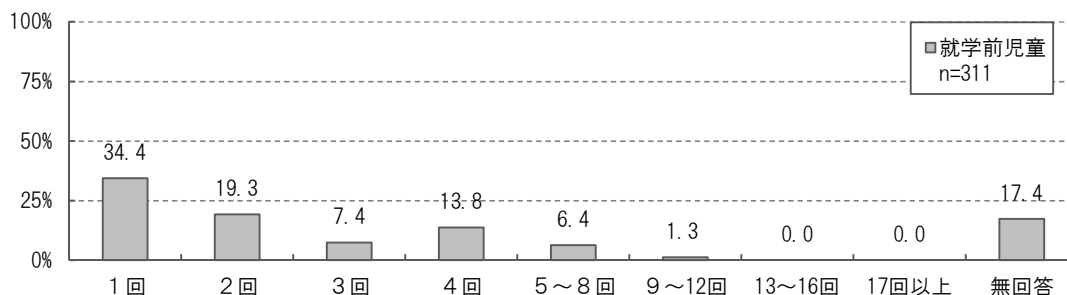
○愛らんど・わいわい広場の今後の利用意向については、「今は利用していないが今後利用したい」は17.5%、「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」は8.1%となっている。一方、約7割が「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」と回答している。

○未利用者の今後の利用希望回数は、「1回」が34.4%、「2回」19.3%となっている。

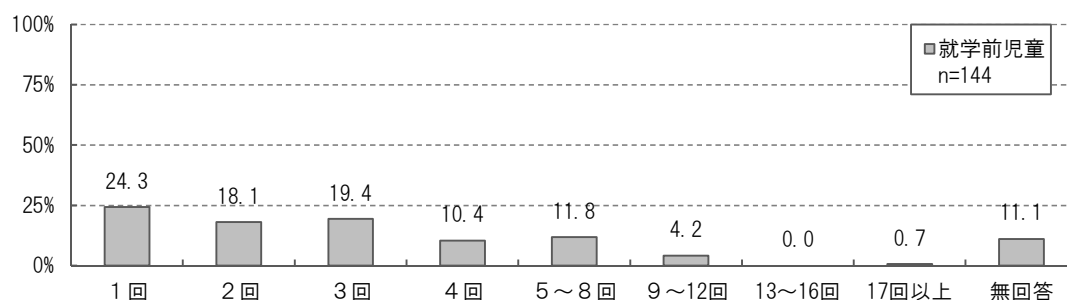
問24 愛らんど・わいわい広場の今後の利用意向 就



問18.1 未利用者の今後の利用希望回数（1ヶ月当たり） 就



問18.2 既利用者の今後増やしたい利用回数（1ヶ月当たり） 就





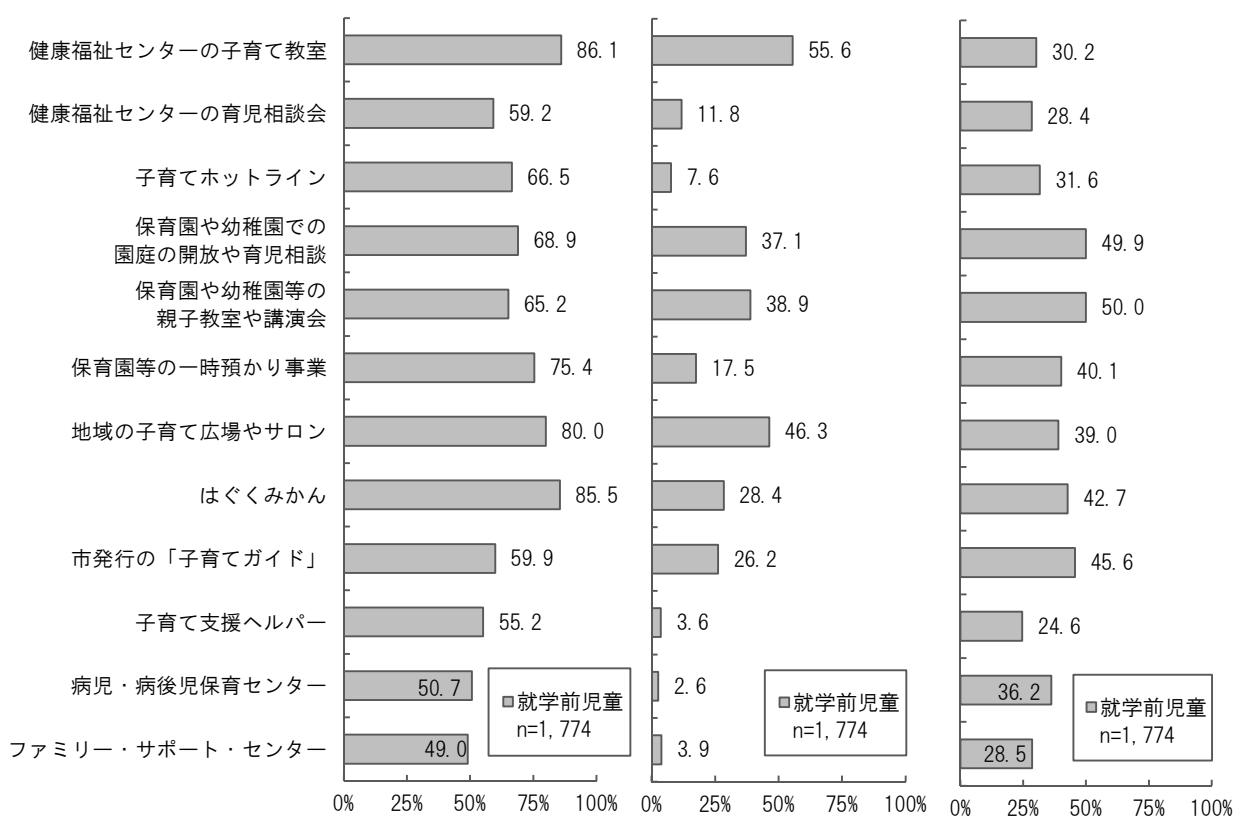
### (3) 子育て支援事業の認知度・利用状況と今後の利用意向

○就学前児童の子育て支援事業の認知度については、「健康福祉センターの子育て教室」が86.1%と最も高く、次いで「はぐくみかん」が85.5%、「地域の子育て広場やサロン」が80.0%となっている一方、「病児・病後児保育センター」が50.7%、「ファミリー・サポート・センター」は49.0%となっている。

○利用したことがある事業については、「健康福祉センターの子育て教室」が55.6%と最も高く、次いで「地域の子育て広場やサロン」が46.3%となっている。

○今後の利用希望については、「保育園や幼稚園等の親子教室や講演会」が50.0%と最も高く、次いで「保育園や幼稚園での園庭の開放や育児相談」が49.9%となっている。

問25 A. 子育て支援事業の認知度  B. 利用したことがある  C. 今後利用したい

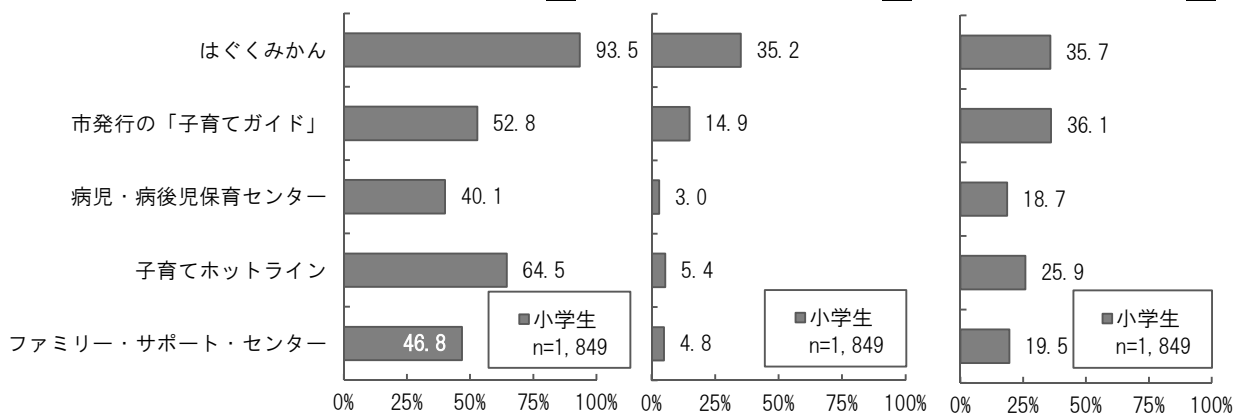


○小学生の子育て支援事業の認知度については、「はぐくみかん」が93.5%と最も高く、次いで「子育てホットライン」が64.5%、「市発行の「子育てガイド」」が52.8%となっている。

○利用したことがある事業については、「はぐくみかん」が35.2%となっているが、「病児・病後児保育センター」「子育てホットライン」「ファミリー・サポート・センター」は、約3～5%となっている。

○今後の利用希望については、「市発行の「子育てガイド」」が36.1%と最も高く、次いで「はぐくみかん」が35.7%となっている。

[問25] A. 子育て支援事業の認知度  B. 利用したことがある  C. 今後利用したい



## 7 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

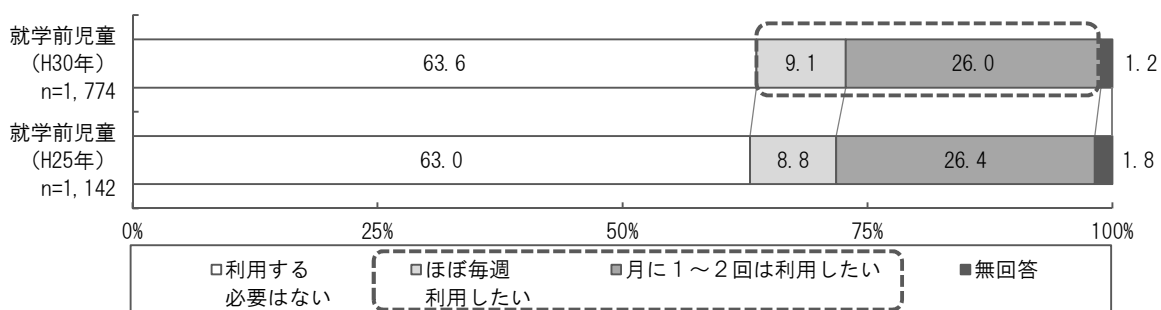
### (1) 土曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

○土曜日の教育・保育事業の利用意向については、「ほぼ毎週利用したい」が9.1%、「月に1～2回は利用したい」が26.0%となっている。

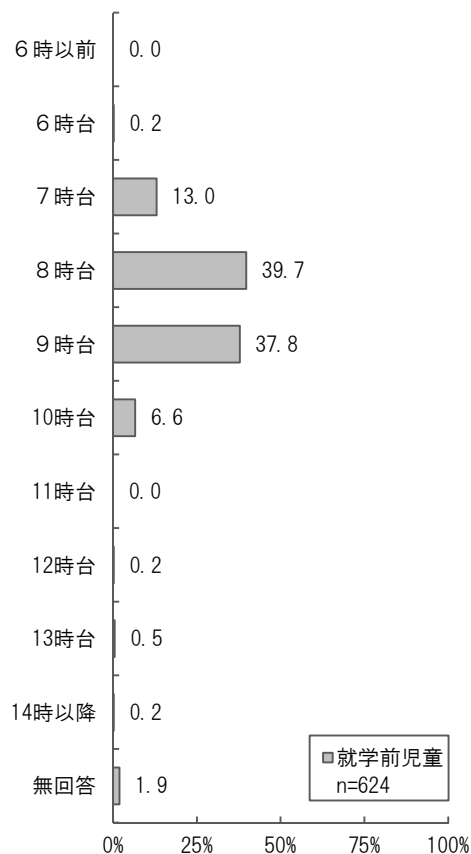
○開始時間については「8時台」が39.7%、「9時台」が37.8%となっており、終了時間は「18時台」が25.0%、「17時台」が21.3%となっている。

○前回調査と比較すると、あまり差はみられない。

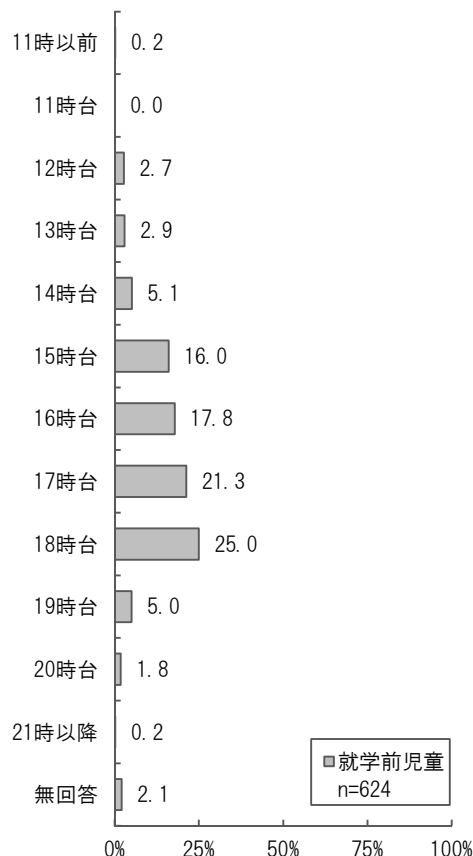
問26-1 土曜日の利用希望 (前回比較) 就



問26-1 希望開始時間 就



問26-1 希望終了時間 就

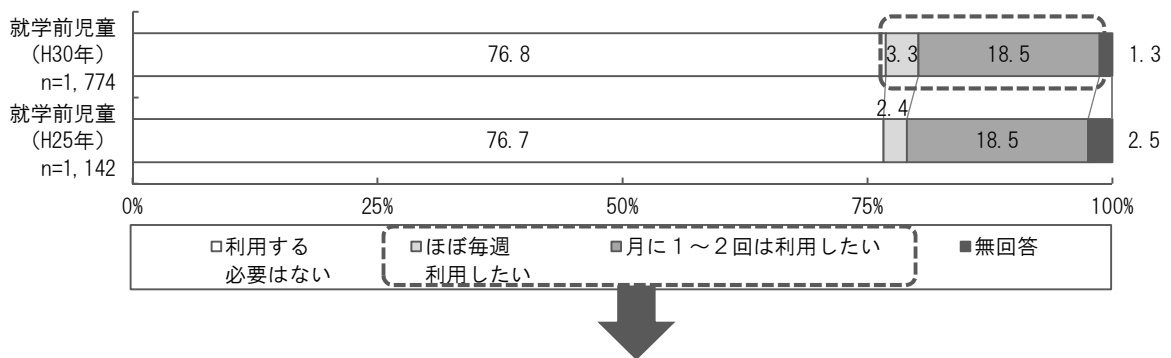


○日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望をみると、「利用する必要はない」が76.8%となっているものの、「ほぼ毎週利用したい」が3.3%、「月に1～2回は利用したい」が18.5%と、あわせて約2割が利用を希望している。

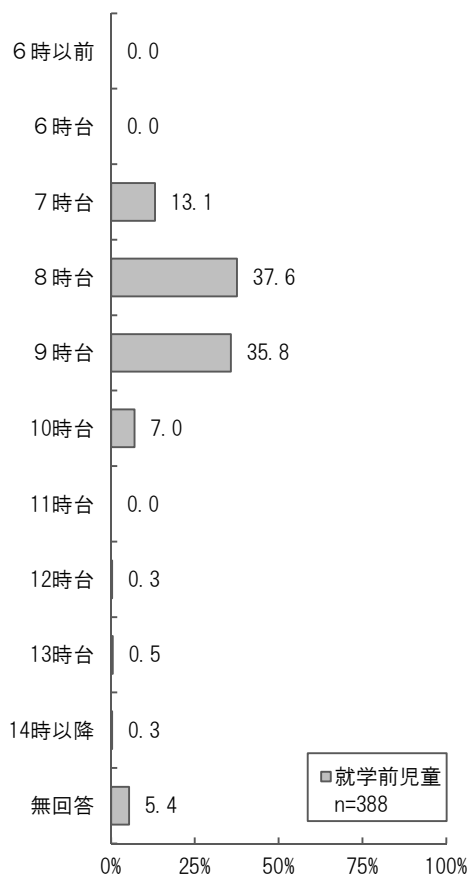
○開始時間については「8時台」が37.6%、「9時台」が35.8%となっており、終了時間は「18時台」が28.1%、「17時台」が22.7%となっている。

○前回調査と比較すると、あまり差はみられない。

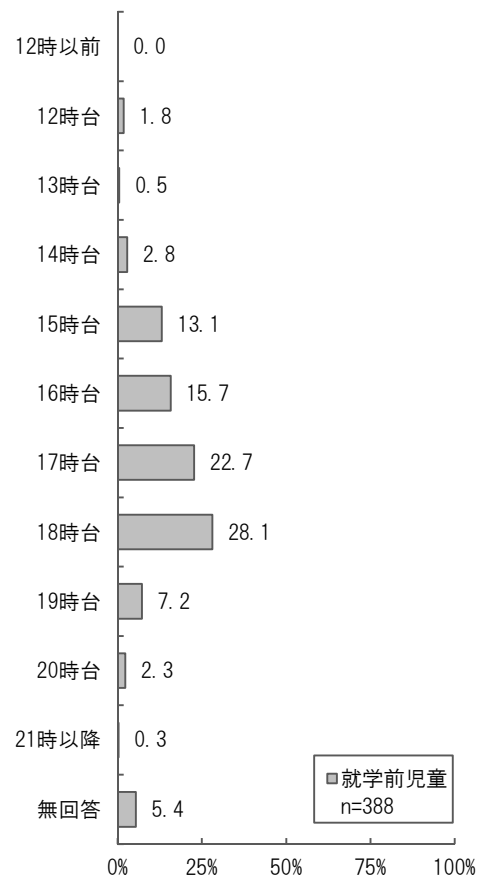
問26-2 日曜・祝日の利用希望（前回比較） 就



問26-2 希望開始時間

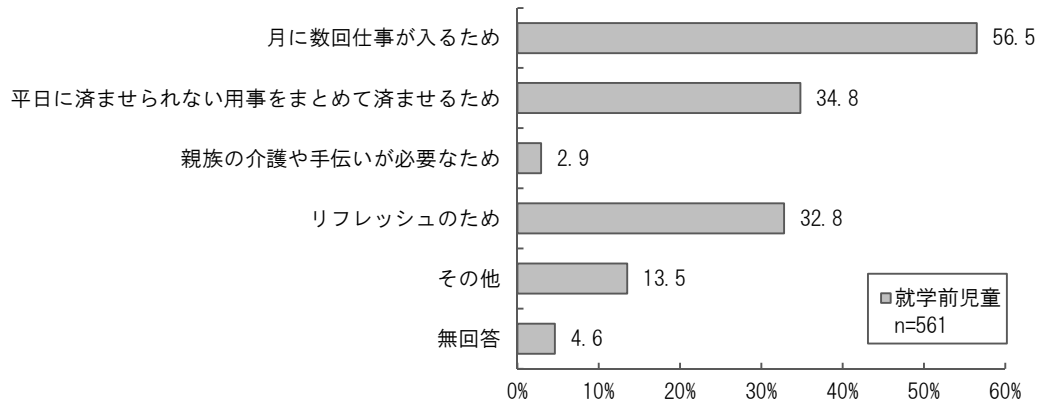


問26-2 希望終了時間



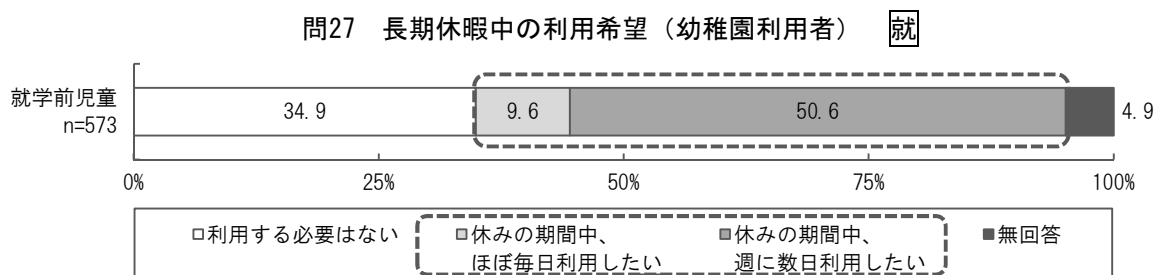
○土曜日、日曜・祝日に「月に1～2回は利用したい」理由については、「月に数回仕事が入るため」が56.5%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が34.8%となっている。

問26-3 毎週ではなく「月に1～2回利用したい」理由【複数選択可】 就

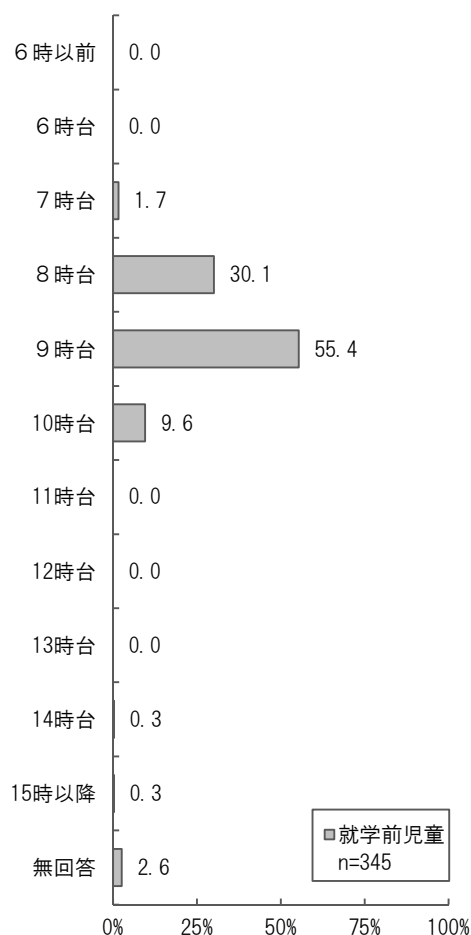


## (2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

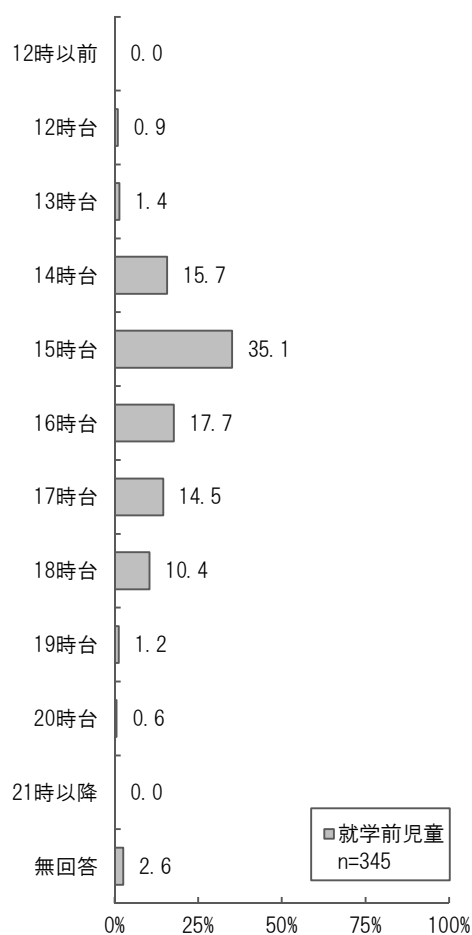
- 長期休暇中の教育・保育事業の利用意向については、「休みの期間中、ほぼ毎週利用したい」が9.6%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が50.6%となっている。
- 開始時間については「9時台」が55.4%、「8時台」が30.1%となっており、終了時間は「15時台」が35.1%、「16時台」が17.7%となっている。



問27 希望開始時間 就

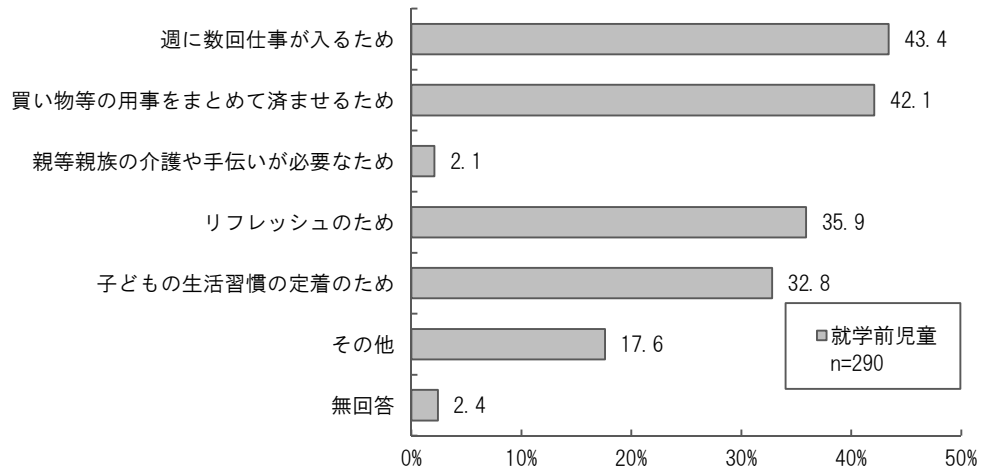


問27 希望終了時間 就



○長期休暇中に「週に数日利用したい」理由については、「週に数回仕事が入るため」が43.4%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が42.1%となっている。

問27-1 「休みの期間中、週に数日利用したい」理由【複数選択可】 就



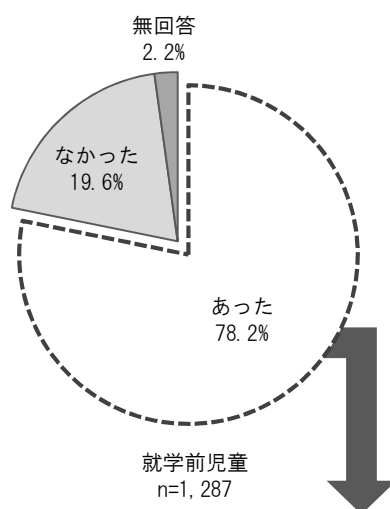
## 8 病児・病後児保育事業の潜在ニーズについて

### (1) 病気やケガで保育所や幼稚園などが利用できない時の対応

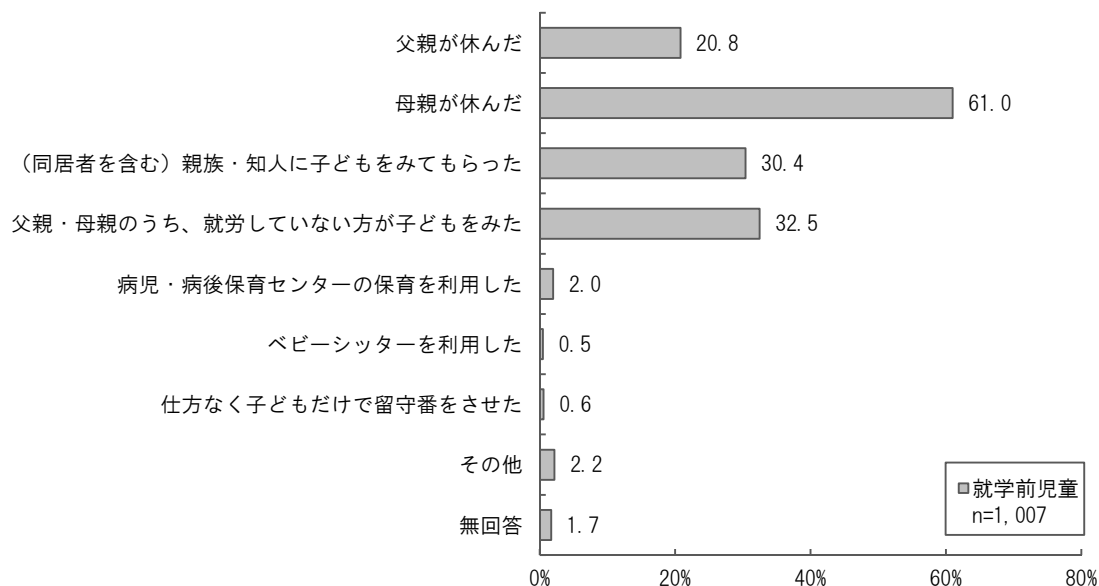
○病気やケガで保育所や幼稚園などが利用できなかったことが「あった」方は78.2%となっている。

○その際の対処方法については、「母親が休んだ」が61.0%と最も高く、次いで「父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた」が32.5%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が30.4%となっている。

問28 病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無 就



問28-1 この1年間の対処方法【複数選択可】 就

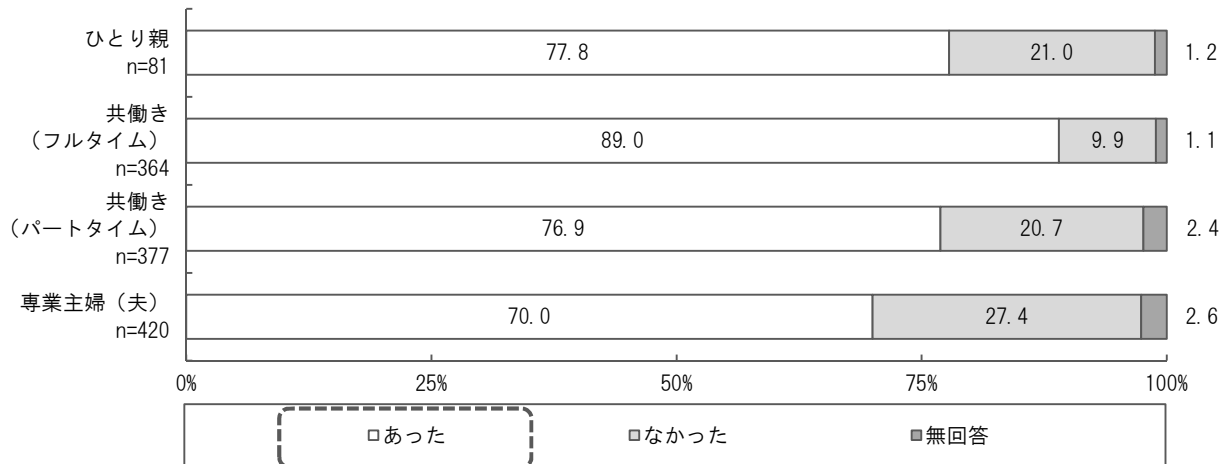




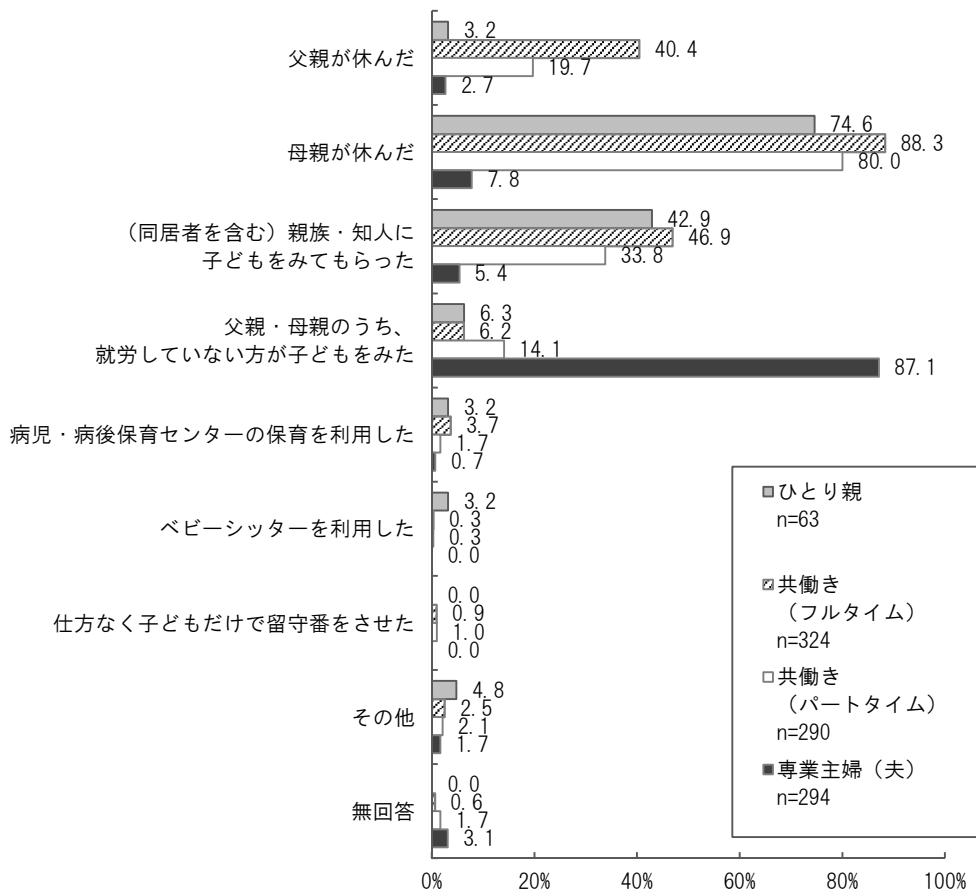
○病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことについて家庭類型別にみると、共働き（フルタイム）では「あった」が他の家庭類型よりも約11～19ポイント高くなっている。

○その対処方法については、共働き（フルタイム）では「父親が休んだ」が他の家庭類型よりも約21～28ポイント高くなっている。

問28 病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無（家庭類型別） 就

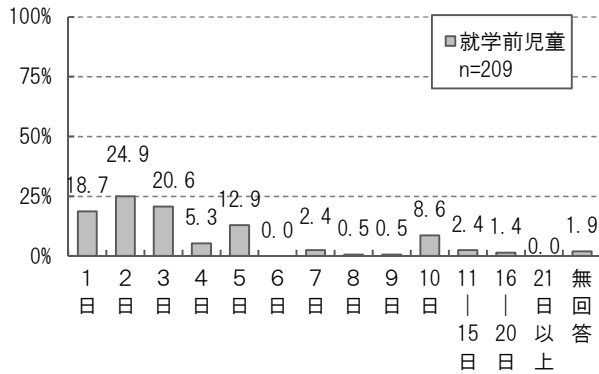


問28-1 この1年間の対処方法（家庭類型別）【複数選択可】 就

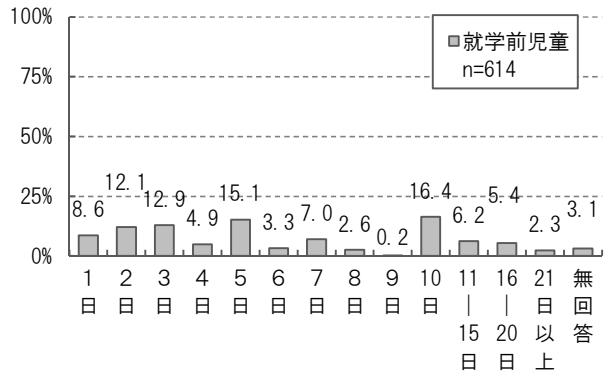


○この1年間の対処方法別の日数については、『父親が休んだ日数』は「2日」が24.9%、「3日」が20.6%となっており、『母親が休んだ日数』は「10日」が16.4%、「5日」が15.1%となっている。

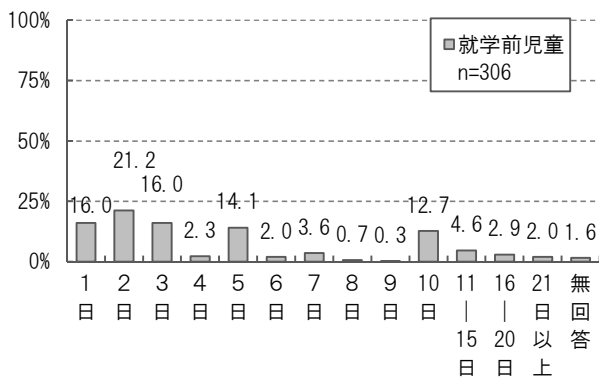
問28-1.1 父親が休んだ日数 就



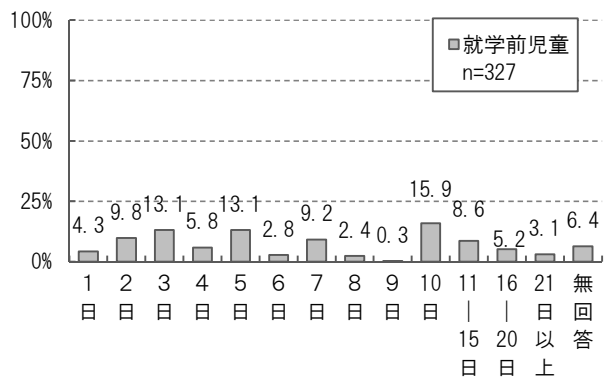
問28-1.2 母親が休んだ日数 就



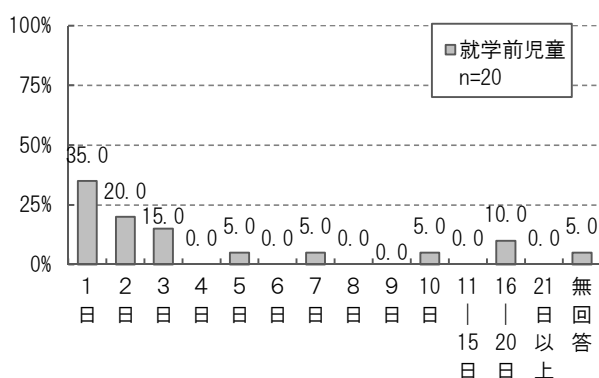
問28-1.3 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数 就



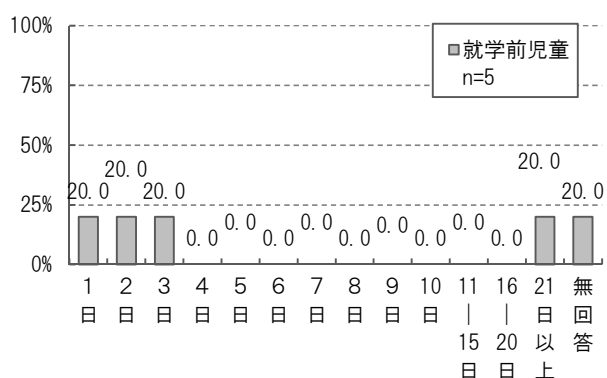
問28-1.4 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた日数 就



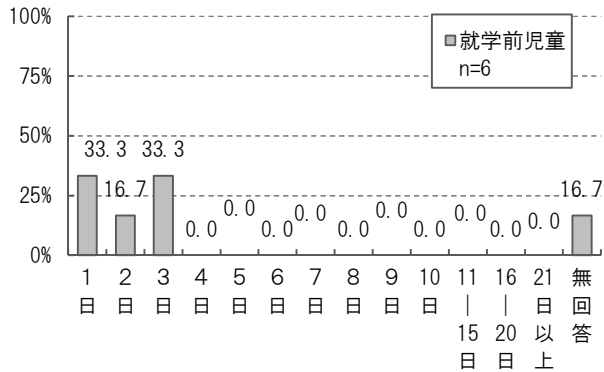
問28-1.5 病児・病後保育センターの保育を利用した日数 就



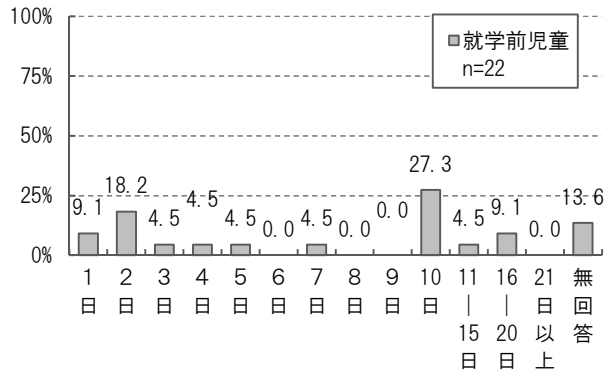
問28-1.6 ベビーシッターを利用した日数 就



問28-1.7 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数 **就**



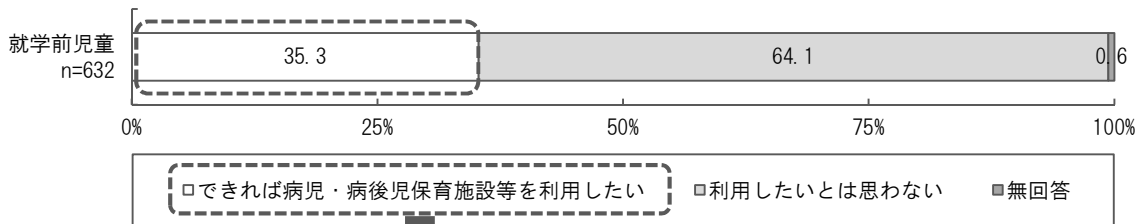
問28-1.8 その他 **就**



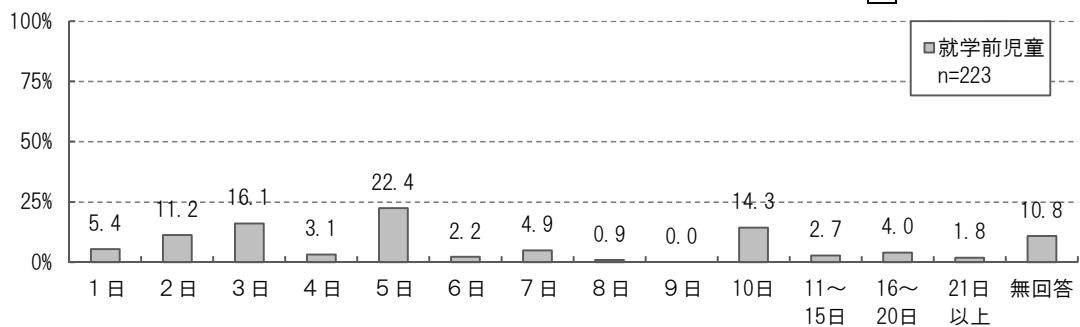
○父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が35.3%となっている。

○その際の年間利用希望日数は、「5日」が22.4%、「3日」が16.1%、「10日」が14.3%となっている。

問28-2 父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向 **就**



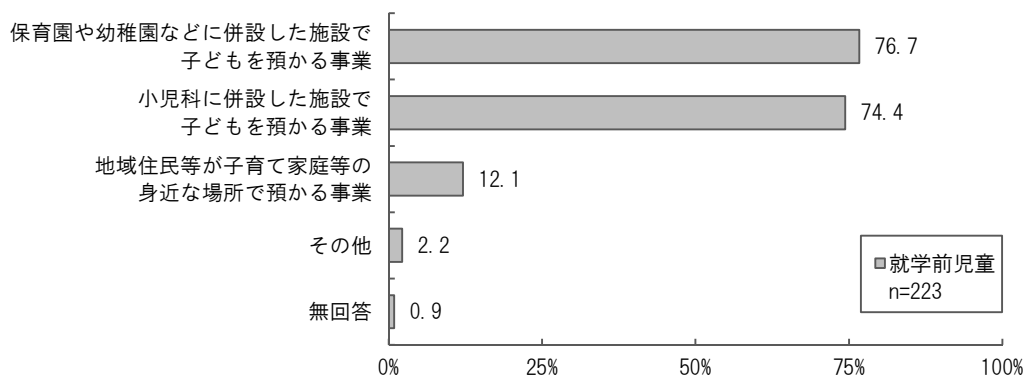
問28-2.2 病児・病後児保育施設の利用希望日数 **就**



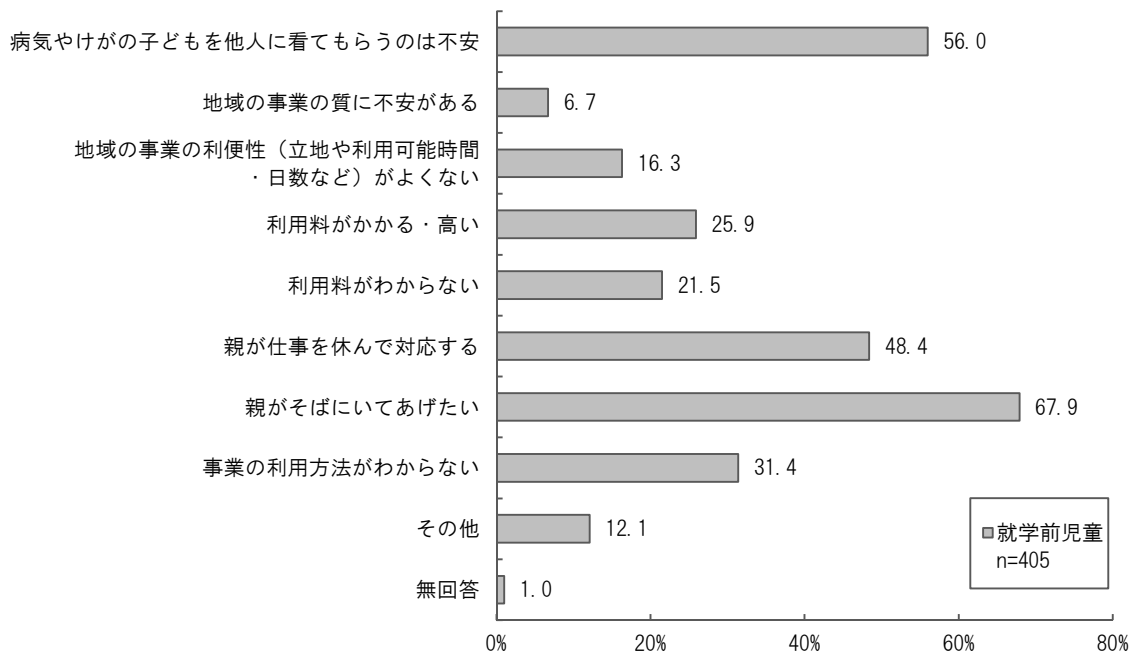
○子どもを預ける場合の望ましい事業形態については、「保育園や幼稚園などに併設した施設で子どもを預かる事業」が76.7%と最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを預かる事業」が74.4%となっている。

○病児・病後児保育施設等の利用を希望しない理由については、「親がそばにいてあげたい」が67.9%と最も高く、次いで「病気やけがの子どもを他人に看てもらうのは不安」が56.0%となっている。

問28-3 子どもを預ける場合の望ましい事業形態【複数選択可】 就



問28-4 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由【複数選択可】 就

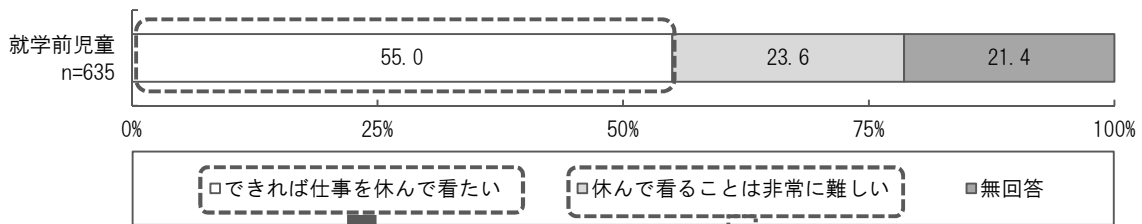


○父母が休む以外の対処方法を選んだ方のうち、「できれば仕事を休んで看たい」が55.0%となっている。

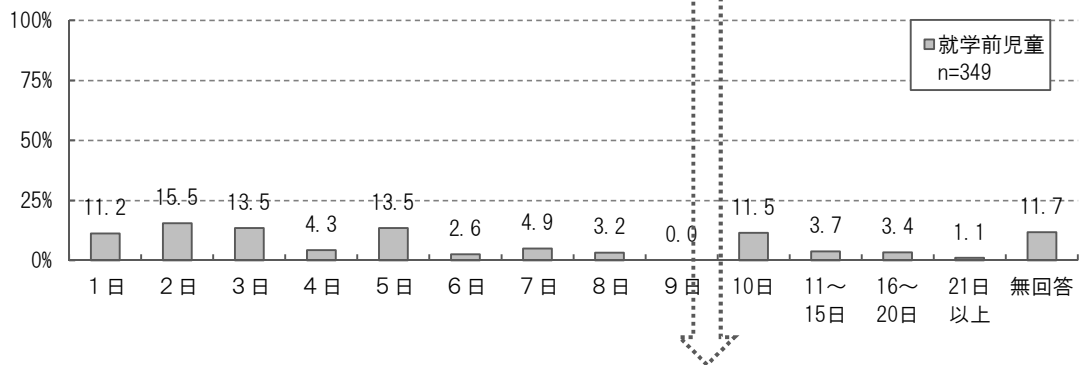
○「できれば仕事を休んで看たい」年間希望日数は、「2日」が15.5%と最も高く、次いで「3日」と「5日」が13.5%となっている。

○「休んで看することは非常に難しい」理由については、「仕事が忙しく休みがとれない」が60.0%となっている。

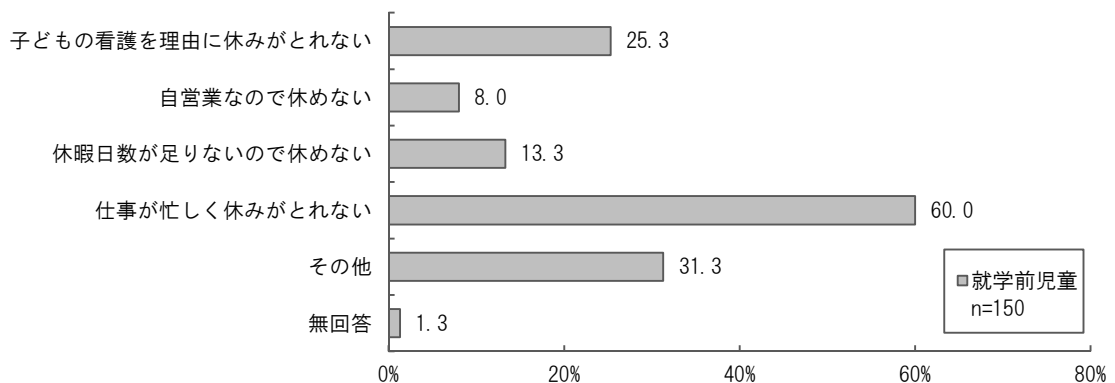
問28-5 父母が休む以外の対処方法を選んだ方のできれば「父母が仕事を休んで看たい」意向 就



問28-5.1 「できれば父母が仕事を休んで看たい」希望日数 就



問28-6 「休んで看することは非常に難しい」理由【複数選択可】 就

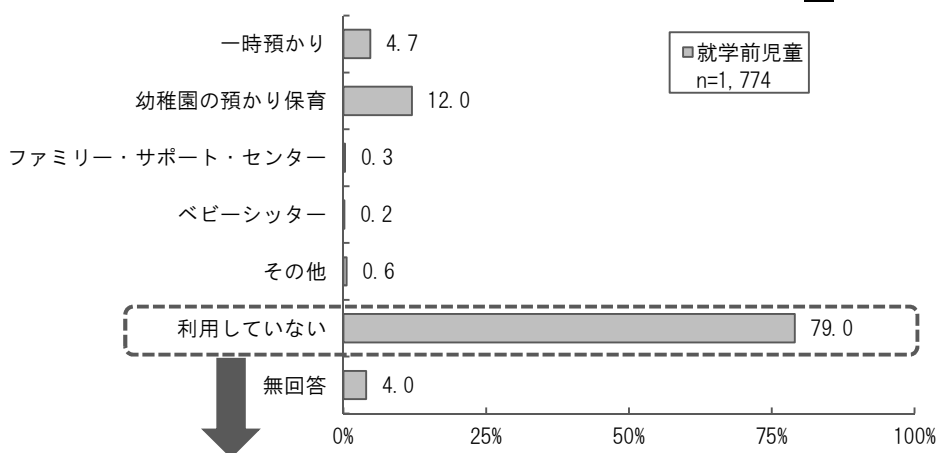


## 9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

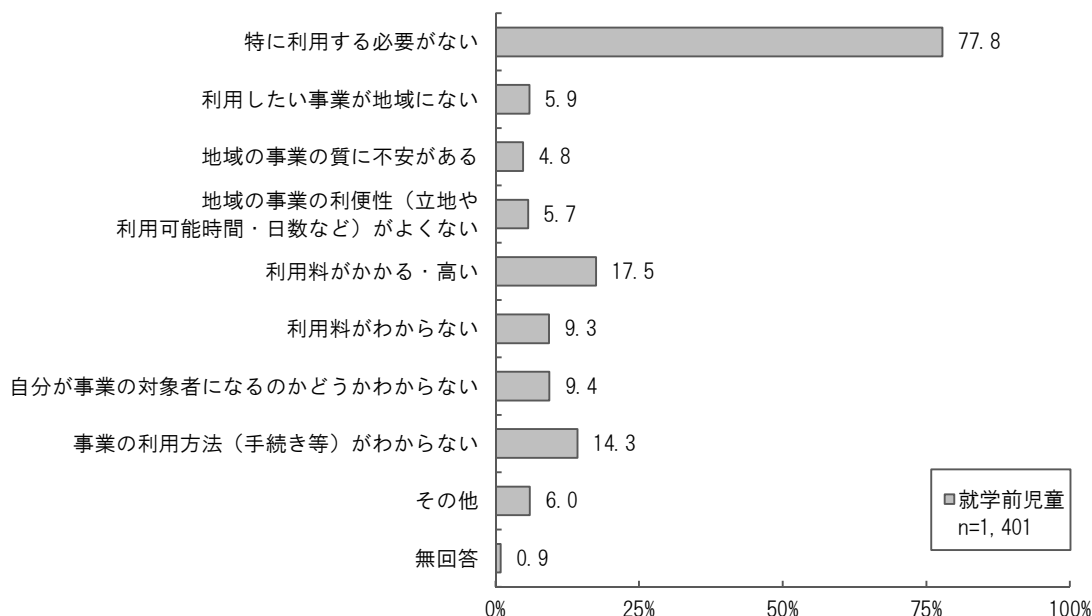
### (1) 不定期に利用している教育・保育事業の状況

- 不定期に利用している教育・保育事業については、「幼稚園の預かり保育」が12.0%、「一時預かり」が4.7%となっているが、「利用していない」が79.0%となっている。
- 「利用していない」理由としては、「特に利用する必要がない」が77.8%となっており、それ以外の理由としては、「利用料がかかる・高い」が17.5%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が14.3%となっている。

問29 不定期に利用している教育・保育事業【複数選択可】 就

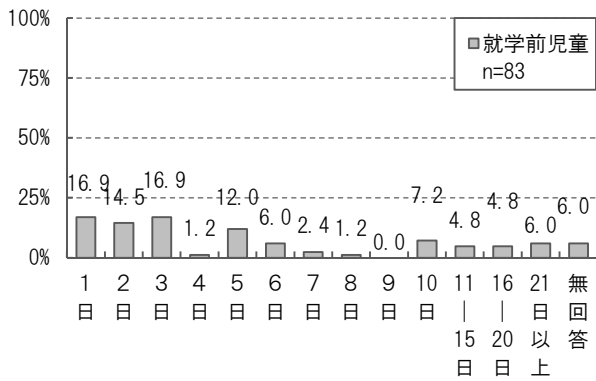


問29-1 現在利用していない理由【複数選択可】 就

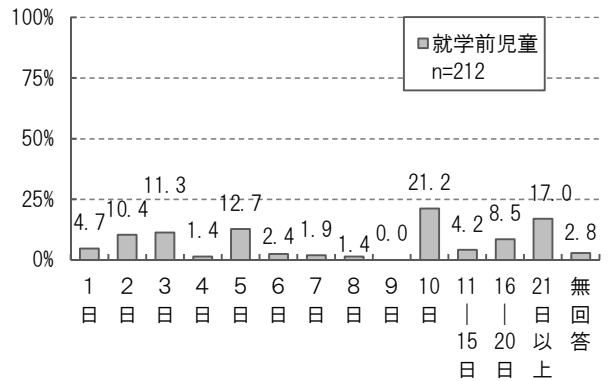


○事業別の年間利用日数は、以下の通り。

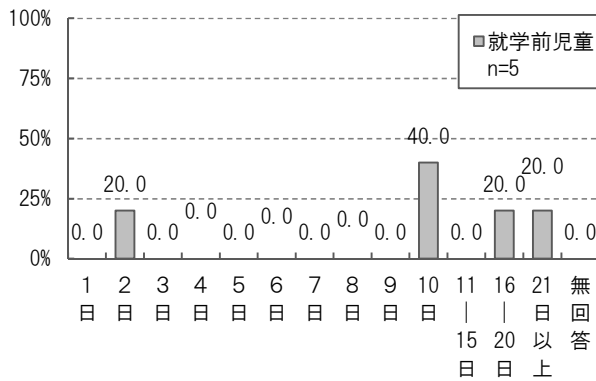
問29.1 「一時預かり」年間利用日数 就



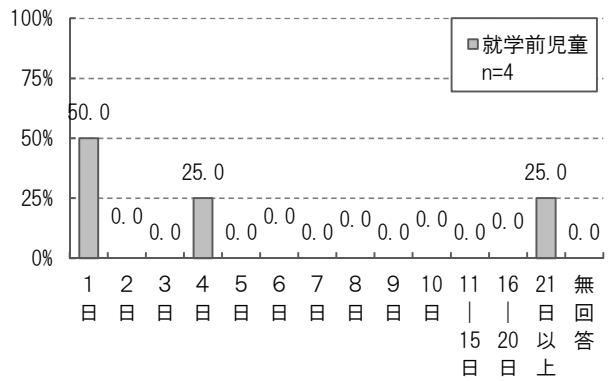
問29.2 「幼稚園の預かり保育」年間利用日数 就



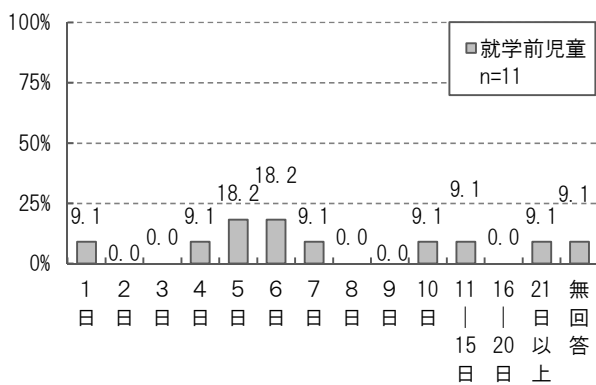
問29.3 「ファミリー・サポート・センター」年間利用日数 就



問29.4 「ベビーシッター」年間利用日数 就



問29.5 「その他」年間利用日数 就

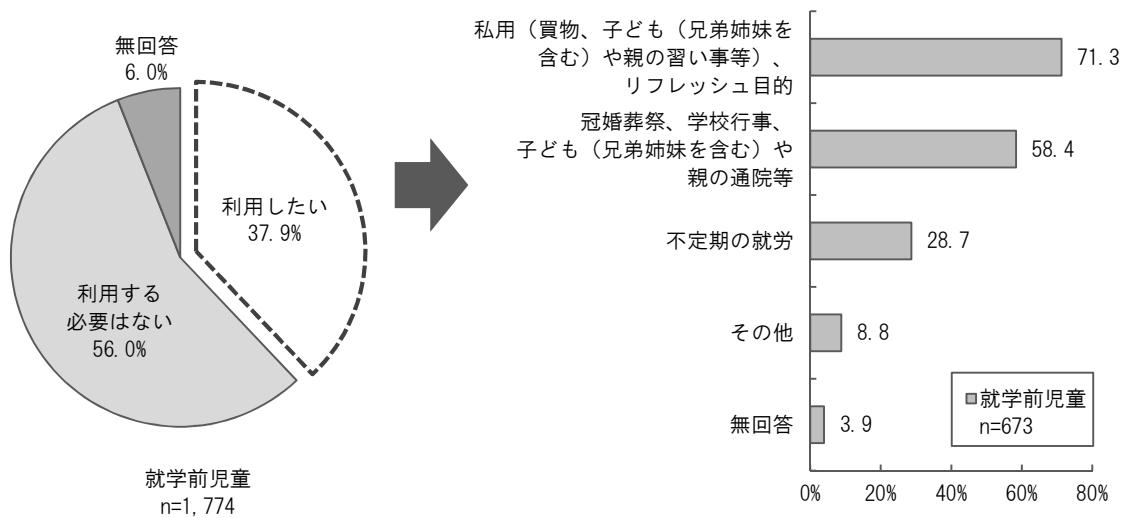


○一時預かり等の事業の利用希望については、「利用する必要はない」が56.0%、「利用したい」が37.9%となっている。

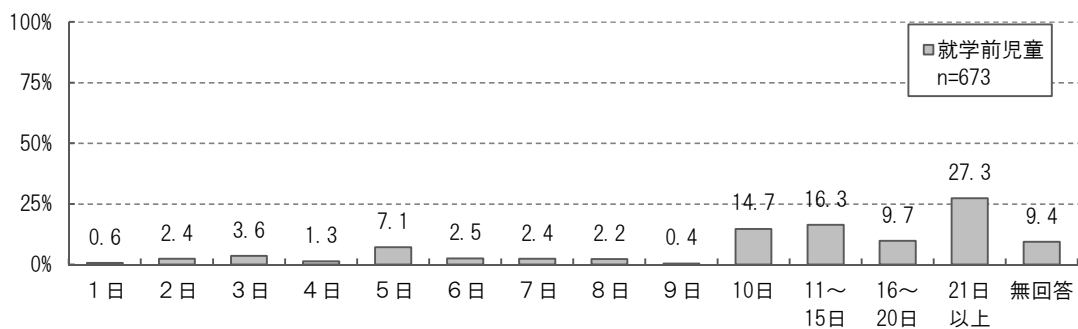
○「利用したい」目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が71.3%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が58.4%、「不定期の就労」が28.7%となっている。

○年間の利用希望日数の合計は、「21日以上」が27.3%と最も高く、次いで「11～15日」が16.3%となっている。

問30 一時預かり等の事業の利用希望とその目的【複数選択可】 就



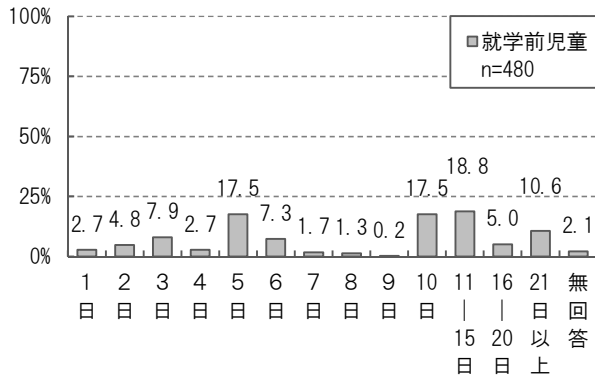
問30.1 一時預かり等の事業の利用希望年間合計日数 就



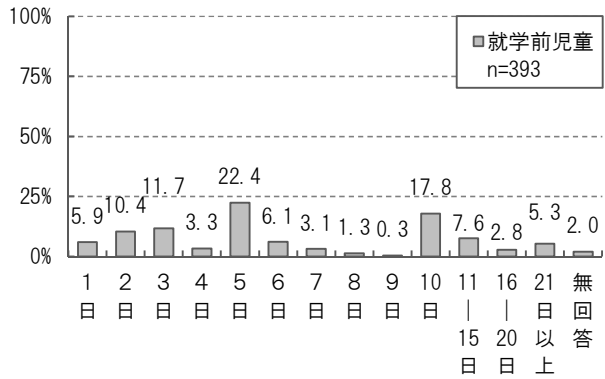


○目的ごとの年間利用希望日数は、『私用、リフレッシュ目的』では「11～15日」が18.8%、『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等』では「5日」が22.4%、『不  
定期の就労』では「21日以上」が26.4%と、最も高くなっている。

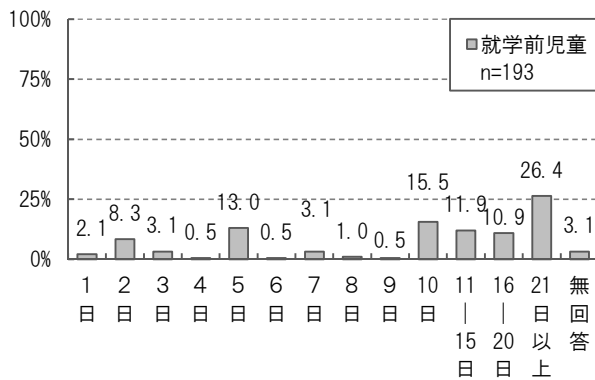
問30.1① 私用、リフレッシュ目的 **就**



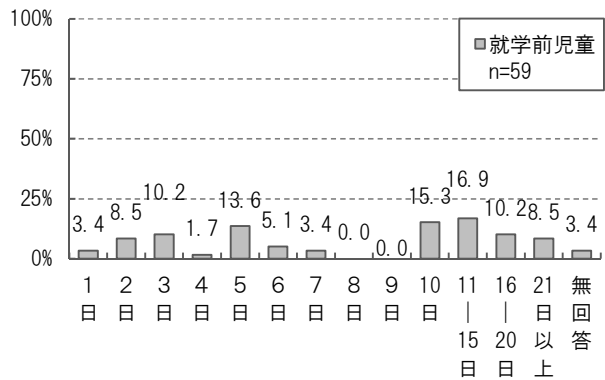
問30.1② 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等 **就**



問30.1③ 不定期の就労 **就**



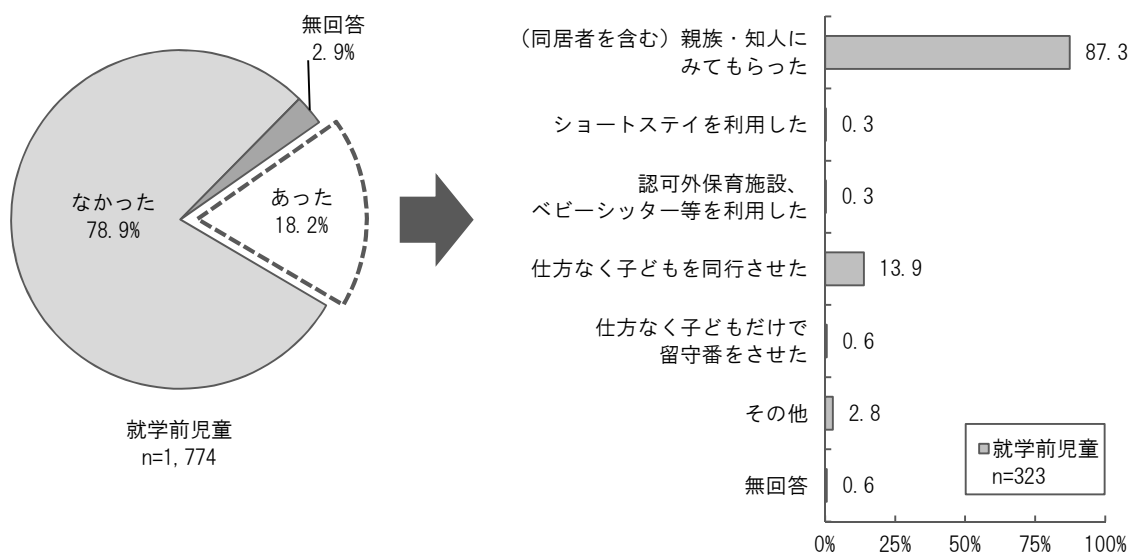
問30.1④ その他 **就**



## (2) 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況

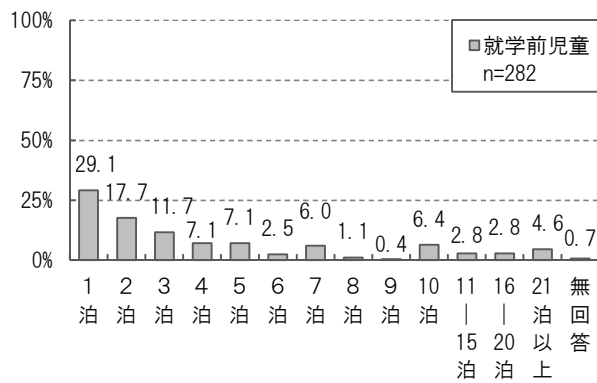
○この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけでみてもらったことについては、「あった」が18.2%となっている。その対処方法については、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が87.3%、「仕方なく子どもを同行させた」が13.9%となっている。

問31 この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無  就  無  就

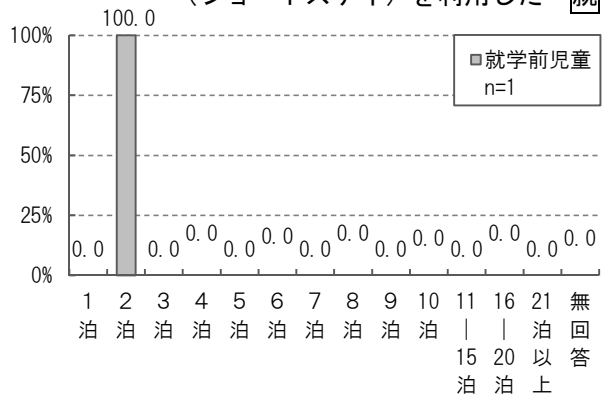


○対処方法別の年間宿泊数は以下の通り。『(同居者を含む)親族・知人にみてもらった』  
 については、「1泊」が29.1%、「2泊」が17.7%となっている。

問31.1① (同居者を含む)親族・知人に  
 みてもらった **就**



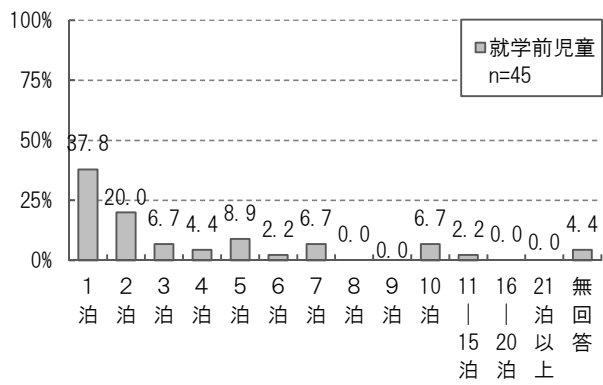
問31.1② 短期入所生活援助事業  
 (ショートステイ)を利用した **就**



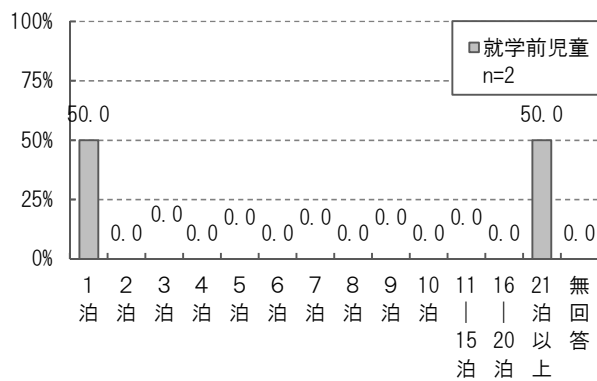
問31.1③ 短期入所生活援助事業以外の  
 保育事業を利用した **就**



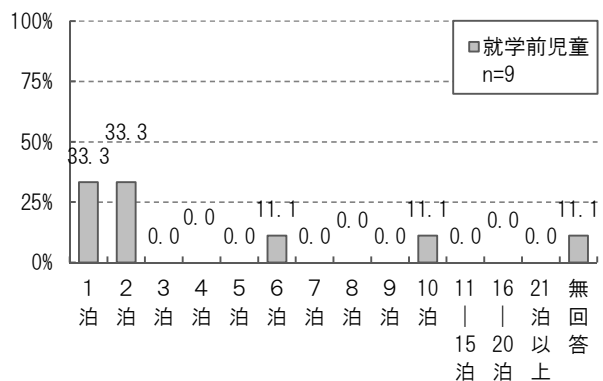
問31.1④ 仕方なく子どもを同行させた **就**



問31.1⑤ 子どもだけで留守番をさせた **就**



問31.1⑥ その他 **就**

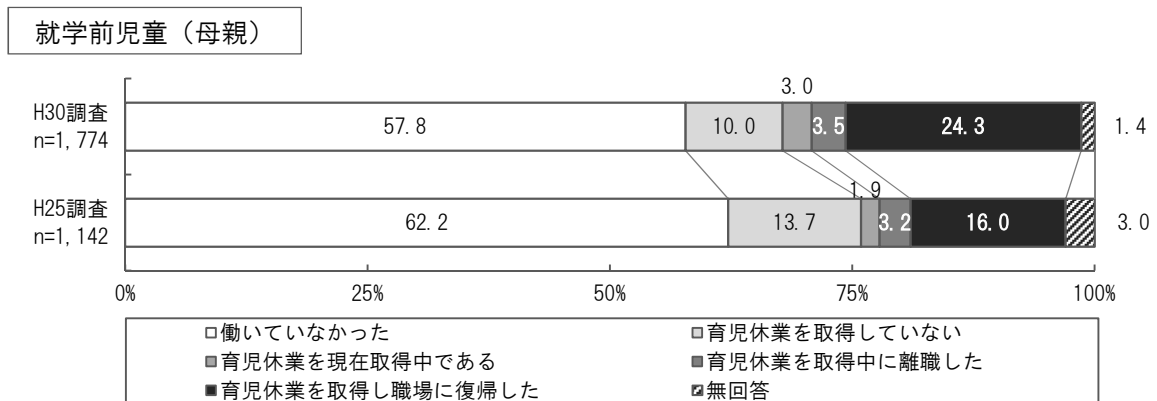


## 10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

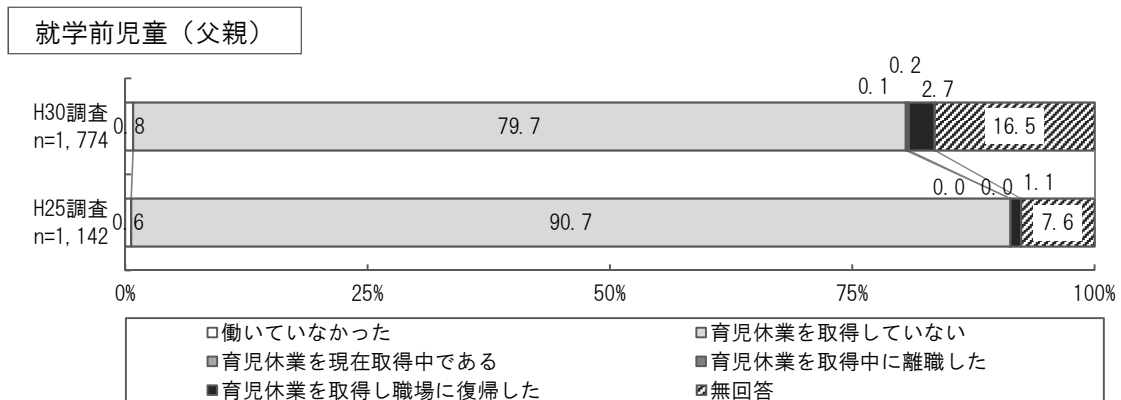
### (1) 育児休業制度の利用状況

○育児休業制度の利用状況については、母親では「育児休業を取得し職場に復帰した」が24.3%と、前回調査の16.0%から8.3ポイント上昇し、「育児休業を現在取得中である」が3.0%と、前回調査の1.9%から1.1ポイント上昇している。一方、父親では、「育児休業を取得し職場に復帰した」が2.7%、「育児休業を現在取得中である」が0.1%となっている。

問32-1 育児休業制度の利用状況（前回比較） 就

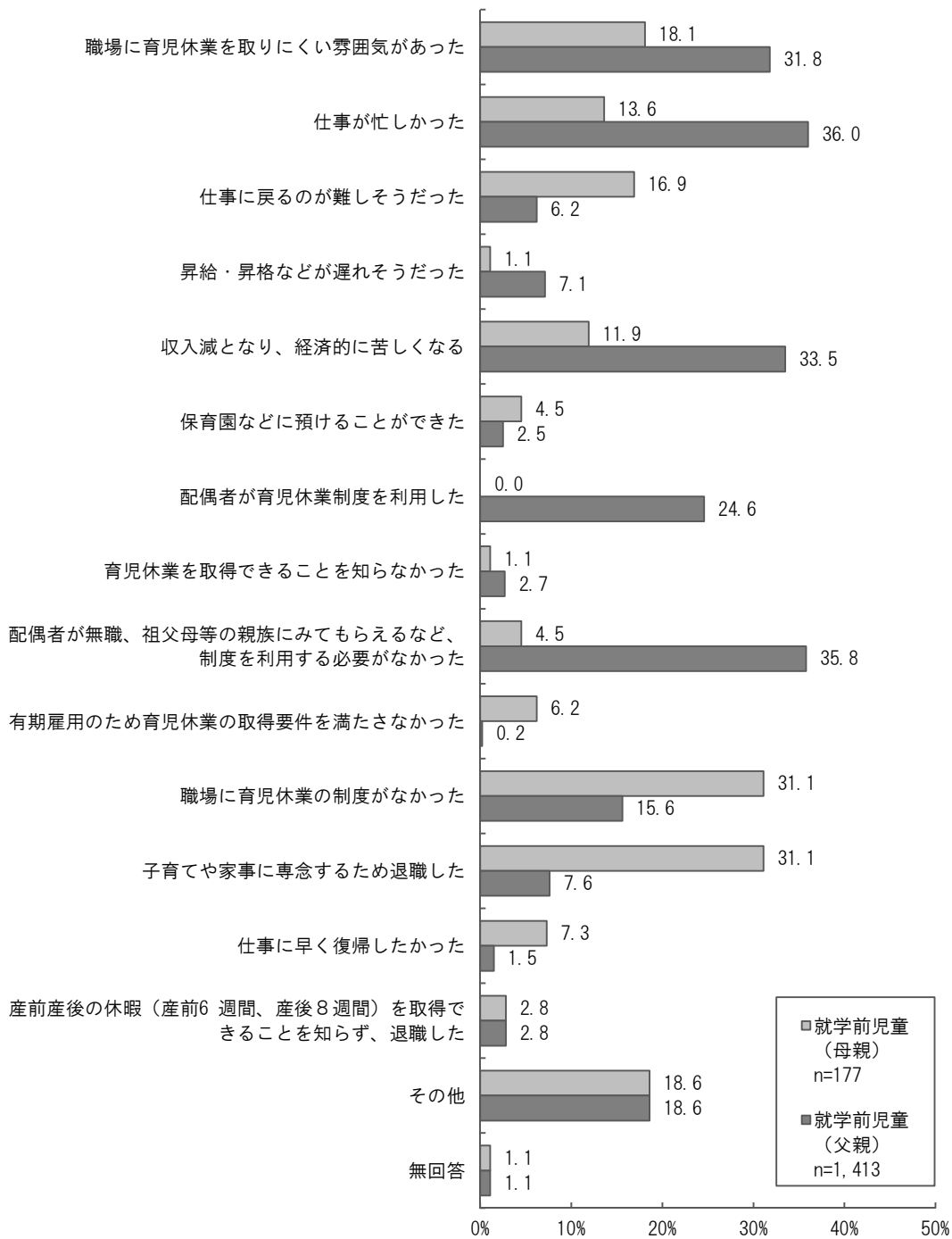


問32-2 育児休業制度の利用状況（前回比較） 就



○育児休業を取得していない理由については、母親では「職場に育児休業の制度がなかった」「子育てや家事に専念するため退職した」がともに31.1%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が18.1%となっている。父親では「仕事が忙しかった」が36.0%と最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が35.8%となっている。

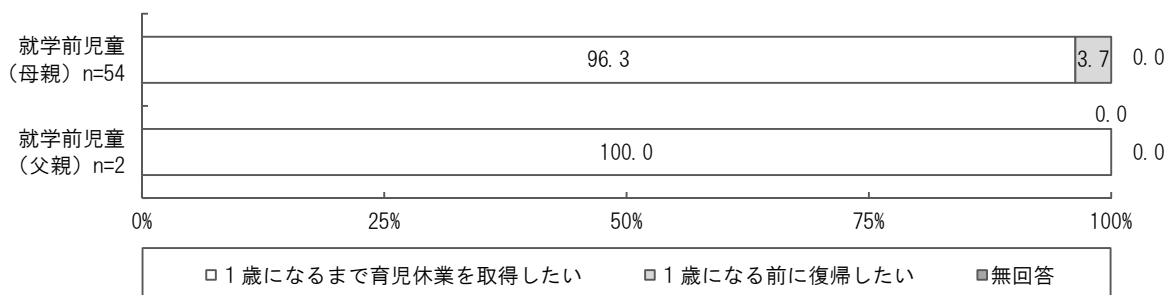
問32-1-1・問32-2-1 育児休業を取得していない理由【複数選択可】 就



## (2) 育児休業と保育園

○育児休業を現在取得中の方が1歳で必ず利用できる保育園があれば1歳まで育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が母親で96.3%、父親で100.0%となっている。

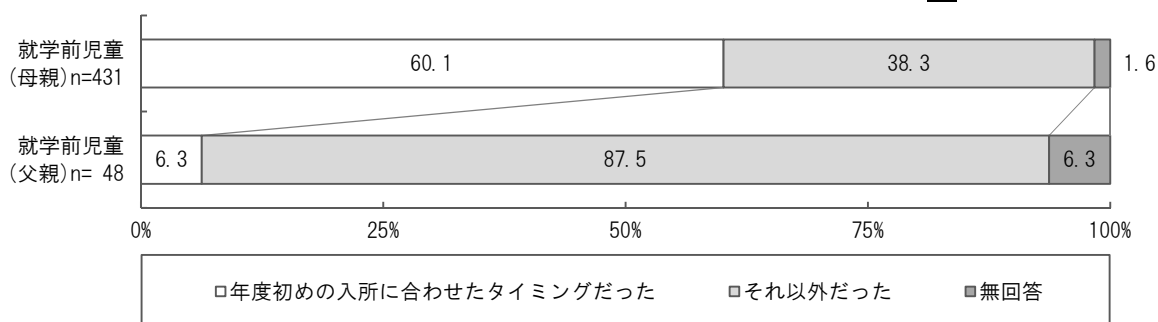
問32-1-2・問32-2-2 1歳で必ず利用できる保育園があれば1歳まで育児休業を取得するか 就



## (3) 職場復帰の状況

○育児休業を取得し職場に復帰した方が育児休業取得後に職場へ復帰した時期については、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が60.1%、「それ以外だった」が38.3%となっている。父親では「それ以外だった」が87.5%となっており、母親は保育園入所時に、父親は保育所入所とは別の時期に職場復帰している傾向がみられる。

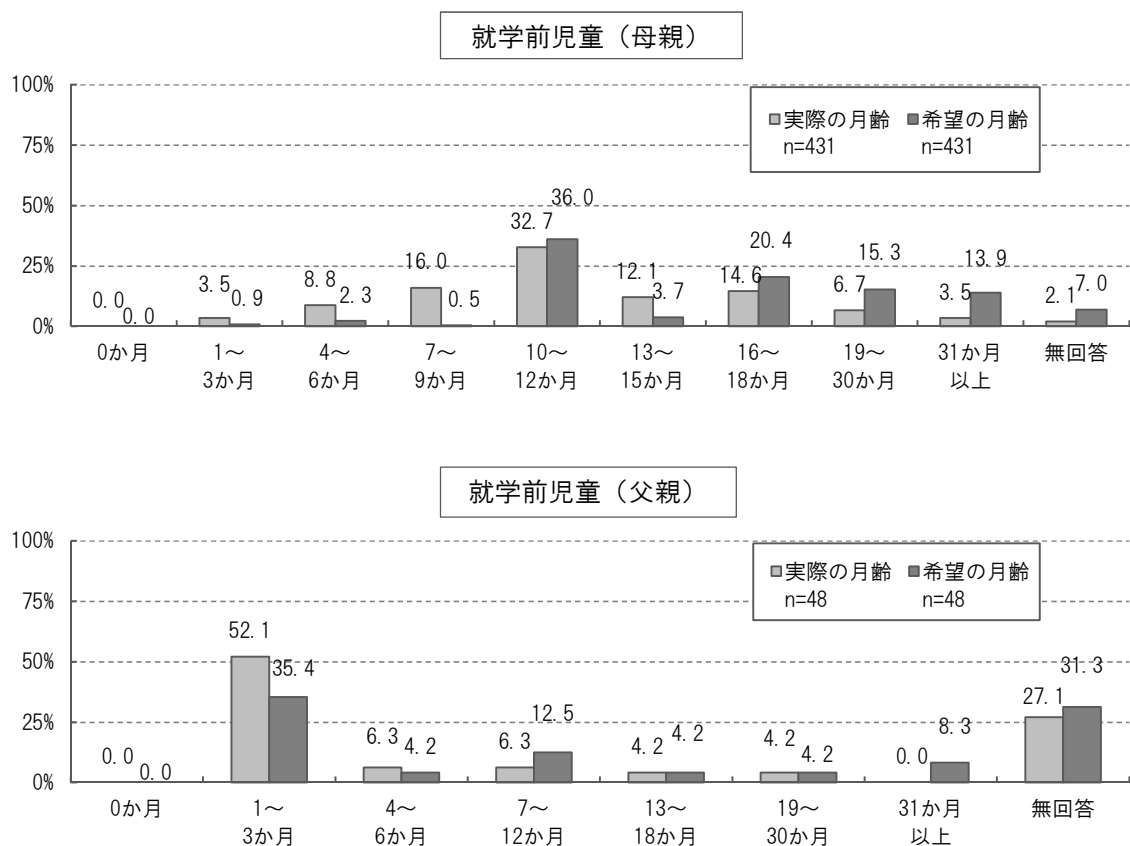
問32-1-3・問32-2-3 育児休業後に職場へ復帰した時期 就



○母親が育児休業から復帰したときの子どもの月齢については、希望としては「10～12か月」が36.0%と最も高いものの、13か月以上があわせて50%を超えているが、実際には「10～12か月」が32.7%と最も高く、12か月以下があわせて約60%となっているが。

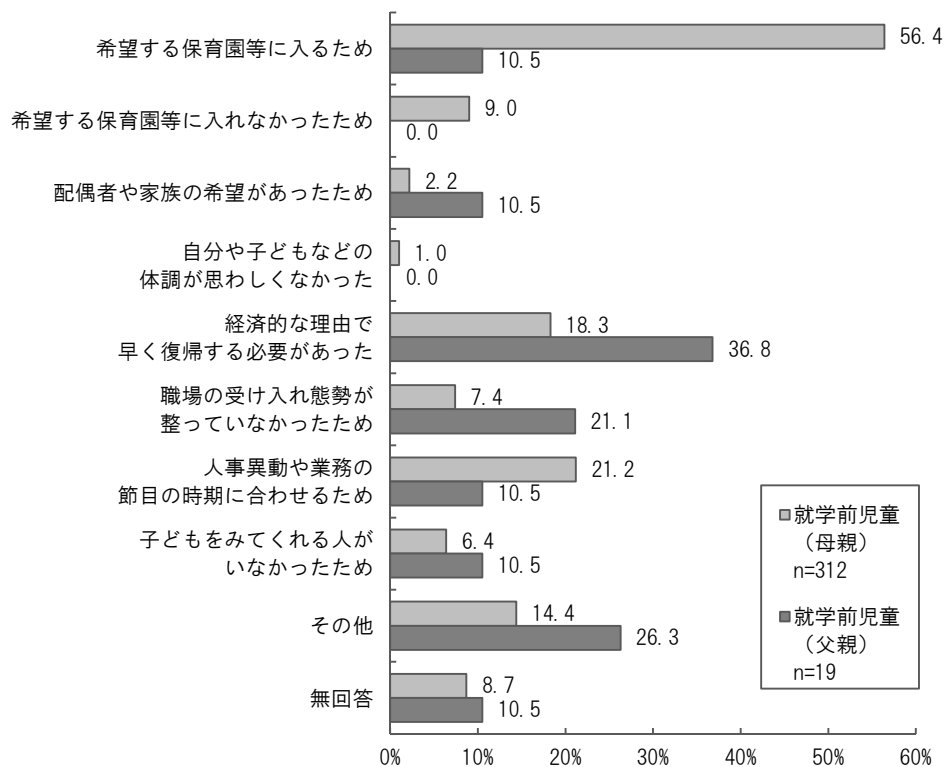
○父親が育児休業から復帰したときの子どもの月齢については、希望としては「1～3か月」が35.4%と最も高いものの、実際よりも16.7ポイント低くなっており、次いで「7～12か月」が12.5%、「31ヶ月」が8.3%となっているが、実際には「1～3か月」が52.1%と最も高く、次いで「4～6か月」と「7～12か月」がともに6.3%となっている。

問32-1-4・問32-2-4 育児休業から復帰したときの子どもの実際の月齢と希望する月齢 就



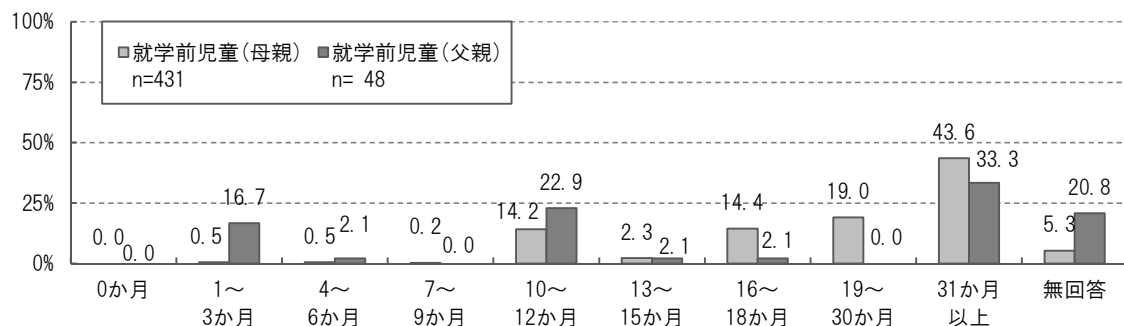
○育児休業から「希望の時期」とは異なる時期に職場復帰した理由については、母親では「希望する保育園等に入るため」が56.4%と最も高く、父親では「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が36.8%と最も高くなっている。

問32-1-5・問32-2-5 育児休業から「希望の時期」とは異なる時期に職場復帰した理由  
【複数選択可】 就



○3歳までの育児休業制度があった場合に取得を希望する子どもの月齢については、「31か月以上」が最も高く、母親は43.6%、父親は33.3%となっている。

問32-1-6・問32-2-6 3歳までの育児休業があった場合の子どもの希望する月齢 就



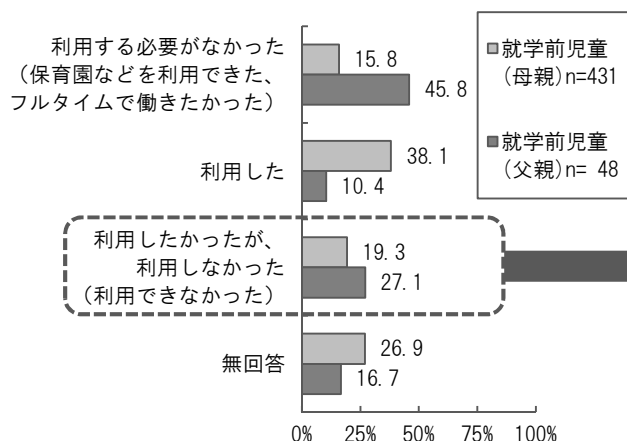


#### (4) 短時間勤務制度の利用状況

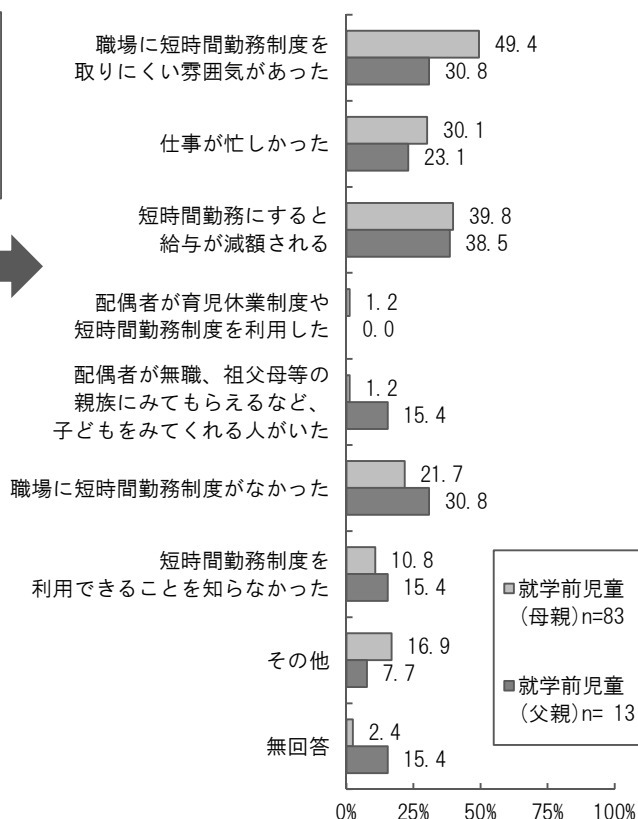
○育児休業を取得し、職場に復帰した方の職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況については、母親では「短時間勤務制度を利用した」が38.1%と最も高く、次いで「利用しなかったが、利用しなかった」が19.3%となっている。父親では「利用する必要がなかった」が45.8%と最も高く、次いで「利用しなかったが、利用しなかった」が27.1%となっている。

○職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由については、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が49.4%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が39.8%となっている。父親では「短時間勤務にすると給与が減額される」が38.5%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」と「職場に短時間勤務制度がなかった」がともに30.8%となっている。

問33-1・問33-2 職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況 **就**



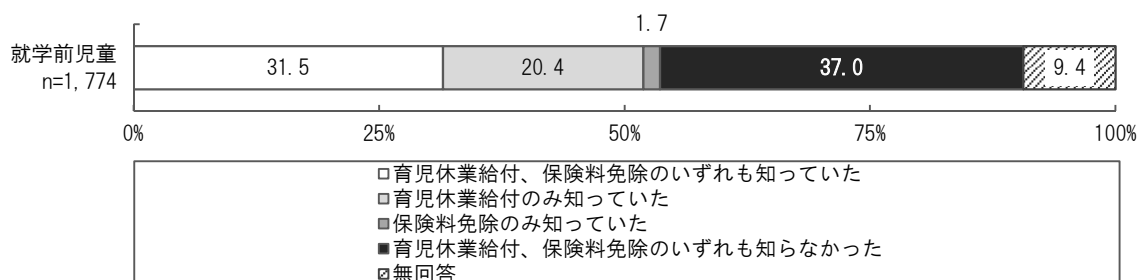
問33-1-1・問33-2-1 短時間勤務制度を利用しなかった理由 **就** 【複数選択可】



## (5) 育児休業給付や保険料免除の認知度

○育児休業給付や保険料免除の認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が37.0%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が31.5%となっている。

問34 育児休業給付や保険料免除の認知度 就



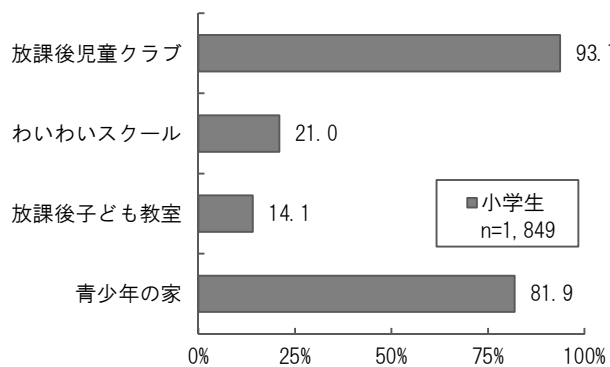
# 11 放課後の過ごし方について

## (1) 放課後の居場所

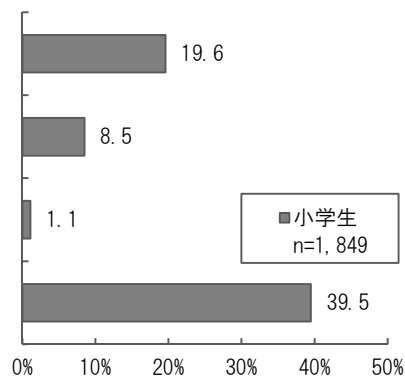
○放課後の居場所の認知度については、「放課後児童クラブ」が93.7%、「青少年の家」が81.9%と高くなっているが、「わいわいスクール」が21.0%、「放課後子ども教室」が14.1%と、2割程度にとどまっている。

○放課後の居場所を利用したことがあるかについては、「青少年の家」が39.5%、「放課後児童クラブ」が19.6%となっている。

[問18] A. 放課後の居場所の認知度 小



B. 利用したことがある 小



[問18] A. 放課後の居場所の認知度（行政センター別）【複数選択可】 小

単位：%

		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
小学生	サンプル数 (人)	226	166	77	22	250	169	186	233	137	150	1,849
	放課後児童クラブ	93.8	96.4	96.1	90.9	91.2	97.6	94.1	94.8	94.2	91.3	93.7
	わいわいスクール	30.5	28.9	13.0	18.2	21.2	19.5	19.9	12.9	27.0	8.7	21
	放課後子ども教室	10.6	7.8	9.1	18.2	11.2	13.0	10.8	13.3	32.1	18.0	14.1
	青少年の家	82.3	81.9	61.0	90.9	88.8	87.0	89.2	84.5	76.6	67.3	81.9

[問18] B. 利用したことがある（行政センター別）【複数選択可】 小

単位：%

		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
小学生	サンプル数 (人)	226	166	77	22	250	169	186	233	137	150	1,849
	放課後児童クラブ	20.8	25.9	33.8	9.1	16.4	18.9	14.0	18.0	22.6	22.7	19.6
	わいわいスクール	19.0	16.9	0.0	0.0	8.0	5.9	9.1	0.9	10.9	0.7	8.5
	放課後子ども教室	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.5	0.0	6.6	3.3	1.1
	青少年の家	44.7	39.8	18.2	50.0	52.0	39.6	56.5	29.6	21.2	30.7	39.5

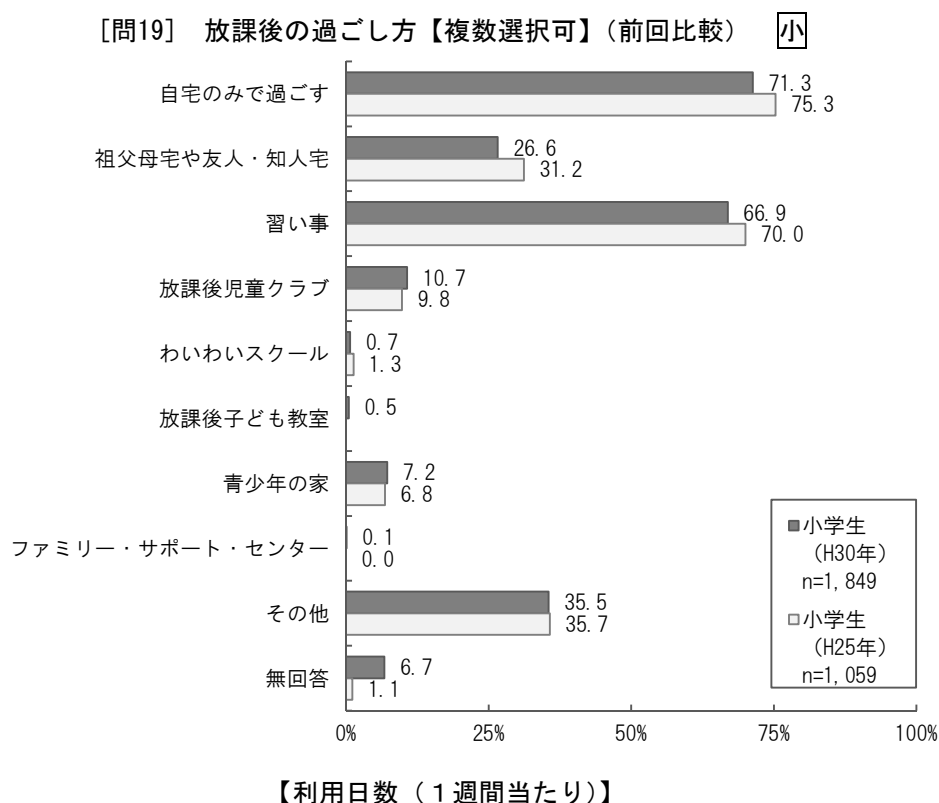
## (2) 小学生の平日の放課後の状況

○平日の放課後の過ごし方については「自宅」が71.3%と最も高く、次いで「習い事」が66.9%となっている。

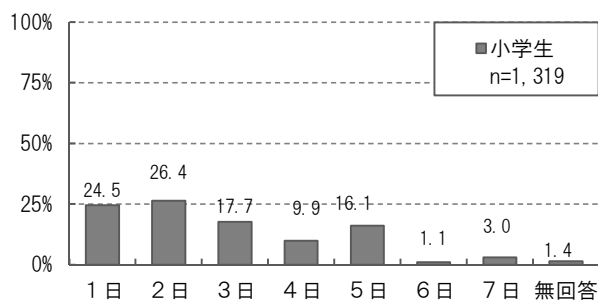
○1週間当たりの利用日数は、「祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」、「習い事」では「1日」と「2日」、「放課後児童クラブ」では「5日」、が高くなっている。

○終了時間については、「放課後児童クラブ」では「17時台」～「19時台」、「青少年の家」では「16時台」「17時台」が高くなっている。

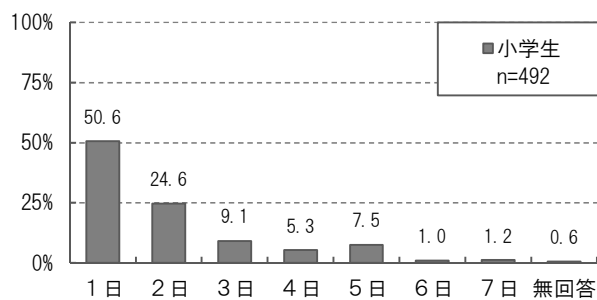
○前回調査と比較すると、「自宅のみで過ごす」が4.0ポイント低くなっており、「祖父母宅や友人・知人宅」も4.6ポイント低くなっている。



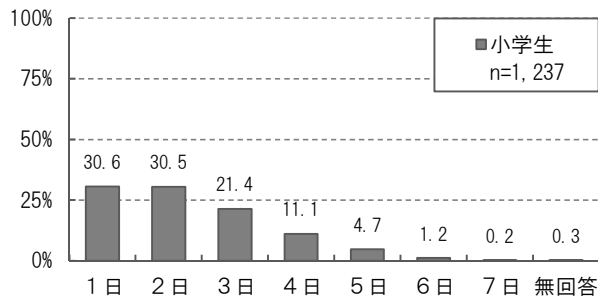
### <自宅>



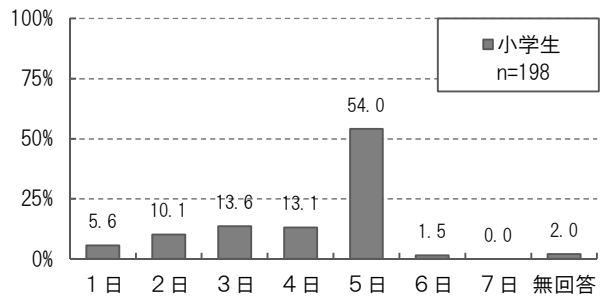
### <祖父母宅や友人・知人宅>



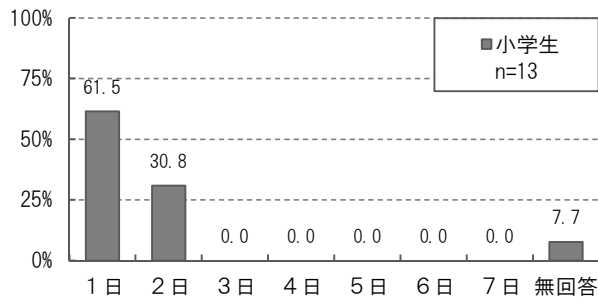
<習い事>



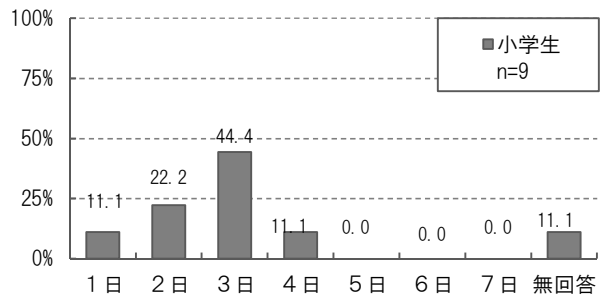
<放課後児童クラブ>



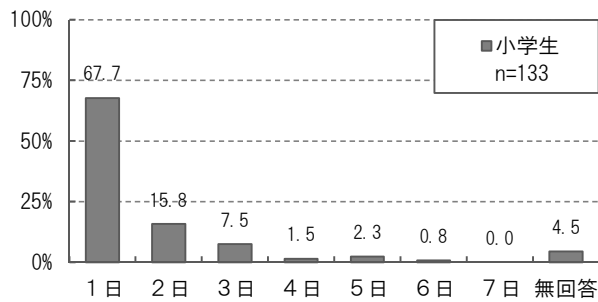
<わいわいスクール>



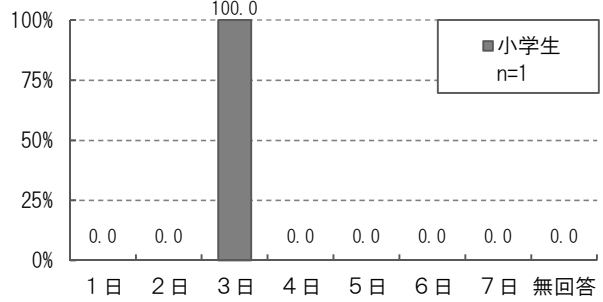
<放課後子ども教室>



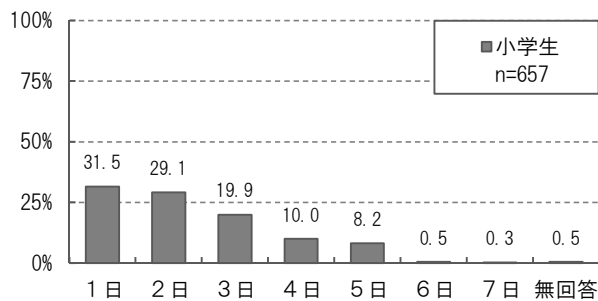
<青少年の家>



<ファミリー・サポート・センター>

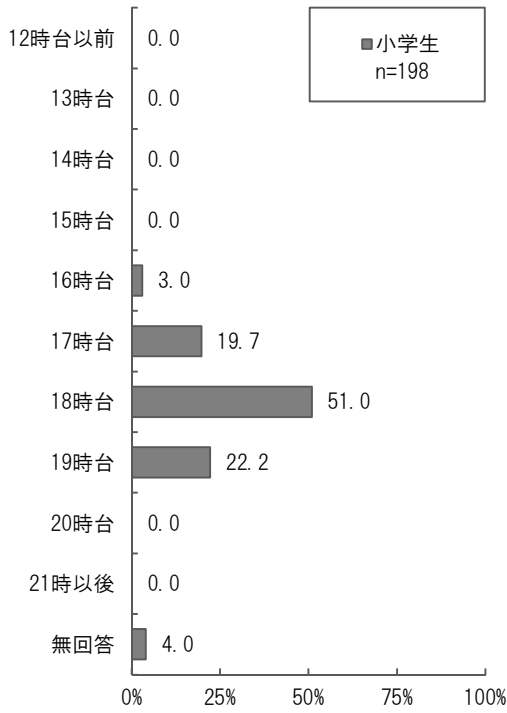


<その他（図書館・公園等）>

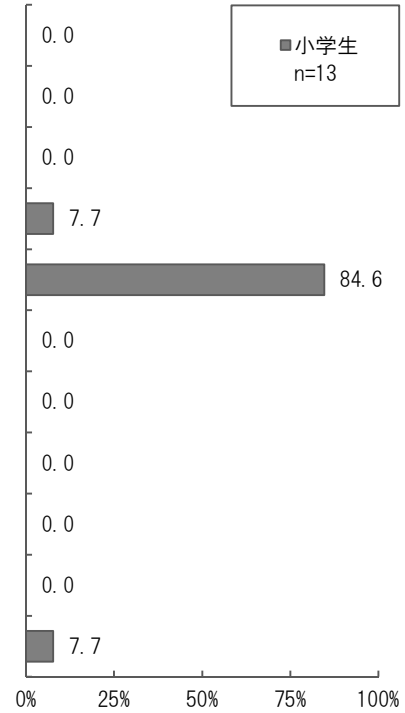


【終了時間】

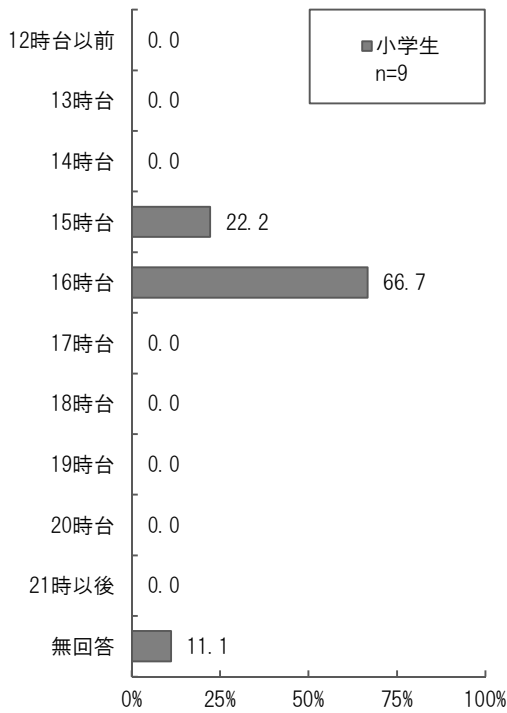
<放課後児童クラブ>



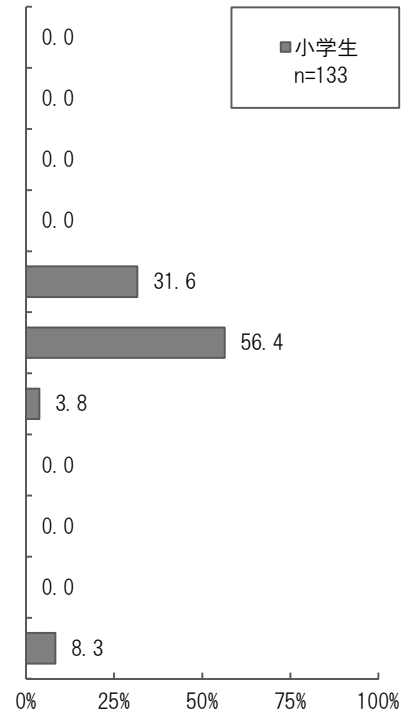
<わいわいスクール>



<放課後子ども教室>

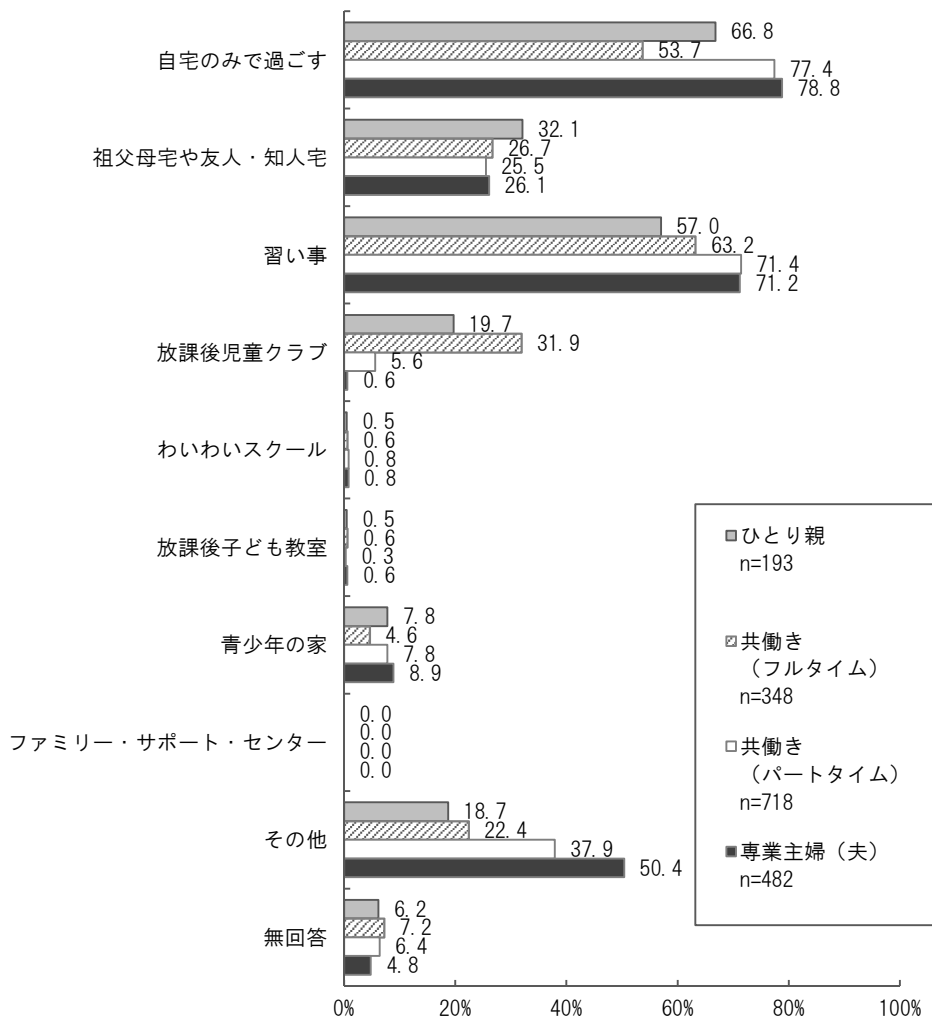


<青少年の家>



○家庭類型別にみると、共働き（フルタイム）では「放課後児童クラブ」が他の家庭類型よりも約12～31ポイント高くなっている。

〔問19〕 放課後の過ごし方（家庭類型別）【複数選択可】 小



[問19] 放課後の過ごし方（学年別）【複数選択可】 小

単位：%

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体
小学生	サンプル数(人)	305	321	310	300	304	304	1,849
	自宅のみで過ごす	62.0	70.7	70.3	75.0	76.6	73.0	71.3
	祖父母宅や友人・知人宅	27.2	27.4	24.2	26.0	27.0	27.6	26.6
	習い事	56.4	62.0	71.6	68.3	72.7	70.4	66.9
	放課後児童クラブ	18.7	14.6	12.6	5.7	6.6	5.6	10.7
	わいわいスクール	2.0	0.9	0.3	0.7	0.3	0.0	0.7
	放課後子ども教室	1.0	1.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.5
	青少年の家	7.9	9.3	6.1	5.7	8.6	5.6	7.2
	ファミリーサポート・センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
	その他	35.7	41.4	41.6	31.3	31.9	30.6	35.5
	無回答	7.9	6.9	6.8	6.3	5.6	6.6	6.7

[問19] 放課後の過ごし方（行政センター別）【複数選択可】 小

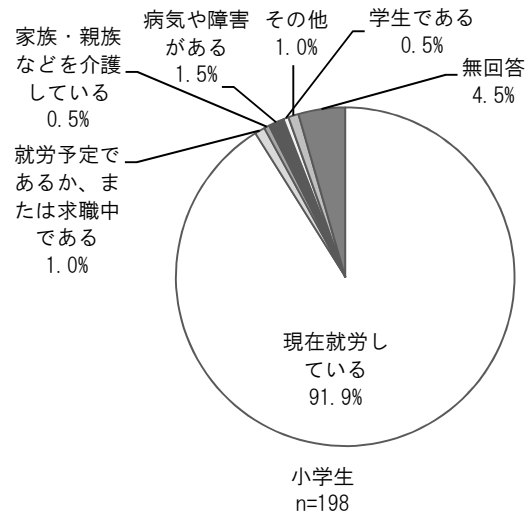
単位：%

		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
小学生	サンプル数(人)	226	166	77	22	250	169	186	233	137	150	1,849
	自宅のみで過ごす	69.5	69.3	67.5	86.4	69.2	71.6	73.7	73.8	69.3	71.3	71.3
	祖父母宅や友人・知人宅	24.3	28.3	24.7	13.6	27.6	29.6	26.9	22.7	22.6	31.3	26.6
	習い事	71.2	73.5	68.8	68.2	58.8	65.1	72.6	69.5	67.9	55.3	66.9
	放課後児童クラブ	11.5	16.9	18.2	4.5	9.6	11.8	8.6	8.6	9.5	12.0	10.7
	わいわいスクール	1.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.7
	放課後子ども教室	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	3.6	1.3	0.5
	青少年の家	5.8	3.6	1.3	13.6	14.4	7.1	12.9	4.7	1.5	8.0	7.2
	ファミリーサポート・センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.1
	その他	30.1	36.1	42.9	54.5	40.4	37.9	40.9	34.3	38.7	26.7	35.5
	無回答	8.8	4.8	5.2	4.5	6.0	6.5	4.3	7.3	5.8	10.0	6.7



○放課後児童クラブを利用している理由については、「現在就労している」が91.9%となっている。

[問19-1] 放課後児童クラブを利用している理由 小



### (3) 放課後児童クラブの利用状況

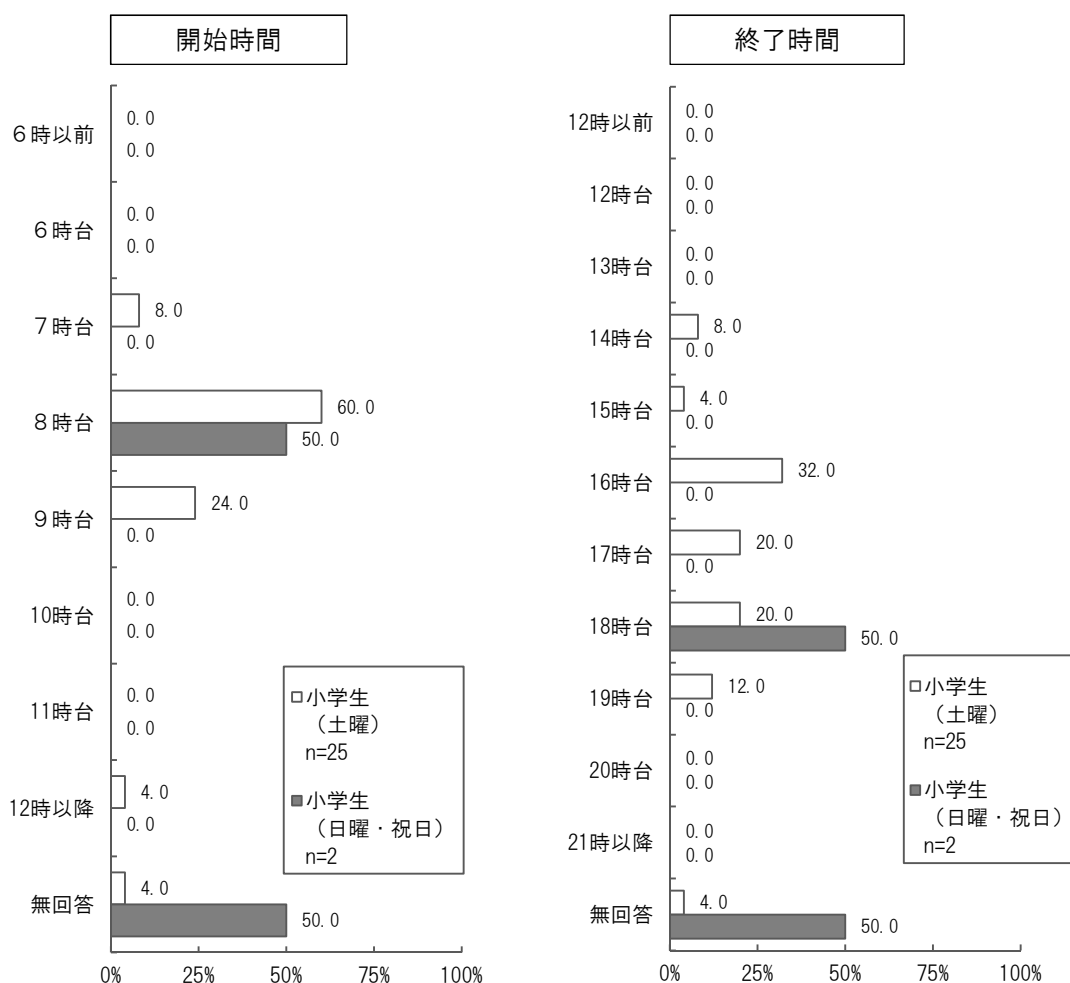
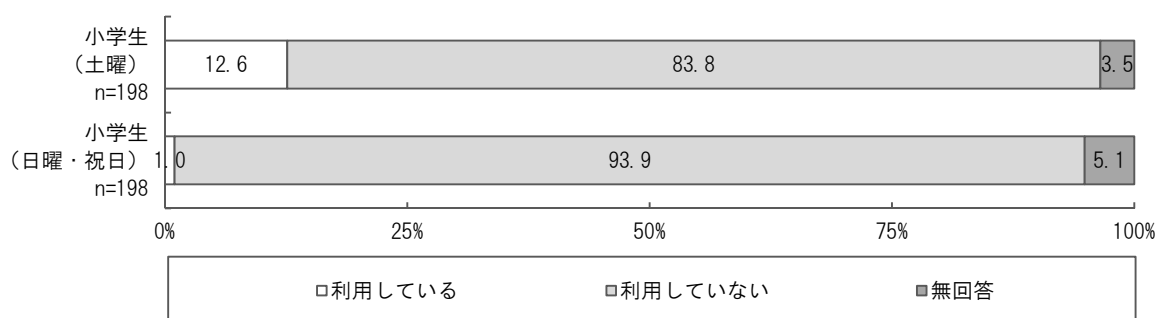
#### ① 土曜日・日曜日・祝日の利用状況

○放課後児童クラブを利用している小学生のうち、土曜日の利用は12.6%、日曜・祝日は1.0%となっている。

○放課後児童クラブ利用の開始時間は、土曜、日曜・祝日ともに「7時台」～「9時台」が高くなっている。

○終了時間は、土曜が「16時台」～「19時台」、日曜・祝日が「18時台」が高くなっている。

[問20-1・問20-2] 放課後児童クラブの土曜日・日曜日・祝日の利用状況 小



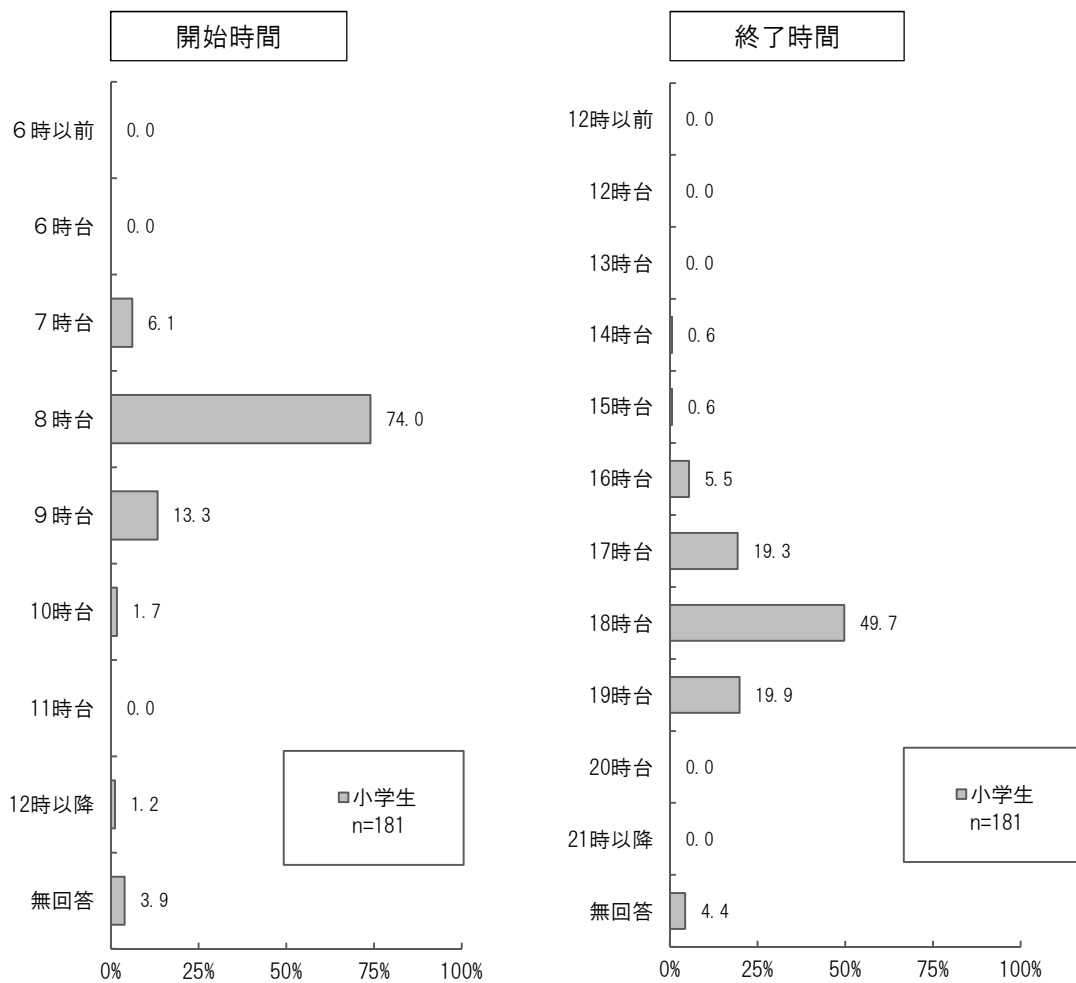
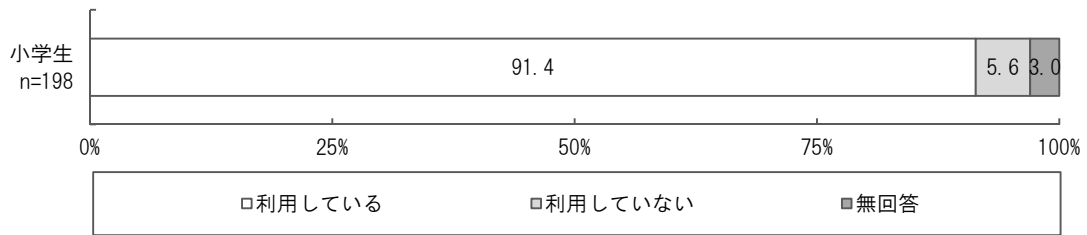
## ②長期休暇期間中の利用状況

○放課後児童クラブを利用している小学生のうち、長期休暇期間中の利用は91.4%となっている。

○放課後児童クラブ利用の開始時間は、「8時台」が74.0%となっている。

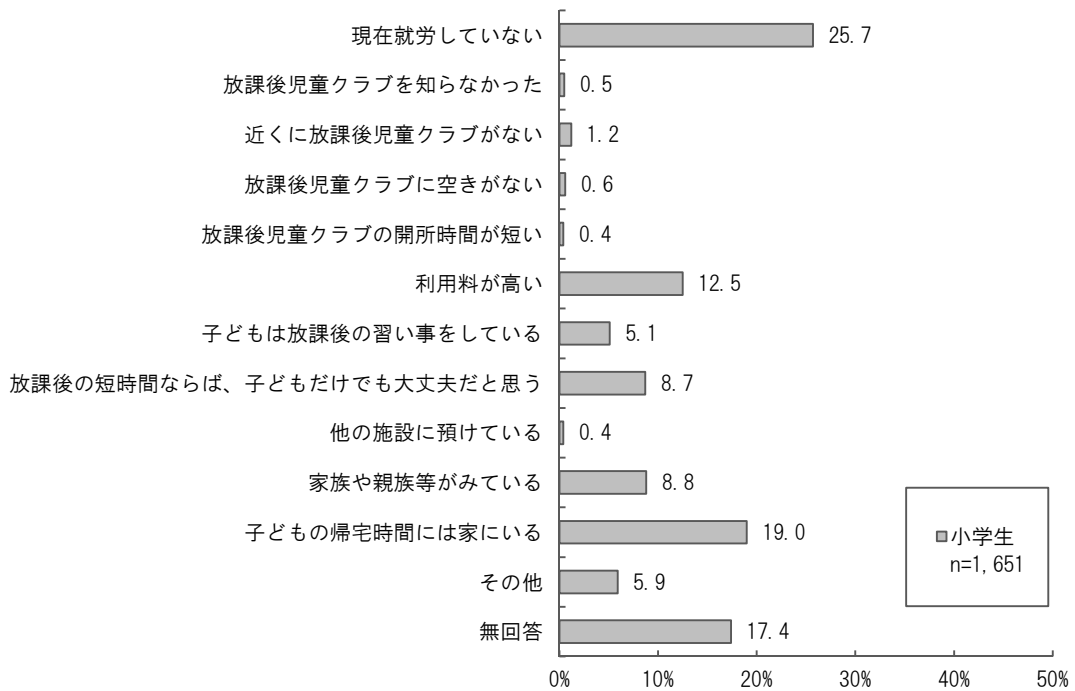
○終了時間は、土曜が「18時台」が49.7%、「19時台」が19.9%となっている。

[問20-3] 放課後児童クラブの長期休暇期間中の利用状況 小



○放課後児童クラブ（学童クラブ）を利用していない理由については、「現在就労していない」が25.7%、「子どもの帰宅時には家にいる」が19.0%、「利用料が高い」が12.5%となっている。

〔問21〕 放課後児童クラブを利用していない理由 小



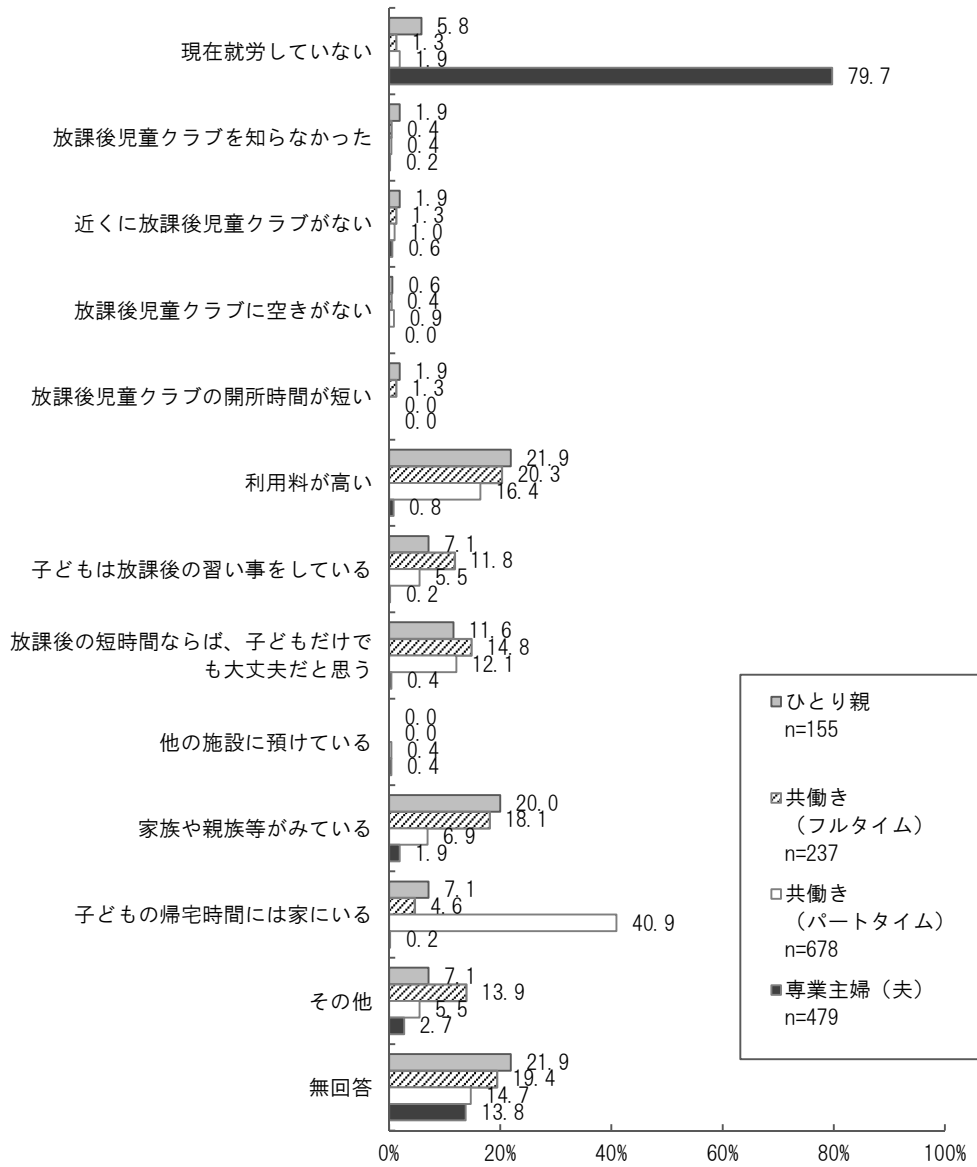
[問21] 放課後児童クラブを利用していない理由（学年別） 小

単位：％

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体
小学生	サンプル数(人)	248	274	271	283	284	287	1,651
	現在 就労していない	36.7	27.4	27.3	25.8	19.0	19.2	25.7
	放課後児童クラブ を知らなかった	0.4	0.0	0.4	1.1	0.4	0.7	0.5
	近くに放課後児童 クラブがない	1.2	1.1	0.7	1.4	1.1	1.4	1.2
	放課後児童クラブ に空きがない	1.2	1.1	0.7	0.0	0.7	0.0	0.6
	放課後児童クラブ の開所時間が短い	0.8	0.0	0.7	0.4	0.0	0.3	0.4
	利用料が高い	18.5	15.7	12.5	12.7	8.5	7.3	12.5
	子どもは放課後の 習い事をしている	2.0	3.3	2.6	5.7	8.1	8.4	5.1
	放課後の短時間な らば、子どもだけで も大丈夫だと思う	2.4	5.5	5.5	8.5	15.1	14.3	8.7
	他の施設に 預けている	0.4	1.1	0.0	0.0	0.0	0.7	0.4
	家族や親族等が みている	9.3	8.0	10.7	7.4	10.2	7.7	8.8
	子どもの帰宅時間 には家にいる	12.5	21.5	19.2	18.7	20.4	20.9	19.0
	その他	7.3	5.1	5.9	6.7	6.0	4.9	5.9
	無回答	16.5	15.7	17.7	18.0	18.7	17.8	17.4

○家庭類型別にみると、ひとり親では「利用料が高い」が共働き（フルタイム）よりも約2～18ポイント高くなっている。

〔問21〕 放課後児童クラブを利用していない理由（家庭類型別） 小



#### (4) 平日の放課後の利用希望

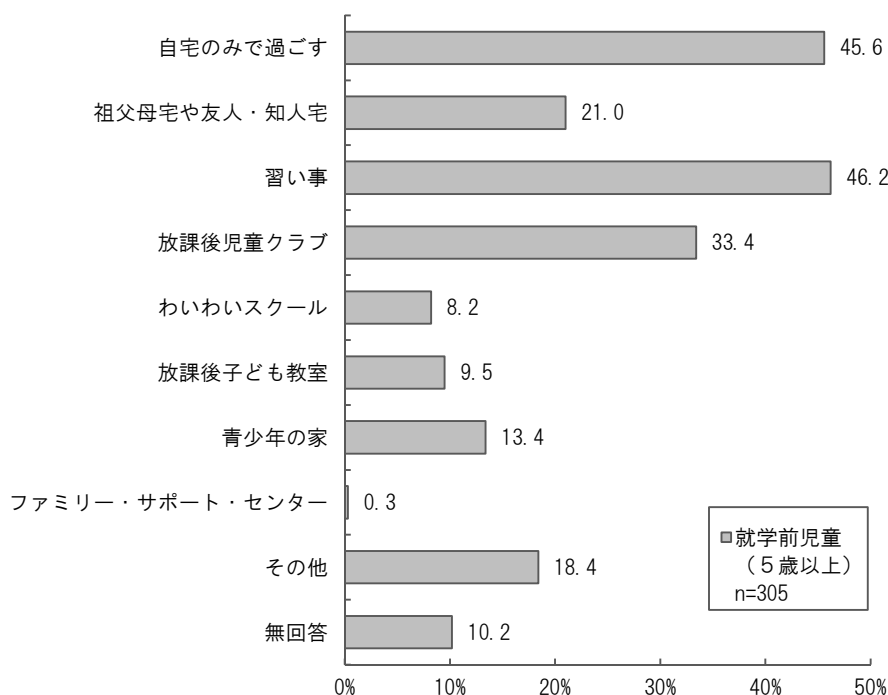
##### ①就学前児童（5歳以上）の小学校就学後の利用希望

○平日の放課後の過ごし方の希望については「習い事」が46.2%と最も高く、次いで「自宅のみで過ごす」が45.6%となっている。

○1週間当たりの利用日数は、「放課後児童クラブ」では「5日」、「青少年の家」では「1日」～「3日」が高くなっている。

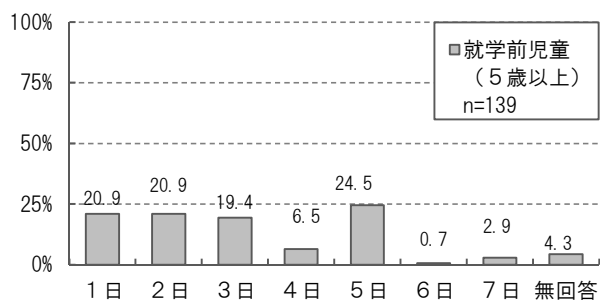
○終了希望時間については、「放課後児童クラブ」では「17時台」～「19時台」、「青少年の家」では「16時台」～「18時台」が高くなっている。

問37 就学前児童（5歳以上）の小学校就学後における放課後の過ごし方の希望【複数選択可】 就

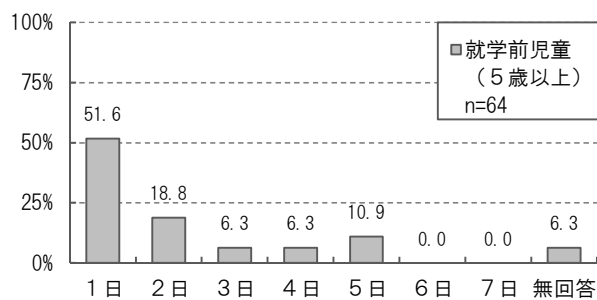


【利用日数（1週間当たり）】

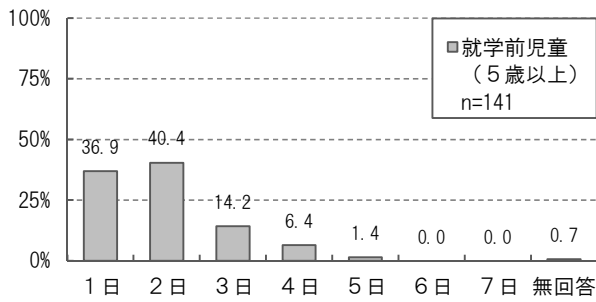
<自宅>



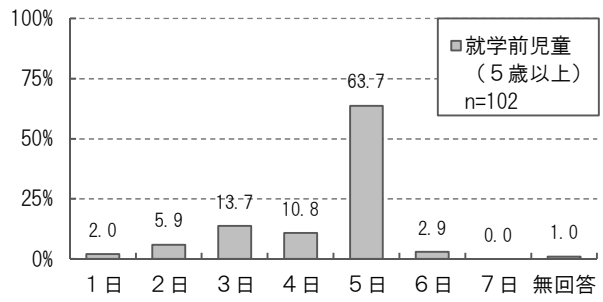
<祖父母宅や友人・知人宅>



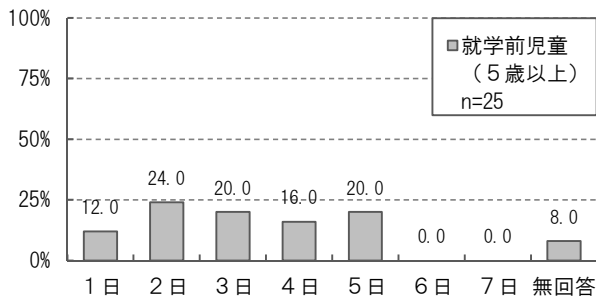
<習い事>



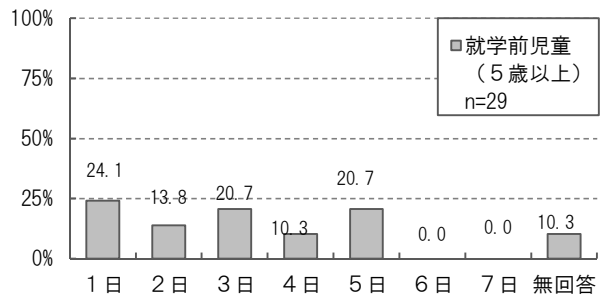
<放課後児童クラブ>



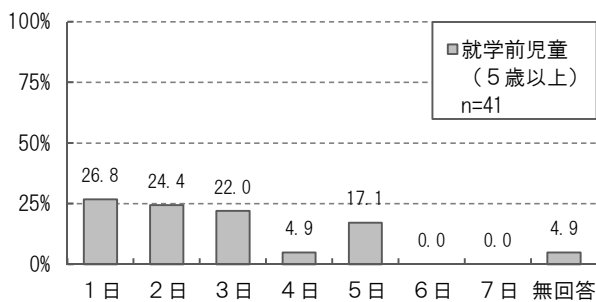
<わいわいスクール>



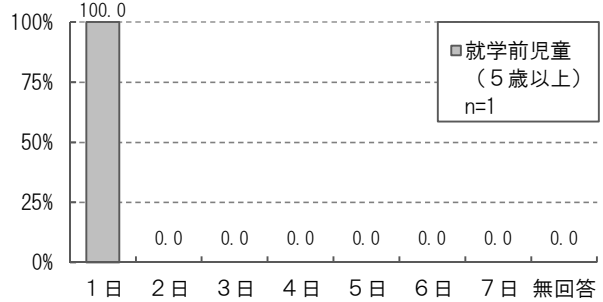
<放課後子ども教室>



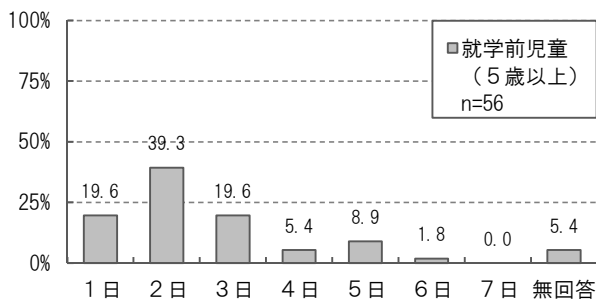
<青少年の家>



<ファミリー・サポート・センター>



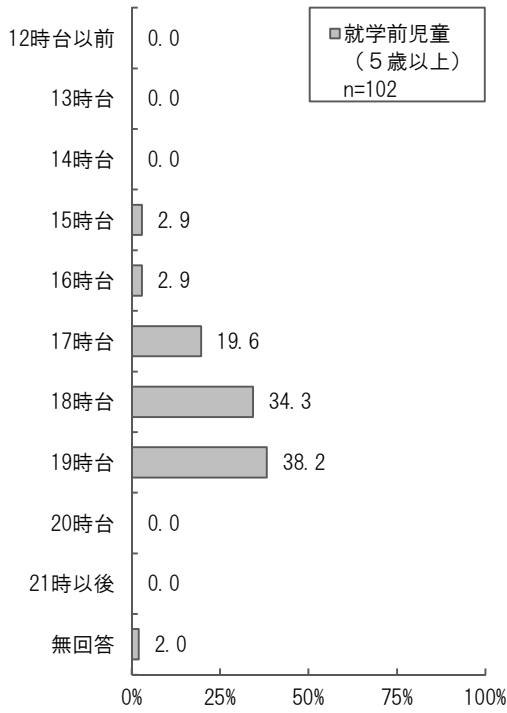
<その他 (図書館・公園等)>



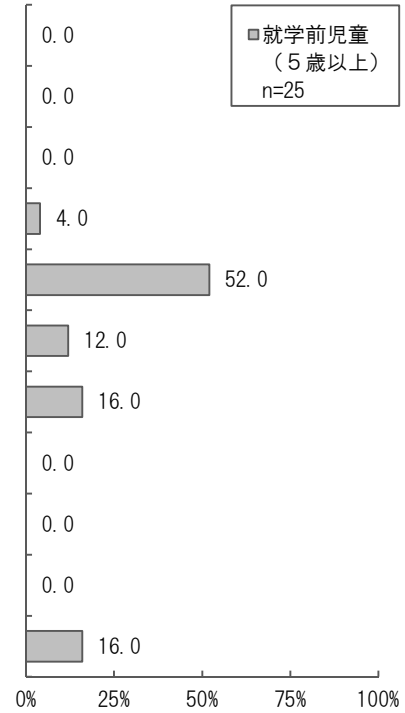


【終了希望時間】

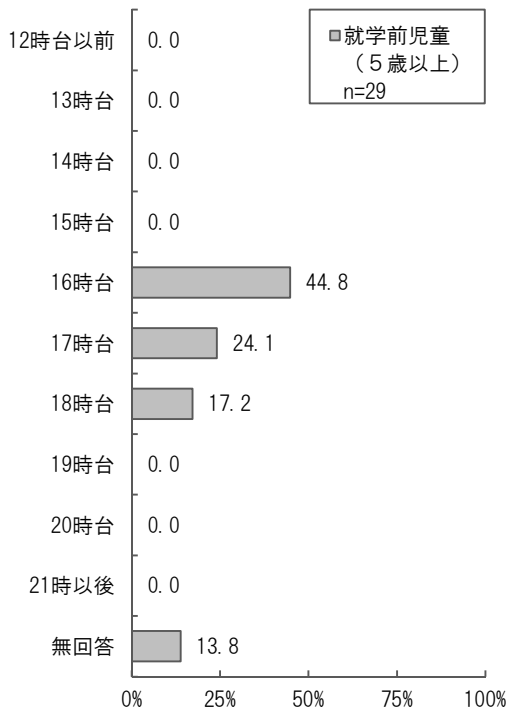
<放課後児童クラブ>



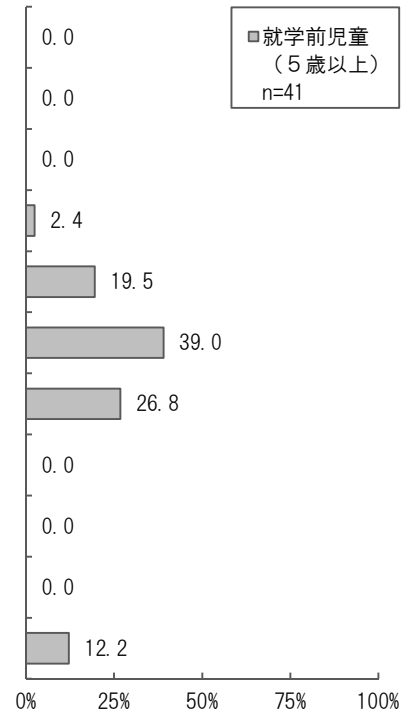
<わいわいスクール>



<放課後子ども教室>

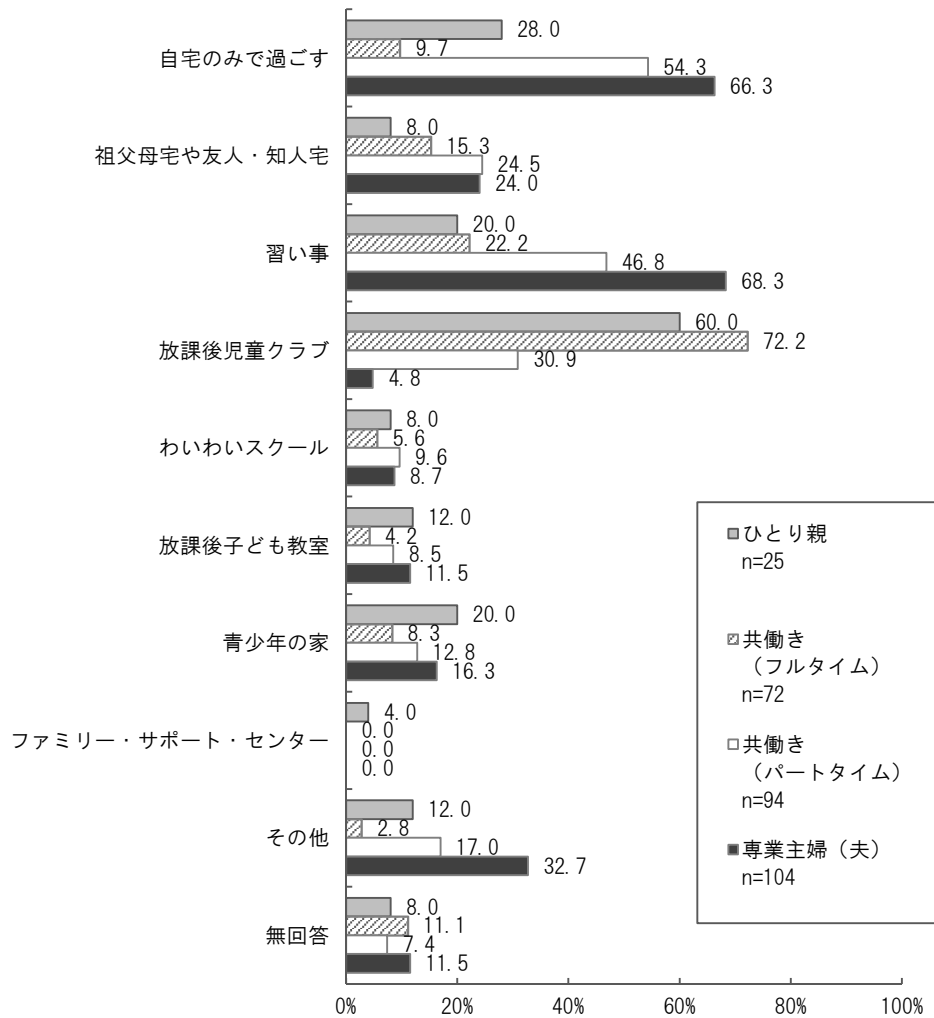


<青少年の家>



○家庭類型別にみると、ひとり親や共働き（フルタイム）では「放課後児童クラブ」が他の家庭類型よりも約30～67ポイント高くなっている。

問37 就学前児童（5歳以上）の小学校就学後における放課後の過ごし方の希望（家庭類型別）  
【複数選択可】 就



## ②小学生の利用希望

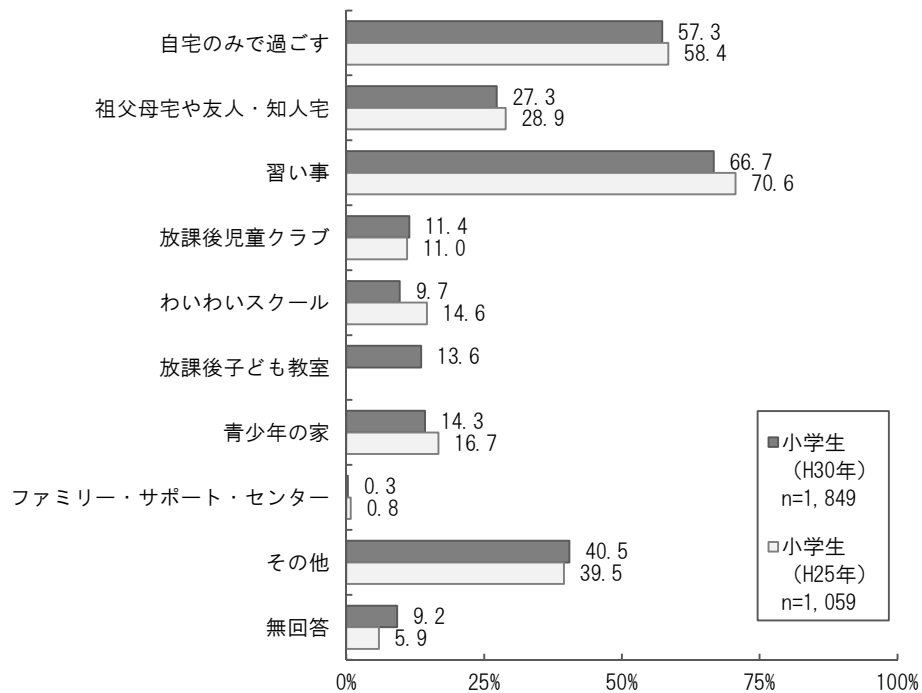
○平日の放課後の過ごし方の希望については「習い事」が66.7%と最も高く、次いで「自宅のみで過ごす」が57.3%となっている。

○1週間当たりの利用日数は、「わいわいスクール」「放課後子ども教室」「青少年の家」では「1日」と「2日」、「放課後児童クラブ」では「5日」が高くなっている。

○下校時間からの利用希望時間については、「放課後児童クラブ」「青少年の家）」では「17時台」～「19時台」、「わいわいスクール」では「16時台」「17時台」が高くなっている。

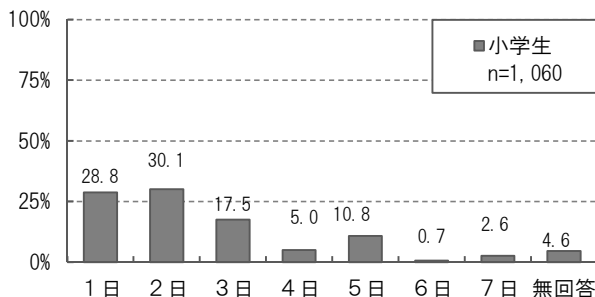
○前回調査と比較すると、新たに加えた「放課後子ども教室」が13.6ポイント高くなっている一方で、「わいわいスクール」が4.9ポイント、「青少年の家」が2.4ポイント低くなっている。

【問22】 小学生の放課後の過ごし方の希望【複数選択可】（前回比較） 小

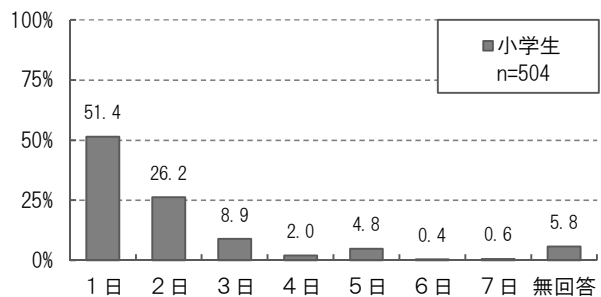


【利用日数（1週間当たり）】

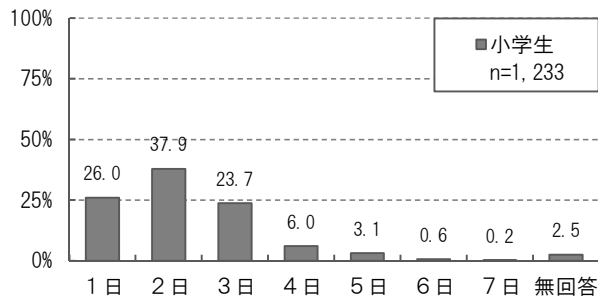
<自宅>



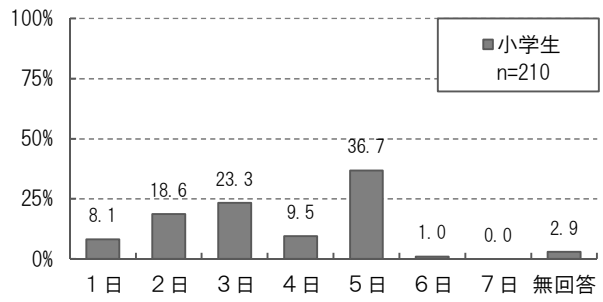
<祖父母宅や友人・知人宅>



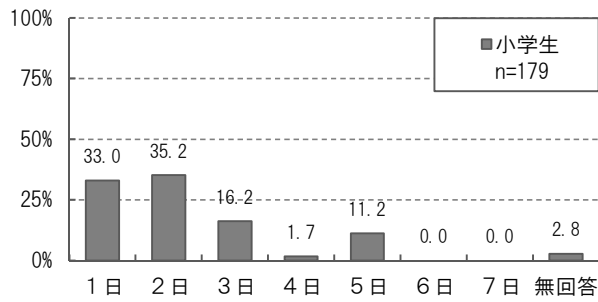
<習い事>



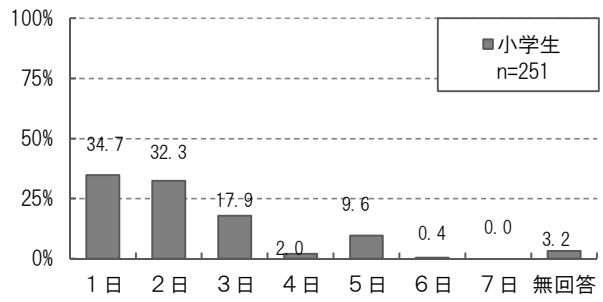
<放課後児童クラブ>



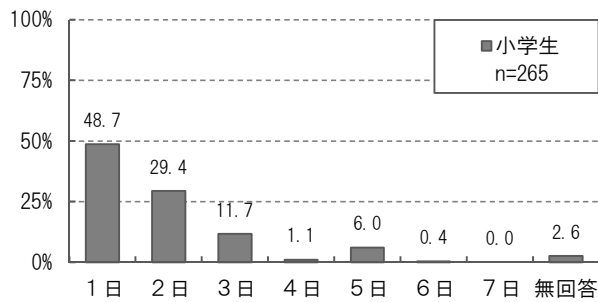
<わいわいスクール>



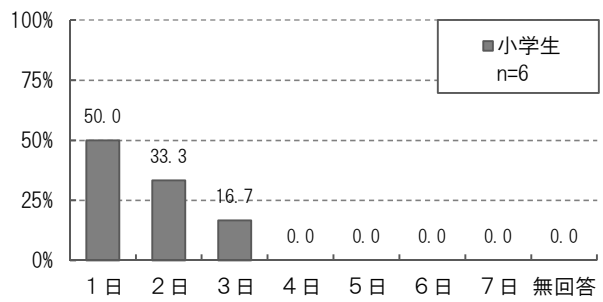
<放課後子ども教室>



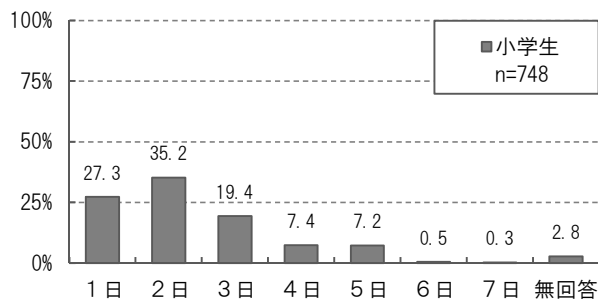
<青少年の家>



<ファミリー・サポート・センター>

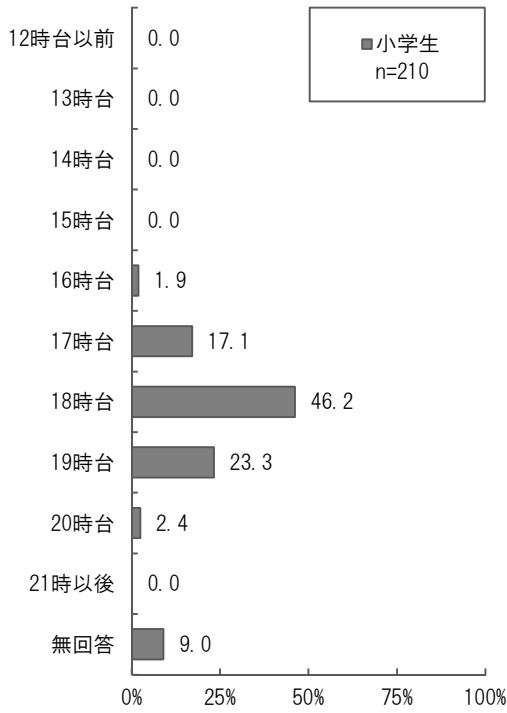


<その他（図書館・公園等）>

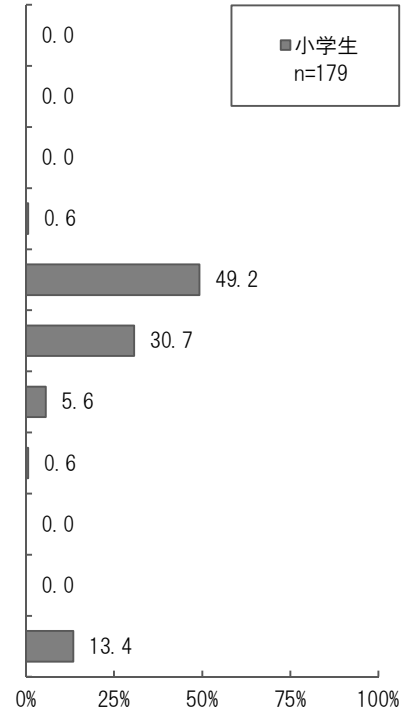


【終了希望時間】

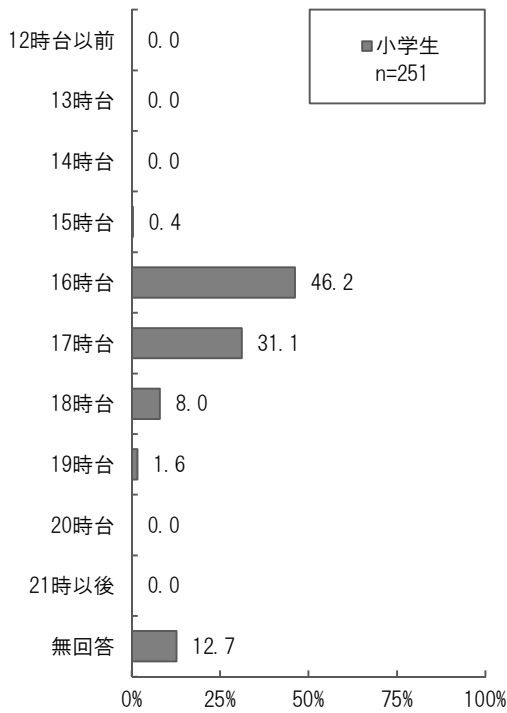
<放課後児童クラブ>



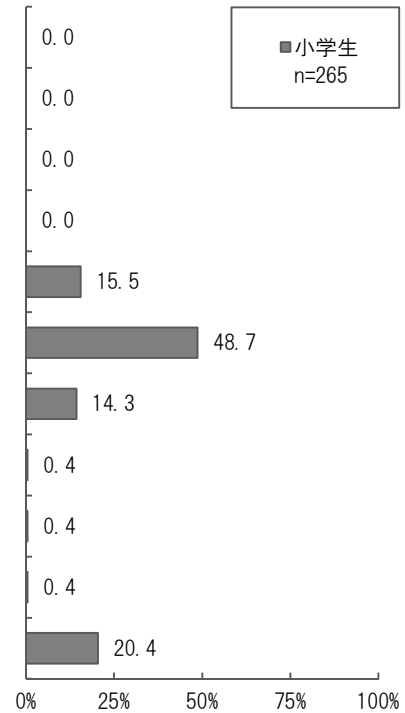
<わいわいスクール>



<放課後子ども教室>

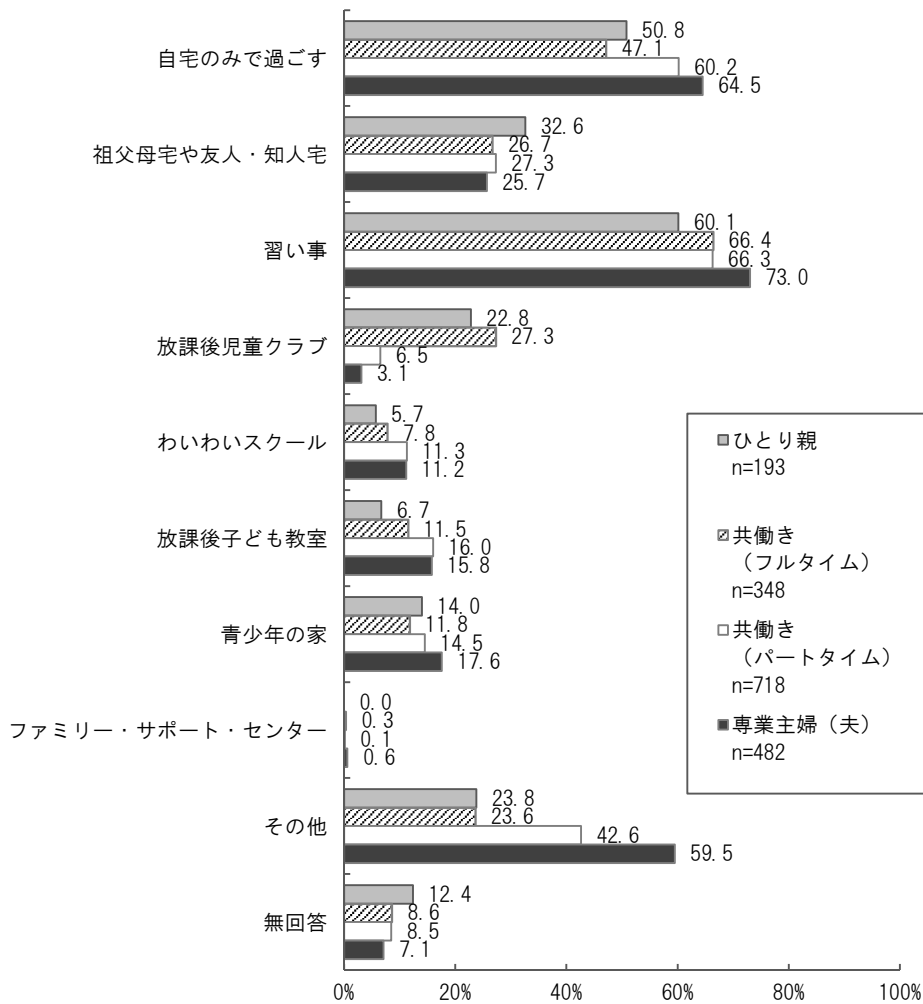


<青少年の家>



○家庭類型別にみると、ひとり親や共働き（フルタイム）では「放課後児童クラブ」が他の家庭類型よりも約16～24ポイント高くなっている。

[問22] 放課後の過ごし方の希望（家庭類型別）【複数選択可】 小



[問22] 放課後の過ごし方の希望（学年別）【複数選択可】 小

単位：%

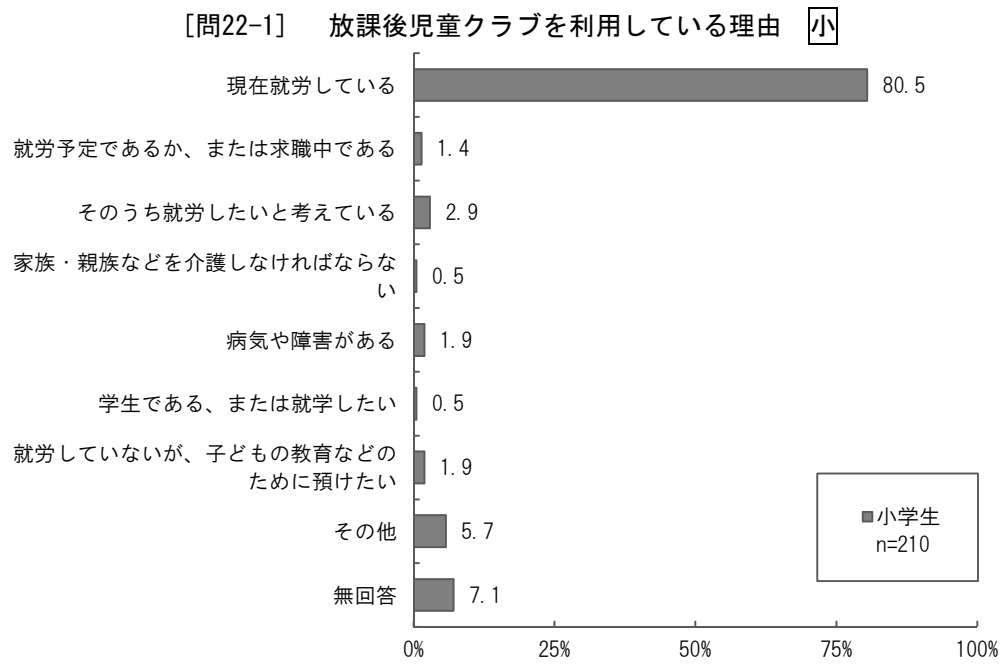
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体
小学生	サンプル数(人)	305	321	310	300	304	304	1,849
	自宅のみで過ごす	48.9	54.8	53.9	60.7	61.5	63.8	57.3
	祖父母宅や友人・知人宅	27.2	24.0	23.9	26.3	32.2	30.3	27.3
	習い事	61.3	64.2	70.3	67.0	68.4	68.8	66.7
	放課後児童クラブ	21.3	12.8	13.5	7.7	7.9	4.6	11.4
	わいわいスクール	15.1	9.7	10.6	9.3	7.6	5.6	9.7
	放課後子ども教室	22.6	15.3	13.9	13.3	8.6	7.9	13.6
	青少年の家	16.1	16.2	12.6	12.7	17.8	10.9	14.3
	ファミリーサポート・センター	0.3	0.3	0.0	0.0	0.7	0.7	0.3
	その他	41.0	45.2	43.5	39.3	36.2	37.2	40.5
	無回答	9.2	9.0	10.0	10.3	7.6	9.2	9.2

[問22] 放課後の過ごし方の希望（行政センター別）【複数選択可】 小

単位：%

		本庁	追浜	田浦	逸見	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西	全体
小学生	サンプル数(人)	226	166	77	22	250	169	186	233	137	150	1,849
	自宅のみで過ごす	54.4	57.8	51.9	63.6	55.2	54.4	59.1	57.5	59.1	62.7	57.3
	祖父母宅や友人・知人宅	23.9	29.5	24.7	18.2	25.6	29.6	28.0	23.2	22.6	36.7	27.3
	習い事	69.5	72.3	71.4	77.3	62.4	65.7	71.0	66.5	67.2	58.0	66.7
	放課後児童クラブ	12.4	15.1	16.9	18.2	8.8	13.6	8.6	10.7	8.0	8.7	11.4
	わいわいスクール	9.3	16.9	7.8	0.0	10.8	9.5	9.7	10.3	8.0	7.3	9.7
	放課後子ども教室	12.4	16.9	9.1	4.5	14.4	11.2	14.0	16.7	21.2	12.7	13.6
	青少年の家	19.0	8.4	13.0	13.6	18.0	10.7	22.0	8.6	9.5	16.0	14.3
	ファミリーサポート・センター	0.0	0.6	0.0	0.0	0.4	0.0	1.1	0.0	0.7	0.7	0.3
	その他	37.6	42.2	48.1	50.0	44.0	40.2	44.6	36.5	46.0	36.0	40.5
	無回答	8.4	6.6	9.1	4.5	8.4	10.1	8.1	10.3	9.5	10.7	9.2

○放課後児童クラブを利用したい理由については、「現在就労している」が80.5%となっている。

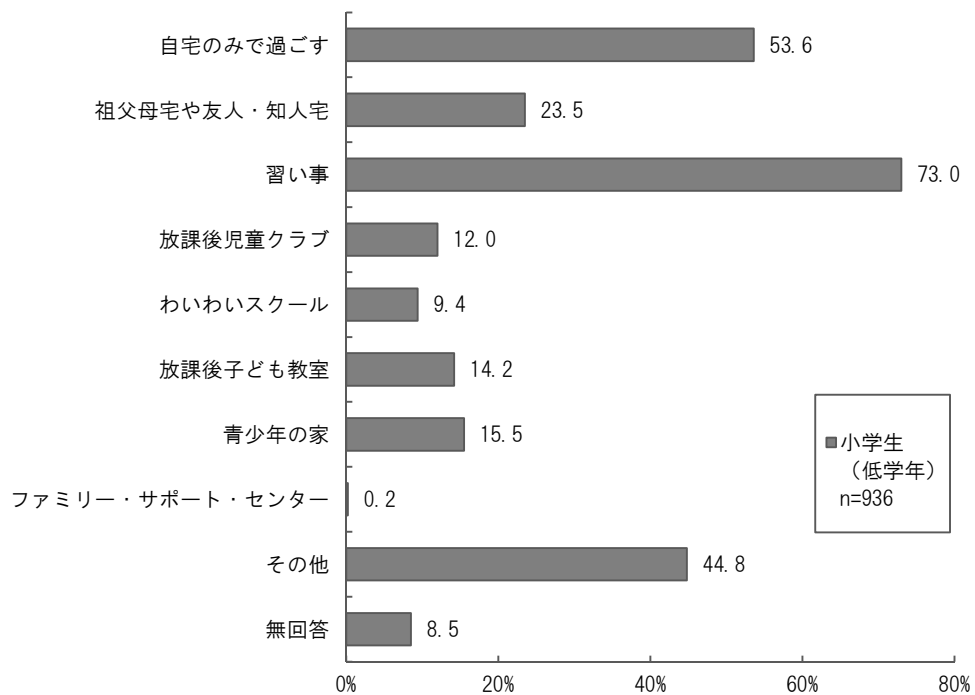




### ③小学校低学年児童の高学年時の利用希望

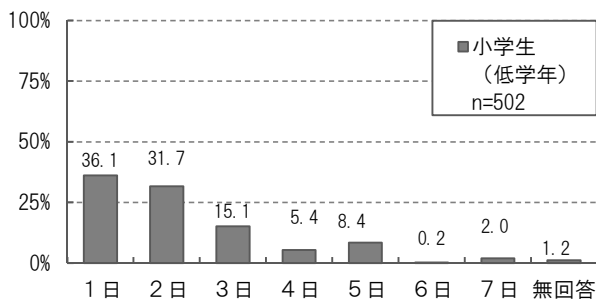
- 高学年時の平日の放課後の過ごし方の希望については「習い事」が73.0%と最も高く、次いで「自宅のみで過ごす」が53.6%となっている。
- 1週間当たりの利用日数は、「わいわいスクール」「放課後子ども教室」「青少年の家」では「1日」と「2日」、「放課後児童クラブ」では「5日」が高くなっている。
- 下校時間からの利用希望時間については、「放課後児童クラブ」「青少年の家」では「17時台」～「19時台」、「わいわいスクール」「放課後子ども教室」では「16時台」「17時台」が高くなっている。

[問24] 小学校低学年児童の高学年時における放課後の過ごし方の希望【複数選択可】 小

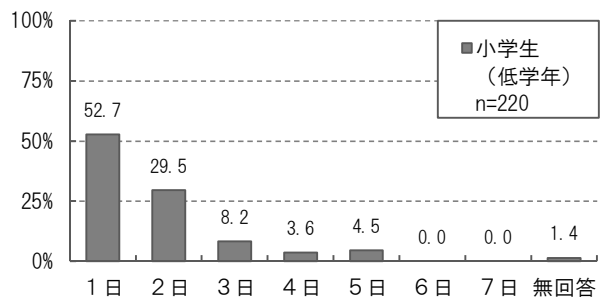


【利用日数（1週間当たり）】

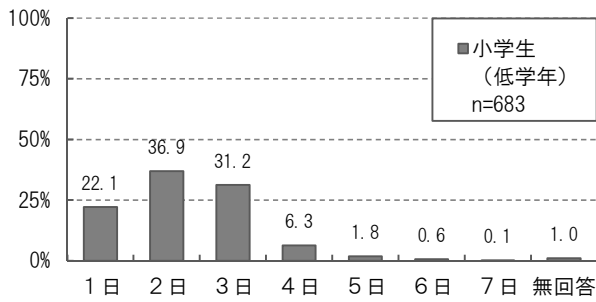
<自宅>



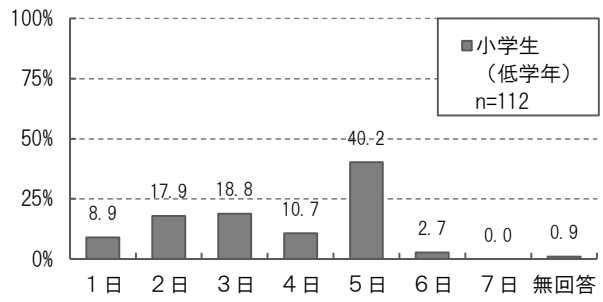
<祖父母宅や友人・知人宅>



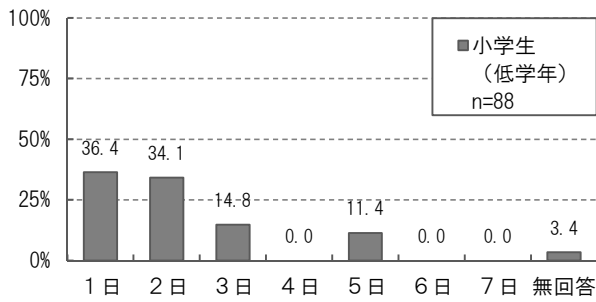
<習い事>



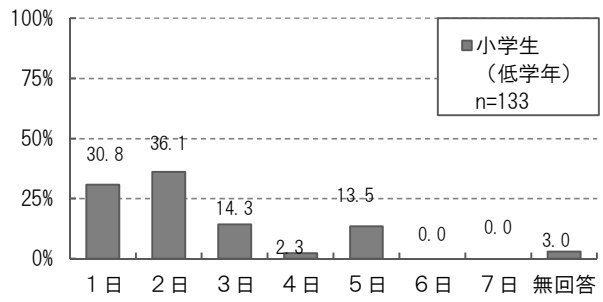
<放課後児童クラブ>



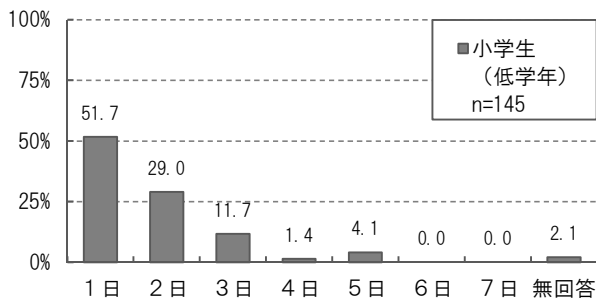
<わいわいスクール>



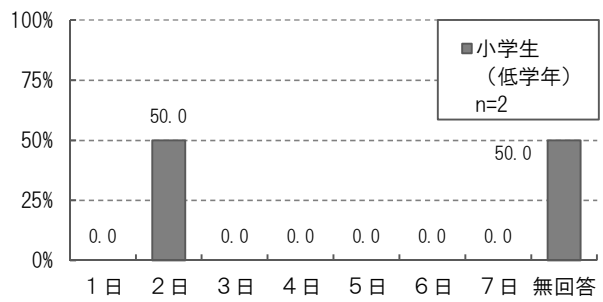
<放課後子ども教室>



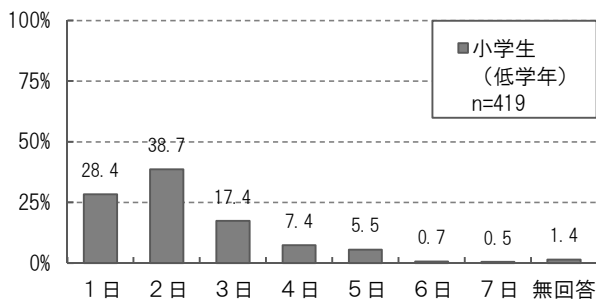
<青少年の家>



<ファミリー・サポート・センター>

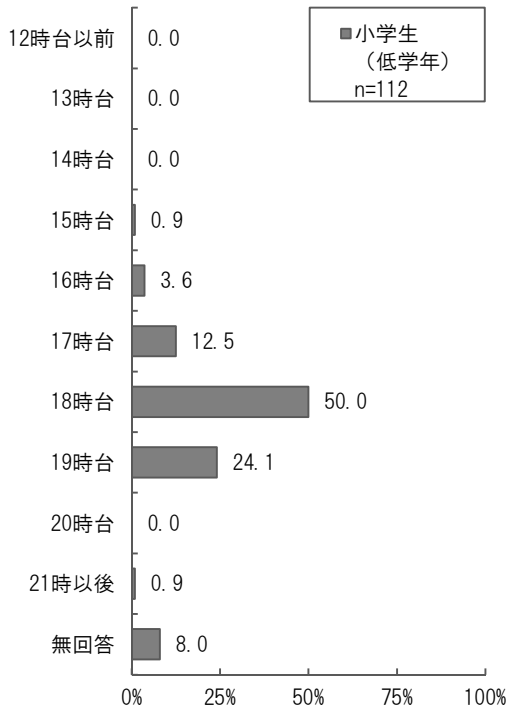


<その他 (図書館・公園等)>

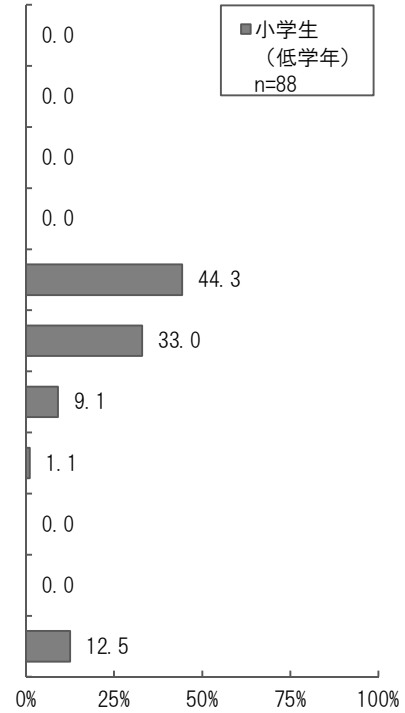


【終了希望時間】

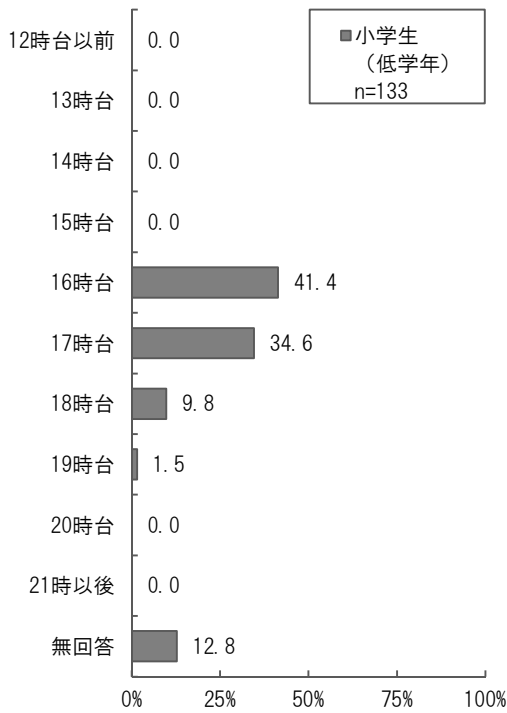
<放課後児童クラブ>



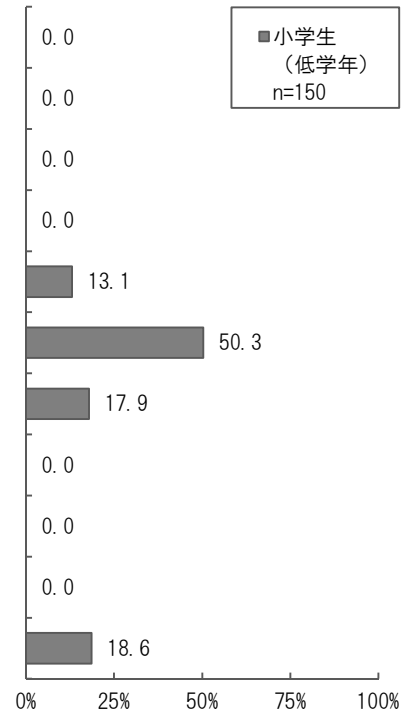
<わいわいスクール>



<放課後子ども教室>

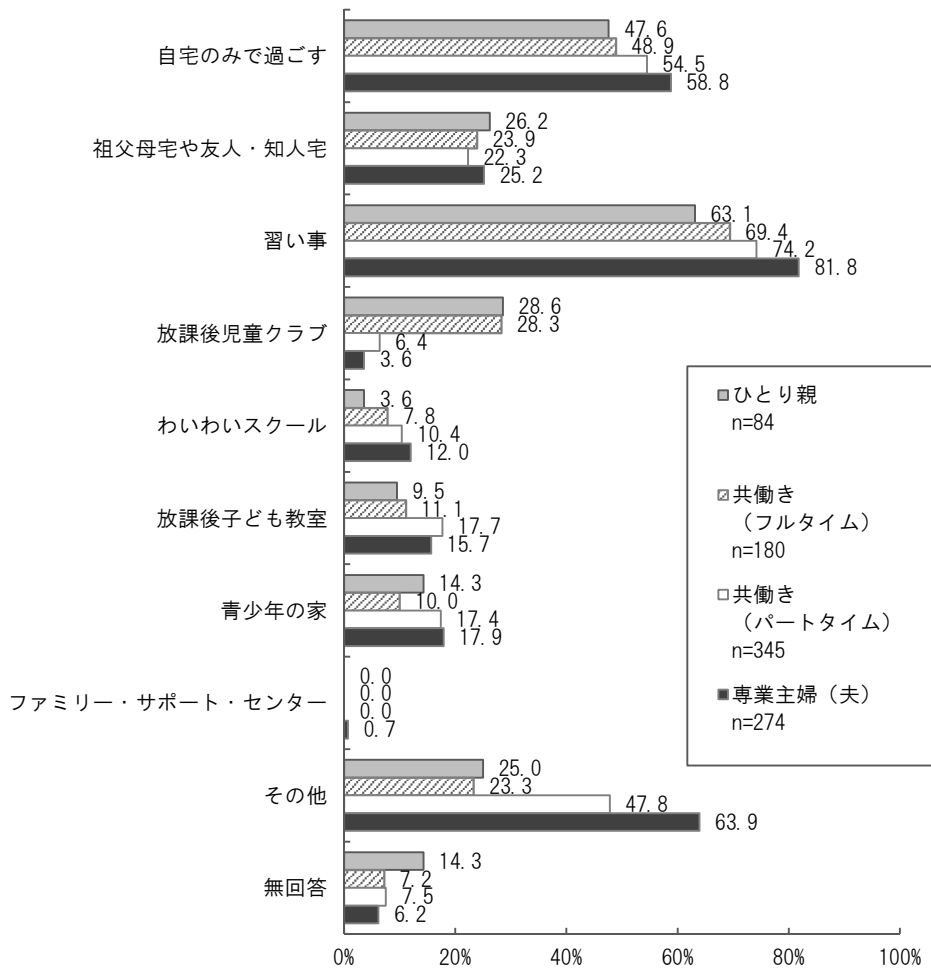


<青少年の家>



○家庭類型別にみると、ひとり親や共働き（フルタイム）では「放課後児童クラブ」が他の家庭類型よりも約22～25ポイント高くなっている。

[問24] 放課後の過ごし方の希望（家庭類型別）【複数選択可】 小



[問24] 放課後の過ごし方の希望（学年別）【複数選択可】 小

単位：%

		1年生	2年生	3年生	全体
小学生(低学年)	サンプル数(人)	305	321	310	936
	自宅のみで過ごす	48.2	56.4	56.1	53.6
	祖父母宅や友人・知人宅	26.6	21.5	22.6	23.5
	習い事	72.5	71.3	75.2	73.0
	放課後児童クラブ	14.4	9.0	12.6	12.0
	わいわいスクール	13.8	5.6	9.0	9.4
	放課後子ども教室	19.0	11.8	11.9	14.2
	青少年の家	17.0	16.5	12.9	15.5
	ファミリーサポート・センター	0.3	0.3	0.0	0.2
	その他	41.6	46.7	45.8	44.8
	無回答	7.9	8.7	9.0	8.5

## (5) 放課後児童クラブの利用希望

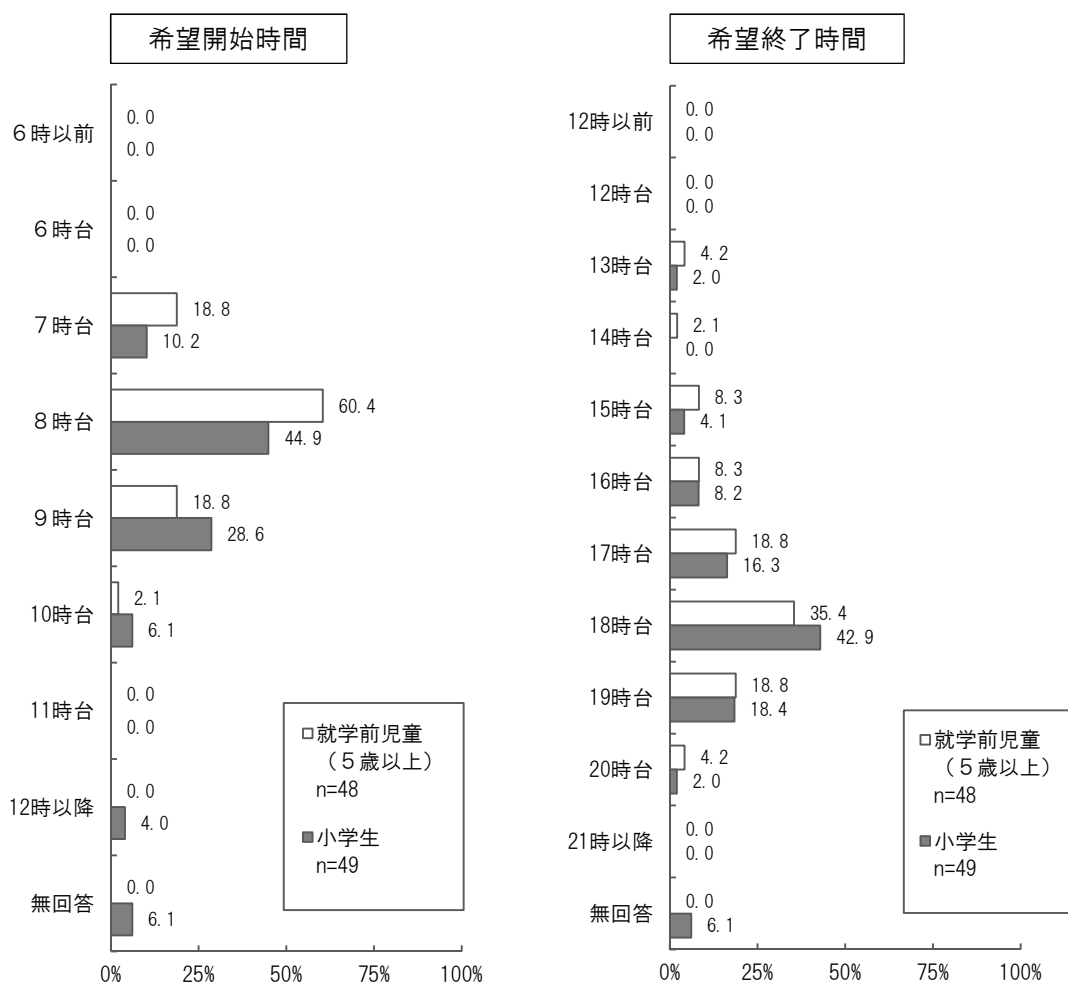
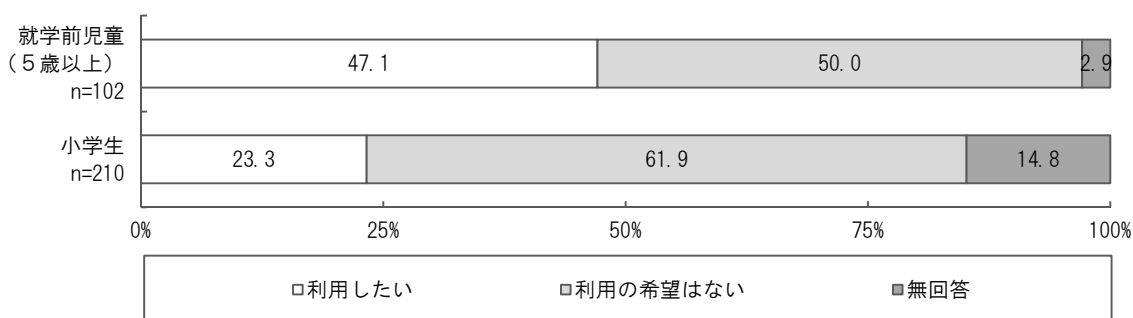
### ①土曜日の利用希望

○放課後児童クラブを利用希望のうち、土曜日の希望は就学前児童（5歳以上）47.1%、小学生23.3%となっている。

○放課後児童クラブ利用の土曜日の希望開始時間は、ともに「7時台」～「9時台」が高くなっている。

○希望終了時間は、「15時台」～「19時台」が高くなっている。

問38-1[問23-1] 放課後児童クラブ利用希望者の土曜日の利用希望 就 小



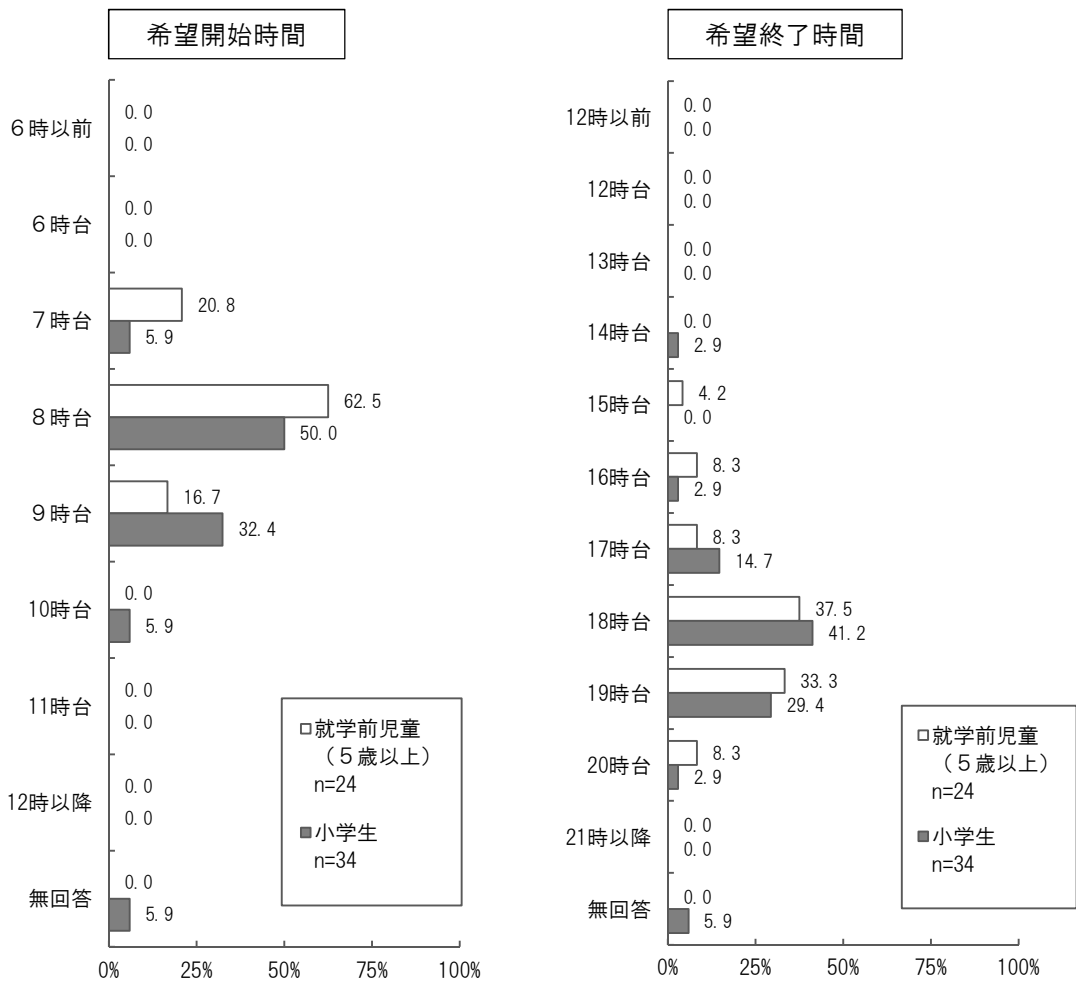
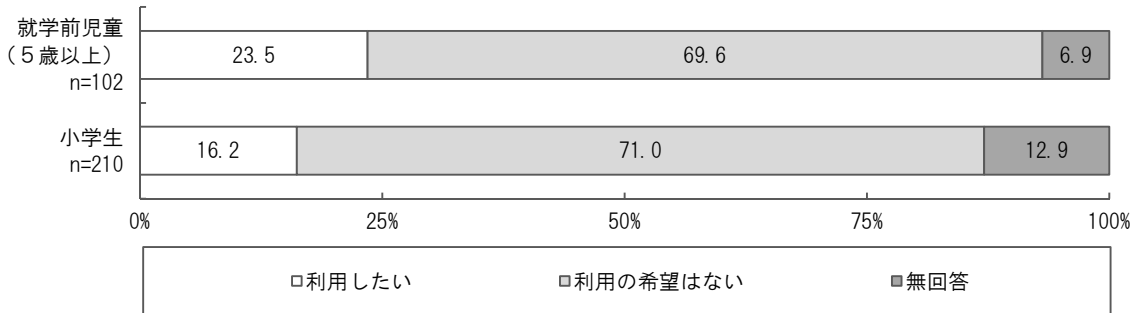
## ②日曜日の利用希望

○放課後児童クラブの利用希望のうち、日曜日の希望は就学前児童（5歳以上）23.5%、小学生16.2%となっている。

○放課後児童クラブ利用の日曜日の希望開始時間は、ともに「8時台」～「9時台」が高くなっている。

○希望終了時間は、「17時台」～「19時台」が高くなっている。

問38-2[問23-2] 放課後児童クラブ利用希望者の日曜日の利用希望 就 小



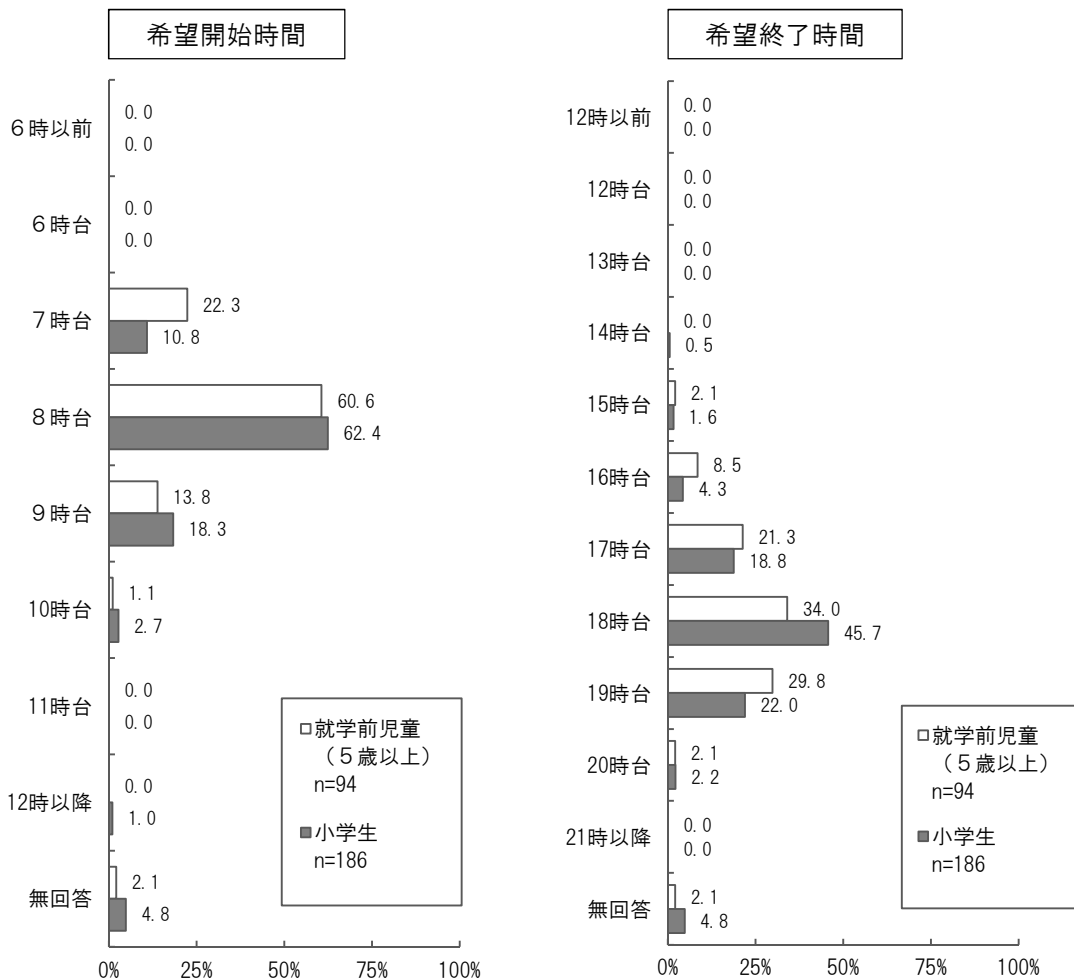
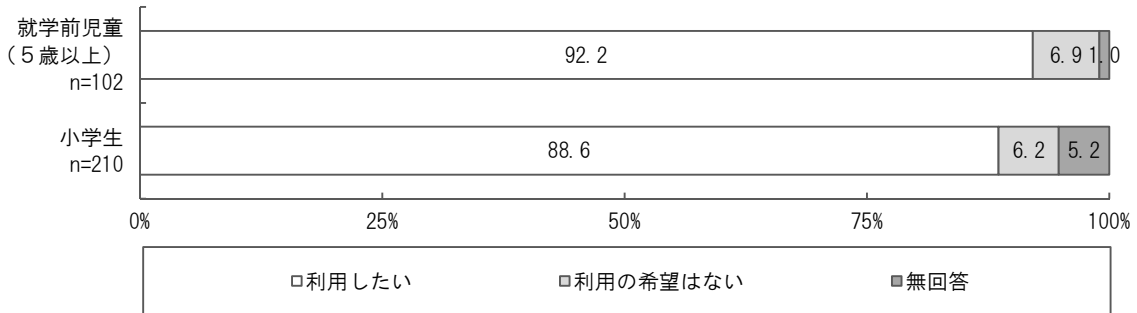
### ③長期休暇期間中の利用希望

○放課後児童クラブを利用希望のうち、長期休暇期間中の希望は就学前児童（5歳以上）92.2%、小学生88.6%となっている。

○放課後児童クラブ利用の長期休暇期間中の希望開始時間は、ともに「8時台」が高くなっている。

○希望終了時間は、「17時台」～「19時台」が高くなっている。

問38-3[問23-3] 放課後児童クラブの長期休暇期間中の利用希望 就 小





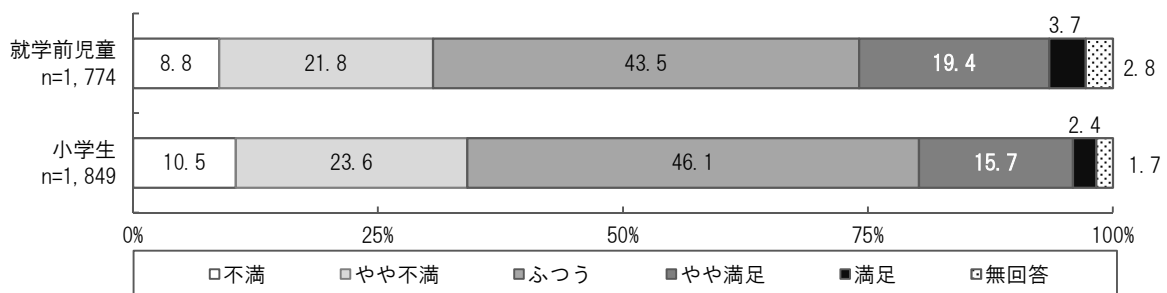
## 12 子育ての環境や支援への満足度について

○地域の子育て支援の環境や支援に対する満足度の状況をみると、就学前児童では「満足」と「やや満足」の合計が23.1%、「やや不満」と「不満」の合計が30.6%で不満が7.5%上回っている。

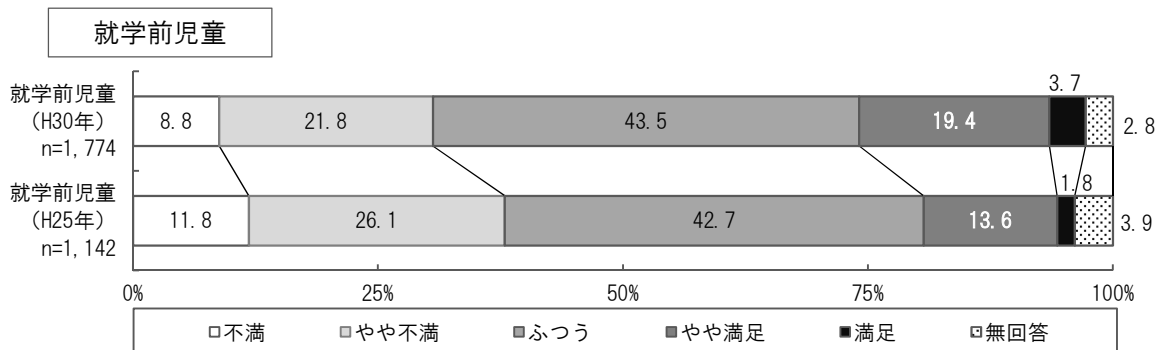
○一方、小学生は「満足」と「やや満足」の合計が18.1%、「やや不満」と「不満」の合計が34.1%で不満が16.0%上回っている。

○前回調査と比較すると、「満足」と「やや満足」の合計が就学前児童で5.0ポイント、小学生で2.8ポイント高くなっている。

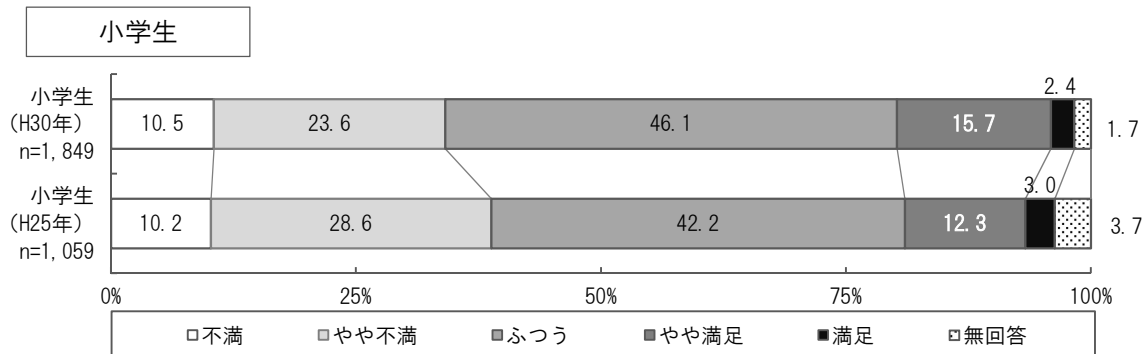
問35[問26] 地域における子育ての環境や支援への満足度 就 小



問35 地域における子育ての環境や支援への満足度（前回比較） 就

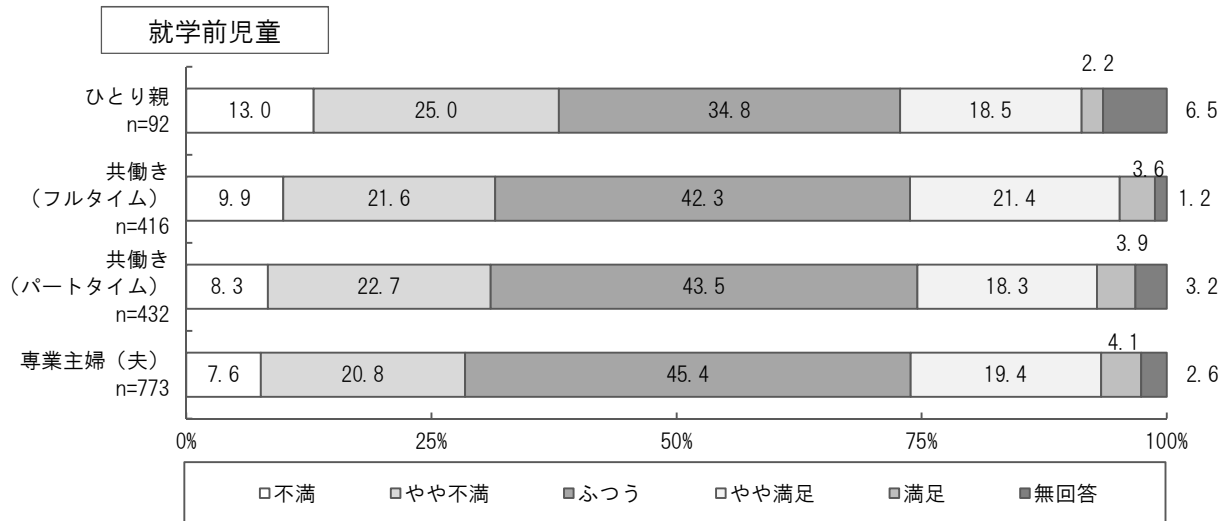


[問26] 地域における子育ての環境や支援への満足度（前回比較） 小

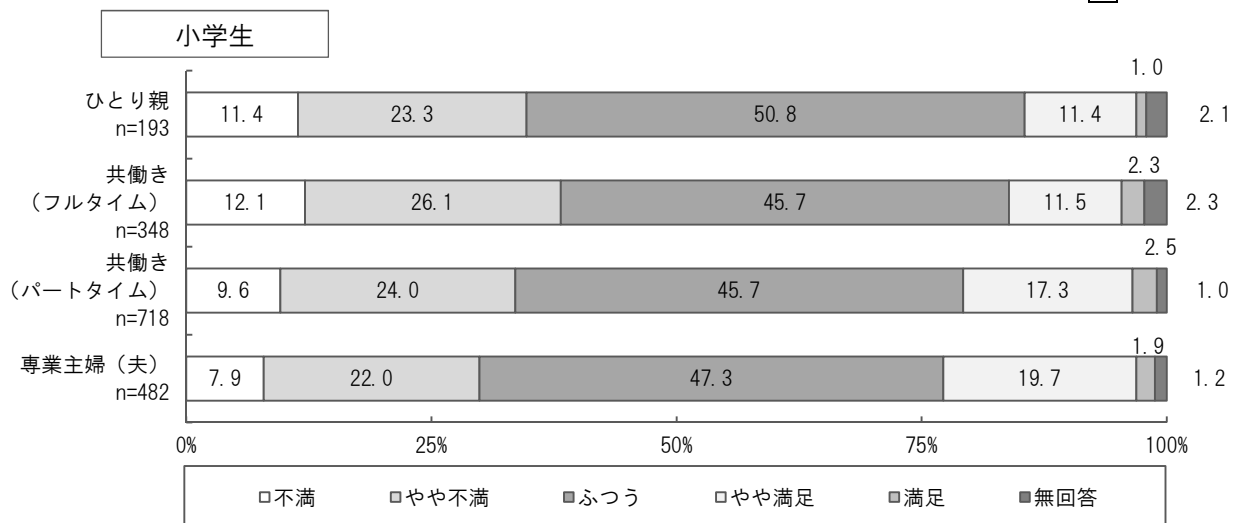


○家庭類型別にみると、就学前児童のひとり親では「不満」が他の家庭類型よりも約3～5ポイント高くなっている。また、小学生の専業主婦（夫）では「満足」が他の家庭類型よりも約2～7ポイント高くなっている。

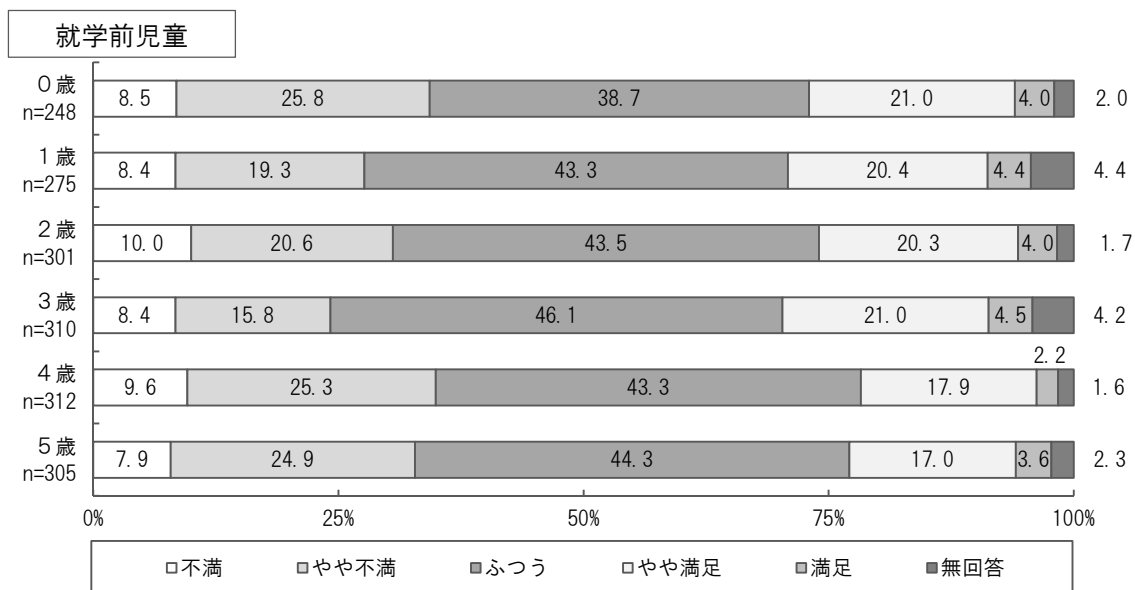
問35 地域における子育ての環境や支援への満足度（家庭類型別） 就



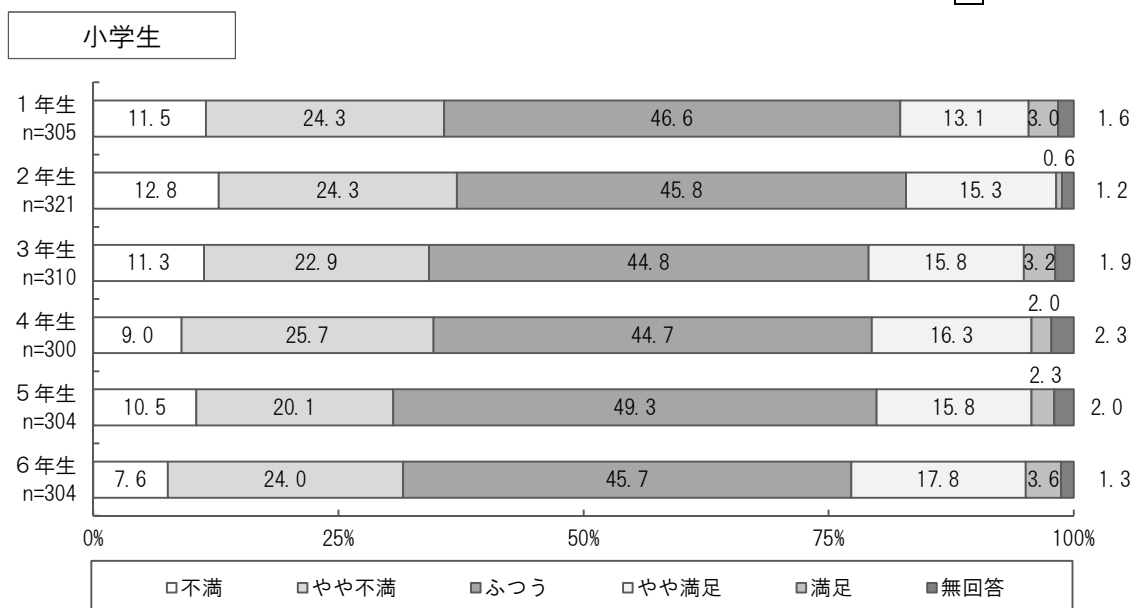
[問26] 地域における子育ての環境や支援への満足度（家庭類型別） 小



問35 地域における子育ての環境や支援への満足度（年齢別） 就

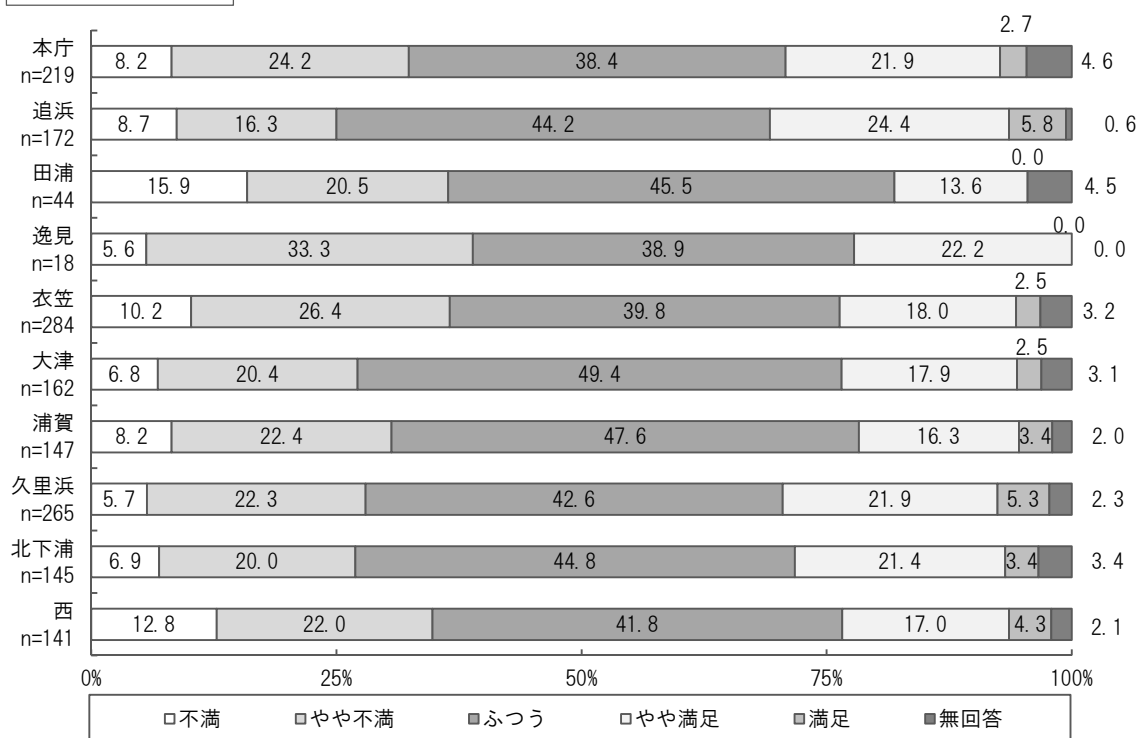


【問26】 地域における子育ての環境や支援への満足度（学年別） 小



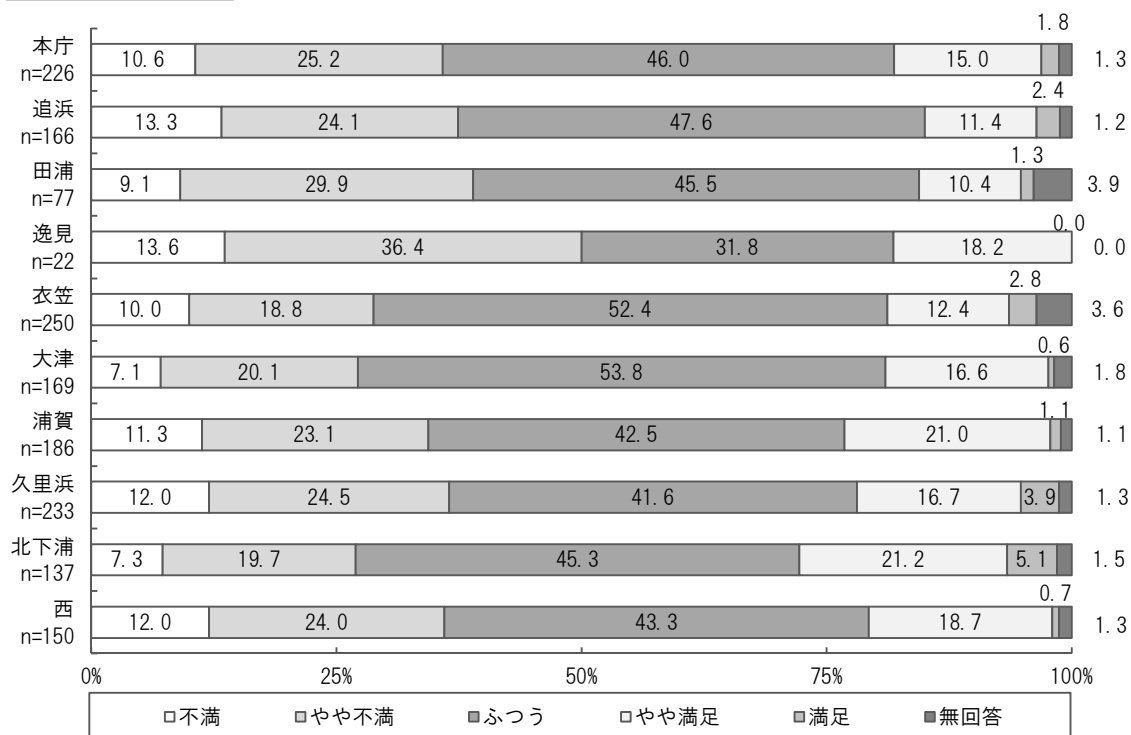
問35 地域における子育ての環境や支援への満足度（行政センター別） 就

就学前児童



問26 地域における子育ての環境や支援への満足度（行政センター別） 小

小学生



## 13 自由回答

○子育てをするうえで、周囲から望む支援や援助について、就学前児童1,774人中952人から自由回答が寄せられた。「一時預かり」が21.5%と最も高く、次いで「子育ての悩みの相談」が12.5%、「経済的な支援」が10.7%となっている。

問11 子育てをするうえで、周囲から望む支援や援助 就

	件数	割合(%)
子育てを支える環境づくりについて		
子育ての悩みの相談	119	12.5
子育てに関する情報の提供	58	6.1
子どもの居場所・遊び場	68	7.1
子育て講座、イベント、教室の開催	21	2.2
子育てに関する保護者の交流の場	31	3.3
その他の行政への要望	20	2.1
子ども・子育て支援事業について		
一時預かり	205	21.5
保育所	38	4.0
病児・病後児保育	50	5.3
幼稚園	13	1.4
学童保育・放課後の居場所(放課後児童健全育成事業)	49	5.1
子育て支援センター(地域子育て支援拠点)	25	2.6
時間外保育	38	4.0
ファミリー・サポート(子育て援助活動支援)	7	0.7
発達支援・障害児支援	11	1.2
経済的な子育て支援について		
医療費の助成	8	0.8
経済的な支援	102	10.7
その他		
育児・家事の援助	44	4.6
地域(近所)の人とのかかわり、見守り	26	2.7
子連れにやさしい社会・町・人	44	4.6
家族(父親、祖父母、親族)からの支援	14	1.5
道路の整備・安全に関すること	5	0.5
乳幼児健診	26	2.7
子育てタクシー等の移動への支援	11	1.2
その他	30	3.2
特になし	64	6.7
全 体	952	

○子育てをするうえで、周囲から望む支援や援助について、小学生1,849人中915人から自由回答が寄せられた。「放課後の居場所、学童クラブ」が16.6%と最も高く、「一時預かり」が10.5%、「経済的な支援」が9.1%となっている。

[問10] 子育てをするうえで、周囲から望む支援や援助 小

	件数	割合(%)
放課後等の子どもの居場所について		
放課後の居場所、学童クラブ	152	16.6
夏休み、土日等の学校の休日の預かり	41	4.5
子どもの居場所・遊び場	57	6.2
子育てを支える環境づくり・事業		
一時預かり	96	10.5
内、緊急時、保護者等が病気の際の預かり	45	4.9
子育ての悩みの相談	86	9.4
病児の預かり	39	4.3
子育てに関する情報の提供	24	2.6
子供向け教室、親子講座、イベント等の開催	11	1.2
子育てに関する保護者の交流の場	14	1.5
保育施設・サービスの充実	10	1.1
家庭への定期的な連絡、訪問	8	0.9
発達支援・障害児支援	12	1.3
その他の行政への要望	18	2.0
経済的な子育て支援について		
医療費の助成	16	1.7
経済的な支援	83	9.1
その他		
地域(近所)の人とのかかわり、見守り	46	5.0
育児・家事の援助	23	2.5
中学校給食の実施	4	0.4
防犯、パトロールの強化	15	1.6
学習の支援	22	2.4
子ども、子連れにやさしい社会・町・人	12	1.3
道路の整備、治安等の地域の安全に関すること	4	0.4
小児科等の医療体制の充実	4	0.4
働きながら子どもを産み育てやすい社会・職場	13	1.4
移動への支援	15	1.6
その他	17	1.9
特になし	97	10.6
全 体	915	

○子育てをするうえでの悩みについて、就学前児童1,774人中956人から自由回答が寄せられた。「子育ての仕方」が17.8%と最も高く、次いで「育児、家事、仕事の両立」が9.8%、「子どもの居場所・遊び場が少ないこと」が9.5%となっている。

問12 子育てをするうえでの悩み 就

	件数	割合(%)
子どものこと、子どもとの関係に関すること		
子どもが言うことを聞かない等の育児ストレス	60	6.3
子育ての仕方(育児の方針、しつけ、叱り方等)	170	17.8
子どもの発達・発育	36	3.8
障がい、発達障害	20	2.1
保護者自身や家族に関すること		
経済的な負担	89	9.3
育児、家事、仕事の両立	94	9.8
子育てに関連する配偶者等の家族に関する悩み	72	7.5
子どもの病気・けがの対応	47	4.9
保護者や家族が病気等の時の対応	4	0.4
子供と接する時間が少ない	31	3.2
自分(保護者)の時間が取れない	53	5.5
求職・就職に関する悩み	13	1.4
育児の負担を抱え込んでいる、孤立感を感じる	51	5.3
友人を含む周囲との関係に関すること		
同年齢の子を持つ友人が少ない	22	2.3
近所に同年齢の子どもが少ない、子どもの友人関係	25	2.6
周囲が子育て世帯への理解が少ない	29	3.0
子育てを取り巻く環境、支援に関すること		
子どもの居場所・遊び場が少ないこと	91	9.5
子どもの定期的な預け先(保育所など)が少ない、利用できない	30	3.1
子ども連れでの移動、外出	26	2.7
気軽に一時的に子どもをみてもらう人・場所が少ない	50	5.2
放課後の居場所	8	0.8
子育ての相談	15	1.6
その他		
小学校生活に関する不安	16	1.7
医療機関に関する不安	16	1.7
その他	28	2.9
特になし	84	8.8
全 体	956	

○子育てをするうえでの悩みについて、小学生1,849人中913人から自由回答が寄せられた。「経済的な負担」が13.9%と最も高く、次いで「子育ての仕方」が12.3%、「子どもの友人関係、いじめの不安」が7.9%となっている。

[問11] 子育てをするうえでの悩み 小

	件数	割合(%)
子どものこと、子どもとの関係に関すること		
子育ての仕方(育児の方針、反抗期の対応等)	112	12.3
子供が言うことを聞かない、考えていることが分からないなど育児のストレス	23	2.5
子どもの学力、進学	31	3.4
子どもの成長、自立	7	0.8
メディア(携帯、SNS、ゲーム等)との付き合い方	29	3.2
障がい、発達障害	30	3.3
保護者自身や家族に関すること		
経済的な負担	127	13.9
子供と向き合う時間が少ない	56	6.1
育児、家事、仕事の両立	52	5.7
子育てに関連する配偶者等の家族に関する悩み	39	4.3
子どもの病気・けがの対応	20	2.2
保護者や家族が病気等の時の対応	5	0.5
子どもだけで留守番をさせること	19	2.1
ひとり親であることの影響	17	1.9
兄弟姉妹との関係	10	1.1
その他の保護者自身に関する悩み	20	2.2
友人を含む周囲との関係に関すること		
子どもの友人関係、いじめの不安	72	7.9
同年齢の子を持つ親の友人が少ない、人間関係	23	2.5
地域等の周囲との関係	16	1.8
子育てを取り巻く環境、支援に関すること		
子どもの居場所・遊び場が少ないこと	47	5.1
放課後の居場所	33	3.6
一時的に子どもをみてもらう人・場所が少ない	31	3.4
地域の安全(事件、事故の発生)	15	1.6
子育ての相談	19	2.1
学校の休日の子どもの居場所	14	1.5
未就学の子どもの定期的な預け先が少ない、利用できない	2	0.2
中学校給食	2	0.2
移動への支援	8	0.9
その他		
小学校に関する不満、不安	36	3.9
将来に対する不安	5	0.5
医療機関に関する不安	4	0.4
その他	16	1.8
特になし	104	11.4
全 体	913	



○教育・保育環境の充実や親子の過ごし方など子育てに関して、就学前児童1,774人中1,070人から自由回答が寄せられた。「保育所」が15.9%と最も高く、次いで「公園等、屋外の居場所・遊び場」が13.8%、「放課後児童クラブを含む放課後の居場所」が13.4%となっている。

問36 教育・保育環境の充実や親子の過ごし方など子育てに関して 就

	件数	割合(%)
子育てを支える環境づくりについて		
子どもの居場所・遊び場全般	41	3.8
公園等、屋外の居場所・遊び場	148	13.8
児童館等、屋内の居場所・遊び場	133	12.4
子育て講座、イベント、教室の開催	33	3.1
子育てに関する情報の提供	41	3.8
子育てに関する保護者の交流の場	18	1.7
子育ての悩みの相談	20	1.9
その他の行政への要望・意見	92	8.6
子ども・子育て支援事業について		
保育所	170	15.9
放課後児童クラブを含む放課後の居場所	143	13.4
幼稚園	36	3.4
子育て支援センター(地域子育て支援拠点)	61	5.7
一時預かり	50	4.7
認定こども園	21	2.0
病児・病後児保育	38	3.6
発達支援・障害児支援	12	1.1
ファミリー・サポート(子育て援助活動支援)	8	0.7
経済的な子育て支援について		
医療費の助成	23	2.1
経済的な支援	81	7.6
その他		
働きながら子どもを産み育てやすい社会・職場	64	6.0
子ども・子育て世帯にやさしい社会・町・人	33	3.1
小学校に関する要望	19	1.8
道路の整備等・安全に関すること	28	2.6
親子の時間が増えるような環境	9	0.8
小児科、産婦人科等、医療の充実	24	2.2
中学校給食の実施	9	0.8
地域(近所)の人とのかかわり、見守り	8	0.7
移動への支援	40	3.7
その他	15	1.4
特になし	11	1.0
全 体	1,070	

○教育・保育環境の充実や親子の過ごし方など子育てに関して、小学生1,849人中1,013人から自由回答が寄せられた。「放課後児童クラブ」が12.2%と最も高く、次いで「子育ての経済的負担、経済的な支援」が8.8%、「放課後の居場所全般」が8.6%となっている。

[問27] 教育・保育環境の充実や親子の過ごし方など子育てに関して 小

	件数	割合(%)
子どもの居場所について		
放課後の居場所全般	87	8.6
放課後児童クラブ	124	12.2
わいわいスクール	30	3.0
青少年の家	21	2.1
子どもの居場所・遊び場全般	47	4.6
公園等、屋外の居場所・遊び場	69	6.8
ボールの使用できる遊び場	47	4.6
児童館等、屋内の居場所・遊び場	51	5.0
土日、長期休暇期間中の子どもの居場所	33	3.3
小学校に関する要望		
先生の質、数、研修等、教員に関すること	17	1.7
学校教育全般、学力低下、教育格差等	20	2.0
学校施設の充実(水道、トイレ、プール、耐震等)	5	0.5
土曜の授業	1	0.1
クラスの児童数の縮小	5	0.5
その他の小学校に関する要望	37	3.7
その他の子育てを支える環境・事業		
子育てに関する情報の提供	22	2.2
保育所	11	1.1
特別支援教室、発達支援・障害児支援	39	3.8
子育ての悩みの相談	19	1.9
子供向けの講座、イベント、教室の開催	26	2.6
一時預かり	14	1.4
幼稚園	7	0.7
認定こども園	1	0.1
病児・病後児保育	8	0.8
ファミリー・サポート(子育て援助活動支援)	6	0.6
その他の行政への要望・意見	44	4.3
経済的な子育て支援について		
医療費の助成	47	4.6
子育ての経済的負担、経済的な支援	89	8.8
ひとり親に対する支援	10	1.0
その他		
中学校の選択制	8	0.8
中学校の完全学校給食の実施	41	4.0

働きながら子どもを産み育てやすい社会・職場	44	4.3
道路の整備、治安等の地域の安全に関すること	39	3.8
地域(近所)の人とのかかわり	10	1.0
小児科、産婦人科等、医療の充実	15	1.5
安心して子育てに専念できる環境、親子の時間が増えるような環境	31	3.1
防犯/パトロール、登下校時の見守り	32	3.2
夕方の防災チャイム	5	0.5
その他	24	2.4
特になし	18	1.8
全 体	1,013	